

中央区
子育て支援に関するニーズ調査
調査報告書

令和6(2024)年3月

中央区

目次

第1章 調査概要	1
1 調査目的	3
2 調査対象	3
3 調査方法	3
4 調査時期	3
5 回収数(回収率)	3
6 調査項目	4
第2章 調査結果	9
Ⅰ 就学前児童保護者調査	11
1 お子さんご家族の状況	11
2 子どもの育ちをめぐる環境	15
3 保護者の就労状況	19
4 平日の定期的な施設・事業の利用状況	24
5 平日夜間・土曜・休日などの「定期的」な施設・事業の利用希望	41
6 地域の子育て支援事業の利用状況	47
7 病気やケガの際の対応	54
8 不定期の子育て支援事業の利用	59
9 放課後の過ごし方(来年度小学校に就学予定のお子さんがある人)	65
10 育児休業の取得状況	73
11 妊娠中・産後の状況	81
12 地域における子育て	85
13 子育てに関する意識	89
Ⅱ 小学校児童保護者調査	106
1 お子さんご家族の状況	106
2 子どもの育ちをめぐる環境	110
3 保護者の就労状況	114
4 地域の子育て支援事業の利用状況	119
5 病気やケガの際の対応	121
6 不定期の子育て支援事業の利用	126
7 放課後の過ごし方	132
8 地域における子育て	141
9 子育てに関する意識	145
Ⅲ 質問間クロス集計等	162
1 子育て世帯が抱える困難について	162
2 父親の育児参加について	170

資料編 アンケート調査票及び集計結果.....	171
就学前児童保護者調査	173
小学校児童保護者調査	197

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、令和7年度から11年度までの5か年度を計画期間とする「第三期中央区子ども・子育て支援事業計画」の策定を令和6年度に予定しており、区民の子育てニーズや確保を図るべき教育・保育施設・子育て支援サービスの量の見込みなどの算定の基礎となる資料を収集するため実施する。

2 調査対象

調査名		調査対象
調査①	子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童保護者調査)	就学前児童を持つ保護者、5,262人 (調査時0～5歳人口の約50%)
調査②	子育て支援に関するニーズ調査(小学校児童保護者調査)	小学校児童を持つ保護者、4,887人 (調査時6～11歳人口の約50%)

3 調査方法

郵送配布－郵送回収・インターネット回答(督促礼状1回送付)

4 調査時期

令和5(2023)年10月30日(月)～11月24日(金)

5 回収数(回収率)

調査名	発送数 (票)	回収・回答数 (率)	内訳	
			郵送 回収数(率)	インターネット 回答数(率)
調査① 子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童保護者調査)	5,262	2,384 (45.3%)	979 (18.6%)	1,405 (26.7%)
調査② 子育て支援に関するニーズ調査(小学校児童保護者調査)	4,887	2,130 (43.6%)	920 (18.8%)	1,210 (24.8%)

6 調査項目

I 就学前児童保護者調査

項目	問番号	設問
1 お子さんと ご家族の状況	問1	回答者
	問2	居住地・居住地区
	問3	居住歴・居住年数
	問4	居住形態
	問5	あて名の子どもの年齢
	問6	同居している人
	問6-1	あて名の子どもの兄弟・姉妹の人数
	問7	子育てを主に行っている人
2 子どもの育ち をめぐる環境	問8	子育てに関する悩みや気になること
	問9	子育てに関して気軽に相談できる人や場所
	問10	子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無
3 保護者の就労 状況	問11(1)	母親の現在の就労状況と1年後の就労予定
	問11(1)-1	母親の1週間当たりの在宅勤務日数
	問11(2)	父親の現在の就労状況と1年後の就労予定
	問11(2)-1	父親の1週間当たりの在宅勤務日数
4 平日の定期的 な施設・事業 の利用状況	問12	世帯の年間収入(税込)
	問13	幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無
	問13-1	定期的にご利用している施設・事業
	問13-2	定期的にご利用している施設・事業の実施場所
	問13-3	定期的にご利用している施設・事業の現在の利用日数・利用時間・利用時間帯、希望する利用日数・利用時間・利用時間帯
	問13-4	定期的にご利用している施設・事業に加えて利用している事業の有無
	問13-5	定期的にご利用している施設・事業に加えて利用している事業の現在の利用日数・利用時間・利用時間帯、希望する利用日数・利用時間・利用時間帯
	問13-6	定期的にご利用していない理由
	問14	定期的にご利用したい施設・事業(0～5歳の各歳別)
	問14-1	施設・事業を選ぶうえで重視する条件
	問14-2	幼稚園の預かり保育を定期的にご利用したい人の①希望する利用日数・利用時間・利用時間帯、②どうすれば利用しやすくなると思うか
	問14-3	保育園利用希望者の、①預かり保育を利用できる場合の幼稚園の利用意向、②1週当たりの預かり保育の利用希望日数、③通わせたいと思わない理由
	問14-4	定期的にご利用したい施設・事業の実施場所
	問14-5	他の区、市等を利用したい理由
5 平日夜間・土 曜・休日など の「定期的」な 施設・事業の 利用希望	問15(1)	平日夜間の利用希望、利用希望時間帯
	問15(2)	土曜日の利用希望、利用希望時間帯
	問15(3)	休日(日曜・祝日)の利用希望、利用希望時間帯
	問15(4)	年末年始の利用希望、利用したい日、利用希望時間帯
	問16	幼稚園利用者の長期休暇中の預かり保育の利用希望、利用希望時間帯

項目	問番号	設問
6 地域の子育て支援事業の利用状況	問 17	地域子育て支援事業の認知度・利用状況、今後必要なときの利用意向
	問 18	子育て交流サロン「あかちゃん天国」の利用状況
	問 18-1	子育て交流サロン「あかちゃん天国」を利用している人の今後の利用回数の増加意向
	問 18-2	子育て交流サロン「あかちゃん天国」を利用していない人の今後の利用意向
7 病気やケガの際の対応	問 19	この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無
	問 19-1	この1年間の子どもの病気やケガの場合の対処方法と日数
	問 19-2	区の病児・病後児保育の利用希望、利用希望日数
	問 19-3	区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由
	問 19-4	区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった理由
8 不定期の子育て支援事業の利用	問 20	この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業(利用日数)
	問 20-1	この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない理由
	問 21	家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業の利用希望(①一時的な預かり事業の利用希望、②利用したい一時的な預かり事業、③一時的な預かり事業の利用目的、利用目的別日数)
	問 22	宿泊を伴う一時預かりの状況(①宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無、②宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法、対処方法別日数)
9 放課後の過ごし方(来年度小学校に就学予定のお子さんがある人)	問 23	小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方の希望、利用日数
	問 24	学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用希望時間帯
	問 25(1)	土曜日の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向、利用希望時間帯
	問 25(2)	長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向、利用希望時間帯
	問 26	学童クラブを利用したい理由
	問 27	区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由
	問 28	子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由
	問 29	子どもが放課後過ごす場所として重視したいこと
10 育児休業の取得状況	問 30	両親の育児休業の取得状況、取得期間、取得していない理由
	問 30-1	育児休業後の職場への復帰の状況
	問 30-2	育児休業後の職場への復帰のタイミング
	問 30-3	育児休業後の職場への復帰の実際の時期と希望する時期
	問 30-4	職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる理由(希望より「早く」復帰した理由、希望より「遅く」復帰した理由)
	問 30-5	子どもを必ず預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得希望について
11 妊娠中・産後の状況	問 31	妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人
	問 32	産後の母親の身体面、精神面の体調
	問 33	産後の育児に関して困ったことやつらかったこと
	問 34	産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人

第1章 調査概要

項目	問番号	設問
12 地域における 子育て	問 35	近所づきあいの程度
	問 36	地域の行事や組織への参加状況・参加意向
	問 37	期待する地域住民による子ども・子育て支援活動
	問 38	地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか
13 子育てに関する 意識	問 39	子育ての感想
	問 40	子育てに関する情報の入手先
	問 41	子育てに関してほしい情報
	問 42	子育てをする上で足りていないと感じること
	問 43	中央区は子育てしやすいまちか
	問 44	以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか
	問 45	居留意向
	問 46	子どもの多様な経験の状況
	問 47	経済的な理由による困窮経験
	問 48	経済的な困り感
	問 49	区の子育て支援施策に関する意見(自由記述)

II 小学生児童保護者調査

項目	問番号	設問
1 お子さんとご 家族の状況	問1	回答者
	問2	居住地域・居住地区
	問3	居住歴・居住年数
	問4	居住形態
	問5	あて名の子どもの学年
	問6	同居している人
	問6-1	あて名の子どもの兄弟・姉妹の人数
2 子どもの育ち をめぐる環境	問7	子育てを主に行っている人
	問8	子育てに関する悩みや気になること
	問9	子育てに関して気軽に相談できる人や場所
3 お仕事に関する こと	問10	子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無
	問11(1)	母親の現在の就労状況と1年後の就労予定
	問11(1)-1	母親の1週間当たりの在宅勤務日数
	問11(2)	父親の現在の就労状況と1年後の就労予定
	問11(2)-2	父親の1週間当たりの在宅勤務日数
4 地域の子育て 支援事業の利 用状況	問12	世帯の年間収入(税込)
	問13	地域子育て支援事業の認知度・利用状況、今後必要などきの利用意向
5 病気やケガの 際の対応	問14	この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無
	問14-1	この1年間の病気やケガの場合の対処方法と日数
	問14-2	区の病児・病後児保育の利用希望
	問14-3	区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由
	問14-4	区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった理由
	問14-5	区の病児・病後児保育が高学年まで利用できるなら、何年生まで利用したいか
6 不定期の子育 て支援事業の 利用	問15	この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業(利用日数)
	問15-1	この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない理由
	問16	家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業の利用希望(①一時的な預かり事業の利用希望、②利用したい一時的な預かり事業、③一時的な預かり事業の利用目的、利用目的別日数)
	問17	宿泊を伴う一時預かりの状況(①宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無、②宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法(対処方法別日数))
7 放課後の過ご し方	問18	小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方の現状と希望、利用希望日数
	問19	小学校高学年時の平日の放課後の過ごし方の現状と希望、利用希望日数
	問20	学童クラブや子どもの居場所「ブレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用希望時間帯

第1章 調査概要

項目	問番号	設問
7 放課後の過ごし方(つづき)	問 21(1)	土曜日の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向、利用希望時間帯
	問 21(2)	長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向、利用希望時間帯
	問 22	学童クラブを利用したい理由
	問 23	区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由
	問 24	子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由
	問 25	子どもが放課後過ごす場所として重視していること
8 地域における子育て	問 26	近所づきあいの程度
	問 27	地域の行事や組織への参加状況・参加意向
	問 28	期待する地域住民による子ども・子育て支援活動
	問 29	地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか
9 子育てに関する意識	問 30	子育ての感想
	問 31	子育てに関する情報の入手先
	問 32	子育てに関してほしい情報
	問 33	子育てをする上で足りていないと感じること
	問 34	普段のお子さんの関わりについて
	問 35	中央区は子育てしやすいまちか
	問 36	以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか
	問 37	居留意向
	問 38	子どもの多様な経験の状況
	問 39	経済的な理由による困窮経験
	問 40	経済的な困り感
	問 41	区の子育て支援に関する意見(自由記述)

※平成 30 年調査の調査概要

調査名	中央区子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童保護者調査、小学校児童保護者調査)		
調査目的	本調査は、「第二期中央区子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり区民の子育てニーズや確保を図るべき教育・保育施設や子育て支援サービスの量の見込みなどを算定する基礎資料とするため実施する。		
調査対象	就学前児童保護者調査	区内の就学前児童(0～5歳)の保護者 5,500 人(無作為抽出)	
	小学校児童保護者調査	区内の就学児童(小学1～6年生)の保護者 3,500 人(無作為抽出)	
調査方法	郵送配布－郵送回収(督促礼状1回送付)		
調査時期	平成 30(2018)年 10 月 25 日(木)～11 月 15 日(木)		
配布数・有効回収数(有効回収率)		配布数	有効回収数(有効回収率)
	就学前児童保護者調査	5,460 票	2,970 票(54.4%)
	小学校児童保護者調査	3,490 票	1,905 票(54.6%)

第2章 調査結果

<調査結果の見方>

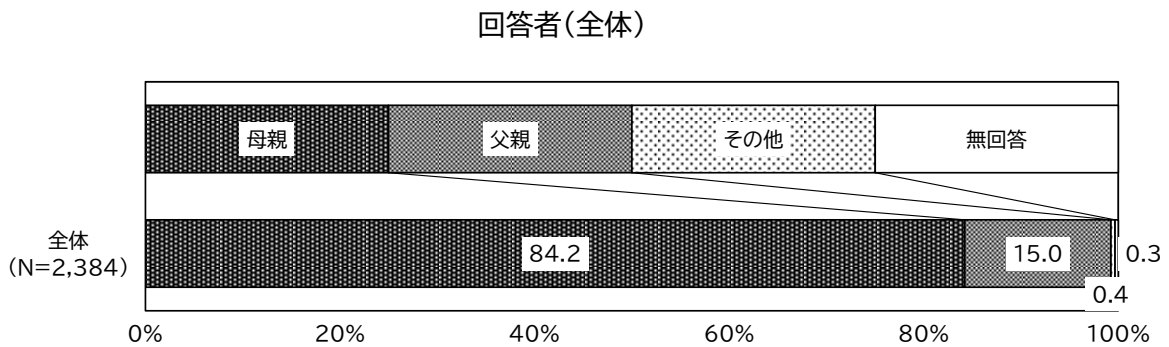
- 1 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN(Number of case)、それ以外の場合にはnと表記している。
- 2 %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合(例えば99.9%、100.1%)がある。
- 3 回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は100%にならないことがある。
- 4 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されている。
- 5 クロス集計表は、横に見て第1位の項目を濃い灰色着色・白抜き文字、第2位の項目を濃い灰色で着色、第3位の項目を薄い灰色で着色している(無回答は除く)。

I 就学前児童保護者調査

1 お子さんご家族の状況

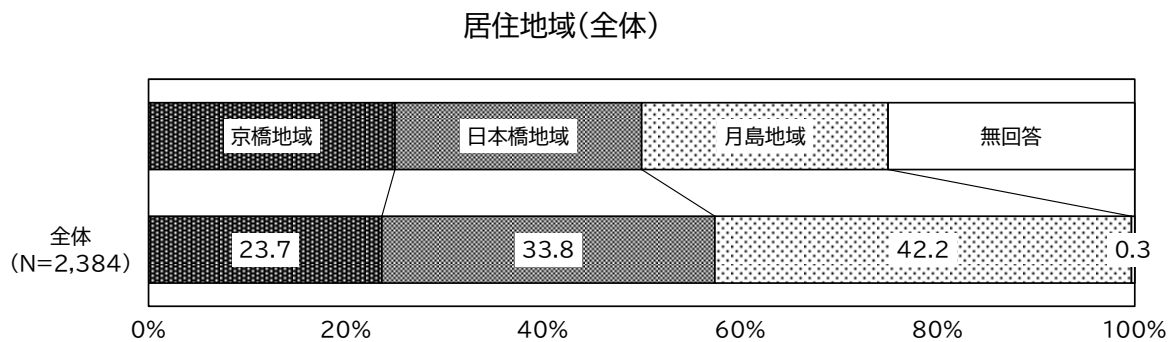
(1)回答者(問1)

回答者は、「母親」が84.2%、「父親」が15.0%となっている。



(2)居住地域(問2)

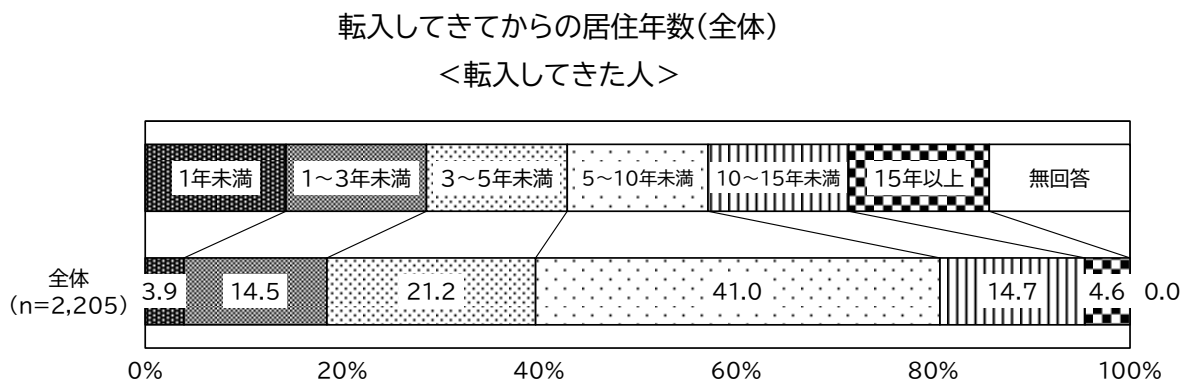
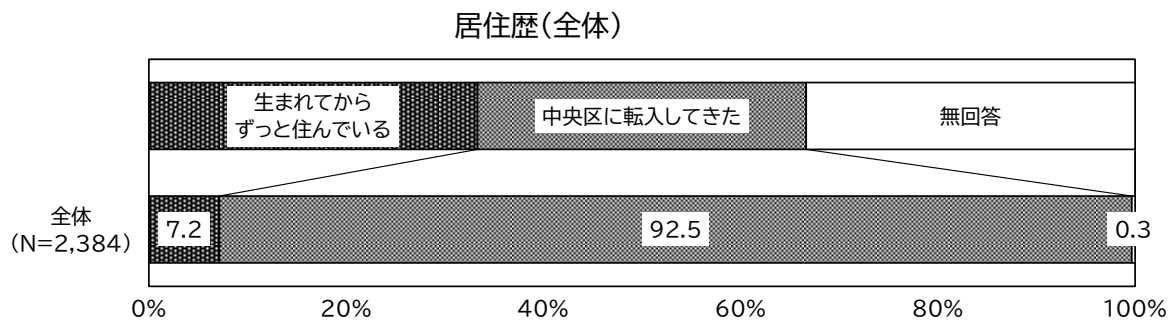
居住地域は、「月島地域(42.2%)」が最も高く、「日本橋地域(33.8%)」、「京橋地域(23.7%)」が続いている。



(3) 居住歴・居住年数(問3)

居住歴は、「中央区に転入してきた」が92.5%となっている。

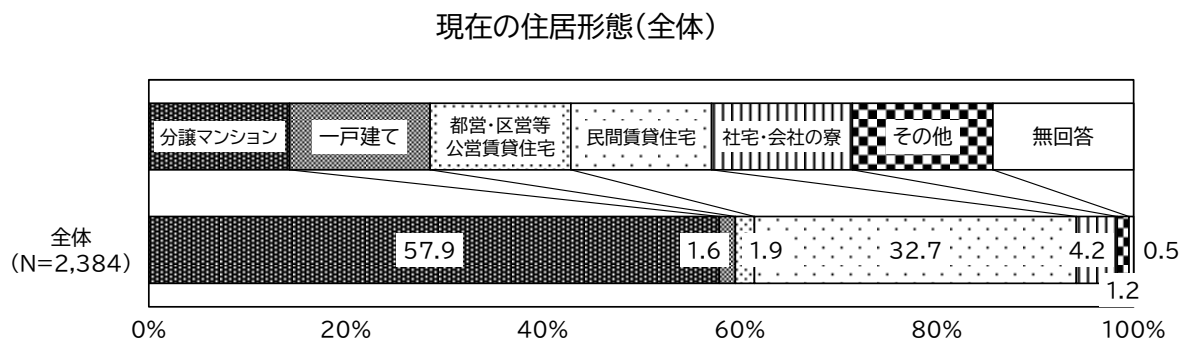
中央区に転入してきたと回答した人に、転入してからの居住年数をたずねたところ、「5～10年未満(41.0%)」が最も高く、「3～5年未満(21.2%)」が続いている。



※「2. 中央区に転入してきた」には、生まれ育ちは中央区で、転出したがその後中央区へ転入してきて再び住むようになった場合も含む。

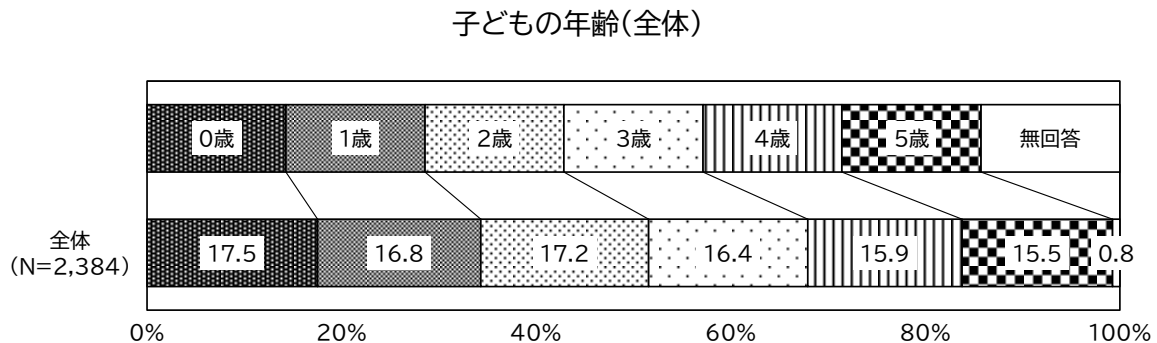
(4) 現在の住居形態(問4)

現在の住居形態は、「分譲マンション(57.9%)」が過半数であり、「民間賃貸住宅(32.7%)」が続いている。



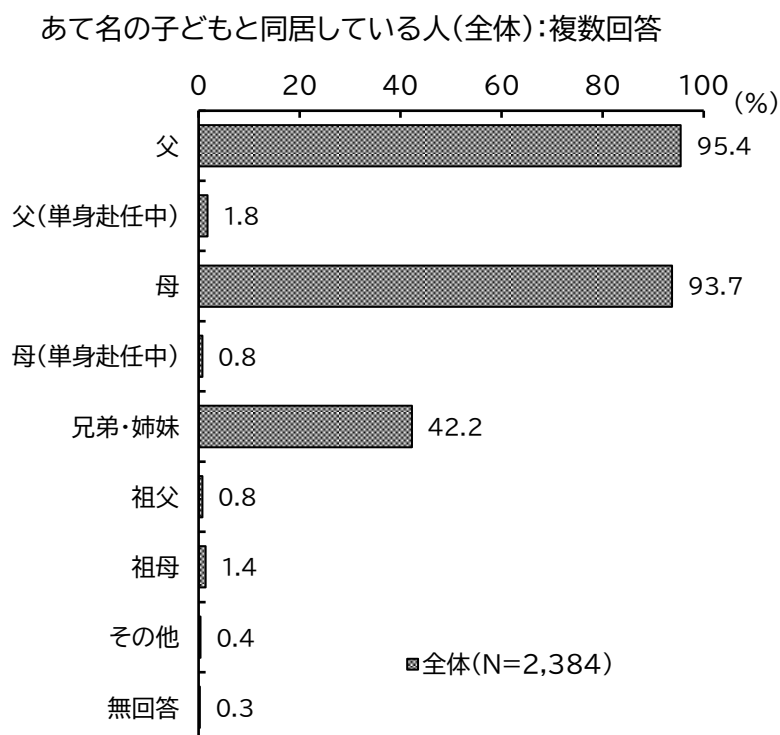
(5)あて名の子どもの年齢(問5)

あて名の子どもの年齢は、「0歳(17.5%)」が最も高く、「2歳(17.2%)」、「1歳(16.8%)」が続いている。平均は2.4歳となっている。



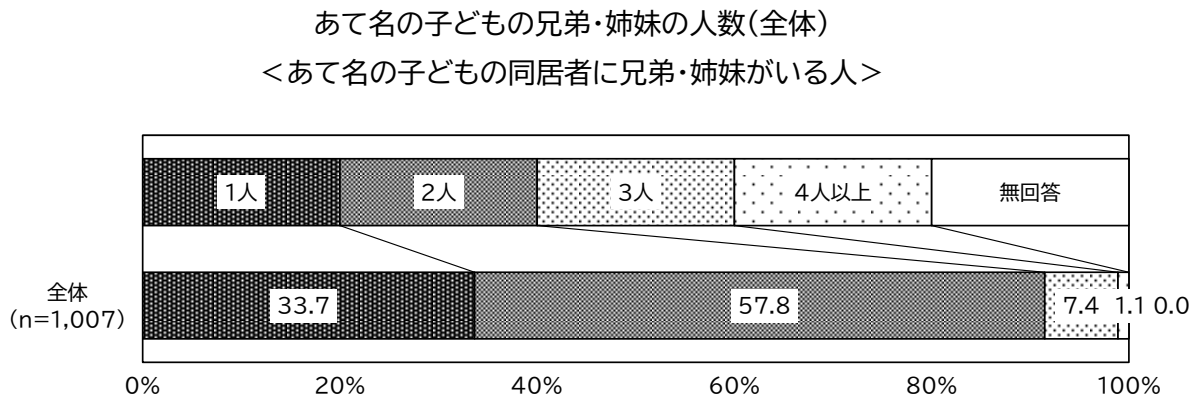
(6)あて名の子どもと同居している人(問6)

あて名の子どもと同居している人は、「父(95.4%)」と「母(93.7%)」が9割台であり、「兄弟・姉妹(42.2%)」が4割台で続いている。



(7)あて名の子どもの兄弟・姉妹の人数(問6-1)

あて名の子どもの同居者に兄弟・姉妹がいる人に、兄弟・姉妹の人数をたずねたところ、「2人(57.8%)」が最も高く、「1人(33.7%)」が続いている。平均1.8人となっている。

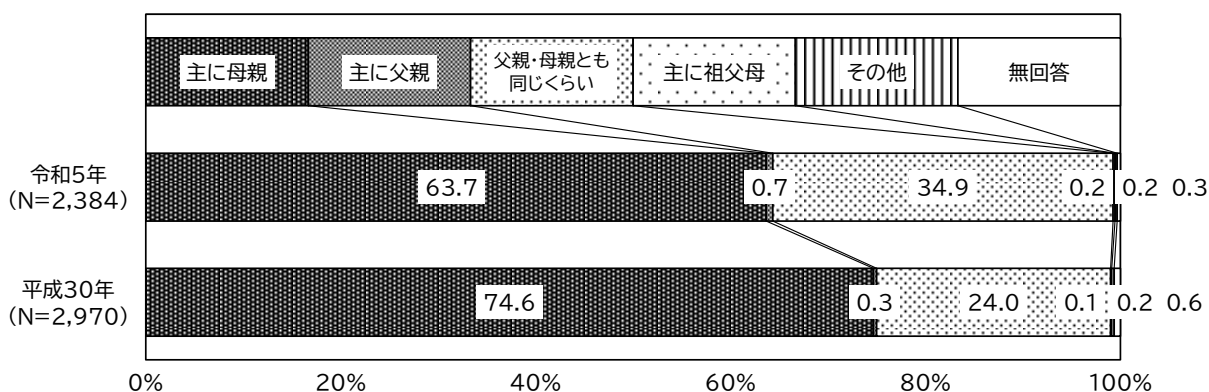


(8)子育てを主に行っている人(問7)

子育てを主に行っている人は、「主に母親(63.7%)」が最も高く、「父親・母親とも同じくらい(34.9%)」が続いている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では、「主に母親(74.6%→63.7%)」の割合が低くなり、「父親・母親とも同じくらい(24.0%→34.9%)」の割合が高くなっている。

子育てを主に行っている人(全体)【経年比較】



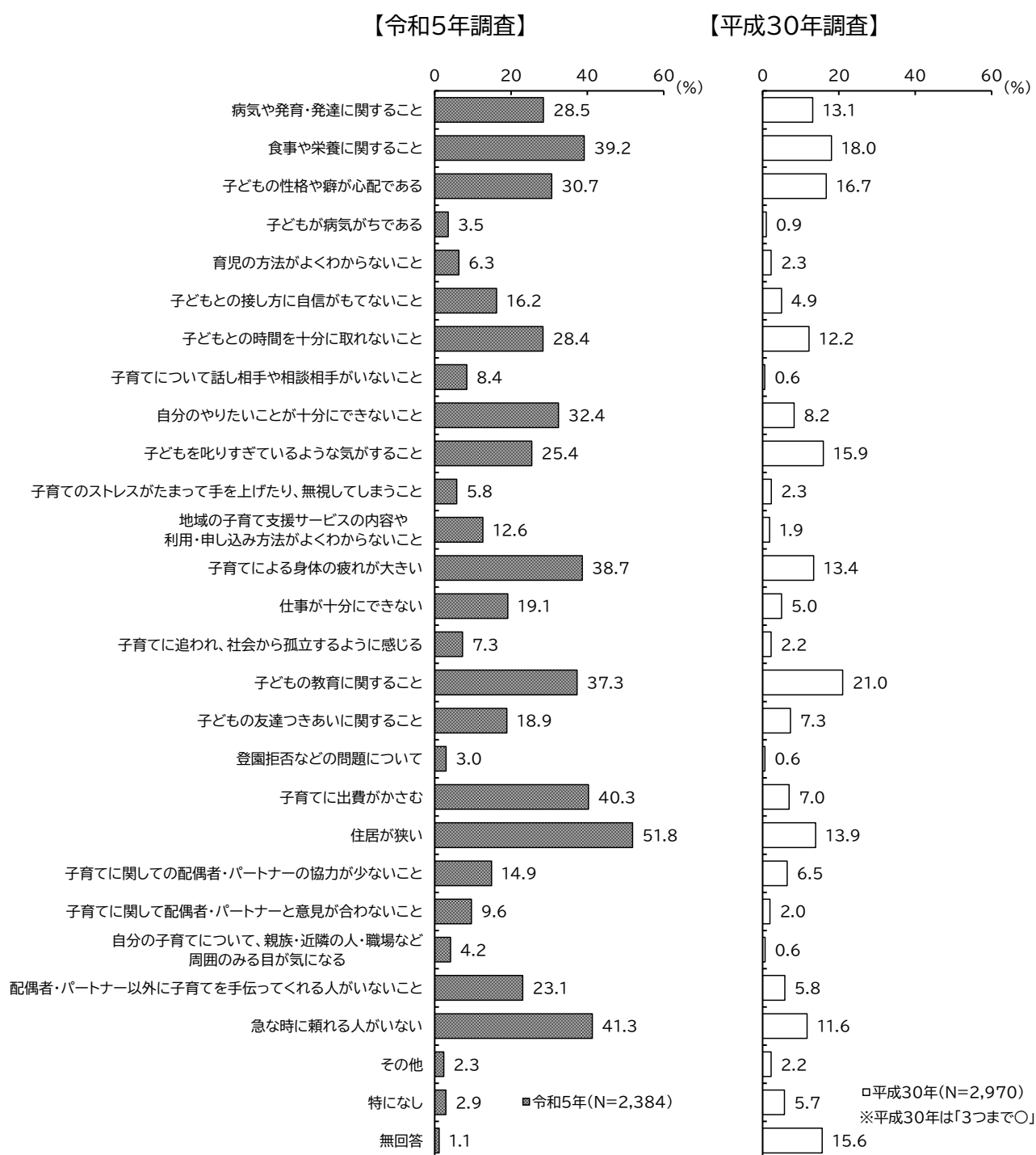
2 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに関する悩みや気になること(問8)

子育てに関する悩みや気になることは、「住居が狭い(51.8%)」が最も高く、「急な時に頼れる人がいない(41.3%)」、「子育てに出費がかさむ(40.3%)」が続いている。

平成30年調査は回答が3つまでという制限を設けているが、「子どもの教育に関すること」が最も高く、令和5年調査で最も高かった「住居が狭い」は5位となっている。

子育てに関する悩みや気になること(全体):複数回答【経年比較(平成30年は3つまで○)】



第2章 調査結果

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「住居が狭い」が最も高くなっている。また、0歳では「食事や栄養に関すること(51.4%)」、「病気や発育・発達に関すること(40.0%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

家庭類型別(類型分けの詳細は、P22 に記載)にみると、タイプAでは「子育てに出費がかさむ(55.2%)」、タイプC'では「子育てに出費がかさむ(50.6%)」と「住居が狭い(50.6%)」が同率、それ以外のタイプでは「住居が狭い」が最も高くなっている。また、タイプC'では「仕事が十分にできない(31.8%)」が全体より10ポイント以上高くなっている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、子どもの年齢別、家庭類型別):複数回答

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいらないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまって手を上げたり、無視してしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が十分にできない	(%)
全	体 (N=2,384)	28.5	39.2	30.7	3.5	6.3	16.2	28.4	8.4	32.4	25.4	5.8	12.6	38.7	19.1	
子どもの年齢別	0 歳 (n= 418)	40.0	51.4	19.6	3.8	10.5	14.1	19.1	9.3	36.1	9.3	4.1	18.2	45.5	15.8	
	1 歳 (n= 400)	30.3	41.8	23.5	4.5	7.0	14.3	27.3	8.8	34.5	18.3	5.3	12.5	44.3	21.3	
	2 歳 (n= 411)	25.5	41.4	32.1	1.5	8.8	20.7	29.4	8.0	34.1	32.6	6.6	11.4	40.9	20.2	
	3 歳 (n= 390)	25.6	42.1	40.3	4.9	3.6	16.9	34.9	9.2	29.7	30.8	6.9	10.8	36.9	22.3	
	4 歳 (n= 378)	26.7	30.7	37.6	3.2	3.7	17.5	30.7	7.9	29.9	33.1	7.7	12.4	33.9	17.5	
	5 歳 (n= 369)	22.2	27.1	32.8	3.5	4.1	14.4	30.9	7.3	30.4	30.6	4.6	10.3	30.1	18.4	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	23.9	28.4	34.3	6.0	4.5	17.9	31.3	11.9	26.9	34.3	6.0	13.4	29.9	22.4	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	27.7	37.8	29.7	3.8	5.7	14.7	34.1	8.0	32.9	23.8	5.5	11.9	38.8	20.2	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	31.2	38.0	33.9	3.6	6.3	18.1	28.5	8.1	37.6	30.3	5.9	15.4	40.7	25.8	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	21.2	45.9	25.9	3.5	7.1	17.6	20.0	9.4	32.9	30.6	7.1	12.9	31.8	31.8	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	32.1	44.4	32.6	2.3	8.6	20.2	9.1	7.9	27.9	25.8	5.8	12.8	38.6	7.4	
		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに関すること	登園拒否などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに協力する配偶者・パートナーが少ないこと	子育てに協力する配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の人・職場など周囲の目が気になる	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲の目が気になる	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	急な時に頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全	体 (N=2,384)	7.3	37.3	18.9	3.0	40.3	51.8	14.9	9.6	4.2	23.1	41.3	2.3	2.9	1.1	
子どもの年齢別	0 歳 (n= 418)	15.6	41.1	14.4	2.9	39.7	53.1	15.1	8.4	2.9	23.7	41.4	1.4	2.2	0.7	
	1 歳 (n= 400)	9.3	41.0	12.0	2.3	43.5	55.5	13.5	10.0	3.8	23.3	45.3	2.3	3.8	0.5	
	2 歳 (n= 411)	5.4	38.2	14.8	2.7	41.1	50.6	14.8	7.3	4.6	23.1	41.6	2.9	2.7	1.2	
	3 歳 (n= 390)	4.6	33.6	25.9	4.1	41.5	55.4	12.8	7.9	5.9	26.7	41.8	3.6	2.6	1.5	
	4 歳 (n= 378)	4.0	40.2	27.0	4.0	38.1	49.5	18.3	13.2	5.3	19.3	42.3	2.9	1.6	0.3	
	5 歳 (n= 369)	4.6	29.8	21.1	2.2	37.1	47.4	15.7	11.7	2.7	23.0	36.9	1.1	4.6	1.1	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	10.4	41.8	17.9	6.0	55.2	49.3	26.9	7.5	4.5	19.4	34.3	3.0	4.5	1.5	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	5.5	38.0	18.2	3.0	39.8	54.5	14.7	10.0	3.8	23.2	41.4	2.4	2.9	0.8	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	5.4	34.8	21.7	1.4	42.5	52.5	18.1	10.4	5.0	24.0	50.7	3.2	0.9	0.0	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	10.6	37.6	17.6	1.2	50.6	50.6	16.5	10.6	3.5	20.0	47.1	1.2	1.2	0.0	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	13.3	35.1	20.9	3.5	36.0	45.8	12.1	8.1	4.9	24.2	36.3	1.4	4.2	1.6	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

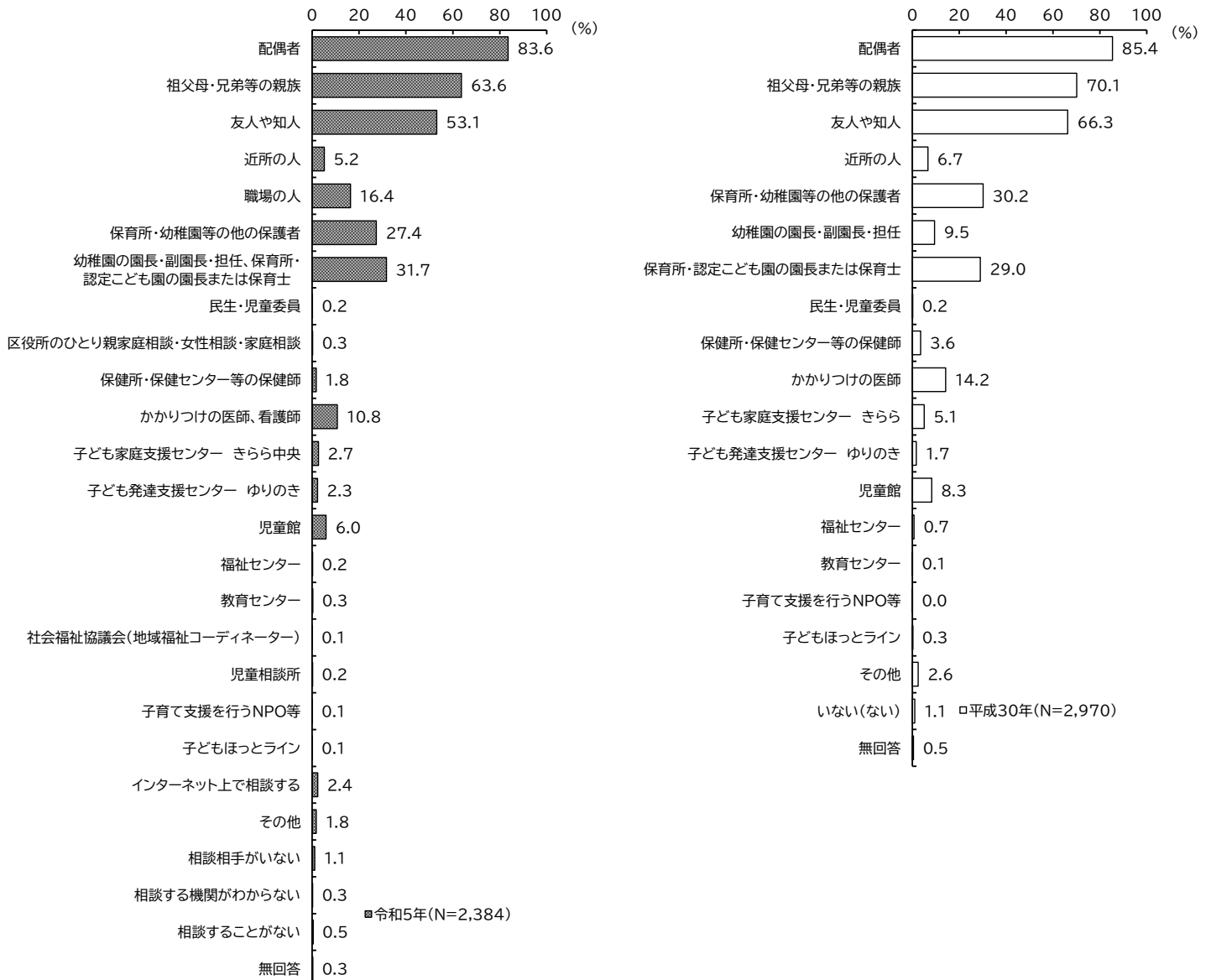
(2)子育てに関して気軽に相談できる人や場所(問9)

子育てに関して気軽に相談できる人や場所は、「配偶者(83.6%)」が最も高く、「祖父母・兄弟等の親族(63.6%)」、「友人や知人(53.1%)」が続いている。「相談相手がいない」は1.1%となっている。平成30年調査においても、上位の項目は同様となっている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体):複数回答【経年比較】

【令和5年調査】

【平成30年調査】

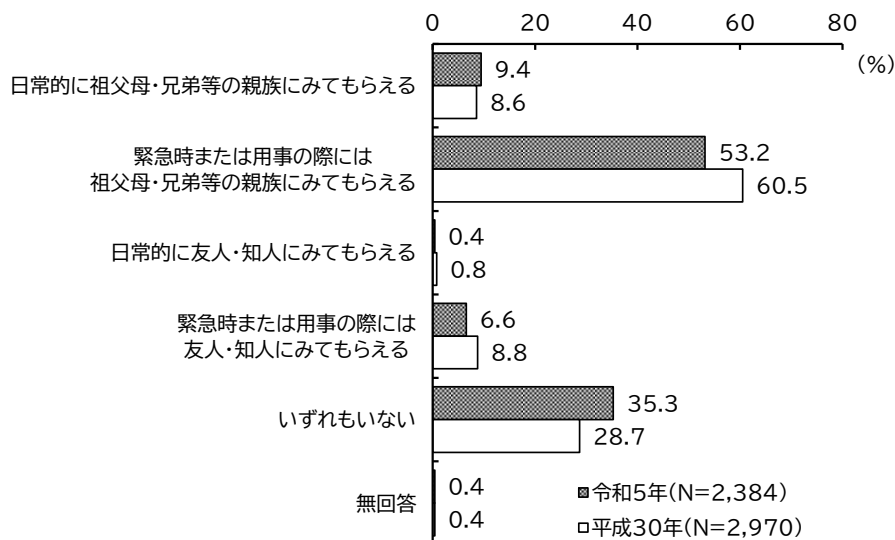


(3)子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(問10)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無は、「緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(53.2%)」が5割台であり、「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(9.4%)」、「緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる(6.6%)」は1割以下となっている。また、「いずれもない」は35.3%となっている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「いずれもない(28.7%→35.3%)」の割合が高くなっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体):複数回答【経年比較】



子どもの年齢別にみると、1歳で「いずれもない(39.5%)」が4割弱で高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(28.4%)」が2割台後半で高くなっている。また、タイプC、タイプC'で「いずれもない」が4割台で高くなっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体、子どもの年齢別、家庭類型別):複数回答

		親族日常的にみてもらえる	緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる	日常的に友人・知人にみてもらえる	緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる	いずれもない	無回答
全 体 (N=2,384)		9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4
子どもの年齢別	0 歳 (n= 418)	9.1	51.4	0.7	4.3	37.8	0.2
	1 歳 (n= 400)	8.8	51.0	0.0	3.5	39.5	0.3
	2 歳 (n= 411)	10.7	55.2	0.2	5.8	32.8	0.0
	3 歳 (n= 390)	8.7	51.8	0.8	6.9	36.9	0.8
	4 歳 (n= 378)	9.8	53.2	0.0	7.9	34.9	0.3
	5 歳 (n= 369)	9.5	57.5	0.5	11.7	29.5	0.3
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	28.4	46.3	1.5	9.0	23.9	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	8.8	55.4	0.4	5.0	34.7	0.3
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	7.7	48.4	0.5	7.7	40.3	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	7.1	44.7	0.0	15.3	43.5	0.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	10.7	51.9	0.2	9.1	34.9	0.2

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

3 保護者の就労状況

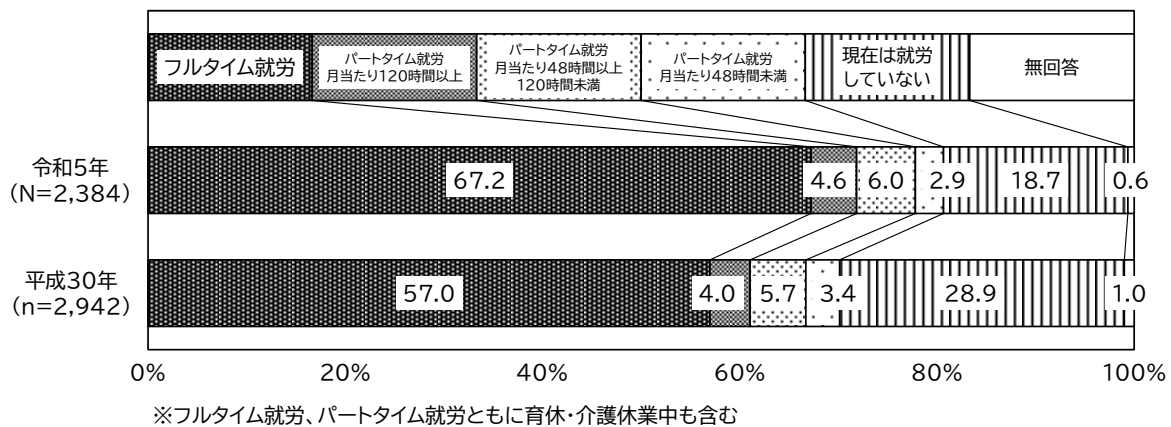
(1) 母親の現在の就労状況と1年後の就労予定(問11-(1))

母親の現在の就労状況は、「フルタイム就労(67.2%)」が6割台で最も高く、「現在は就労していない(18.7%)」が続いている。

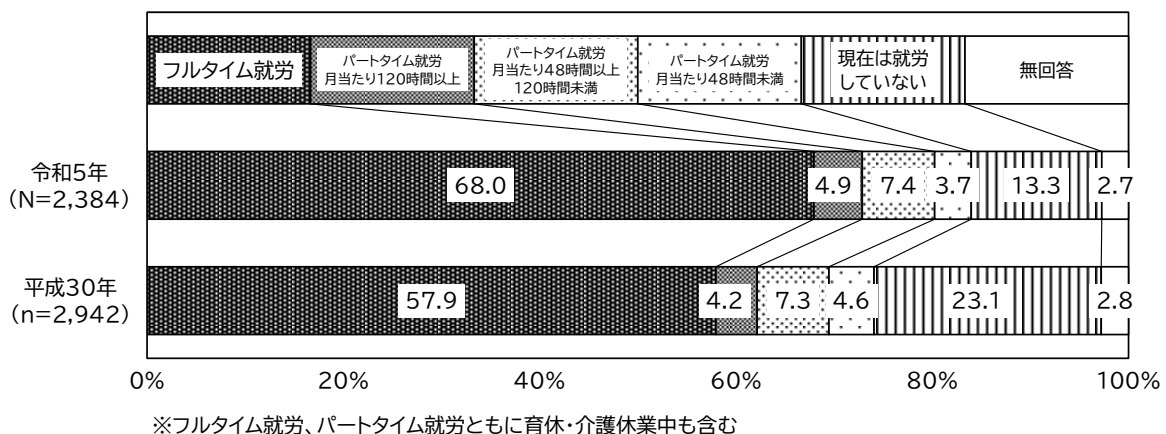
平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「フルタイム就労(57.0%→67.2%)」の割合が高くなり、「現在は就労していない(28.9%→18.7%)」の割合が低くなっている。

母親の1年後の就労予定では、平成30年調査と比較すると、令和5年調査では、「フルタイム就労(57.9%→68.0%)」の割合が高くなっている。

母親の現在の就労状況(全体)【経年比較】



母親の1年後の就労予定(全体)【経年比較】



第2章 調査結果

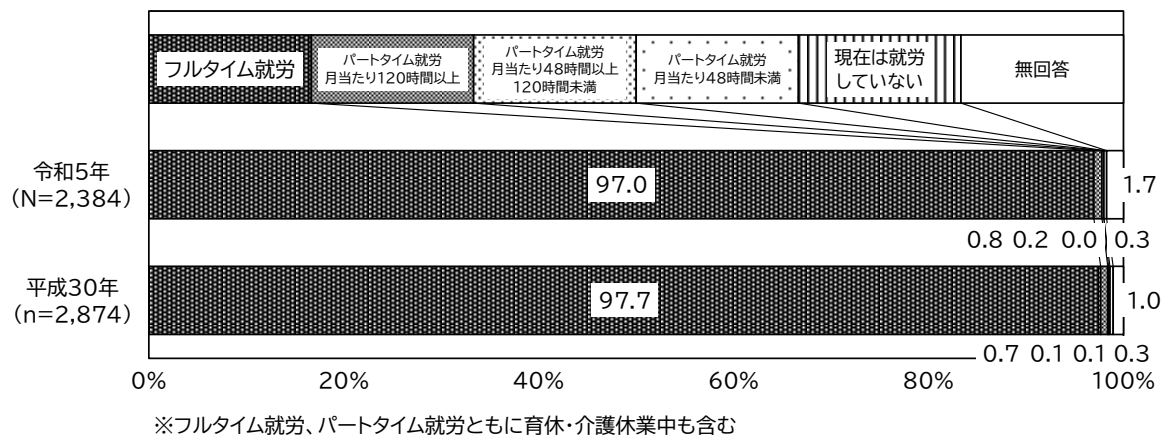
(2)父親の現在の就労状況と1年後の就労予定(問11-(2))

父親の現在の就労状況は、「フルタイム就労(97.0%)」で最も高くなっている。

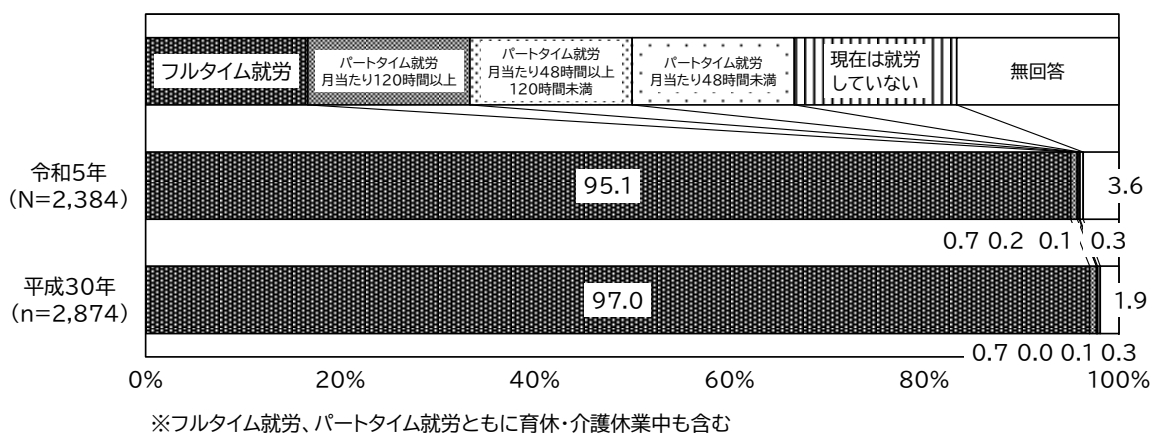
平成30年調査と同様の傾向である。

父親の1年後の就労予定は、「フルタイム就労(95.1%)」で最も高くなっている。

父親の現在の就労状況(全体)【経年比較】



父親の1年後の就労予定(全体)【経年比較】



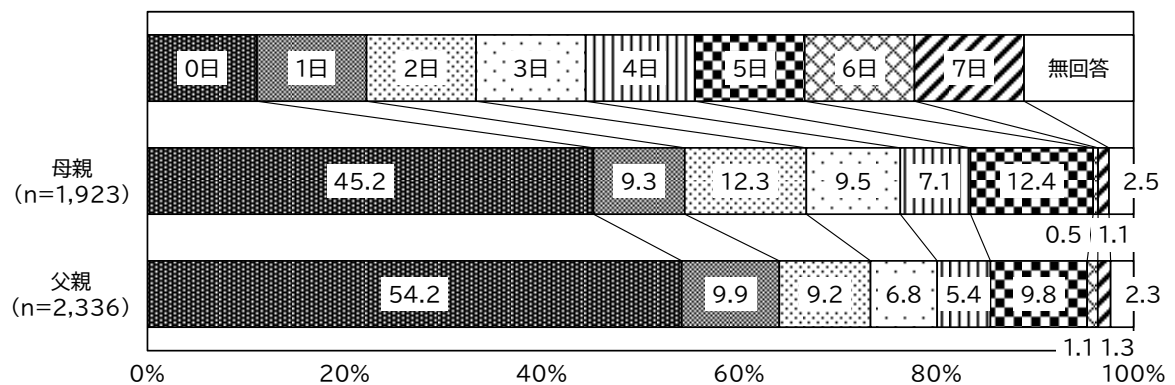
(3)母親・父親の1週間当たりの在宅勤務日数(問11-(1)-1)

就労している母親の1週間当たりの在宅勤務日数は、「0日(45.2%)」が4割台であり、「7日(12.4%)」と「2日(12.3%)」が1割を超えている。平均は1.7日である。

就労している父親の1週間当たりの在宅勤務日数は、「0日(54.2%)」が過半数であり、「1日(9.9%)」、「7日(9.8%)」の順となっている。平均は1.4日である。

母親・父親の1週間当たりの在宅勤務日数(全体)

<就労している人>



(4)家庭類型

保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、8タイプに分類している。

タイプ A	ひとり親家庭
タイプ B	フルタイム×フルタイム
タイプ C	フルタイム×パートタイム(就労時間:月 120 時間以上+48~120 時間の一部)
タイプ C'	フルタイム×パートタイム(就労時間:48 時間未満+48~120 時間の一部)
タイプ D	専業主婦(夫)
タイプ E	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月 120 時間以上+48~120 時間の一部)
タイプ E'	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが月 48 時間未満+48~120 時間の一部)
タイプ F	無業×無業

※就労月 48 時間以上 120 時間未満の扱い

3~5歳:現在幼稚園を利用して保育事業希望がない者を「'」とする。

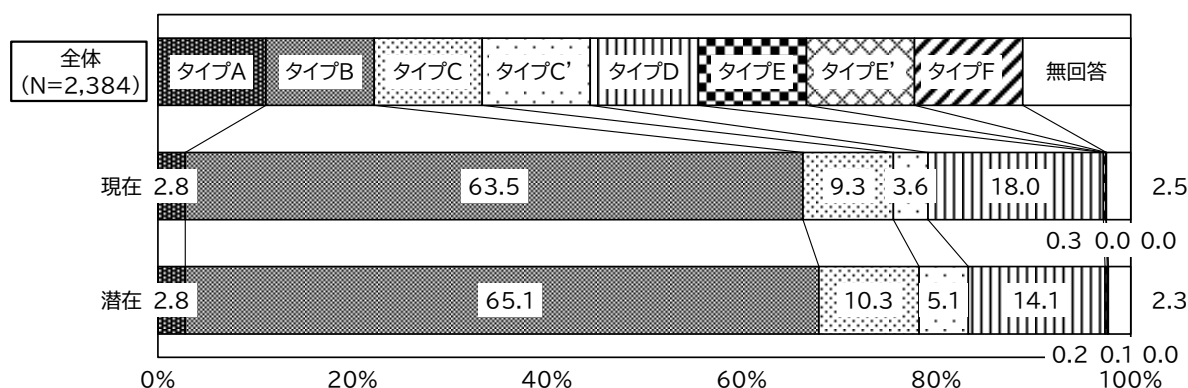
0~2歳:現在保育事業利用及び利用していないが保育事業を希望する者をタイプCやタイプEとし、それ以外の者を「'」とする。

親の就労状況等から分類分けした現在の家庭類型は、「タイプ B:フルタイム×フルタイム(63.5%)」が6割台で最も高く、「タイプ D:専業主婦(夫)(18.0%)」が続いている。

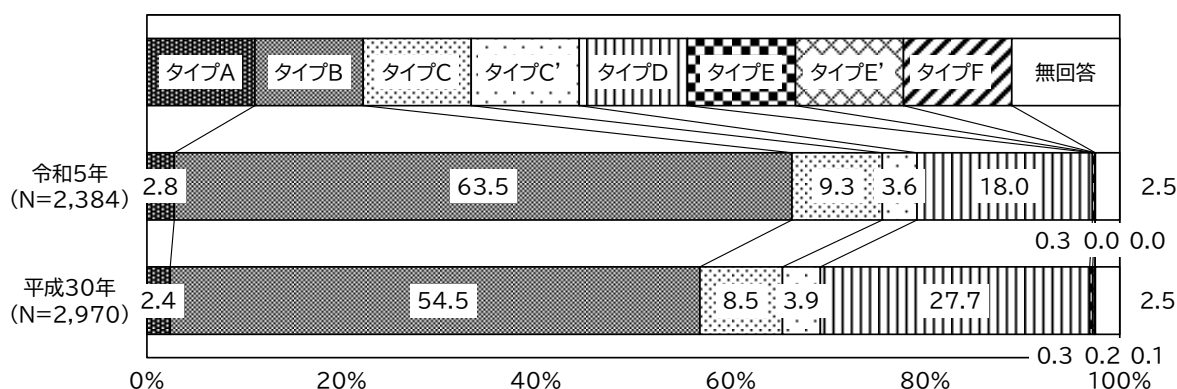
1年後の就労予定から出した潜在の家庭類型は、現在から「タイプ D:専業主婦(夫)(14.1%)」の割合が低くなっている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では、「タイプ B:フルタイム×フルタイム(54.5%→63.5%)」の割合が高くなり、「タイプ D:専業主婦(夫)(27.7%→18.0%)」の割合が低くなっている。

家庭類型(現在・潜在)(全体)



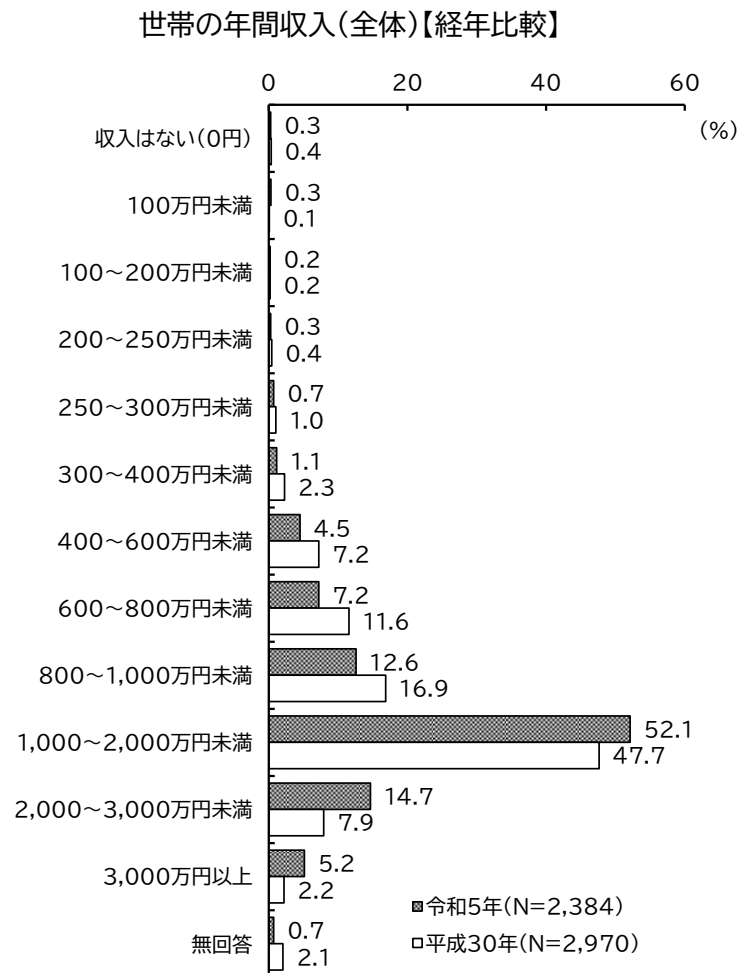
家庭類型(現在)(全体)【経年比較】



(5)世帯の年間収入(問12)

世帯の年間収入は、「1,000～2,000万円未満(52.1%)」が5割台で最も高く、「2,000～3,000万円未満(14.7%)」、「800～1,000万円未満(12.6%)」が続いている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では1,000万円以上の割合が57.8%から72.0%に、2,000万円以上は10.1%から19.9%に増えている。



※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含む。

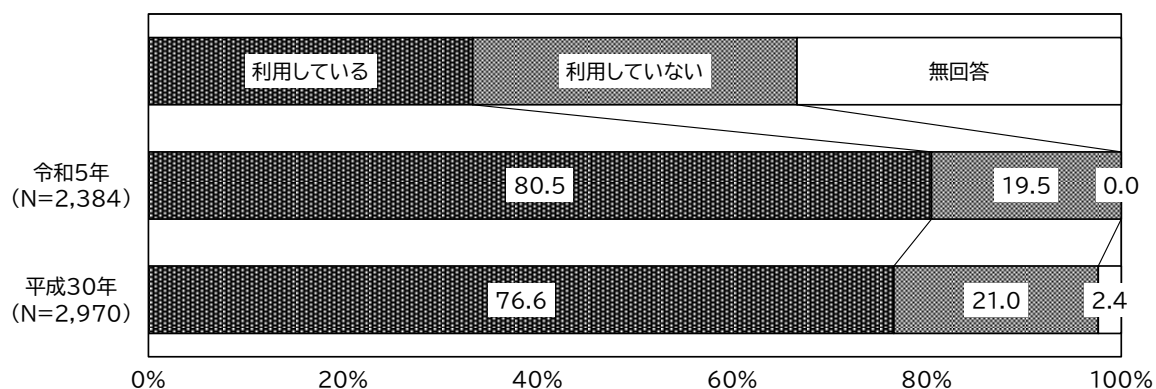
4 平日の定期的な施設・事業の利用状況

(1) 幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無(問 13)

幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無は、「利用している」が 80.5%となっている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「利用している(76.6%→80.5%)」の割合が高くなっている。

幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無(全体)【経年比較】



子どもの年齢別にみると、「利用している」の割合は、0歳で 33.0%、1歳で 73.0%、2歳で 83.9%、3歳以上で 99.0%以上となっている。

幼稚園や保育所などの施設・事業の定期的利用の有無(全体、子どもの年齢別)

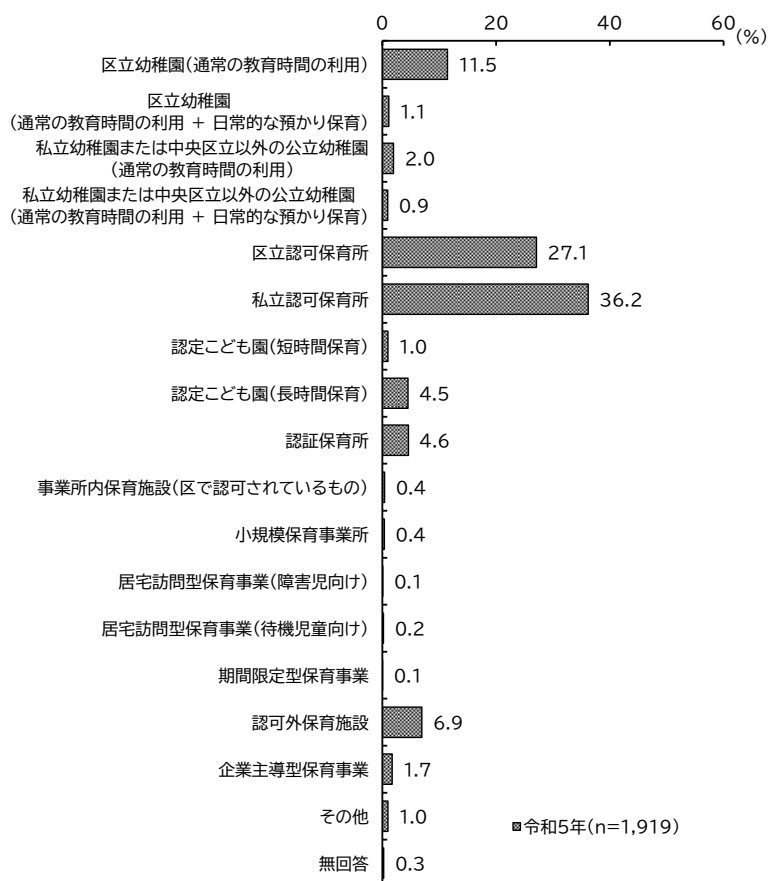
		(%)		
		利用している	利用していない	無回答
全	体 (N=2,384)	80.5	19.5	0.0
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	33.0	67.0	0.0
	1 歳 (n= 400)	73.0	27.0	0.0
	2 歳 (n= 411)	83.9	16.1	0.0
	3 歳 (n= 390)	99.0	1.0	0.0
	4 歳 (n= 378)	99.7	0.3	0.0
	5 歳 (n= 369)	99.2	0.8	0.0

(2) 定期的に利用している施設・事業(問 13-1)

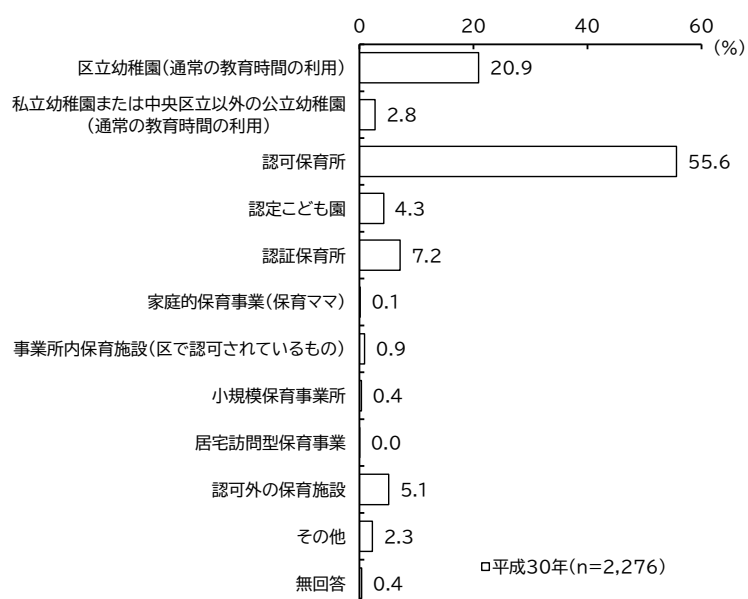
定期的にご利用している施設・事業は、「私立認可保育所(36.2%)」が最も高く、「区立認可保育所(27.1%)」、「区立幼稚園(通常の教育時間の利用)(11.5%)」が続いている。

平成 30 年調査においても、「認可保育所(55.6%)」が最も高くなっている。

定期的にご利用している施設・事業(全体)【令和5年調査】



定期的にご利用している施設・事業(全体)【平成30年調査】



第2章 調査結果

子どもの年齢別にみると、1歳、2歳で、「私立認可保育所」が4割台で高くなっている。

定期的にご利用している施設・事業(全体、子どもの年齢別)

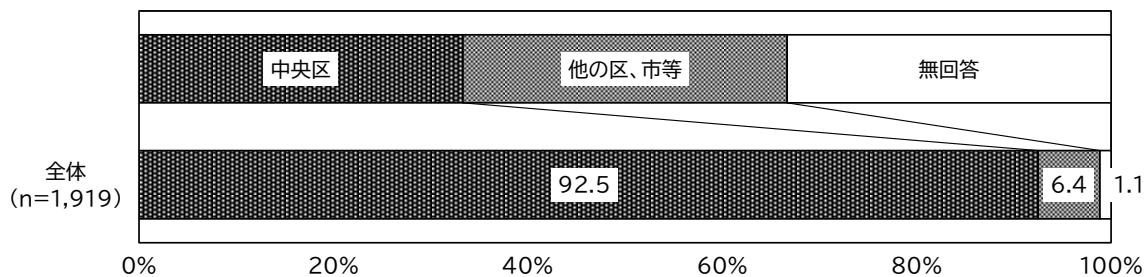
	区立幼稚園(通常の教育時間の利用)	区立幼稚園(通常の教育時間の利用+日常的な預かり保育)	私立幼稚園(通常の教育時間の利用)	私立幼稚園または中央区立以外の公立幼稚園(通常の教育時間の利用+日常的な預かり保育)	私立認可保育所	私立認可保育所	認定こども園(短時間保育)	認定こども園(長時間保育)	認定保育所	事業所内保育施設(区で認可されているもの)	小規模保育事業所	居宅訪問型保育事業(障害児向け)	居宅訪問型保育事業(待機児童向け)	期間限定型保育事業	認可外保育施設	企業主導型保育事業	その他	無回答	
全体 (n=1,919)	11.5	1.1	2.0	0.9	27.1	36.2	1.0	4.5	4.6	0.4	0.4	0.1	0.2	0.1	6.9	1.7	1.0	0.3	
子どもの年齢別																			
0歳 (n=138)	2.2	0.0	0.7	0.0	31.2	36.2	0.7	5.1	8.0	0.7	0.0	0.0	2.2	0.0	5.8	4.3	2.2	0.7	
1歳 (n=292)	0.7	0.0	1.0	0.3	29.5	45.9	0.0	3.8	6.8	1.0	1.0	0.0	0.3	0.3	6.5	2.7	0.0	0.0	
2歳 (n=345)	1.7	0.0	0.6	0.6	26.7	42.3	0.3	5.5	6.4	0.6	0.9	0.3	0.0	0.0	9.0	2.9	2.0	0.3	
3歳 (n=386)	17.6	1.6	1.8	1.3	24.9	34.2	1.3	5.7	3.1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	6.0	0.5	1.0	0.5	
4歳 (n=377)	19.1	2.4	2.9	1.1	25.5	31.3	1.9	3.7	2.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	7.4	0.8	0.8	0.0	
5歳 (n=366)	18.3	1.9	3.8	1.6	27.9	30.3	1.4	3.8	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	1.1	0.5	0.0	

(3)定期的にご利用している施設・事業の実施場所(問 13-2)

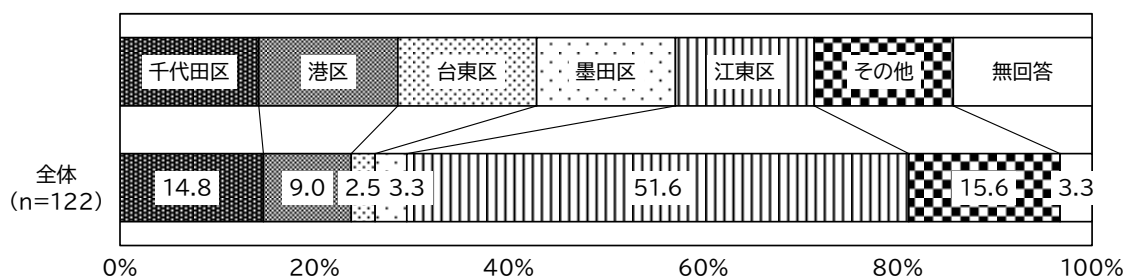
定期的にご利用している施設・事業の実施場所は、「中央区」が92.5%、「他の区、市等」が6.4%となっている。

他の区、市等で定期的にご利用している人に、ご利用している場所をたずねたところ、「江東区(51.6%)」が最も高く、「千代田区(14.8%)」、「港区(9.0%)」が続いている。

定期的にご利用している施設・事業の実施場所(全体)



定期的にご利用している施設・事業の実施場所(全体)
 <他の区、市等で定期的にご利用している人>



(4) 定期的に利用している施設・事業の利用状況と希望(問 13-3)

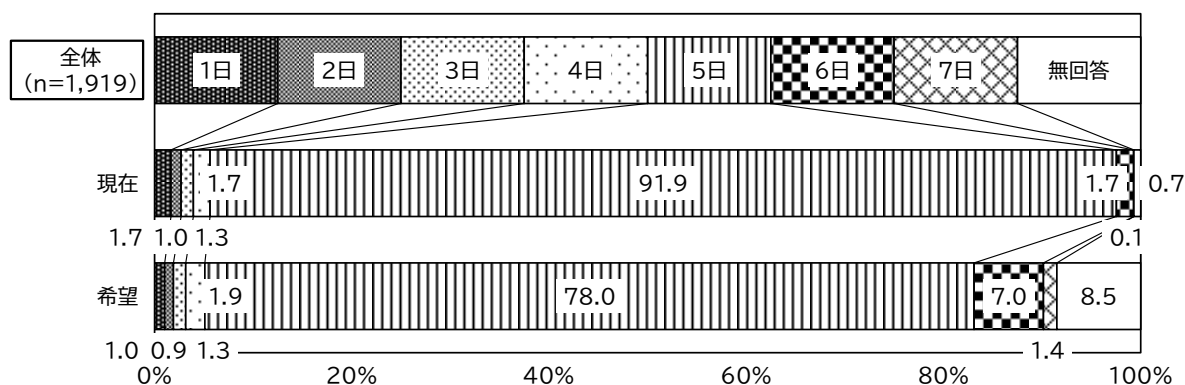
定期的な施設・事業を利用している人に、現在の1週当たりの利用日数をたずねたところ、「5日(91.9%)」が9割を超えており、平均は4.9日となっている。希望の利用日数は、「5日(78.0%)」の7割台に続き、「6日(7.0%)」が高くなっており、平均は5.0日となっている。

現在の1日当たりの利用時間は、「12時間以上(58.4%)」が5割台で最も高く、「8～10時間未満(18.7%)」、「10～12時間未満(7.9%)」が続いており、平均は12.5時間となっている。希望の利用時間も「12時間以上(59.0%)」が5割台で最も高く、「8～10時間未満(14.9%)」、「10～12時間未満(8.4%)」が続いており、平均は13.1時間となっている。

現在の利用時間帯は、9時台から16時台までが、80.0%以上となっている。希望も同様の傾向となっている。

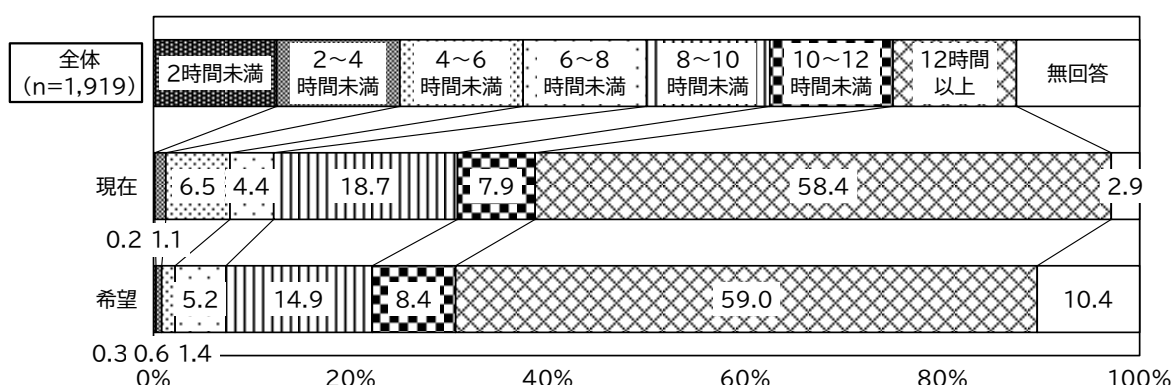
定期的にご利用している施設・事業の1週当たりの利用日数(全体)

<定期的にご利用している人>



定期的にご利用している施設・事業の1日当たりの利用時間(全体)

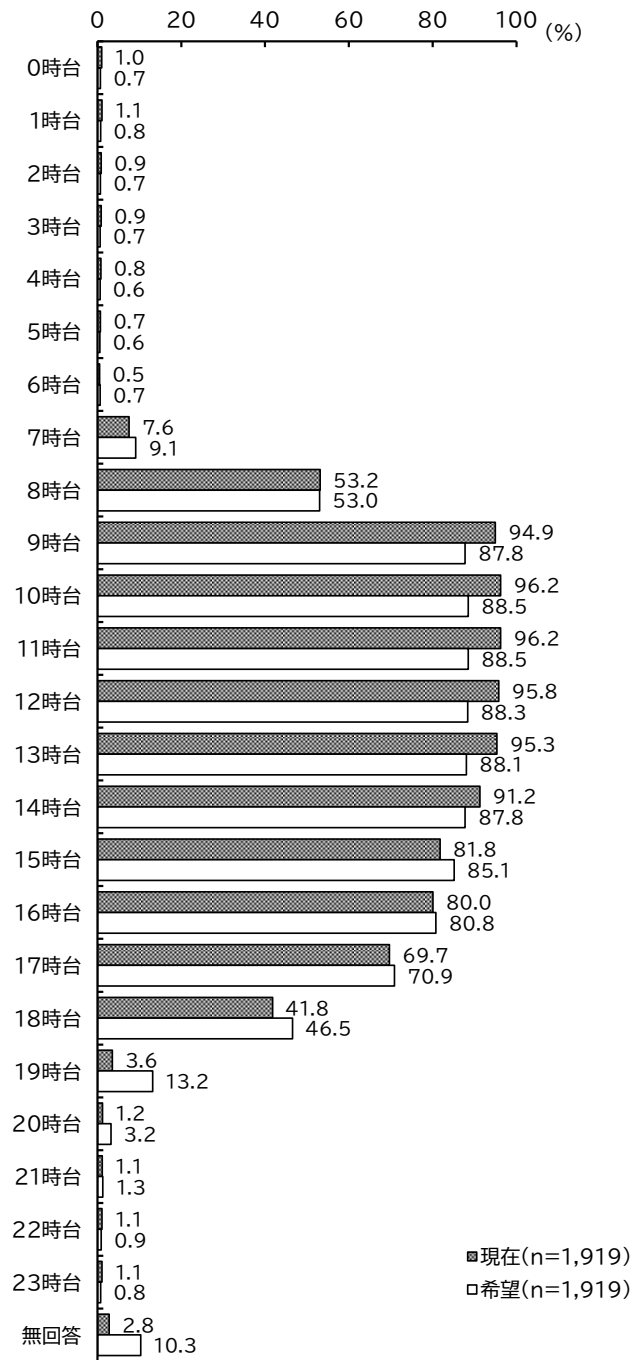
<定期的にご利用している人>



第2章 調査結果

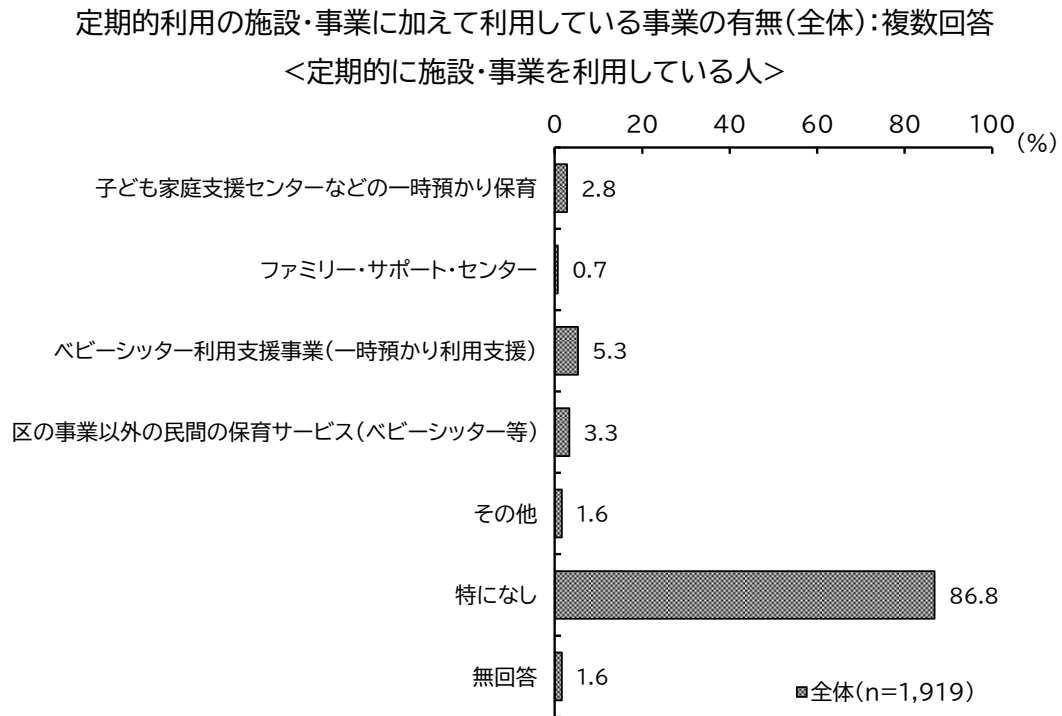
定期的に利用している施設・事業の1日当たりの利用時間帯(全体)

<定期的に施設・事業を利用している人>



(5) 定期的に利用している施設・事業に加えて利用している事業(問 13-4)

定期的な施設・事業を利用している人に、定期的利用の施設・事業に加えて利用している事業の有無をたずねたところ、「特になし(86.8%)」が8割台であり、利用している事業では「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)(5.3%)」が最も高く、「区の事業以外の民間の保育サービス(ベビーシッター等)(3.3%)」、「子ども家庭支援センターなどの一時預かり保育(2.8%)」が続いている。



(6) 定期的に利用している施設・事業に加えて利用している事業の利用状況と希望(問 13-5)

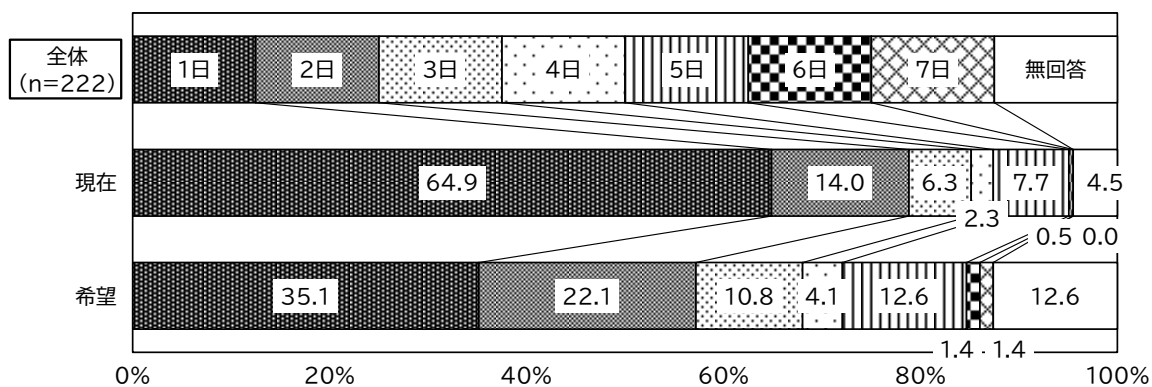
定期的な施設・事業を利用している人に、定期的利用の施設・事業に加えて利用している事業の現在の1週当たりの利用日数をたずねたところ、「1日(64.9%)」の6割台に続き、「2日(14.0%)」が1割台で続いており、平均は 1.6 日となっている。希望の利用日数は、「1日(35.1%)」が最も高く、「2日(22.1%)」、「5日(12.6%)」が続いており、平均は 2.4 日となっている。

現在の1日当たりの利用時間は、「12 時間以上(29.3%)」が最も高く、「2～4時間未満(14.4%)」、「6～8時間(13.1%)」が続いており、平均は 8.7 時間となっている。希望の利用時間は、「12 時間以上(30.6%)」が最も高く、「4～6時間未満(14.0%)」、「6～8時間未満(12.2%)」が続いており、平均は 9.2 時間となっている。

現在の利用時間帯は、11 時台から 16 時台までが、40.0%以上となっている。希望は、10 時台から 17 時台までが、40.0%以上となっている。

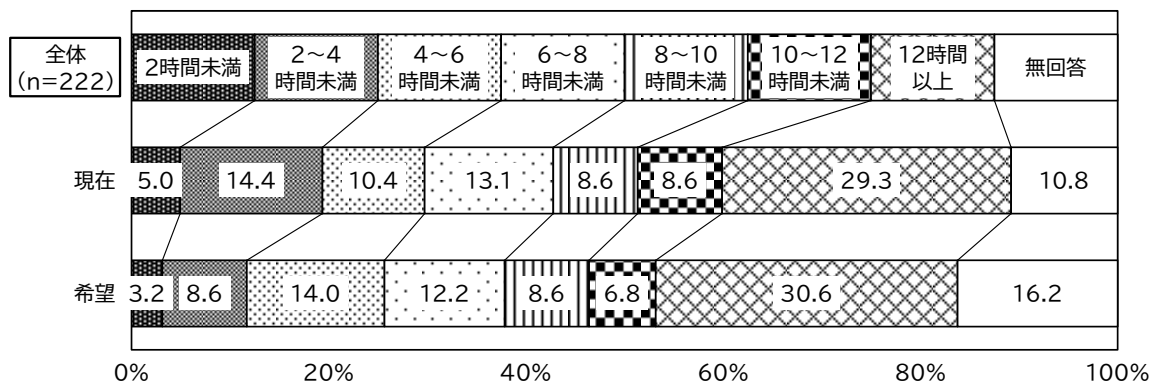
定期的利用の施設・事業に加えて利用している事業の1週当たりの利用日数(全体)

<定期的に施設・事業を利用している人>



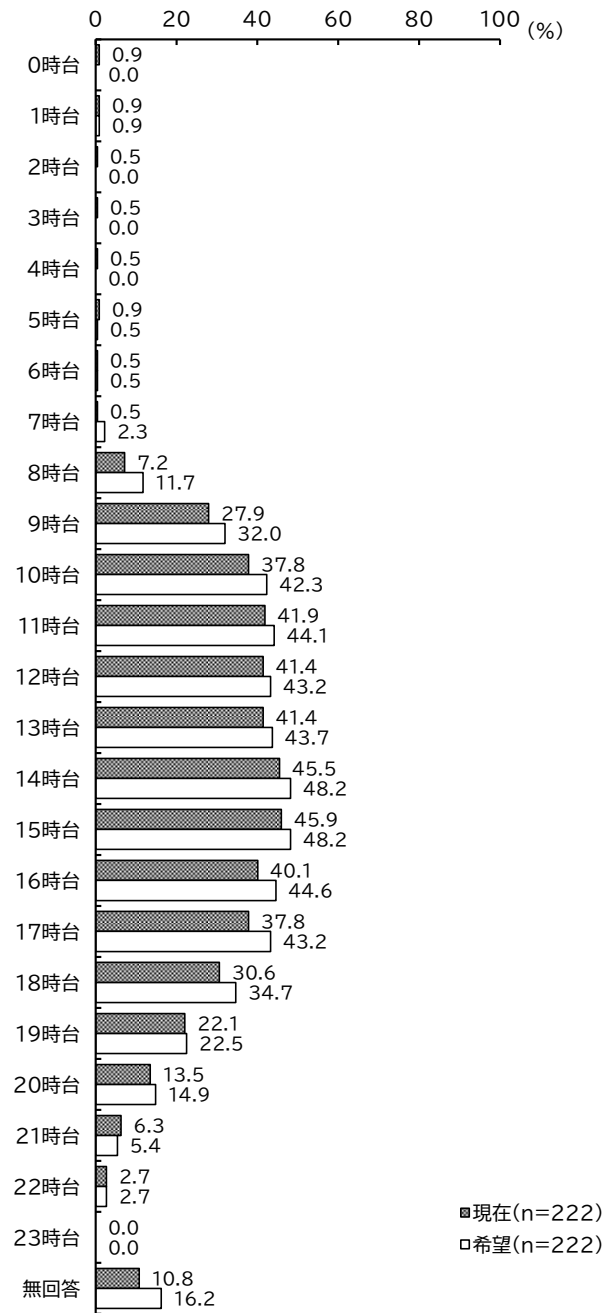
定期的利用の施設・事業に加えて利用している事業の1日当たりの利用時間(全体)

<定期的に施設・事業を利用している人>



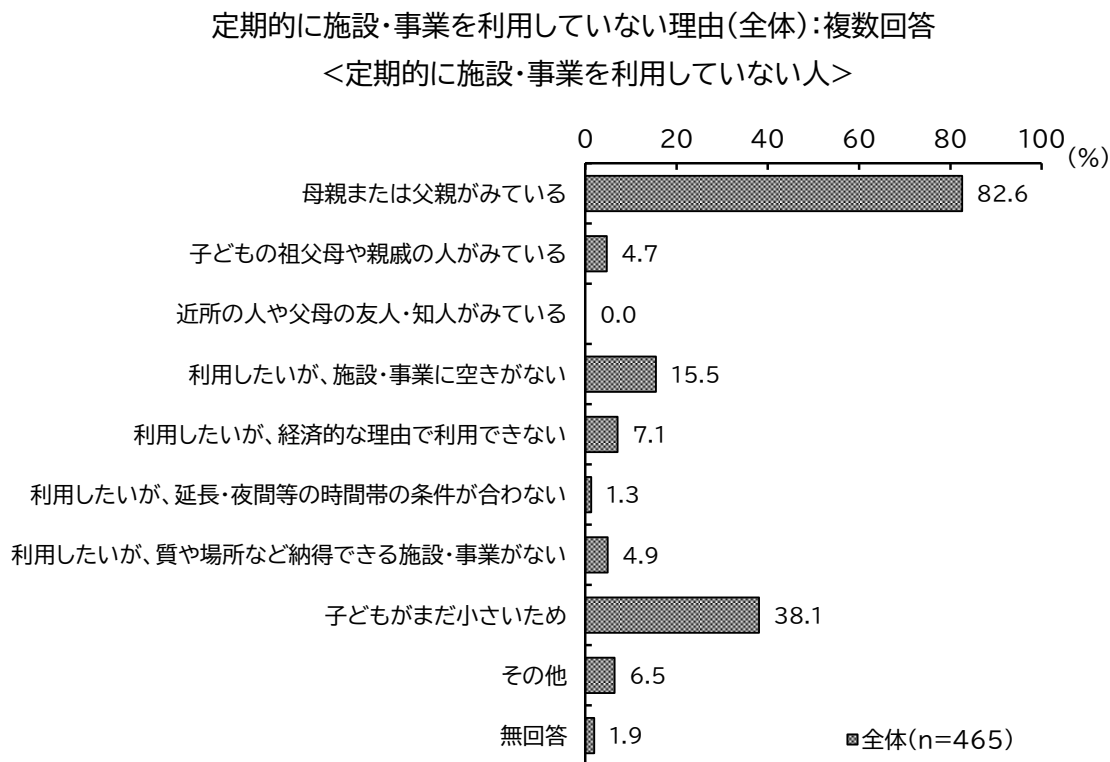
定期的利用の施設・事業に加えて利用している事業の現在の1日当たりの利用時間帯(全体)

<定期的に施設・事業を利用している人>



(7)定期的に施設・事業を利用していない理由(問 13-6)

定期的に施設・事業を利用していない人に、定期的に施設・事業を利用していない理由をたずねたところ、「母親または父親がみている(82.6%)」が最も高く、「子どもがまだ小さいため(38.1%)」、「利用したいが、施設・事業に空きがない(15.5%)」が続いている。



子どもの年齢別にみると、どの年齢でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、0歳では「子どもがまだ小さいため(43.6%)」、1歳では「利用したいが、経済的な理由で利用できない(14.8%)」が全体を5.0ポイント以上上回っている。

居住地域別にみると、どの地域でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、日本橋地域では「子どもがまだ小さいため(44.8%)」が全体を5.0ポイント以上上回っている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「母親または父親がみている」が最も高い。また、タイプBでは「子どもがまだ小さいため(44.5%)」、タイプCでは「利用したいが、施設・事業に空きがない(23.8%)」、「子どもの祖父母や親戚の人がみている(19.0%)」、「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない(9.5%)」、タイプC'では「子どもの祖父母や親戚の人がみている(11.1%)」、「利用したいが、質や場所など納得できる施設・事業がない(11.1%)」が全体を5.0ポイント以上上回っている。

※n=10以下についてはコメントしていない。

定期的な施設・事業を利用していない理由(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

<定期的に施設・事業を利用していない人>

		母親または父親がみている	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、施設・事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	納得できる施設・事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	(%) 無回答
全	体 (n= 465)	82.6	4.7	0.0	15.5	7.1	1.3	4.9	38.1	6.5	1.9
子どもの年齢別	0歳 (n= 280)	79.3	3.2	0.0	16.8	2.9	1.1	3.2	43.6	5.4	2.5
	1歳 (n= 108)	88.0	7.4	0.0	15.7	14.8	1.9	9.3	30.6	10.2	0.9
	2歳 (n= 66)	87.9	6.1	0.0	7.6	10.6	1.5	6.1	30.3	6.1	1.5
	3歳 (n= 4)	100.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4歳 (n= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5歳 (n= 3)	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
地域別 居住	京橋地域 (n= 111)	81.1	9.0	0.0	15.3	3.6	0.0	2.7	37.8	5.4	1.8
	日本橋地域 (n= 145)	82.8	6.2	0.0	17.9	10.3	3.4	6.9	44.8	7.6	1.4
	月島地域 (n= 208)	83.2	1.4	0.0	13.5	6.7	0.5	4.8	33.7	6.3	2.4
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 8)	87.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 218)	75.7	4.1	0.0	18.8	5.5	0.5	4.1	44.5	5.5	2.8
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 21)	85.7	19.0	0.0	23.8	9.5	9.5	9.5	23.8	0.0	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 18)	88.9	11.1	0.0	5.6	5.6	5.6	11.1	27.8	11.1	5.6
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 190)	89.5	3.2	0.0	11.6	8.4	1.1	4.2	34.2	7.4	0.5

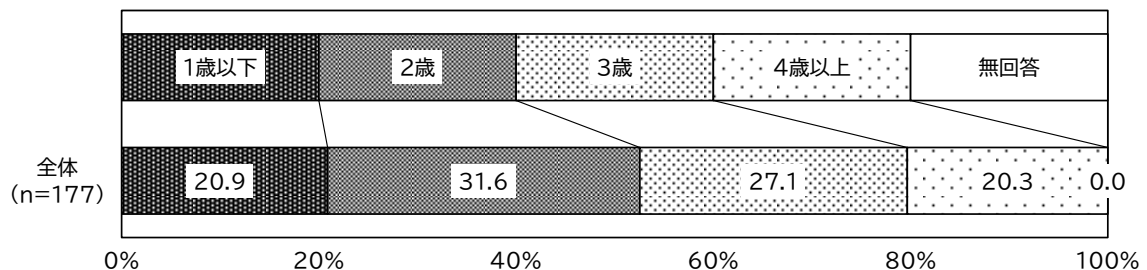
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

「子どもがまだ小さいため」と回答した人に、何歳くらいから利用を考えているかたずねたところ、「2歳(31.6%)」が最も高く、「3歳(27.1%)」が続いている。

利用年齢(全体)

<定期的に施設・事業を利用していない人で、

子どもがまだ小さいため(0歳くらいになったら利用しよう)と考えている人>



(8) 定期的に利用したい施設・事業(0～5歳の各歳別)(問 14)

定期的にご利用したい施設・事業は、0歳では、「保護者が子どもを見られるため、利用を希望しない(41.5%)」が最も高く、「区立認可保育所(27.7%)」、「ベビーシッター(12.3%)」が続いている。

1歳では、「区立認可保育所(33.4%)」が最も高く、「私立認可保育所(22.8%)」、「保護者が子どもを見られるため、利用を希望しない(14.0%)」が続いている。

2歳では、「区立認可保育所(35.2%)」が最も高く、「私立認可保育所(23.7%)」、「認定こども園(長時間保育)(11.0%)」が続いている。

3歳では、「区立認可保育所(25.9%)」が最も高く、「私立認可保育所(24.0%)」、「認定こども園(長時間保育)(11.5%)」が続いている。

4歳では、「区立認可保育所(24.6%)」が最も高く、「私立認可保育所(23.3%)」、「区立幼稚園(通常の教育時間の利用+日常的な預かり保育)(12.6%)」、「認定こども園(長時間保育)(12.6%)」が続いている。

5歳では、「区立認可保育所(24.5%)」が最も高く、「私立認可保育所(23.3%)」、「区立幼稚園(通常の教育時間の利用+日常的な預かり保育)(13.2%)」が続いている。

なお、保育所・事業・施設、認定こども園(長時間)、ベビーシッター等を希望する割合は、0歳で55.4%、1歳で80.6%、2歳で83.6%、3歳で68.9%、4歳で68.4%、5歳で67.8%となっている。一方、幼稚園、認定こども園(短時間)等を希望する割合は、3歳で28.3%、4歳で30.2%、5歳で30.6%となっている。

定期的にご利用したい施設・事業(0～5歳の各歳別)(全体)

<該当の年齢以下で回答があった人>

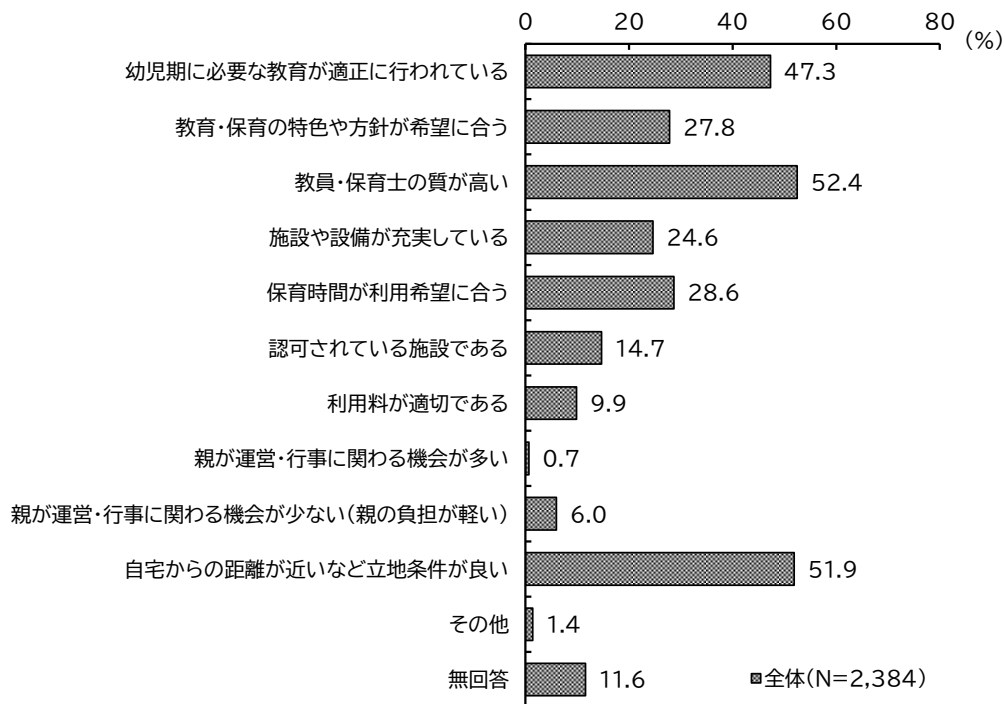
	区立幼稚園(通常の教育時間の利用)	区立幼稚園(通常の教育時間の利用)+日常的な預かり保育	私立幼稚園(通常の教育時間の利用)+中央区立以外の公立幼稚園(通常の教育時間の利用)	私立認可保育所	区立認可保育所	認定こども園(短時間保育)	認定こども園(長時間保育)	認証保育所	事業所内保育施設(区で認可されているもの)	小規模保育事業所	居宅訪問型保育事業(障害児向け)	居宅訪問型保育事業(待機児童向け)	認可外保育施設	企業主導型保育事業	ベビーシッター	保護者が子どもを見られるため、利用を希望しない	就労はしているが、在宅勤務や子連れ出勤をしていないため、教育・保育事業の利用を希望しない	その他	
0歳の4月1日 (n= 65)	0.0	0.0	0.0	0.0	27.7	9.2	1.5	1.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	12.3	41.5	1.5	0.0	
1歳の4月1日 (n= 413)	1.0	1.2	0.5	0.0	33.4	22.8	1.2	10.9	2.9	0.2	0.2	0.0	0.2	1.0	1.5	7.5	14.0	1.0	0.5
2歳の4月1日 (n= 776)	1.8	1.8	1.2	1.0	35.2	23.7	0.9	11.0	3.7	0.4	0.5	0.0	0.1	3.7	1.3	4.0	8.1	0.9	0.6
3歳の4月1日 (n=1,200)	8.9	11.3	2.8	3.9	25.9	24.0	1.4	11.5	1.9	0.3	0.2	0.1	0.0	3.7	0.3	1.2	1.3	0.3	1.3
4歳の4月1日 (n=1,531)	9.2	12.6	2.9	4.1	24.6	23.3	1.4	12.6	1.9	0.1	0.1	0.1	0.0	4.0	0.4	1.4	0.3	0.0	1.2
5歳の4月1日 (n=1,826)	9.4	13.2	2.9	3.6	24.5	23.3	1.5	11.7	1.9	0.2	0.1	0.1	0.1	4.2	0.4	1.4	0.2	0.2	1.3

※来年度小学校に就学予定(2017年4月2日～2018年4月1日生まれ)のお子さんを除く。

(9)施設・事業を選ぶうえで重視する条件(問 14-1)

施設・事業を選ぶうえで重視する条件は、「教員・保育士の質が高い(52.4%)」が最も高く、「自宅からの距離が近いなど立地条件が良い(51.9%)」、「幼児期に必要な教育が適正に行われている(47.3%)」が続いている。

施設・事業を選ぶうえで重視する条件(全体):複数回答(3つまで)



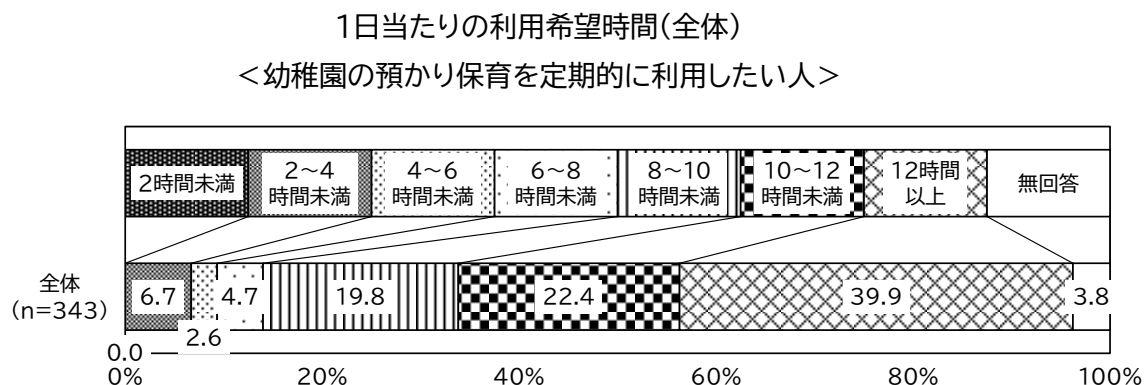
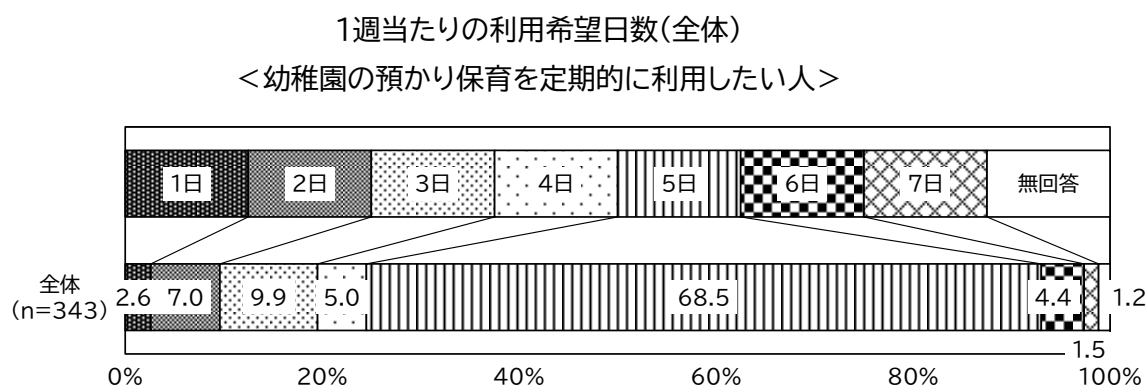
(10) 幼稚園の預かり保育を定期的に利用したい人の希望(問 14-2)

◆希望する利用日数・利用時間・利用時間帯

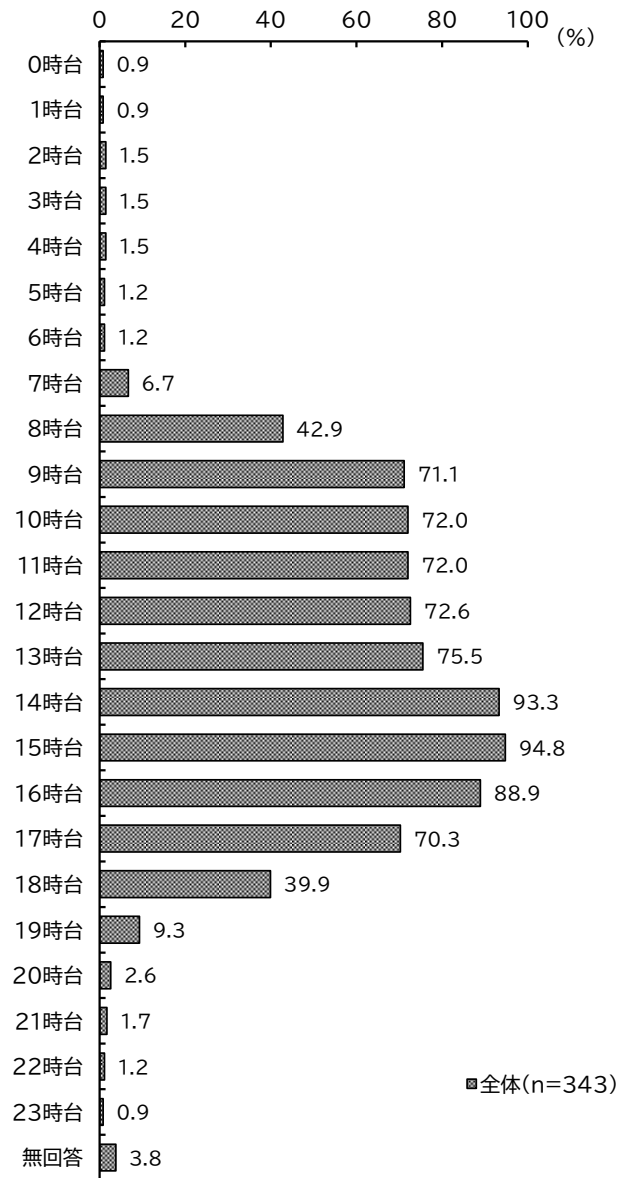
3～5歳の間で幼稚園の預かり保育を定期的に利用したい人に、1週当たりの利用希望日数をたずねたところ、「5日(68.5%)」が6割台で最も高く、「3日(9.9%)」、「2日(7.0%)」が続いており、平均は4.5日となっている。

1日当たりの利用希望時間をたずねたところ、「12時間以上(39.9%)」が最も高く、「10～12時間未満(22.4%)」、「8～10時間未満(19.8%)」が続いており、平均は11.2時間となっている。

利用希望時間帯は、9時台から17時台が70.0%以上となっている。



利用希望時間帯(全体)
<幼稚園の預かり保育を定期的に利用したい人>

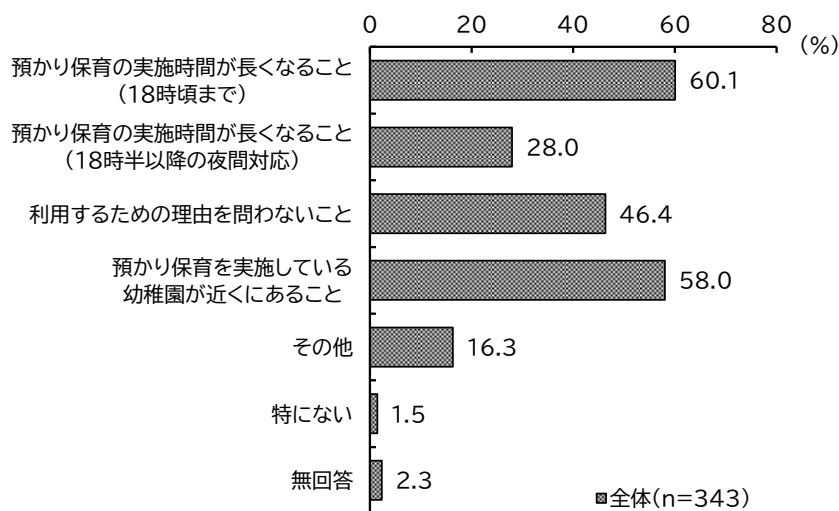


第2章 調査結果

◆どうすれば利用しやすくなると思うか

3～5歳の間で幼稚園の預かり保育を定期的にご利用したい人に、どうすれば利用しやすくなると思うかをたずねたところ、「預かり保育の実施時間が長くなること(18 時頃まで)(60.1%)」が最も高く、「預かり保育を実施している幼稚園が近くにあること(58.0%)」、「利用するための理由を問わないこと(46.4%)」が続いている。

どうすれば利用しやすくなると思うか(全体):複数回答
 <幼稚園の預かり保育を定期的にご利用したい人>

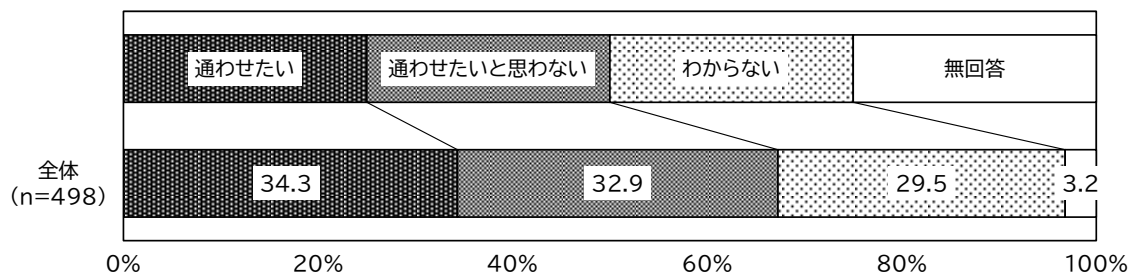


(11) 保育園利用希望者の幼稚園預かり保育への意向(問 14-3)

◆預かり保育を利用できる場合の幼稚園の利用意向

3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人に、預かり保育を利用できる場合の幼稚園の利用意向をたずねたところ、「通わせたい(34.3%)」、「通わせたいと思わない(32.9%)」、「わからない(29.5%)」がいずれも3割前後となっている。

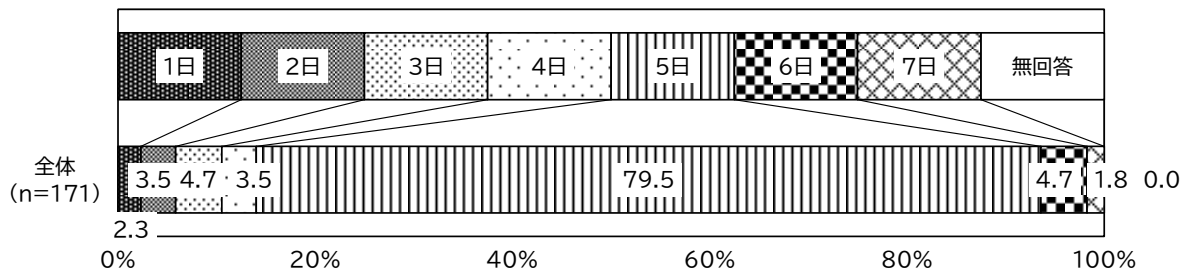
預かり保育を利用できる場合の幼稚園の利用意向(全体)
 <3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人>



◆1週当たりの預かり保育の利用希望日数

3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人で預かり保育を利用できるとしたら幼稚園に通わせたい人に、1週当たりの預かり保育の利用希望日数をたずねたところ、「5日(79.5%)」が8割弱を占めており、平均 4.8 日となっている。

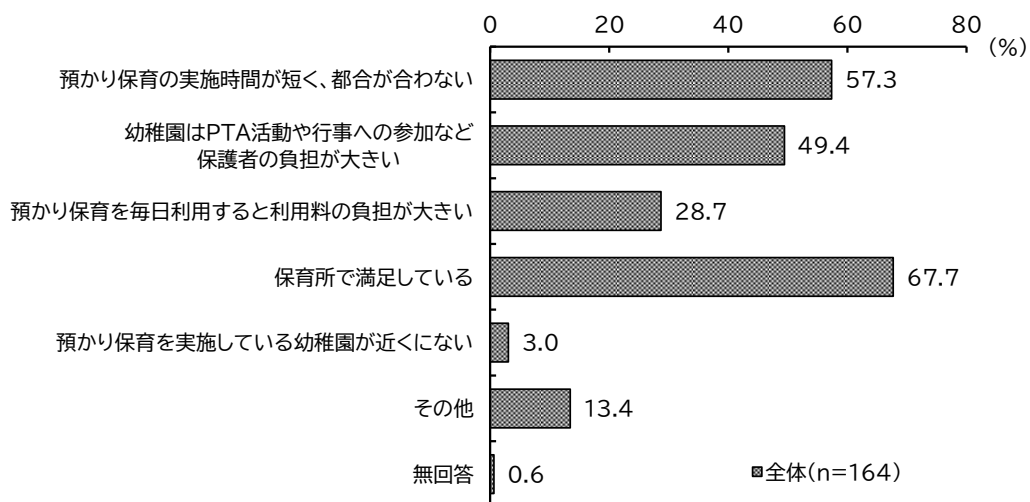
1週当たりの預かり保育の利用希望日数(全体)
 <3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人で、
 預かり保育を利用できるとしたら幼稚園に通わせたい人>



◆通わせたいと思わない理由

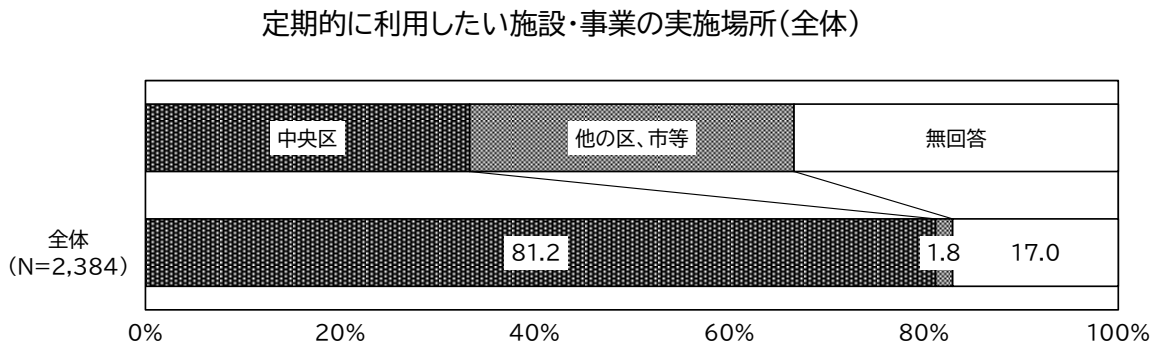
3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人で、預かり保育を利用できても幼稚園に通わせたいと思わない人に、通わせたいと思わない理由をたずねたところ、「保育所で満足している(67.7%)」が最も高く、「預かり保育の実施時間が短く、都合が合わない(57.3%)」、「幼稚園はPTA活動や行事への参加など保護者の負担が大きい(49.4%)」が続いている。

通わせたいと思わない理由(全体):複数回答
 <3～5歳の間でなんらかの保育事業を利用したい人で、
 預かり保育を利用できても幼稚園に通わせたいと思わない人>



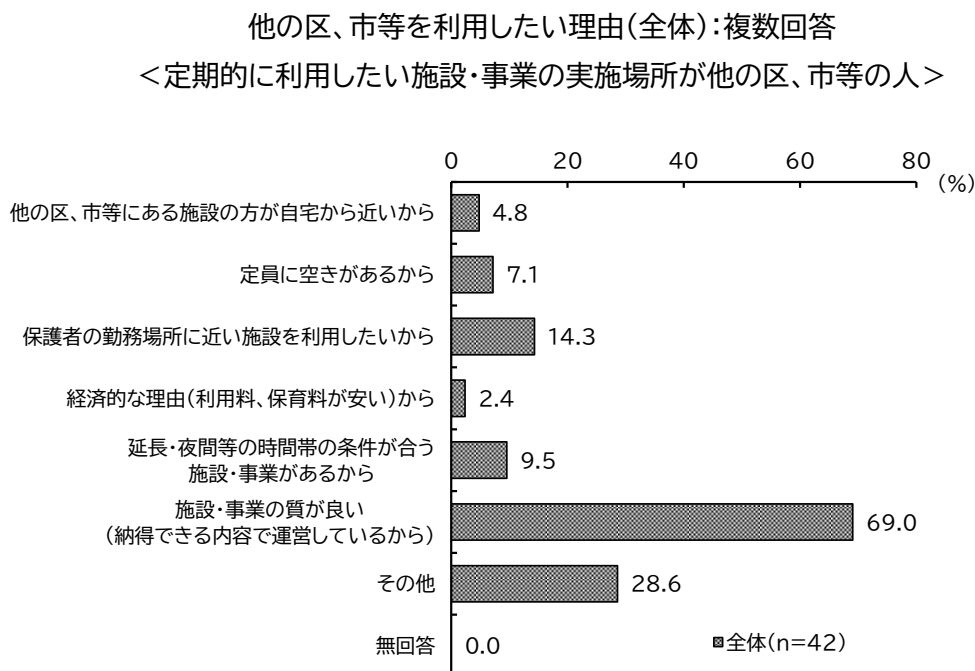
(12)定期的に利用したい施設・事業の実施場所(問 14-4)

定期的に利用したい施設・事業の実施場所は、「中央区」が81.2%となっている。



(13)他の区、市等を利用したい理由(問 14-5)

定期的に利用したい施設・事業の実施場所が他の区、市等の人に、他の区、市等を利用したい理由をたずねたところ、「施設・事業の質が良い(納得できる内容で運営しているから)(69.0%)」が7割弱で最も高く、「保護者の勤務場所に近い施設を利用したいから(14.3%)」が1割台で続いている。



5 平日夜間・土曜・休日などの「定期的」な施設・事業の利用希望

(1) 平日夜間・土曜・休日の「定期的」な施設・事業の利用希望(問 15(1)～(3))

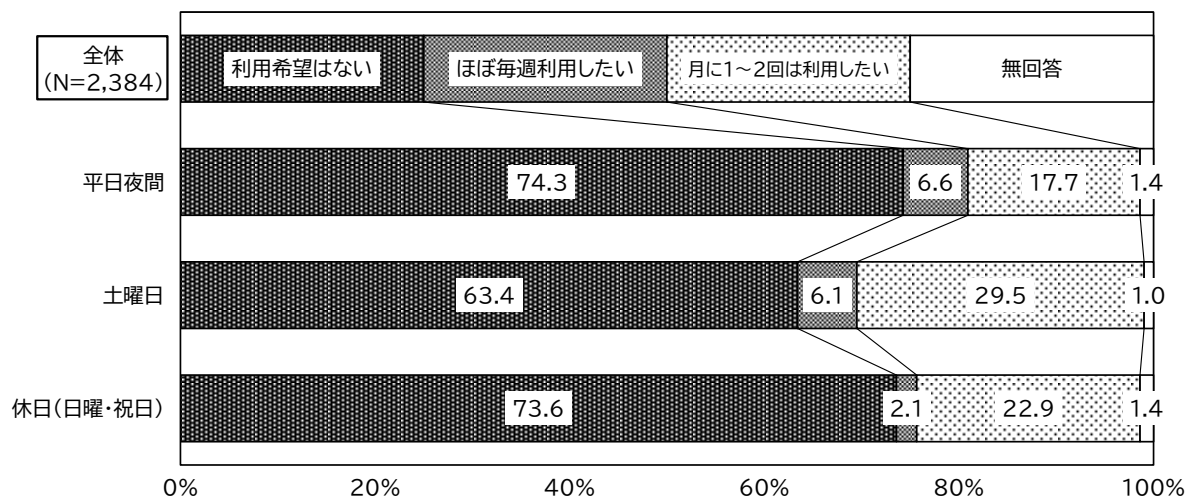
◆利用希望

平日夜間の「定期的」な施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい(6.6%)」と「月に1～2回は利用したい(17.7%)」を合計すると 24.3%となっている。

土曜日の「定期的」な施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい(6.1%)」と「月に1～2回は利用したい(29.5%)」を合計すると 35.6%となっている。

休日(日曜・祝日)の「定期的」な施設・事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい(2.1%)」と「月に1～2回は利用したい(22.9%)」を合計すると 25.0%となっている。

平日夜間の「定期的」な施設・事業の利用希望(全体)

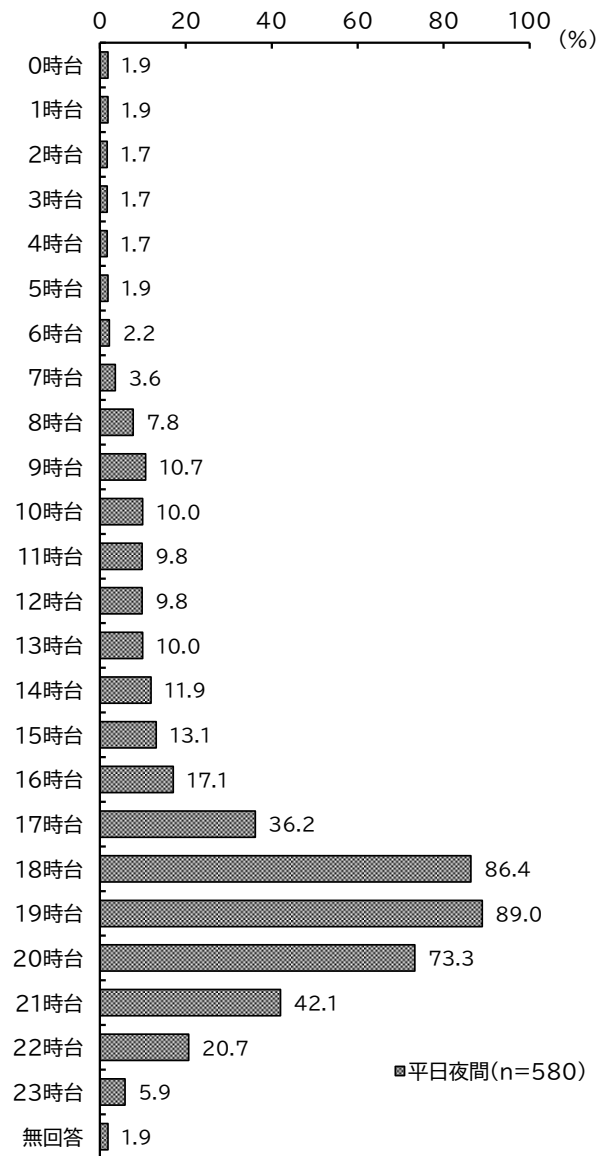


第2章 調査結果

◆平日夜間の利用希望時間帯

平日夜間の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、18 時から 20 時台が 70.0%以上となっている。

平日夜間の利用希望時間帯(全体)
<平日夜間の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人>

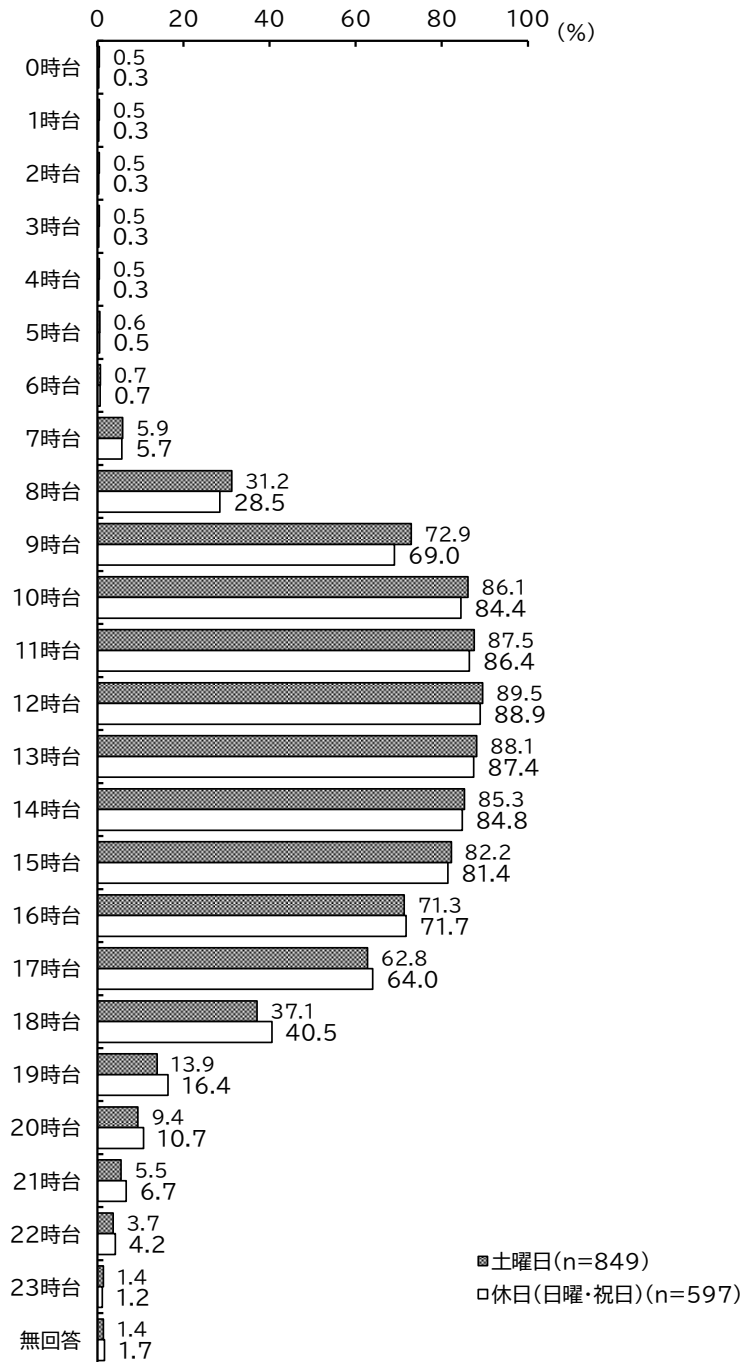


◆土曜日、休日(日曜・祝日)の利用希望時間帯

土曜日の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、9時台から16時台が70.0%以上となっている。

休日(日曜・祝日)の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、10時台から16時台が70.0%以上となっている。

土曜日、休日(日曜・祝日)の利用希望時間帯(全体)
 <土曜日、休日(日曜・祝日)の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人>



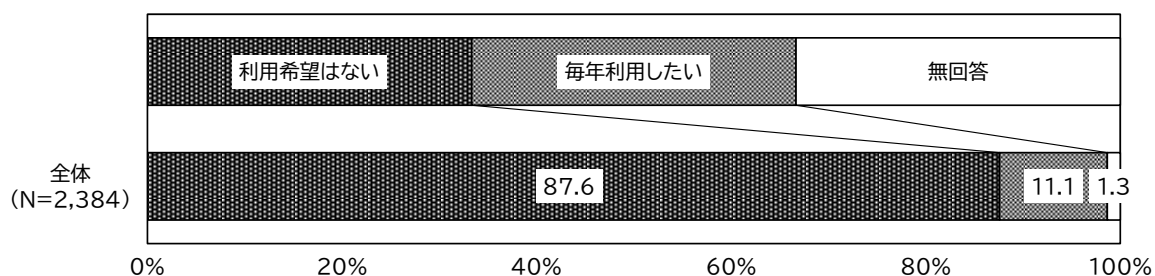
(2)年末年始の「定期的」な施設・事業の利用希望(問 15(4))

年末年始の「定期的」な施設・事業の利用希望は、「毎年利用したい」が11.1%となっている。

年末年始の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人に、利用したい日をたずねたところ、「12月29日(94.7%)」が最も高く、「12月30日(72.7%)」、「1月3日(39.8%)」が続いている。

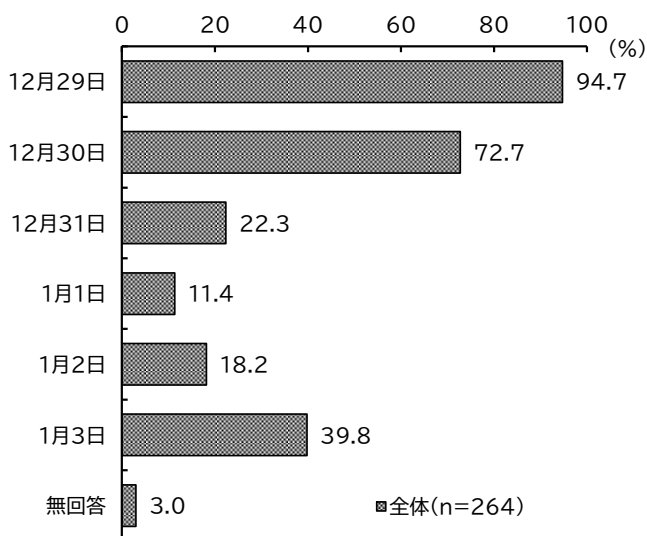
年末年始の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、利用希望時間帯は、9時台から16時台が90.0%以上となっている。

年末年始の「定期的」な施設・事業の利用希望(全体)

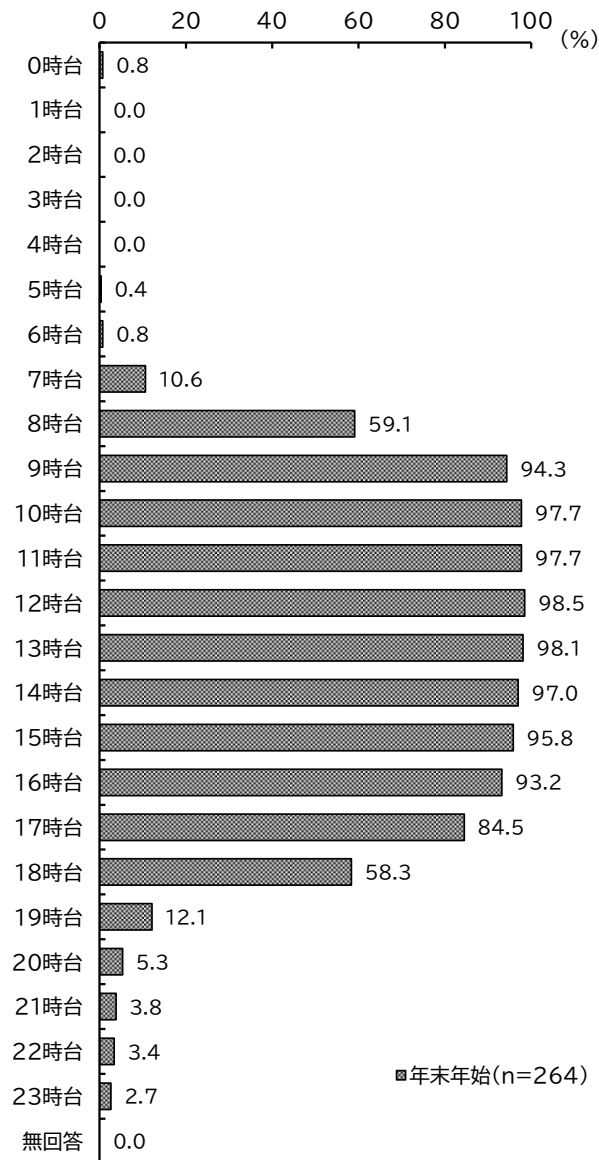


年末年始の利用したい日(全体)

<年末年始の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人>



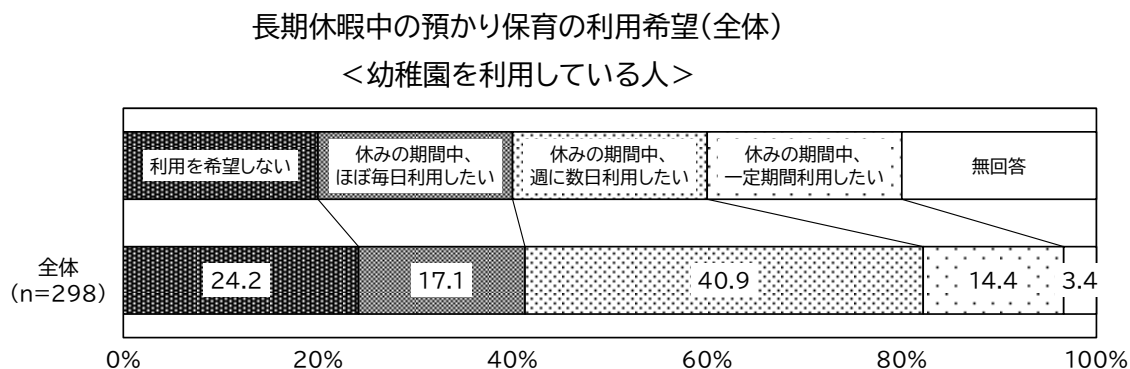
年末年始の利用希望時間帯(全体)
<年末年始の「定期的」な施設・事業の利用を希望する人>



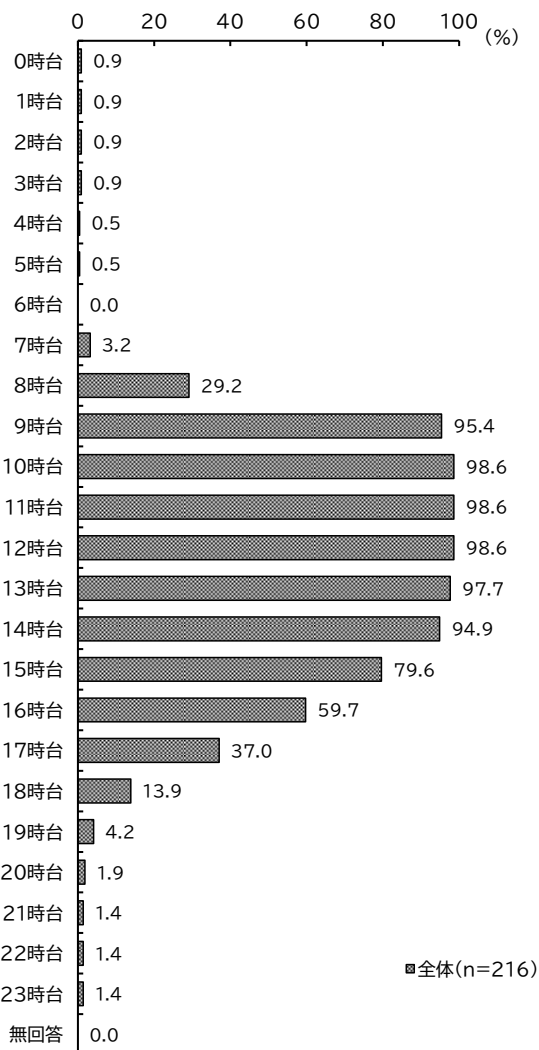
(3) 幼稚園を利用している人の長期休暇中の預かり保育の利用希望(問 16)

幼稚園を利用している人に、長期休暇中の預かり保育の利用希望をたずねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい(40.9%)」が最も高く、「利用を希望しない(24.2%)」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(17.1%)」が続いている。

幼稚園を利用している人で、長期休暇中の預かり保育の利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、9時台から15時台が70.0%以上となっている。



長期休暇中の預かり保育の利用希望時間帯(全体)
 <幼稚園を利用している人で、長期休暇中の預かり保育の利用を希望する人>



6 地域の子育て支援事業の利用状況

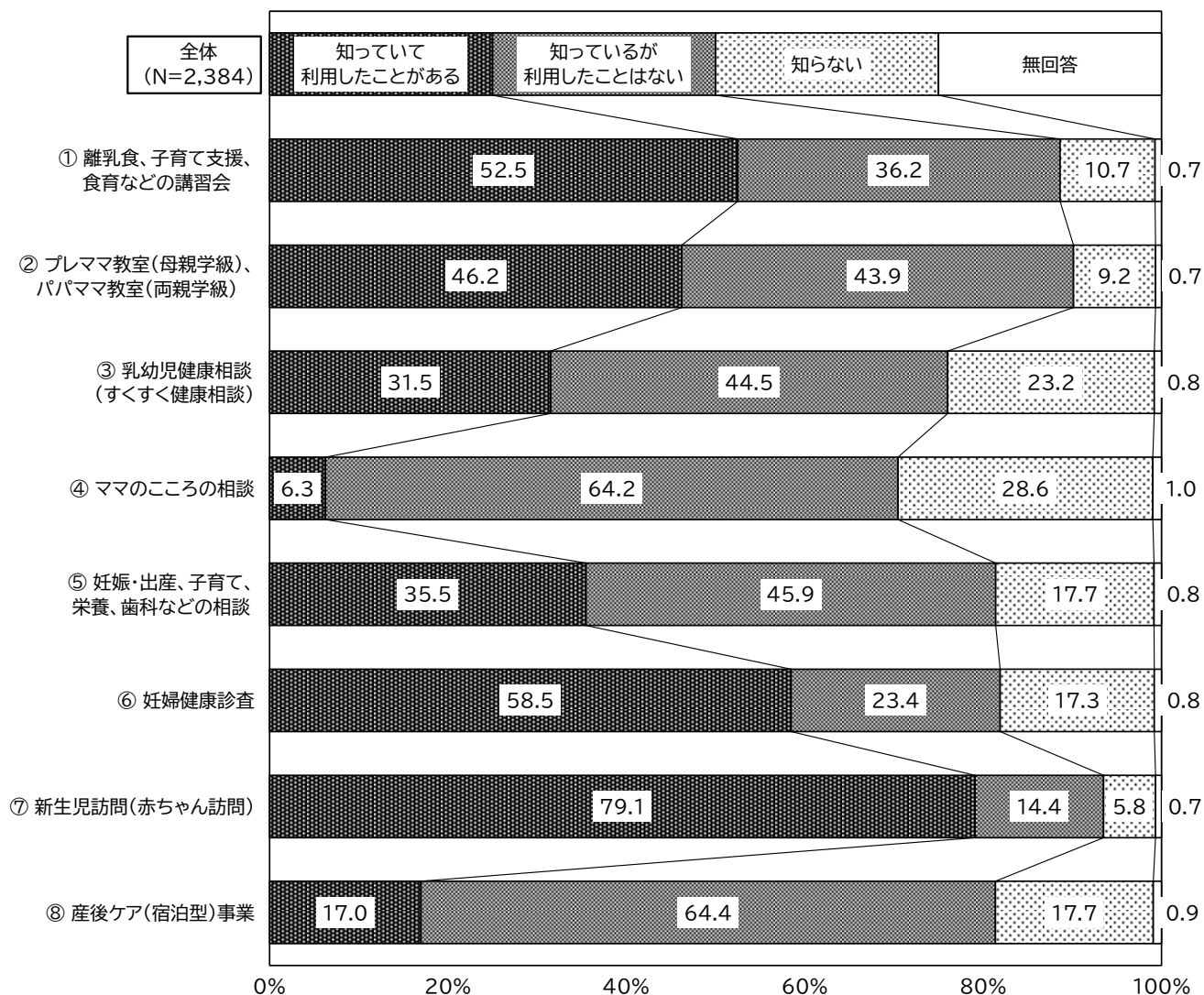
(1) 地域子育て支援事業の認知度・利用状況、利用意向(問 17)

◆ 認知度・利用状況

地域子育て支援事業の認知度・利用状況は、「知っている利用したことがある」の割合は、『⑦ 新生児訪問(赤ちゃん訪問)(79.1%)』が最も高く、『⑨ 子育て交流サロン「あかちゃん天国」(72.0%)』、『⑥ 妊婦健康診査(58.5%)』、『① 離乳食、子育て支援、食育などの講習会(52.5%)』までが5割を超えている。

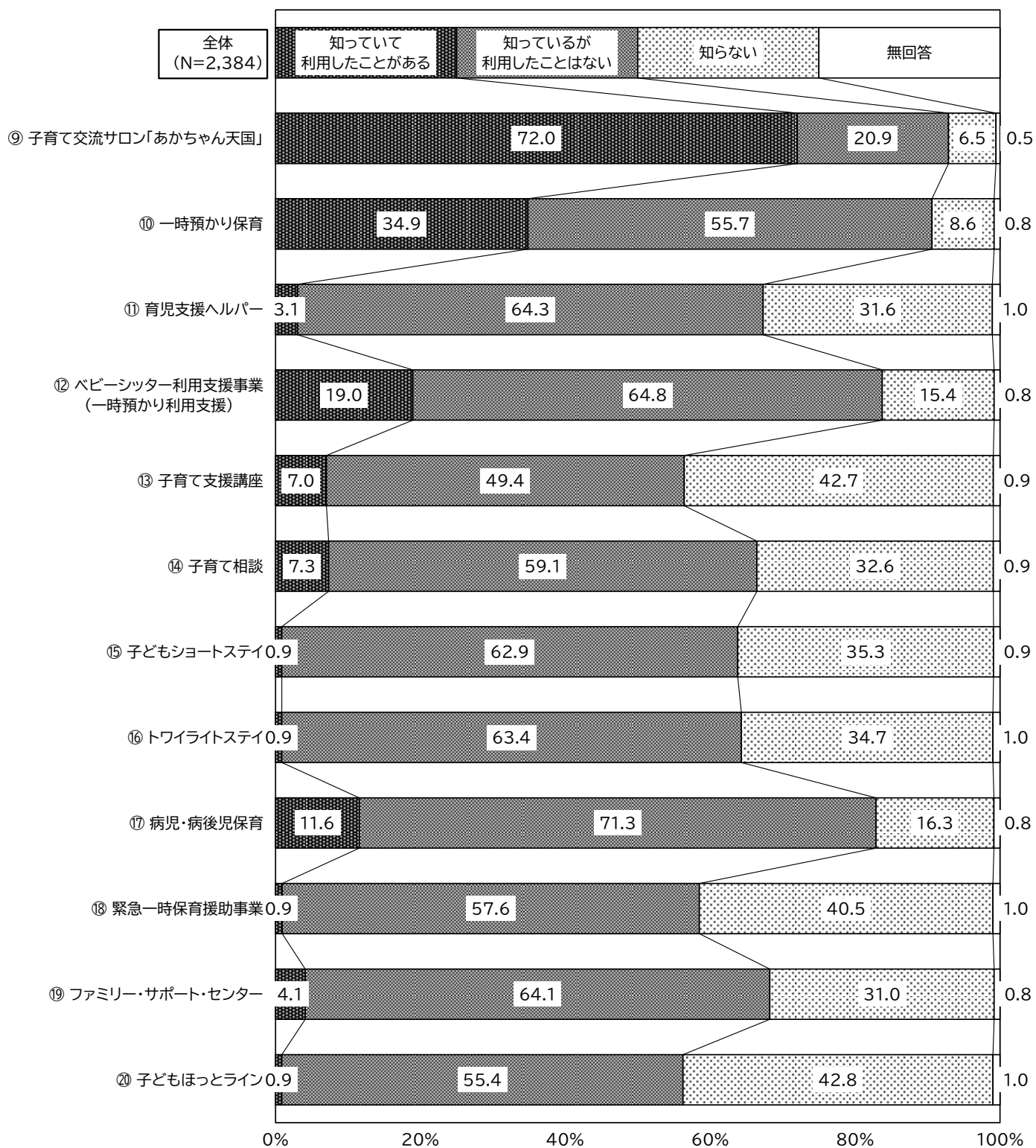
また、「知らない」の割合は、『⑫ 中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会(78.9%)』が最も高く、『⑫ 教育センターの教育相談(78.2%)』、『⑬ 赤ちゃん・ふらっと(61.6%)』、『⑮ 子ども発達支援センター ゆりのき(61.6%)』が続いている。

地域子育て支援事業の認知度・利用状況(保健所・保健センター①～⑧)(全体)

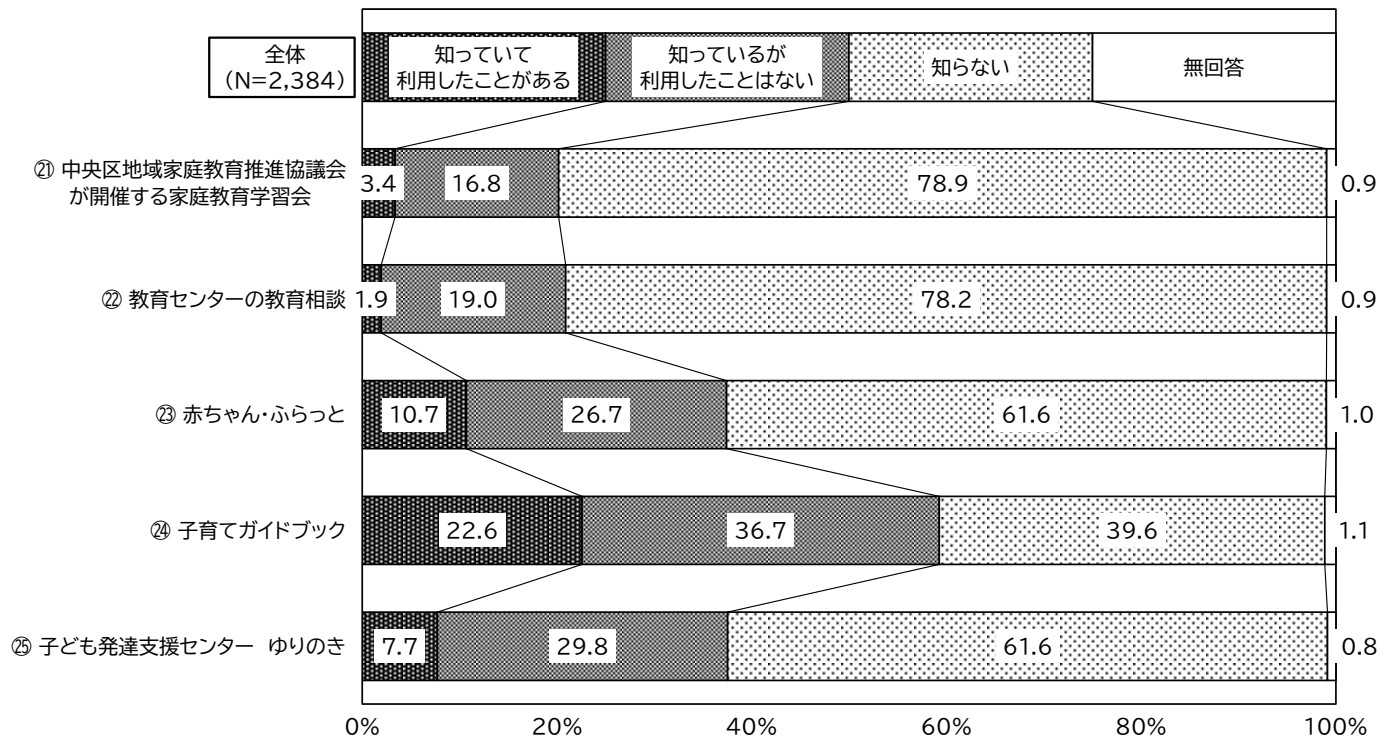


第2章 調査結果

地域子育て支援事業の認知度・利用状況(子ども家庭支援センター きらら中央⑨~⑳)(全体)



地域子育て支援事業の認知度・利用状況(㉑～㉕)(全体)

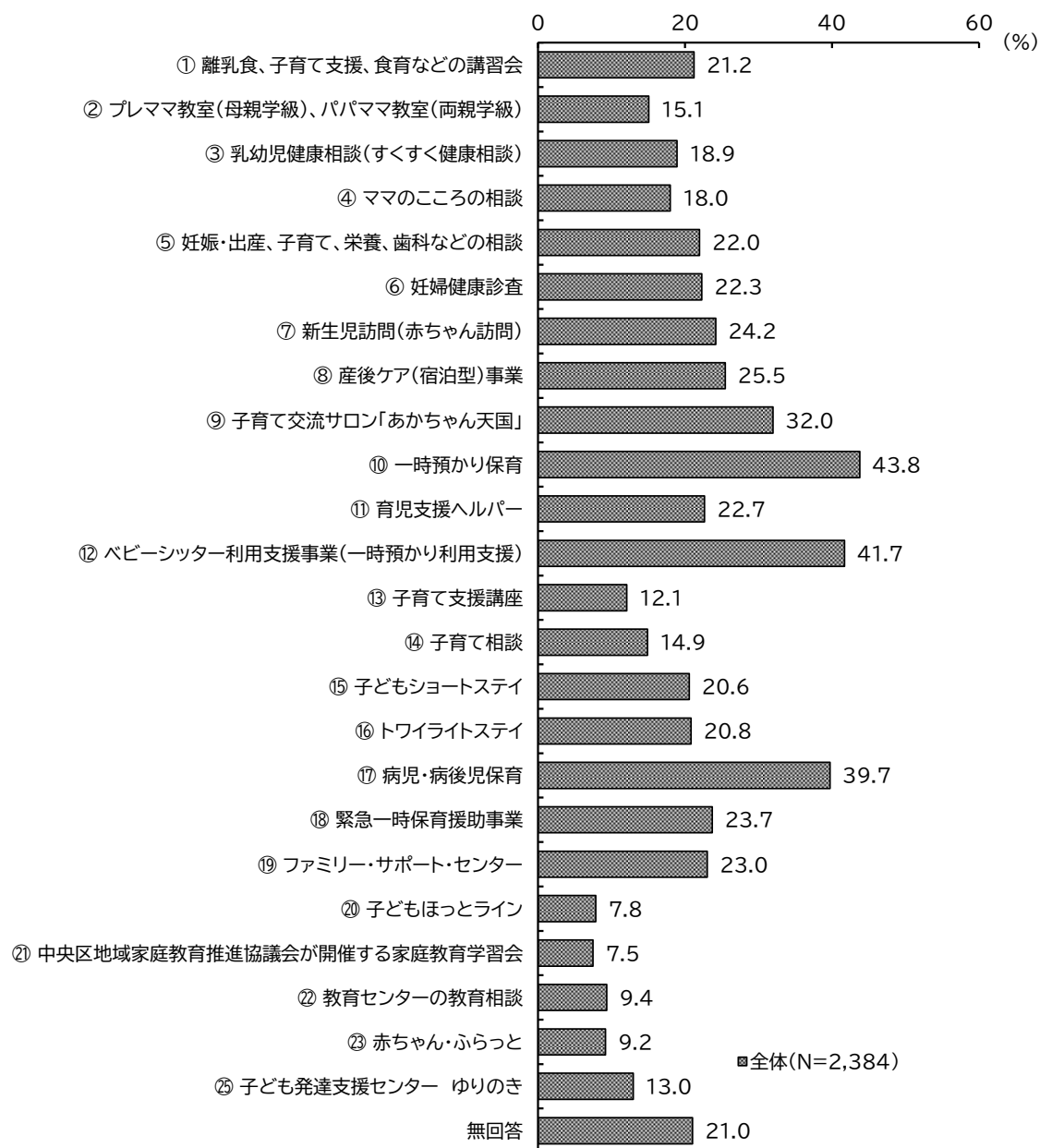


第2章 調査結果

◆今後必要なときの利用意向

今後必要なときの利用意向は、「⑩ 一時預かり保育(43.8%)」が最も高く、「⑫ ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)(41.7%)」、「⑰ 病児・病後児保育(39.7%)」が続いている。

地域子育て支援事業の今後必要なときの利用意向(全体):複数回答

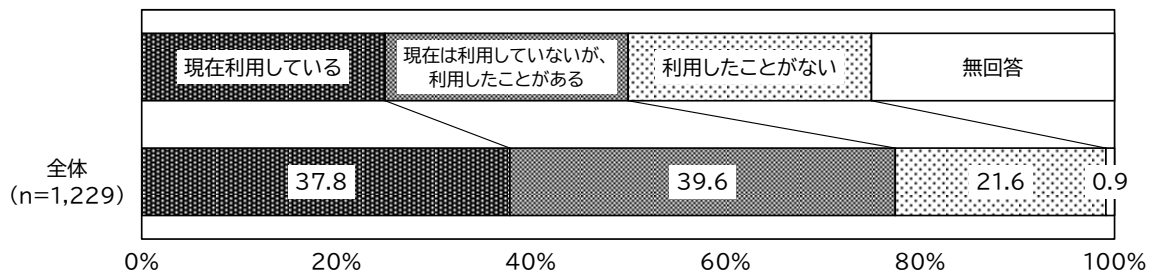


(2)子育て交流サロン「あかちゃん天国」の利用状況(問 18)

お子さんが、2020年4月2日以降に生まれた人に、子育て交流サロン「あかちゃん天国」の利用状況をたずねたところ、「現在利用している」が37.8%、「現在は利用していないが、利用したことがある」が39.6%、「利用したことがない」が21.6%となっている。

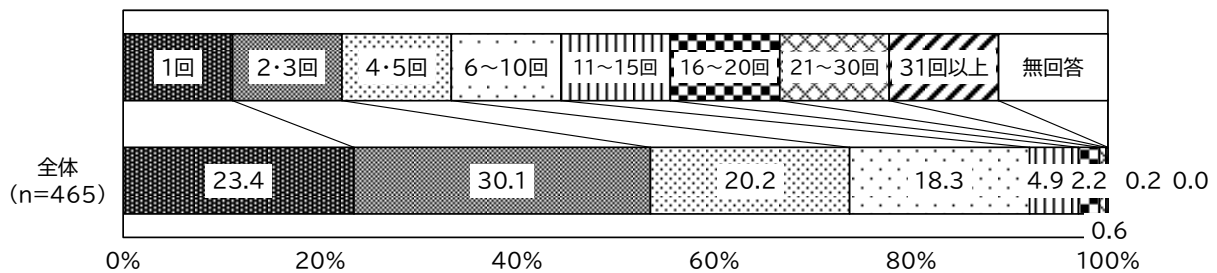
現在利用している人に、1か月当たりの利用回数をたずねたところ、「2・3回(30.1%)」が最も高く、「1回(23.4%)」、「4・5回(20.2%)」が続いており、平均4.8回となっている。

子育て交流サロン「あかちゃん天国」の利用状況(全体)



子育て交流サロン「あかちゃん天国」の1か月当たりの利用回数(全体)

<子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用している人>



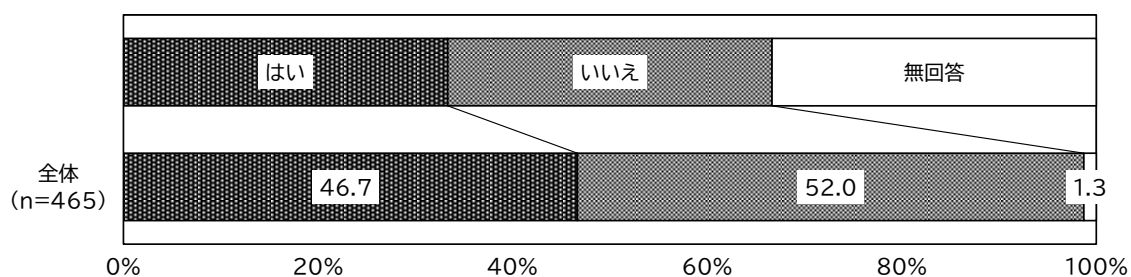
(3)子育て交流サロン「あかちゃん天国」を利用している人の今後の利用回数の増加意向(問 18-1)

子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用している人に、今後の利用回数の増加意向をたずねたところ、「はい」が46.7%となっている。

今後の利用回数の増加意向がある人に、1か月当たり更に増やしたい利用回数をたずねたところ、「2・3回(30.0%)」が最も高く、「6～10回(29.0%)」、「4・5回(27.2%)」が続いており、平均5.8回となっている。

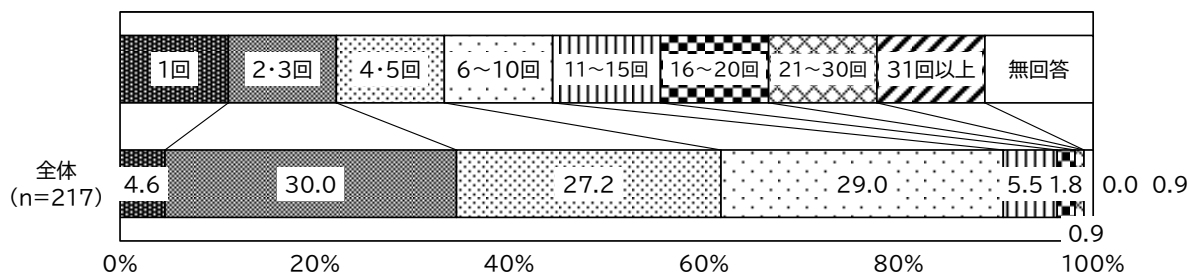
子育て交流サロン「あかちゃん天国」の今後の利用回数の増加意向(全体)

<子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用している人>



子育て交流サロン「あかちゃん天国」の1か月当たり更に増やしたい利用回数(全体)

<子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用している人で、今後の利用回数の増加意向がある人>

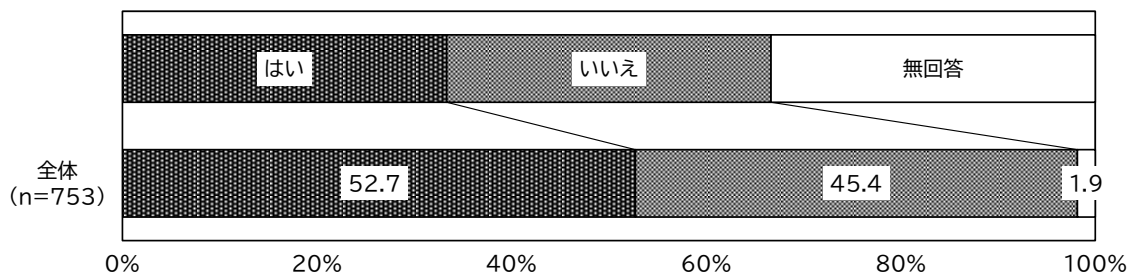


(4)子育て交流サロン「あかちゃん天国」を利用していない人の今後の利用意向(問 18-2)

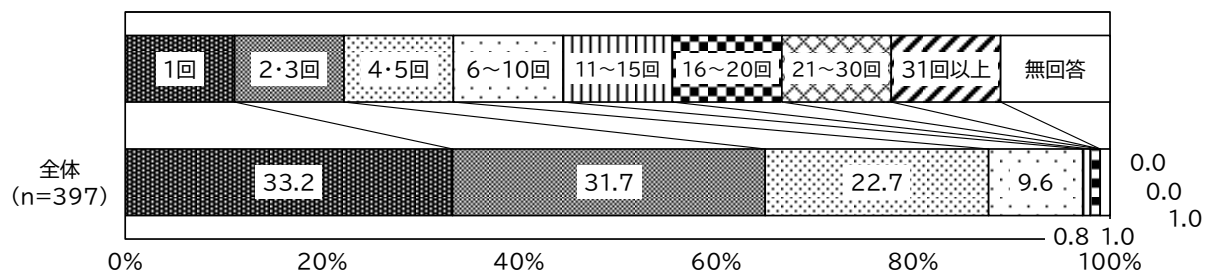
子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用していない人に、今後の利用意向をたずねたところ、「はい」が52.7%となっている。

今後の利用意向がある人に、1か月当たりの利用希望回数をたずねたところ、「1回(33.2%)」が最も高く、「2・3回(31.7%)」、「4・5回(22.7%)」が続いており、平均3.2回となっている。

子育て交流サロン「あかちゃん天国」の今後の利用意向(全体)
 <子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用していない人>



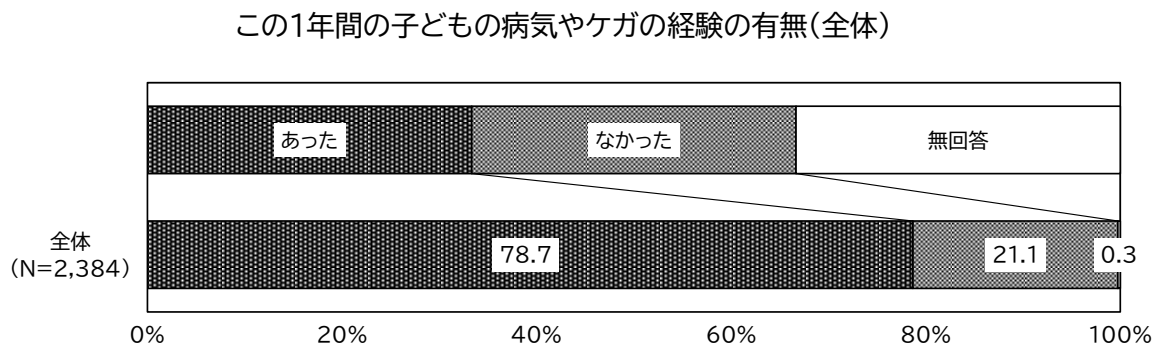
子育て交流サロン「あかちゃん天国」の1か月当たりの利用希望回数(全体)
 <子育て交流サロン「あかちゃん天国」を現在利用していない人で、今後の利用意向がある人>



7 病気やケガの際の対応

(1)この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無(問 19)

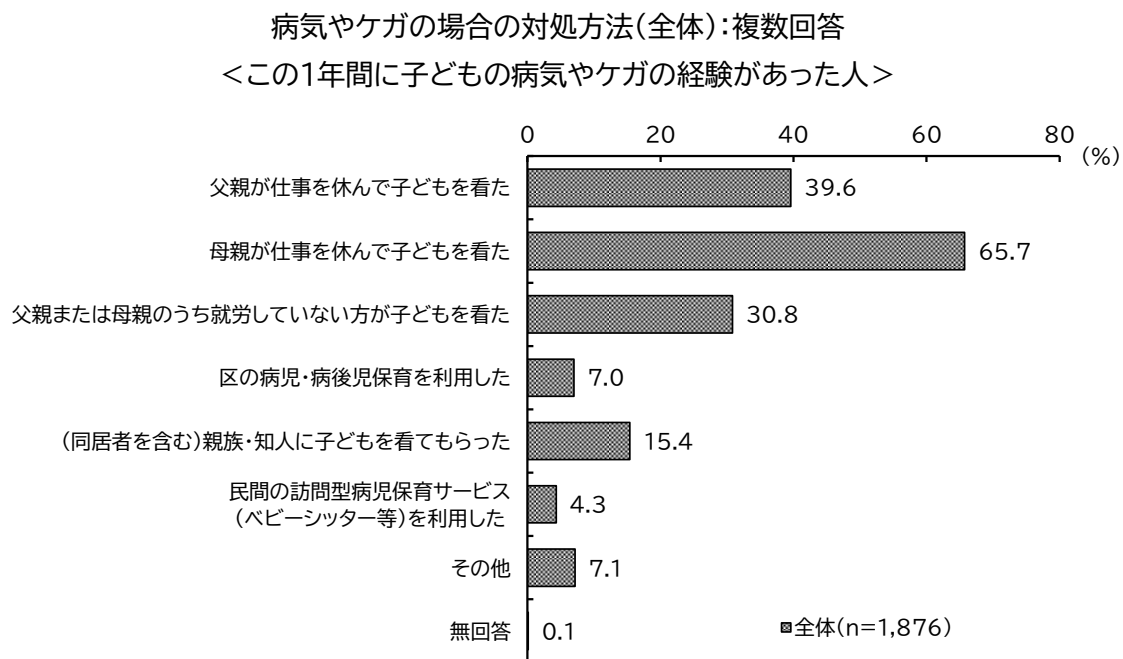
この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無は、「あった」が78.7%となっている。



(2)この1年間の子どもの病気やケガの場合の対処方法と日数(問 19-1)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人に、病気やケガの場合の対処方法をたずねたところ、「母親が仕事を休んで子どもを見た(65.7%)」が最も高く、「父親が仕事を休んで子どもを見た(39.6%)」、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た(30.8%)」が続いている。

対処方法別日数は、対処方法の割合が高い順に、「母親が仕事を休んで子どもを見た」は平均 9.0 日、「父親が仕事を休んで子どもを見た」は平均 5.0 日、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は平均 13.5 日となっている。



病気やケガの場合の対処方法別日数(全体)

<この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人>

	1日	2・3日	4・5日	6 5 1 0日	1 1 1 5日	1 6 5 2 0日	2 1 5 3 0日	3 1 日 以上	無 回 答	平均 日 数
父親が仕事を休んで子どもを見た (n= 743)	14.3	37.4	24.0	18.0	3.0	2.3	0.5	0.3	0.3	5.0日
母親が仕事を休んで子どもを見た (n=1,233)	3.9	20.7	24.2	29.5	8.0	7.8	4.2	1.5	0.2	9.0日
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た (n= 578)	2.9	15.9	16.8	29.4	9.3	9.9	9.5	5.7	0.5	13.5日
区の病児・病後児保育を利用した (n= 131)	22.9	32.1	14.5	18.3	6.9	3.8	1.5	0.0	0.0	5.4日
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった (n= 289)	10.7	31.5	27.3	20.4	3.8	3.5	2.4	0.0	0.3	6.1日
民間の訪問型病児保育サービス(ベビーシッター等)を利用した (n= 81)	21.0	29.6	18.5	23.5	3.7	1.2	2.5	0.0	0.0	5.4日
その他 (n= 134)	9.0	16.4	15.7	31.3	11.2	8.2	5.2	2.2	0.7	9.9日

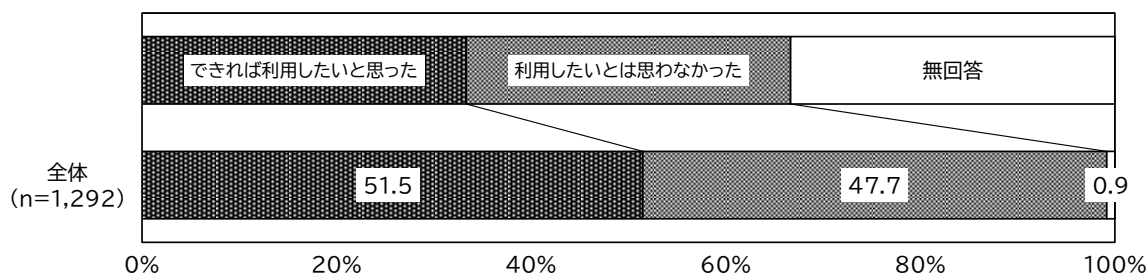
(3) 区の病児・病後児保育の利用希望(問 19-2)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人に、区の病児・病後児保育の利用希望をたずねたところ、「できれば利用したいと思った」が 51.5%となっている。

区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用希望日数をたずねたところ、「2・3日(33.8%)」が最も高く、「4・5日(26.0%)」、「6～10日(24.5%)」が続いており、平均 6.0日となっている。

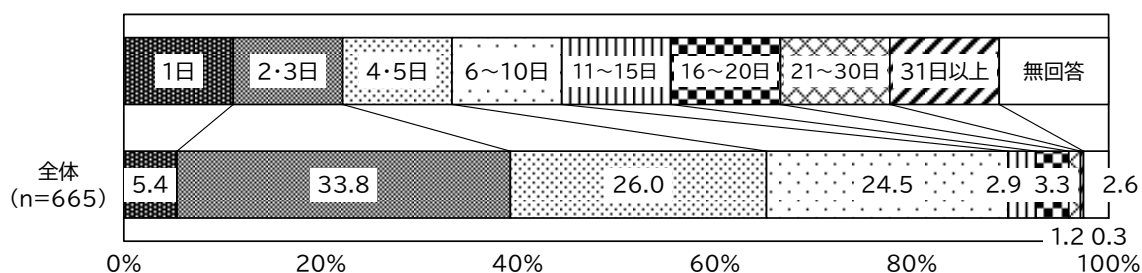
区の病児・病後児保育の利用希望(全体)

<この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人>



区の病児・病後児保育の利用希望日数(全体)

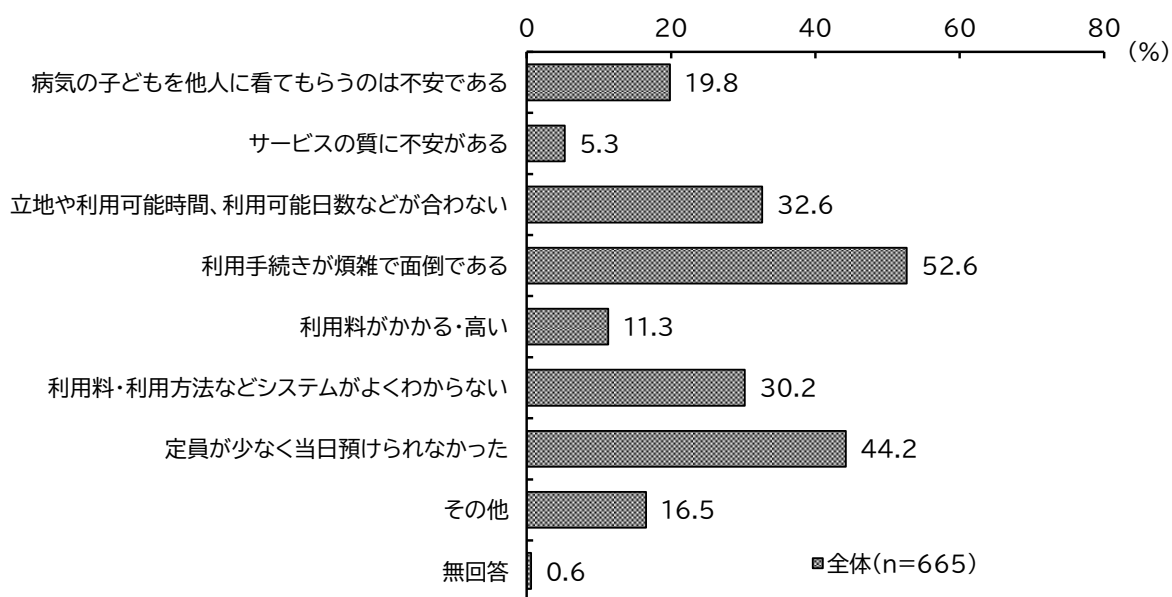
<父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>



(4) 区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由 (問 19-3)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用しなかった理由をたずねたところ、「利用手続きが煩雑で面倒である(52.6%)」が最も高く、「定員が少なく当日預けられなかった(44.2%)」、「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない(32.6%)」が続いている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由(全体):複数回答
 <父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>



子どもの年齢別にみると、1歳では「定員が少なく、当日預けられなかった」が最も高く、その他の年齢では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域、日本橋地域では「利用手続きが煩雑で面倒である」、月島地域では「定員が少なく、当日預けられなかった」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「定員が少なく、当日預けられなかった」、タイプDでは「利用料・利用方法などシステムがわからない」、それ以外の家庭類型では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由

(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

<父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>

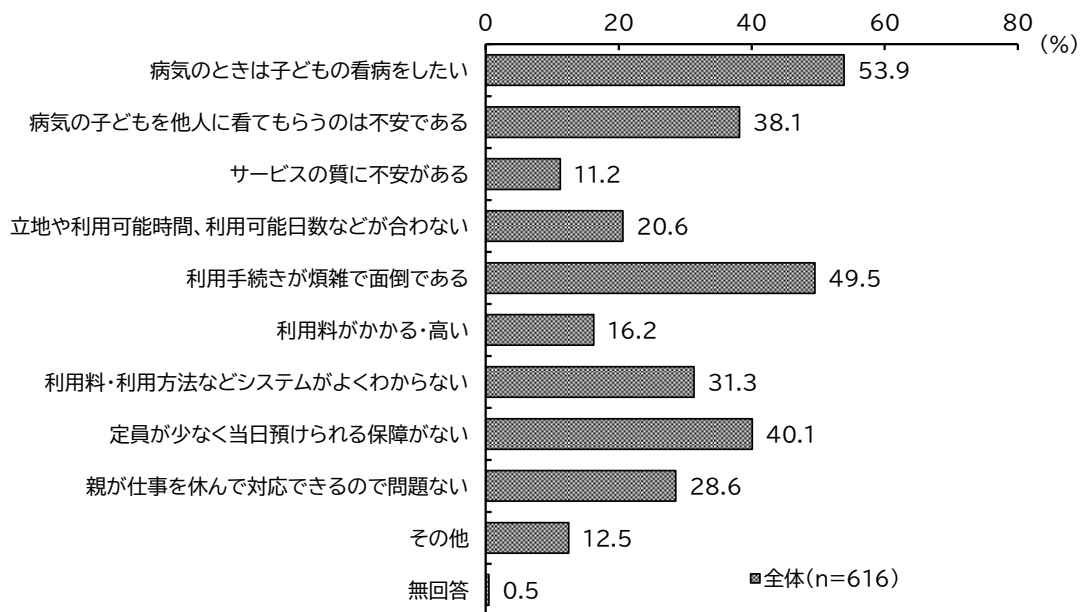
			ら病 う気 のは 不安 である 他人 に 看 ても	サ ー ビ ス の 質 に 不 安 が あ る	能 立 地 や 利 用 が 可 能 時 間 、 利 用 可 	る 利 用 手 続 き が 煩 雑 で 面 倒 で あ る	利 用 料 が か か る ・ 高 い	ム 利 用 料 ・ 利 用 方 法 な ど シ ス テ ム が わ か ら な い	か つ た 定 員 が 少 な く 当 日 預 け ら れ な か つ た	そ の 他	(%) 無 回 答
全	体 (n= 665)	19.8	5.3	32.6	52.6	11.3	30.2	44.2	16.5	0.6	
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 76)	22.4	7.9	28.9	50.0	11.8	35.5	44.7	19.7	0.0	
	1 歳 (n= 129)	23.3	4.7	31.0	48.1	13.2	25.6	52.7	13.2	0.8	
	2 歳 (n= 141)	17.7	4.3	31.2	46.8	10.6	31.2	45.4	18.4	0.7	
	3 歳 (n= 118)	18.6	5.1	34.7	62.7	11.0	33.1	38.1	12.7	0.8	
	4 歳 (n= 106)	17.9	1.9	39.6	55.7	11.3	34.9	39.6	17.0	0.9	
	5 歳 (n= 92)	19.6	9.8	30.4	53.3	7.6	21.7	43.5	19.6	0.0	
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 176)	18.2	4.5	29.5	47.7	8.5	29.0	43.8	15.3	1.7	
	日 本 橋 地 域 (n= 220)	21.8	5.0	39.1	61.8	10.9	37.3	35.9	17.3	0.0	
	月 島 地 域 (n= 268)	19.4	6.0	29.5	48.1	13.1	25.4	51.1	16.8	0.4	
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 15)	0.0	6.7	33.3	46.7	20.0	33.3	53.3	6.7	0.0	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 526)	20.5	5.1	34.6	54.4	10.1	29.5	46.0	15.0	0.4	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 68)	17.6	1.5	27.9	51.5	16.2	30.9	38.2	23.5	0.0	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 16)	31.3	18.8	18.8	50.0	18.8	43.8	12.5	25.0	0.0	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 18)	27.8	11.1	11.1	27.8	11.1	55.6	22.2	27.8	0.0	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(5) 区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった理由(問 19-4)

この1年間に病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった人に、利用したいとは思わなかった理由をたずねたところ、「病気のときは子どもの看病をしたい(53.9%)」が最も高く、「利用手続きが煩雑で面倒である(49.5%)」、「定員が少なく当日預けられる保障がない(40.1%)」が続いている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由(全体):複数回答
 <父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった人>



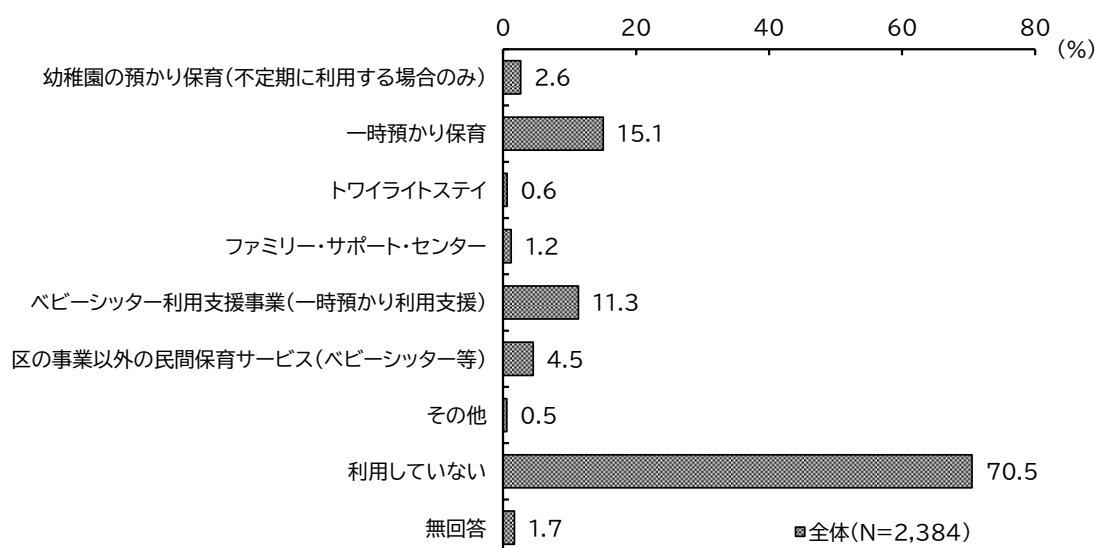
8 不定期の子育て支援事業の利用

(1)この1年間に不定期に利用した事業(利用日数)(問 20)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業は、「一時預かり保育(15.1%)」が最も高く、「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)(11.3%)」、「区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)(4.5%)」が続いている。「利用していない」は70.5%である。

それぞれの事業を利用した人に、この1年間の利用日数をたずねたところ、利用した事業の割合が高い順に、「一時預かり保育」は平均 11.2 日、「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)」は平均 15.9 日、「区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)」は平均 15.1 日となっている。

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業(全体):複数回答



この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業の利用日数(全体)

<それぞれの事業を利用した人>

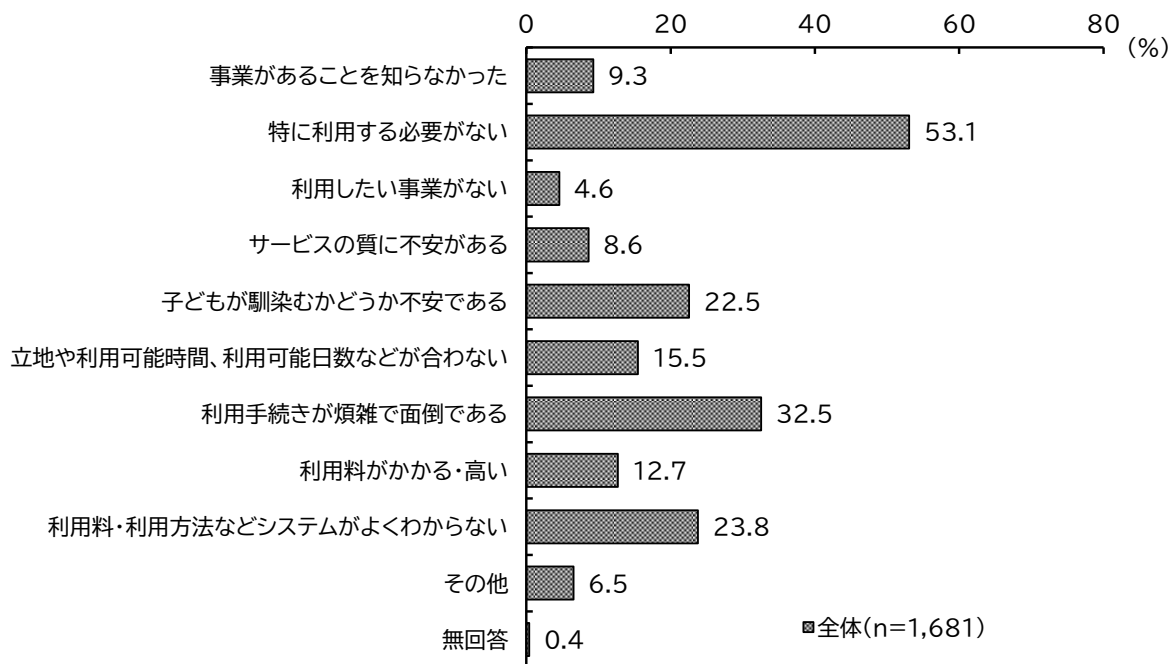
事業	n	利用日数 (%)										平均日数	
		1日	2・3日	4・5日	6・7日	11日	16日	21日	31日	41日	51日以上		無回答
幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ)	63	14.3	19.0	7.9	19.0	4.8	4.8	3.2	6.3	6.3	14.3	0.0	34.1日
一時預かり保育	359	18.7	24.0	16.4	19.5	4.2	6.1	3.1	1.1	3.3	3.1	0.6	11.2日
トワイライトステイ	14	42.9	7.1	21.4	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1日
ファミリー・サポート・センター	29	13.8	20.7	13.8	27.6	6.9	6.9	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	11.3日
ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)	270	12.6	20.4	10.4	23.0	4.8	4.4	11.1	3.3	4.1	5.9	0.0	15.9日
区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)	108	13.9	15.7	14.8	23.1	3.7	9.3	6.5	1.9	3.7	6.5	0.9	15.1日
その他	13	23.1	15.4	7.7	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	14.4日

(2)この1年間に不定期で事業を利用していない理由(問 20-1)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人に、不定期で事業を利用していない理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない(53.1%)」が最も高く、「利用手続きが煩雑で面倒である(32.5%)」、「利用料・利用方法などシステムがよくわからない(23.8%)」が続いている。

不定期で事業を利用していない理由(全体):複数回答

<この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>



子どもの年齢別にみると、どの年齢でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、どの地域でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。また、タイプC'では「事業があることを知らなかった(15.4%)」、タイプDでは「利用料がかかる・高い(20.5%)」が全体を5ポイント以上上回っている。

不定期で事業を利用していない理由(子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答
 <この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>

(%)

		か事業があることを知らない	特に利用する必要がない	利用したい事業がない	サービスの質に不安がある	子どもが馴染むかどうか不安である	立地や利用可能日数などが合わない	利用手続きが煩雑で面倒である	利用料がかかる・高い	利用料がよ・利用方法などシス	その他	無回答
全	体 (n=1,681)	9.3	53.1	4.6	8.6	22.5	15.5	32.5	12.7	23.8	6.5	0.4
子どもの年齢別	0歳 (n= 253)	8.7	57.7	4.0	11.9	23.3	11.5	28.5	11.1	28.1	6.7	0.0
	1歳 (n= 252)	8.3	56.0	2.8	11.5	26.2	15.5	29.8	16.7	23.4	7.5	0.4
	2歳 (n= 285)	7.4	49.8	4.9	8.1	25.3	15.1	34.4	13.3	21.8	7.0	0.4
	3歳 (n= 283)	9.2	53.0	5.3	8.1	21.9	15.5	34.6	12.7	23.7	6.0	0.4
	4歳 (n= 290)	12.4	47.9	5.9	4.8	21.4	16.6	34.5	11.4	23.1	6.6	0.7
	5歳 (n= 303)	9.9	55.8	4.6	7.9	18.2	18.2	32.3	10.6	23.8	5.9	0.3
居住地域別	京橋地域 (n= 393)	8.9	49.4	5.1	8.7	23.9	15.0	31.0	12.2	23.7	8.4	0.5
	日本橋地域 (n= 586)	11.1	52.0	4.8	8.4	22.9	18.4	34.1	11.1	24.4	5.6	0.2
	月島地域 (n= 697)	8.0	56.2	4.2	8.8	21.5	13.3	31.9	14.1	23.4	6.2	0.6
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 46)	10.9	54.3	6.5	4.3	17.4	10.9	34.8	10.9	15.2	4.3	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,126)	9.2	52.6	4.8	8.3	22.5	16.0	33.1	10.7	24.3	6.7	0.4
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 144)	4.9	56.3	5.6	6.9	20.1	16.7	34.7	11.1	20.8	4.2	0.7
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 52)	15.4	55.8	7.7	1.9	15.4	17.3	30.8	17.3	23.1	5.8	0.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 268)	10.8	57.1	2.2	11.9	25.0	11.6	27.6	20.5	23.9	8.2	0.0

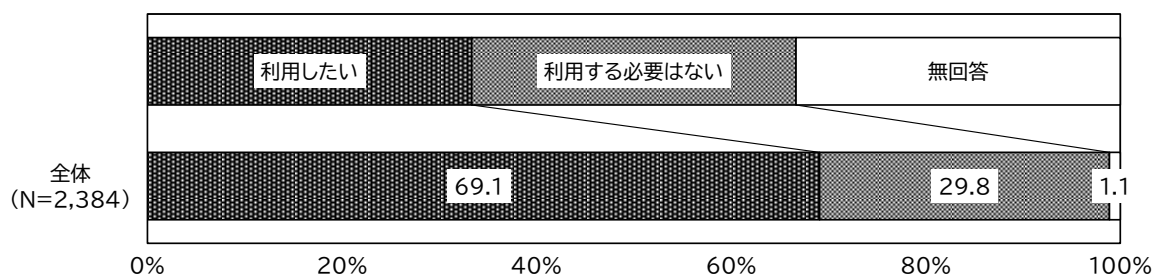
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(3)一時的な預かり事業の利用希望(問 21)

◆一時的な預かり事業の利用希望

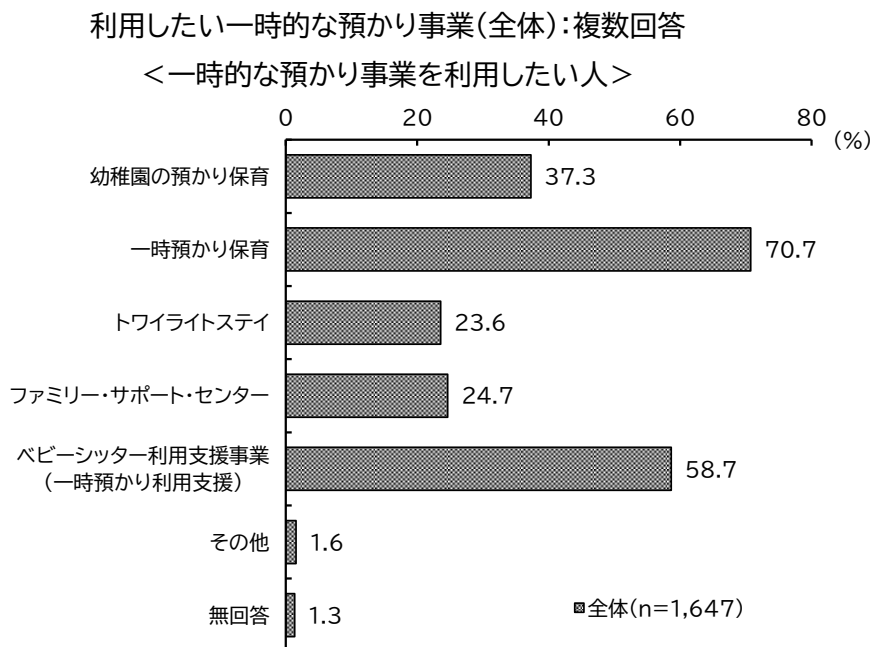
家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業の利用希望は、「利用したい」が69.1%となっている。

一時的な預かり事業の利用希望(全体)



◆利用したい一時的な預かり事業

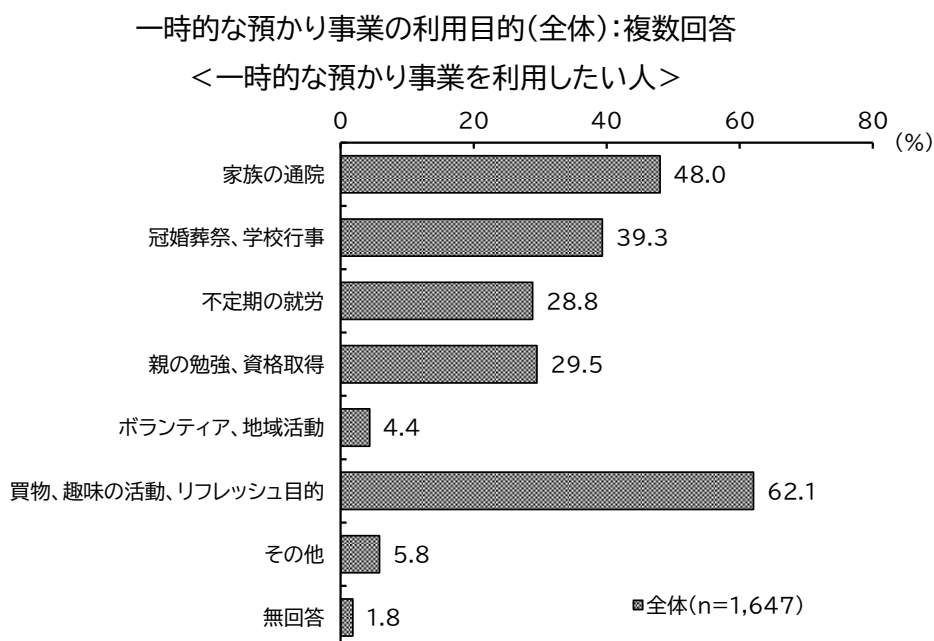
家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業を利用したい人に、利用したい一時的な預かり事業をたずねたところ、「一時預かり保育(70.7%)」が最も高く、「ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)(58.7%)」、「幼稚園の預かり保育(37.3%)」が続いている。



◆一時的な預かり事業の利用目的、利用目的別日数

家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業を利用したい人に、一時的な預かり事業の利用目的をたずねたところ、「買物、趣味の活動、リフレッシュ目的(62.1%)」が最も高く、「家族の通院(48.0%)」、「冠婚葬祭、学校行事(39.3%)」が続いている。

一時的な預かり事業の1年当たりの利用目的別日数は、利用目的の割合が高い順に、「買物、趣味の活動、リフレッシュ目的」は平均 12.5 日、「家族の通院」は平均 8.8 日、「冠婚葬祭、学校行事」は平均 3.8 日となっている。



1年当たりの利用目的別日数(全体)
 <一時的な預かり事業を利用したい人>

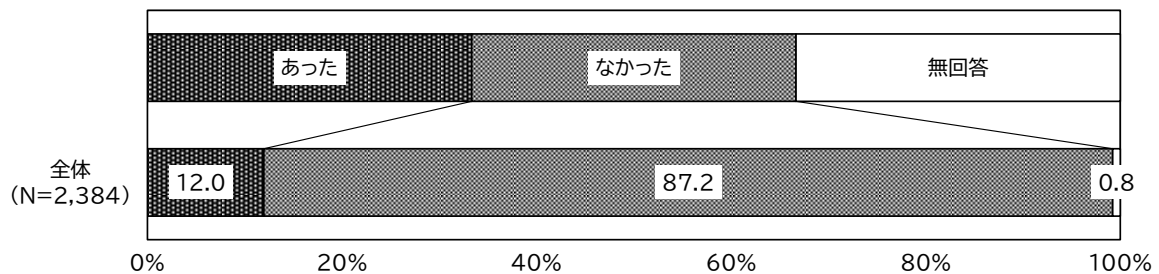
		(%)											平均日数
		1日	2・3日	4・5日	6 ～ 10日	11 ～ 15日	16 ～ 20日	21 ～ 30日	31 ～ 40日	41 ～ 50日	51日 以上	無回答	
家族の通院	(n= 791)	5.8	22.1	23.9	27.8	10.2	4.7	3.2	0.4	0.6	0.5	0.8	8.8日
冠婚葬祭、学校行事	(n= 648)	25.9	38.3	22.2	10.6	1.2	0.2	0.8	0.0	0.0	0.2	0.6	3.8日
不定期の就労	(n= 475)	3.6	15.4	19.2	25.1	6.9	6.1	8.6	2.1	3.8	7.6	1.7	19.9日
親の勉強、資格取得	(n= 486)	2.3	9.9	19.1	24.3	8.8	7.2	9.9	0.8	6.0	11.1	0.6	23.2日
ボランティア、地域活動	(n= 72)	6.9	30.6	23.6	23.6	2.8	2.8	4.2	0.0	4.2	0.0	1.4	8.3日
買物、趣味の活動、リフレッシュ目的	(n=1,022)	3.2	14.9	19.2	23.1	20.5	5.2	7.3	1.0	2.7	1.8	1.1	12.5日
その他	(n= 96)	4.2	14.6	13.5	15.6	10.4	9.4	5.2	1.0	4.2	15.6	6.3	25.1日

(4) 宿泊を伴う一時預かりの状況(問 22)

◆ 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無

この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無は、「あった」が12.0%となっている。

宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無(全体)



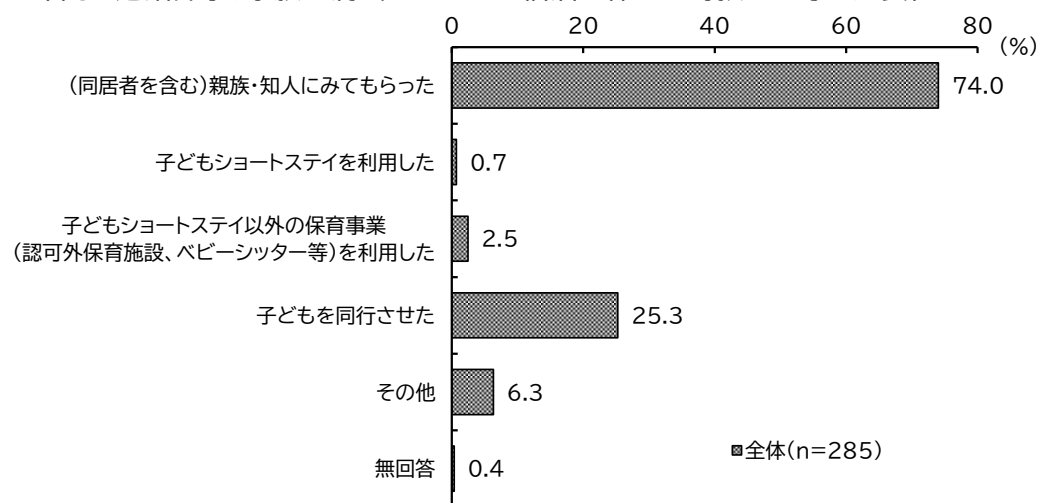
第2章 調査結果

◆宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法、対処方法別日数

この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人に、対処方法をたずねたところ、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった(74.0%)」が最も高く、「子どもを同行させた(25.3%)」が続いている。

宿泊を伴う一時預かり等の1年当たりの対処方法別日数は、対処方法の割合が高い順に、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」は平均 7.6 泊、「子どもを同行させた」は平均 4.0 泊となっている。

対処方法(全体):複数回答
 <この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人>



1年当たりの対処方法別日数(全体)

<この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人>

	(%)									平均泊数
	1泊	2・3泊	4・5泊	6・7泊	1・5泊	1・6泊	2・7泊	3・8泊以上	無回答	
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった (n= 211)	18.5	24.6	21.8	20.4	3.8	1.9	5.2	2.4	1.4	7.6泊
子どもショートステイを利用した (n= 2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5泊
子どもショートステイ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した (n= 7)	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	10.6泊
子どもを同行させた (n= 72)	20.8	40.3	12.5	16.7	1.4	1.4	0.0	0.0	6.9	4.0泊
その他 (n= 18)	22.2	16.7	27.8	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	6.5泊

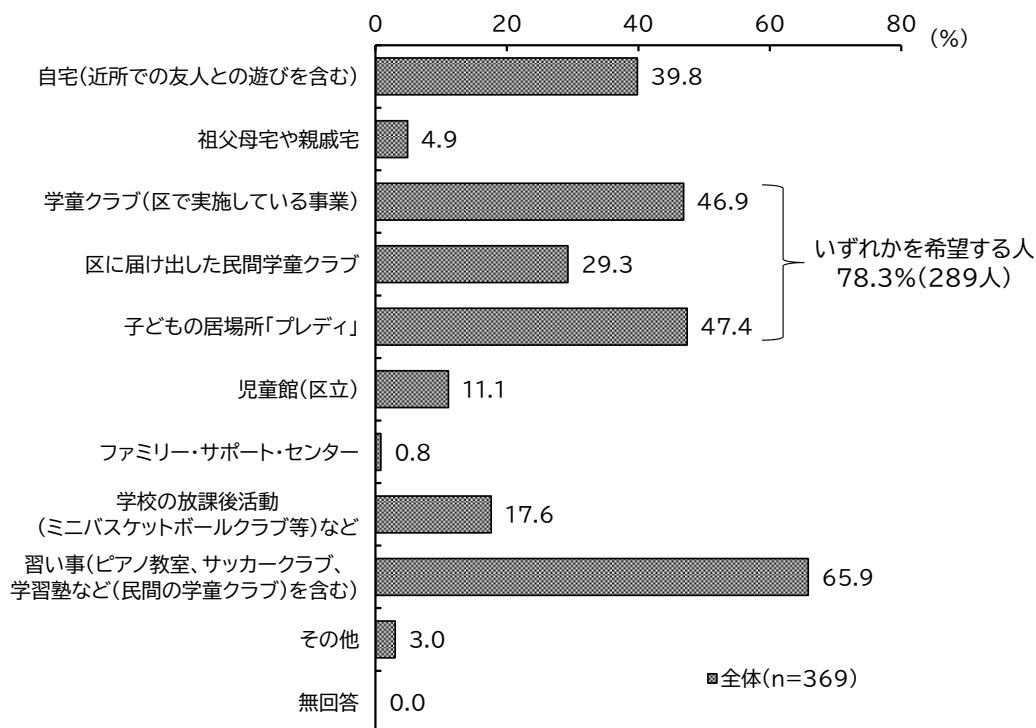
9 放課後の過ごし方(来年度小学校に就学予定のお子さんがいる人)

(1)小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方の希望(問 23)

来年度小学校に就学予定のお子さんがある人の小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方の希望は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))(65.9%)」が最も高く、「子どもの居場所「プレディ」(47.4%)」、「学童クラブ(区で実施している事業)(46.9%)」が続いている。なお、「学童クラブ」、「子どもの居場所「プレディ」」、「区に届け出した民間学童クラブ」のいずれかを希望する人は 78.3%である。

1週当たりの利用希望日数は、放課後の過ごし方の希望の割合が高い順に、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))」は平均 2.6 日、「子どもの居場所「プレディ」」は平均 3.0 日、「学童クラブ(区で実施している事業)(46.9%)」は平均 3.9 日となっている。

小学校低学年時の平日の放課後の放課後の過ごし方の希望(全体):複数回答
 <来年度小学校に就学予定のお子さんがある人>



第2章 調査結果

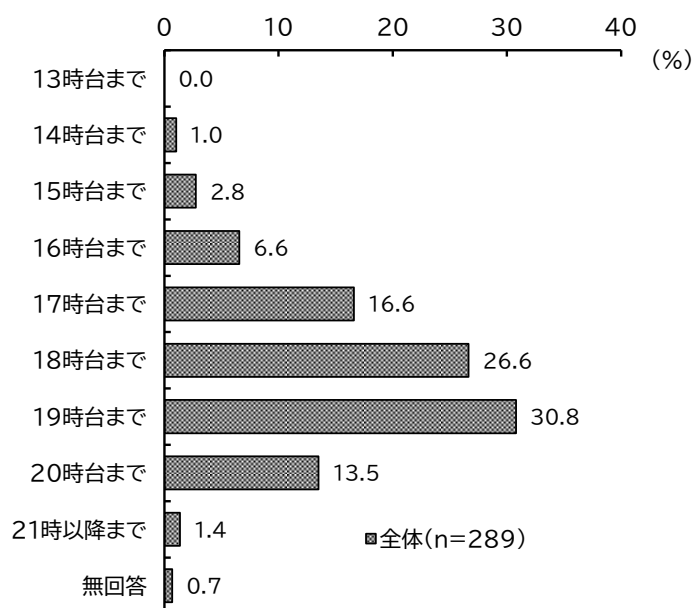
1週当たりの利用希望日数(全体) <来年度小学校に就学予定のお子さんがいる人>

		(%)						
		1日	2日	3日	4日	5日	無回答	平均日数
自宅（近所での友人との遊びを含む）	(n=147)	29.9	40.1	13.6	4.1	10.9	1.4	2.2日
祖父母宅や親戚宅	(n= 18)	55.6	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6	1.6日
学童クラブ（区で実施している事業）	(n=173)	8.7	8.1	17.9	8.1	55.5	1.7	3.9日
区に届け出した民間学童クラブ	(n=108)	6.5	17.6	17.6	7.4	50.0	0.9	3.7日
子どもの居場所「プレディ」	(n=175)	19.4	26.3	14.9	4.6	33.1	1.7	3.0日
児童館（区立）	(n= 41)	34.1	24.4	2.4	4.9	31.7	2.4	2.7日
ファミリー・サポート・センター	(n= 3)	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	3.7日
学校の放課後活動（ミニバスケットボールクラブ等）など	(n= 65)	36.9	30.8	16.9	0.0	13.8	1.5	2.2日
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など（民間の学童クラブを含む））	(n=243)	16.9	38.3	26.7	5.8	11.9	0.4	2.6日
その他	(n= 11)	9.1	0.0	27.3	18.2	36.4	9.1	3.5日

(2)学童クラブ等の利用希望時間帯(問 24)

来年度小学校に就学予定のお子さんがいる人で、学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人に、利用希望時間帯をたずねたところ、下校時から「19時台まで(30.8%)」が最も高く、「18時台まで(26.6%)」、「17時台まで(16.6%)」が続いている。

学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用希望時間帯(全体)
 <来年度小学校に就学予定のお子さんがいる人で、学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人>



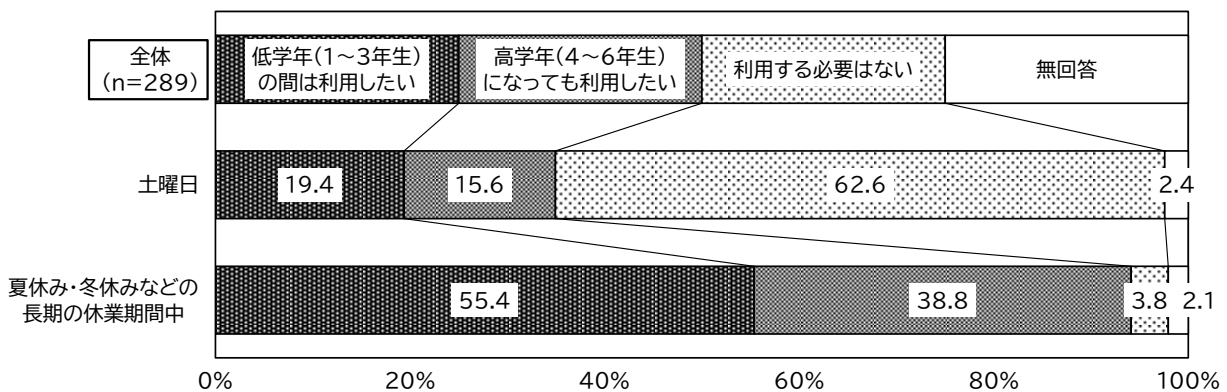
(3)土曜日、長期の休業期間中の学童クラブ等の利用意向(問 25(1))

来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人に、土曜日や長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向をたずねた。土曜日は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 19.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 15.6%であり、合計すると利用を希望する人は 35.0%となっている。長期の休業期間中は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 55.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 38.8%であり、合計すると利用を希望する人は 89.2%となっている。

利用を希望する人のうち、土曜日に利用したい人の利用希望時間帯は、9時台から 14 時台が 90.0%以上となっている。長期の休業期間中に利用したい人の利用希望時間帯は、9時台から 16 時台が 90.0%以上となっている。

土曜日、長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向(全体)

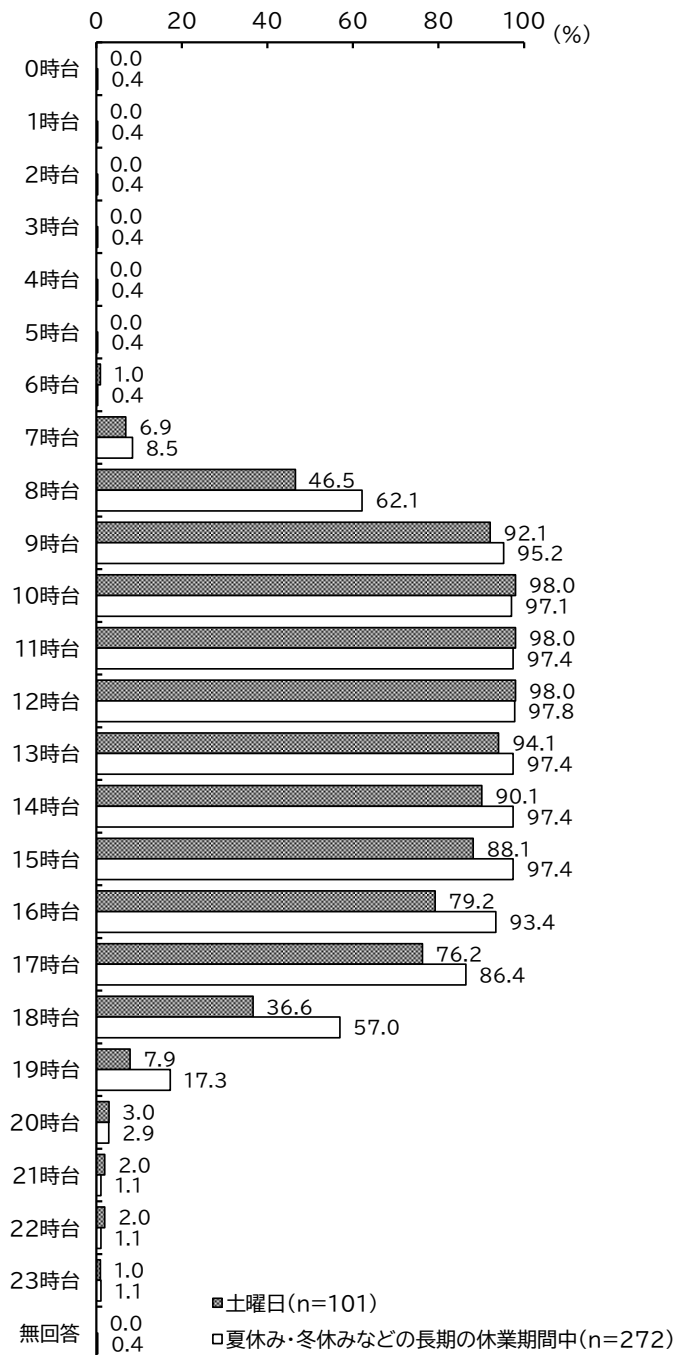
<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人>



第2章 調査結果

土曜日、長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用希望時間帯(全体)

<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人のうち、土曜日に利用したい人>

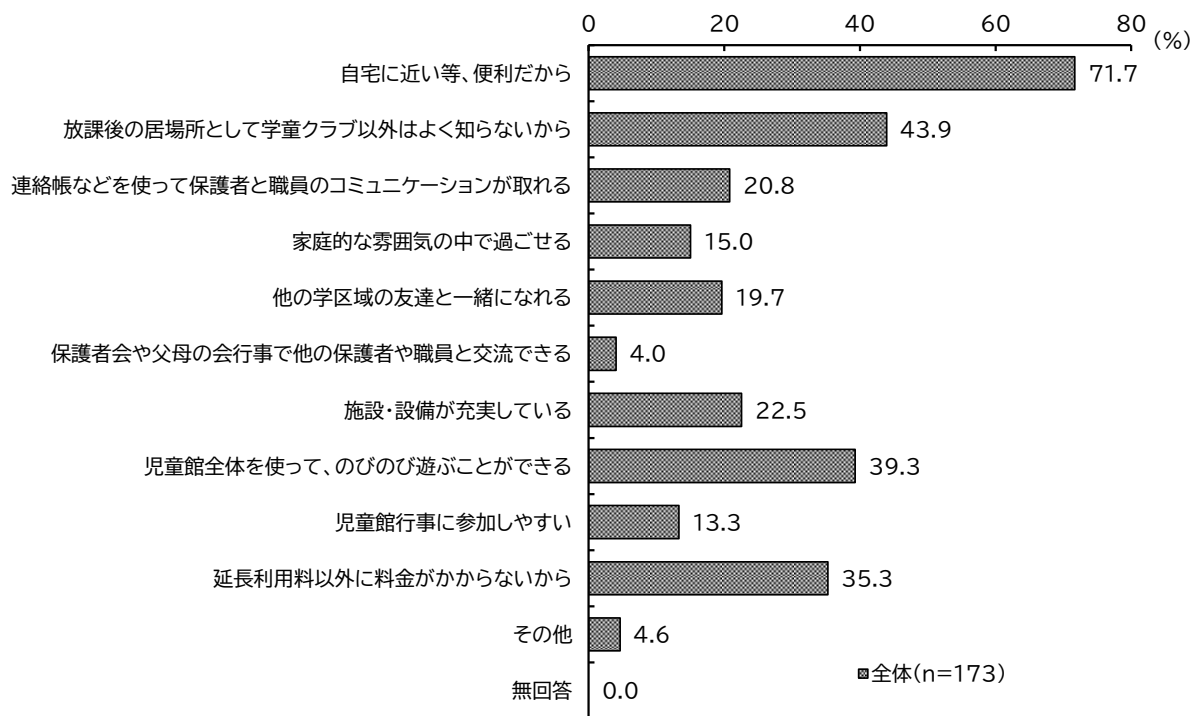


(5)学童クラブを利用したい理由(問 26)

来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、学童クラブの利用を希望する人に、学童クラブを利用したい理由をたずねたところ、「自宅に近い等、便利だから(71.7%)」が最も高く、「放課後の居場所として学童クラブ以外はよく知らないから(43.9%)」、「児童館全体を使って、のびのび遊ぶことができる(39.3%)」が続いている。

学童クラブを利用したい理由(全体):複数回答

<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、学童クラブの利用を希望する人>

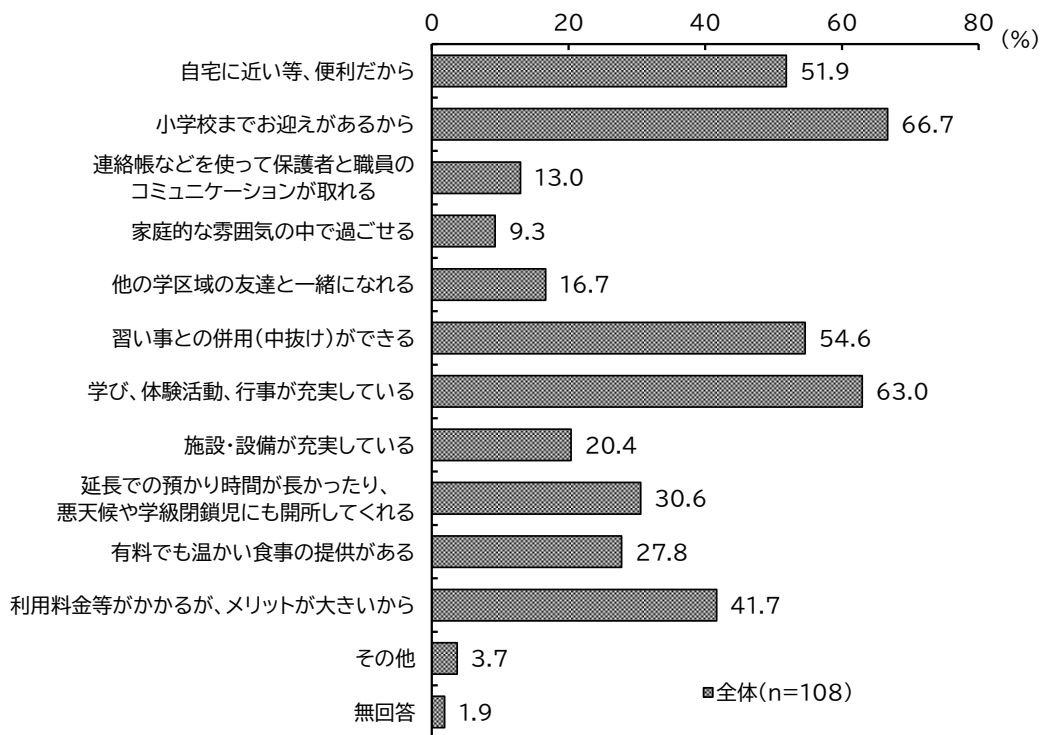


(6) 区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由(問 27)

来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人に、区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由をたずねたところ、「小学校までお迎えがあるから(66.7%)」が最も高く、「学び、体験活動、行事が充実している(63.0%)」、「習い事との併用(中抜け)ができる(54.6%)」が続いている。

区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由(全体):複数回答

<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人>

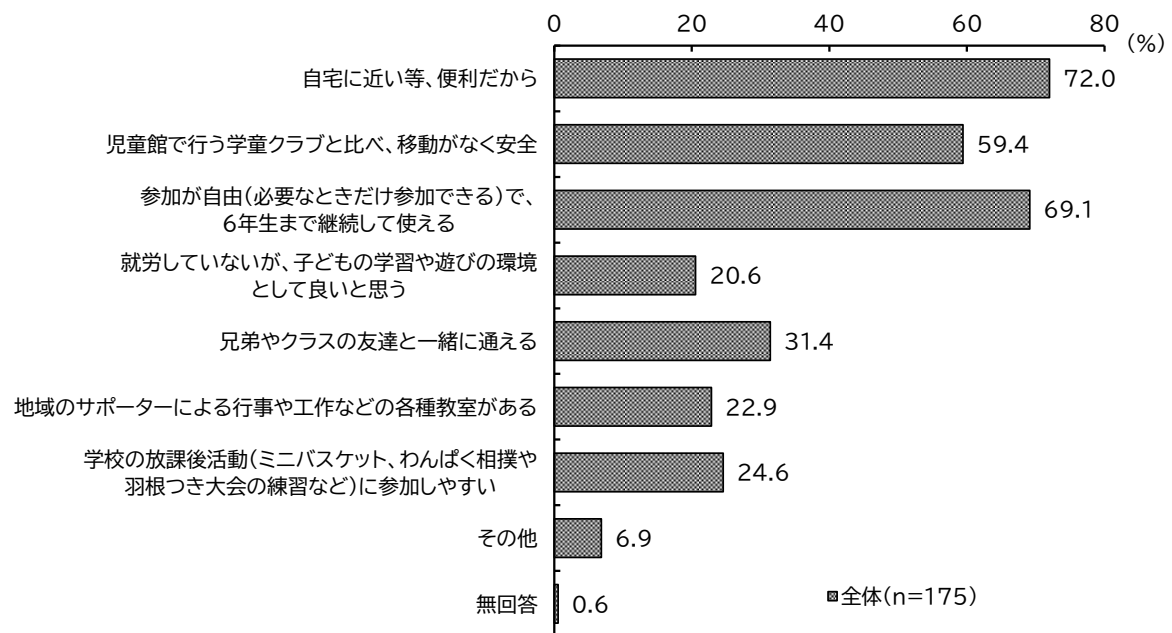


(7)子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由(問 28)

来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、子どもの居場所「プレディ」の利用を希望する人に、子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由をたずねたところ、「自宅に近い等、便利だから(72.0%)」が最も高く、「参加が自由(必要なときだけ参加できる)で、6年生まで継続して使える(69.1%)」、「児童館で行う学童クラブと比べ、移動がなく安全(59.4%)」が続いている。

子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由(全体):複数回答

<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人で、子どもの居場所「プレディ」の利用を希望する人>

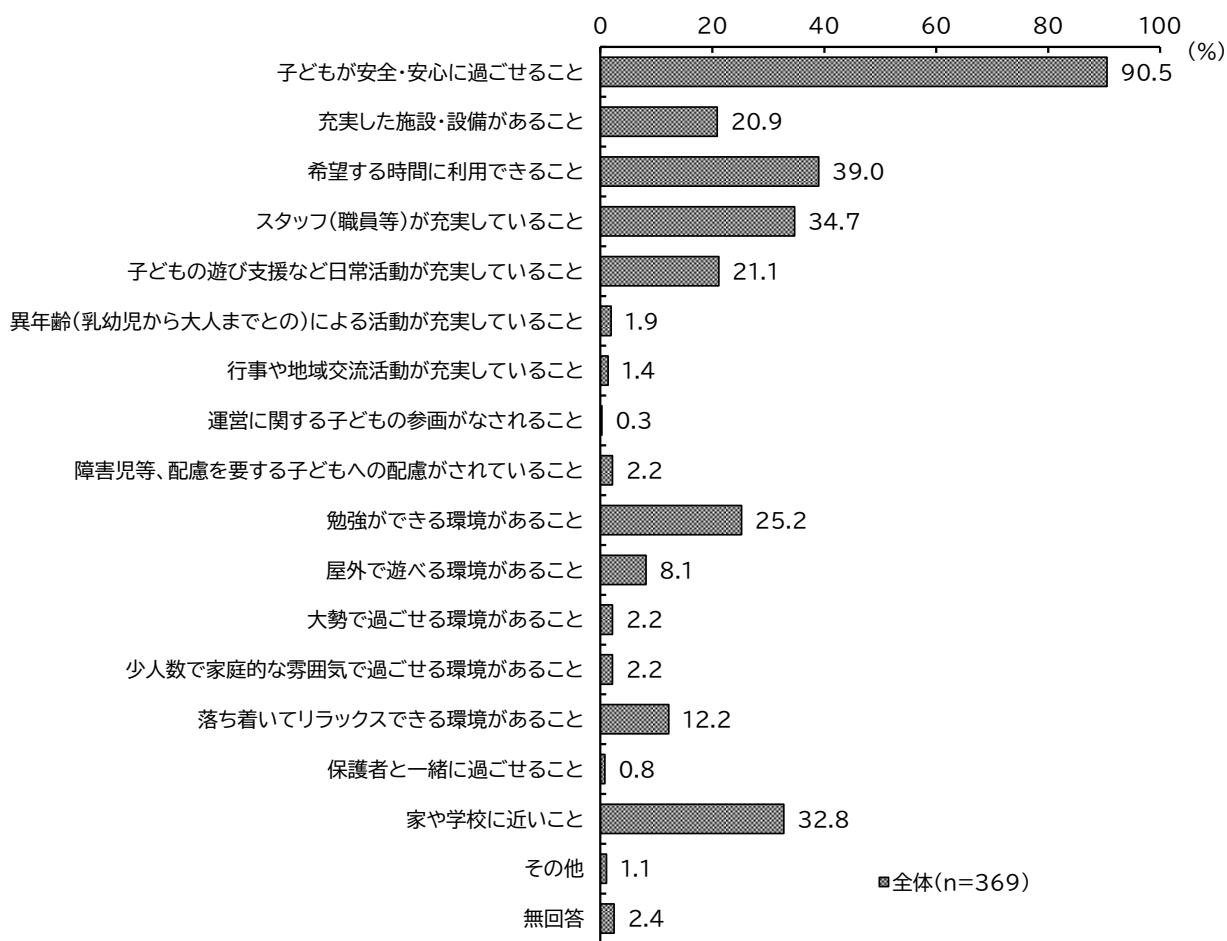


(8)子どもが放課後過ごす場所として重視したいこと(問 29)

子どもが放課後過ごす場所として重視したいことは、「子どもが安全・安心に過ごせること(90.5%)」が9割を超えて最も高く、「希望する時間に利用できること(39.0%)」、「スタッフ(職員等)が充実していること(34.7%)」が続いている。

子どもが放課後過ごす場所として重視したいこと:複数回答(3 つまで)

<来年度小学校に就学予定のお子さんがある人>



10 育児休業の取得状況

(1) 両親の育児休業の取得状況、取得期間、取得していない理由(問 30)

◆ 育児休業の取得状況

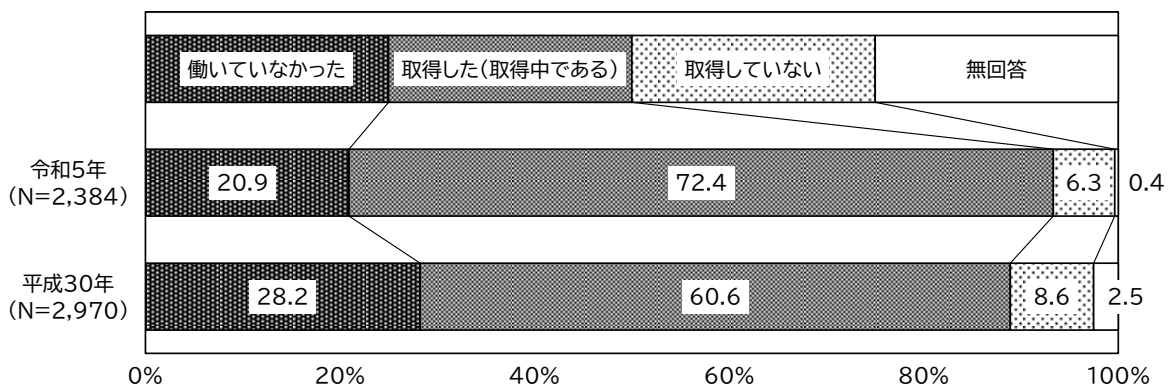
育児休業の取得状況は、母親は「取得した(取得中である)」が 72.4%、「働いていなかった」が 20.9%、「取得していない」が 6.3%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では「取得した(取得中である)(60.6%→72.4%)」の割合が高くなっている。

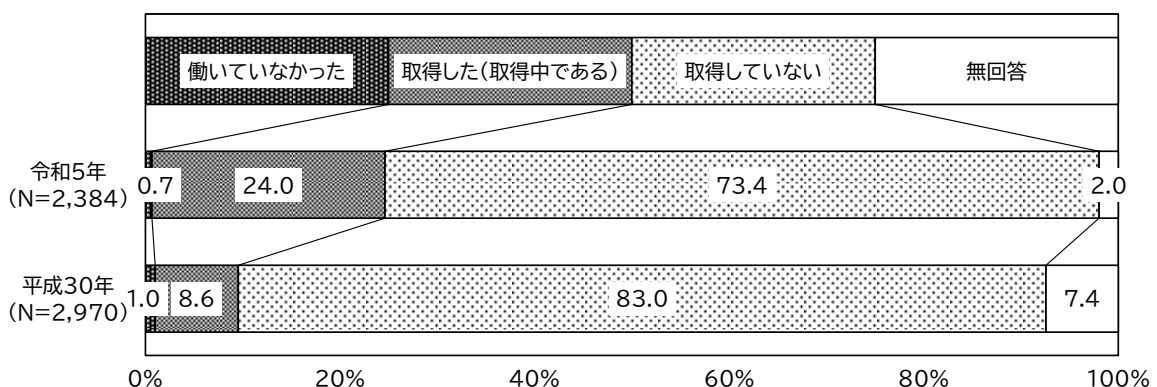
父親は「取得していない」が 73.4%、「取得した(取得中である)」が 24.0%、「働いていなかった」が 0.7%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では「取得した(取得中である)(8.6%→24.0%)」の割合が高くなっている。

育児休業の取得状況(母親)(全体)【経年比較】



育児休業の取得状況(父親)(全体)【経年比較】



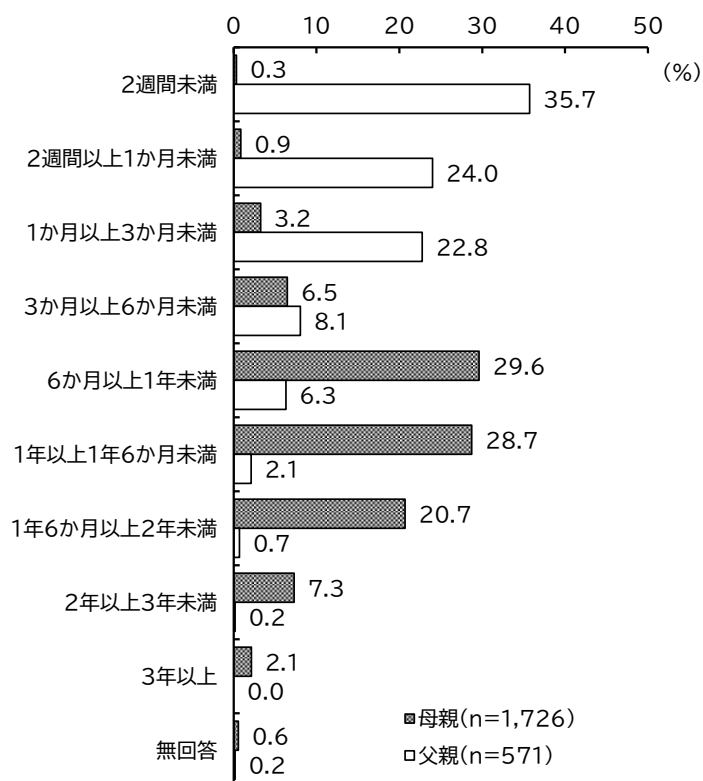
第2章 調査結果

◆育児休業の取得期間

育児休業を取得した(取得中である)人に、育児休業の取得期間をたずねたところ、母親は「6か月以上1年未満(29.6%)」が最も高く、「1年以上1年6か月未満(28.7%)」、「1年6か月以上2年未満(20.7%)」が続いている。

父親は「2週間未満(35.7%)」が最も高く、「2週間以上1か月未満(24.0%)」、「1か月以上3か月未満(22.8%)」が続いている。

育児休業の取得期間(母親、父親)(全体)
 <育児休業を取得した(取得中である)人>



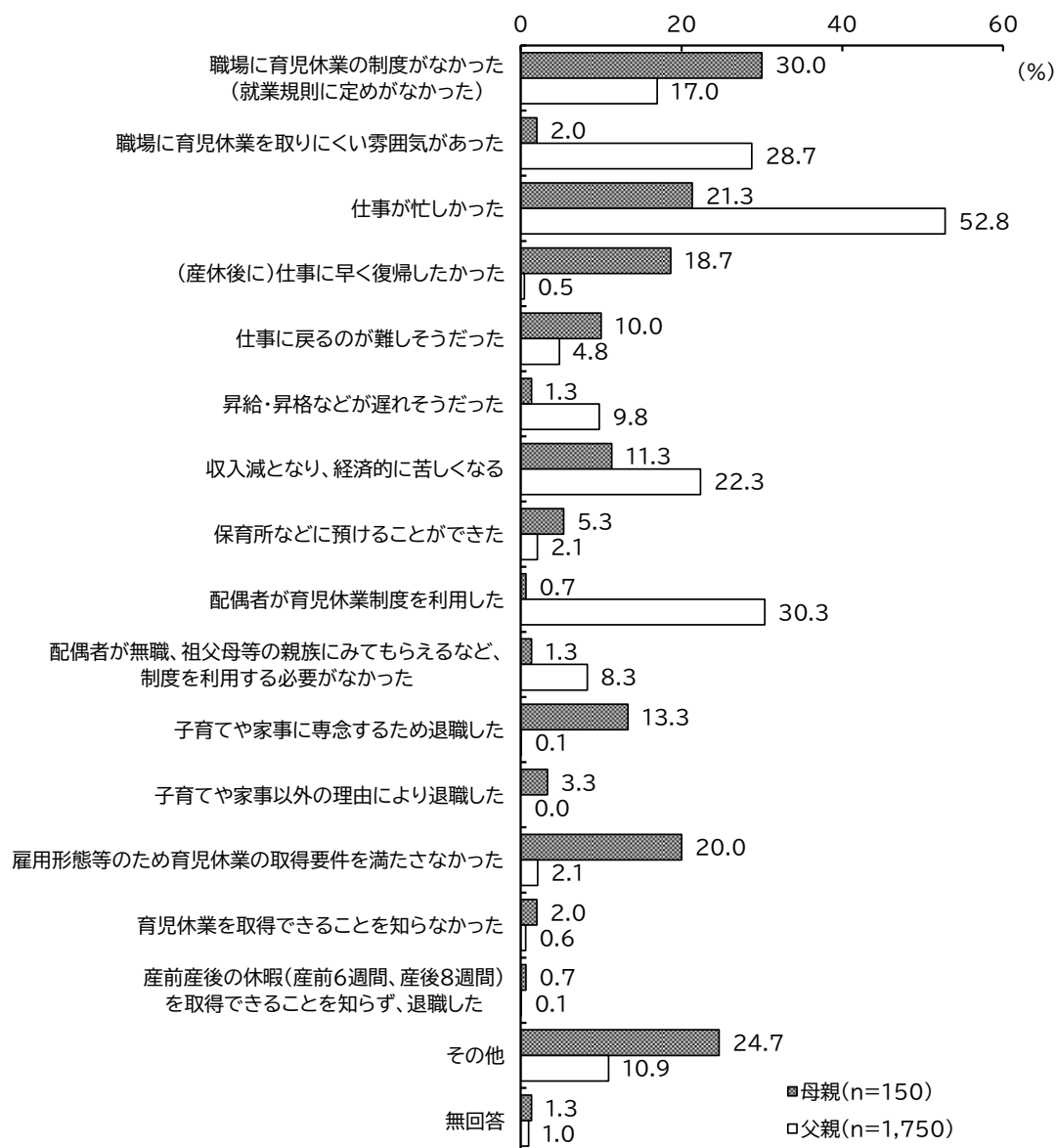
◆育児休業を取得していない理由

育児休業を取得していない人に、育児休業を取得していない理由をたずねたところ、母親は「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)(30.0%)」が最も高く、「仕事が忙しかった(21.3%)」、「雇用形態等のため育児休業の取得要件を満たさなかった(20.0%)」が続いている。

父親は「仕事が忙しかった(52.8%)」が最も高く、「配偶者が育児休業制度を利用した(30.3%)」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(28.7%)」が続いている。

育児休業を取得していない理由(母親、父親)(全体):複数回答

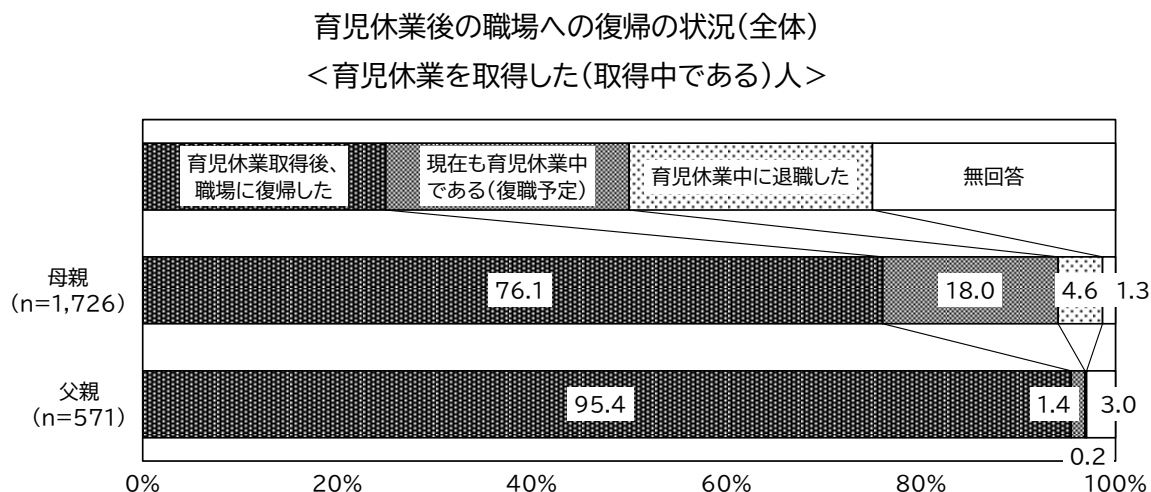
<育児休業を取得していない人>



(2) 育児休業後の職場への復帰の状況(問 30-1)

母親・父親のいずれか、もしくは両方で育児休業を取得した(取得中である)人に、育児休業後の職場への復帰の状況をたずねたところ、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 76.1%、「現在も育児休業中である(復職予定)」が 18.0%、「育児休業中に退職した」が 4.6%となっている。

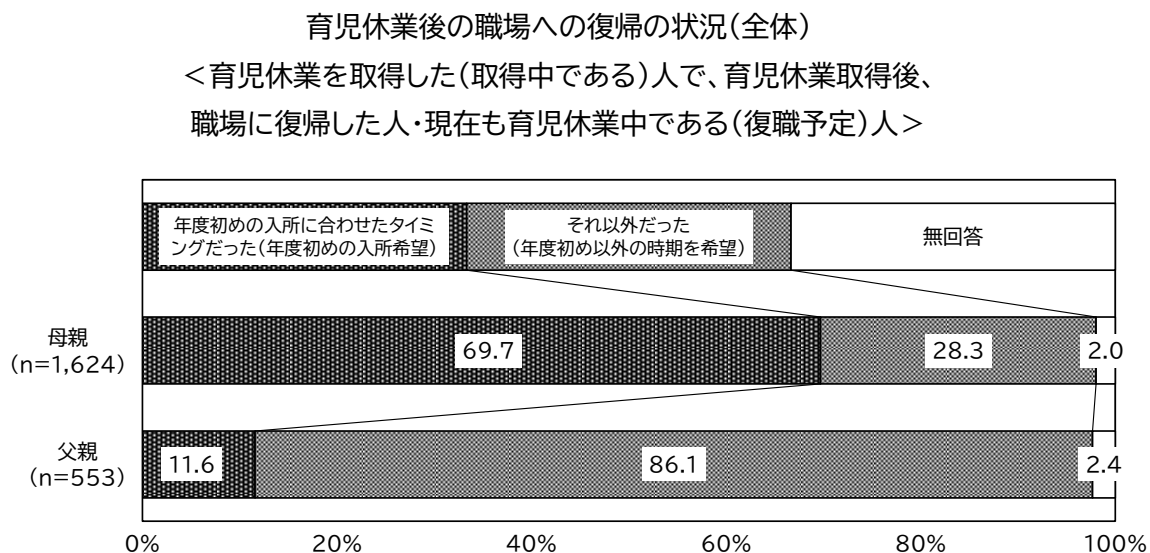
父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 95.4%となっている。



(3) 育児休業後の職場への復帰のタイミング(問 30-2)

育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人に、育児休業後の職場への復帰のタイミングをたずねたところ、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった(年度初めの入所希望)」が 69.7%、「それ以外だった(年度初め以外の時期を希望)」が 28.3%となっている。

父親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった(年度初めの入所希望)」が 11.6%、「それ以外だった(年度初め以外の時期を希望)」が 86.1%となっている。



(4) 育児休業後の職場への復帰時期(実際と希望)(問 30-3)

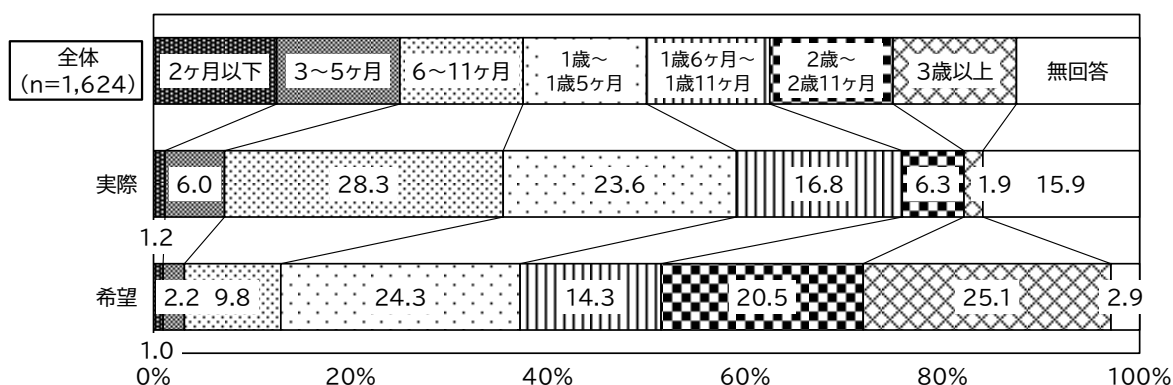
育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人に、育児休業後の職場への復帰の実際の時期と希望する時期をたずねたところ、母親の実際の時期は「6～11ヶ月(28.3%)」が最も高く、「1歳～1歳5ヶ月(23.6%)」、「1歳6ヶ月～1歳11ヶ月(16.8%)」が続いている。希望する時期は「3歳以上(25.1%)」が最も高く、「1歳～1歳5ヶ月(24.3%)」、「2歳～2歳11ヶ月(20.5%)」が続いている。

父親の実際の時期は「2ヶ月以下(54.1%)」が最も高く、「3～5ヶ月(17.2%)」、「6～11ヶ月(14.5%)」が続いている。希望する時期は「2ヶ月以下(22.4%)」が最も高く、「1歳～1歳5ヶ月(21.0%)」、「6～11ヶ月(19.5%)」が続いている。

育児休業後の職場への復帰時期の実際と希望の乖離状況をみると、母親では「実際<希望」が52.0%、「実際=希望」が21.6%、「実際>希望」が8.3%となっている。父親では「実際<希望」が56.1%、「実際=希望」が33.8%、「実際>希望」が2.5%となっている。

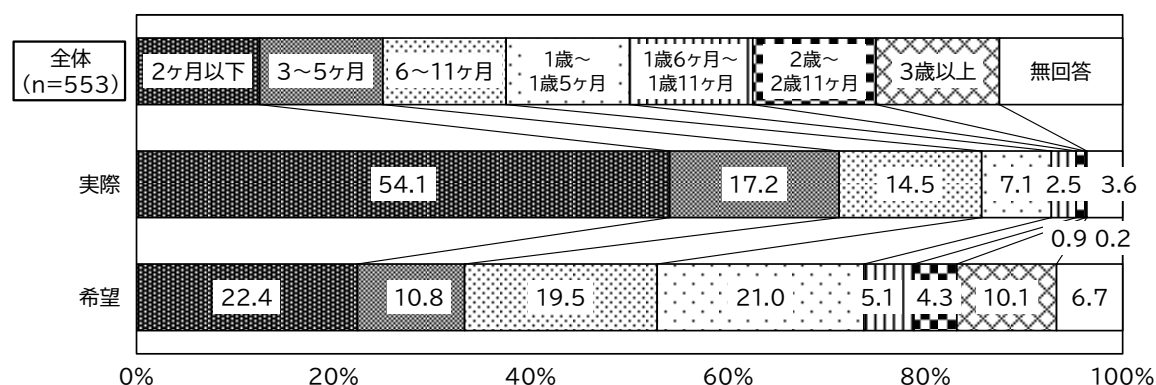
育児休業後の職場への復帰の実際の時期と希望する時期(母親)(全体)

<育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人>



育児休業後の職場への復帰の実際の時期と希望する時期(父親)(全体)

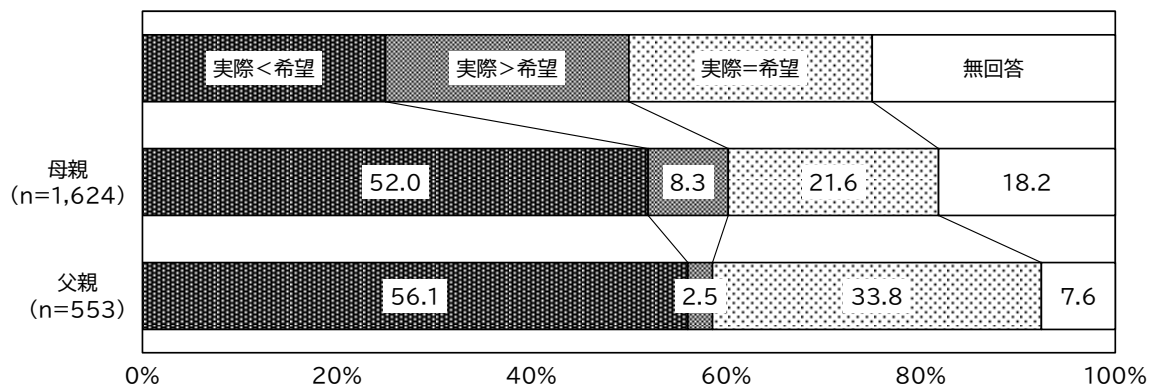
<育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人>



第2章 調査結果

育児休業後の職場への復帰時期の実際と希望の乖離状況(母親、父親)(全体)

<育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人>



(5)職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる理由(問 30-4)

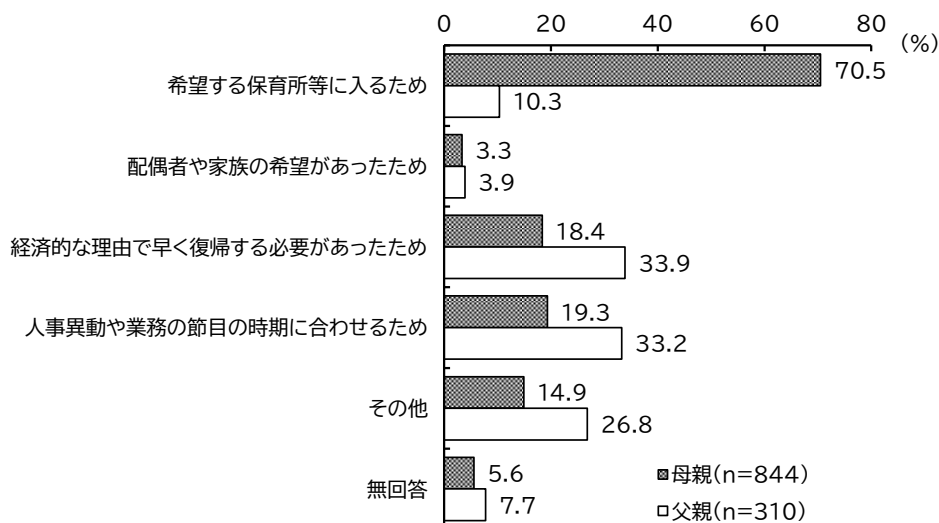
◆希望より「早く」復帰した理由

育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人のうち職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる人に、希望より「早く」復帰した理由をたずねたところ、母親は「希望する保育所等に入るため(70.5%)」が7割を超えて最も高く、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため(19.3%)」、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため(18.4%)」が続いている。

父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があったため(33.9%)」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため(33.2%)」がいずれも3割台となっている。

希望より「早く」復帰した理由(全体):複数回答

<育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人のうち職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる人>



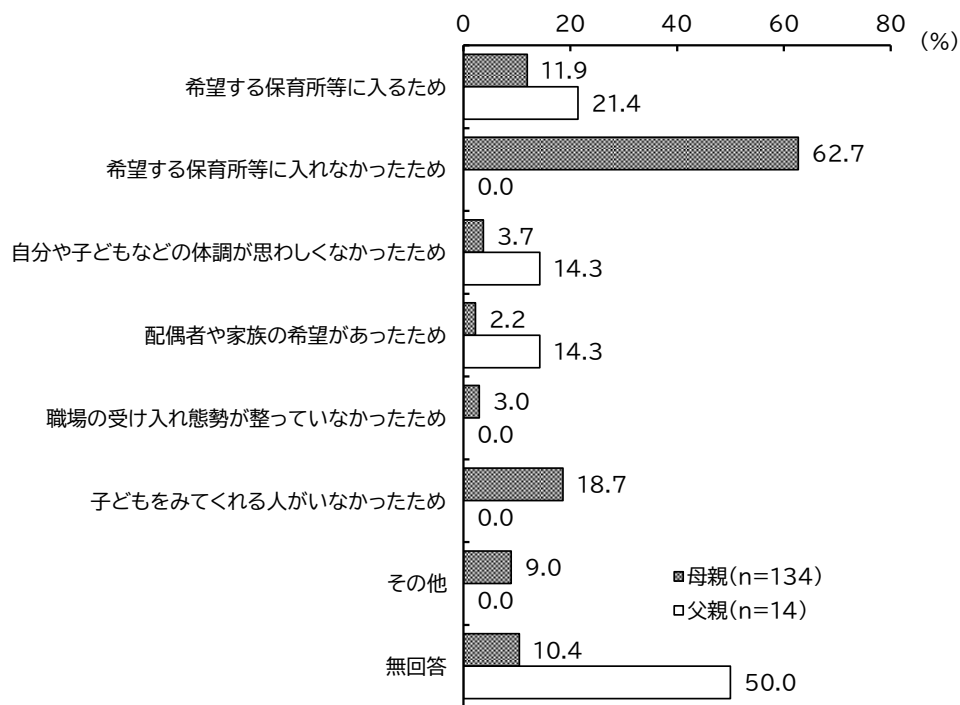
◆希望より「遅く」復帰した理由

育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人のうち職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる人に、希望より「遅く」復帰した理由をたずねたところ、母親は「希望する保育所等に入れなかったため(62.7%)」が6割台で最も高く、「子どもをみてくれる人がいなかったため(18.7%)」、「希望する保育所等に入るため(11.9%)」が続いている。

父親(14人)は「希望する保育所等に入るため(21.4%)」が最も高く、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため(14.3%)」と「配偶者や家族の希望があったため(14.3%)」が同率で続いている。

希望より「遅く」復帰した理由(全体):複数回答

<育児休業を取得した(取得中である)人で、育児休業取得後、職場に復帰した人・現在も育児休業中である(復職予定)人のうち職場復帰の実際の時期と希望する時期が異なる人>

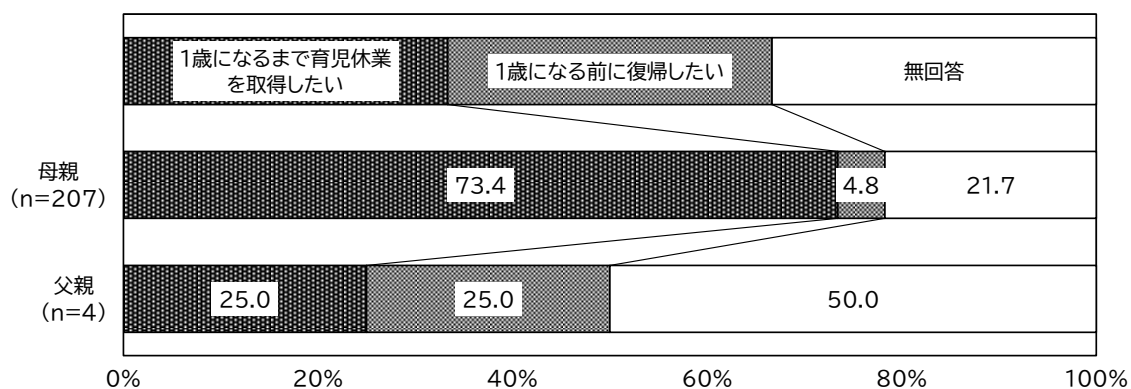


(6)子どもを必ず預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得について(問 30-5)

育児休業を取得した(取得中である)人でお子さんが1歳未満の人に、子どもを必ず預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得についてたずねたところ、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が73.4%、「1歳になる前に復帰したい」が4.8%となっている。

父親(4人)は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が25.0%、「1歳になる前に復帰したい」が25.0%となっている。

子どもを必ず預けられる施設がある場合の1歳までの育児休業の取得について(全体)

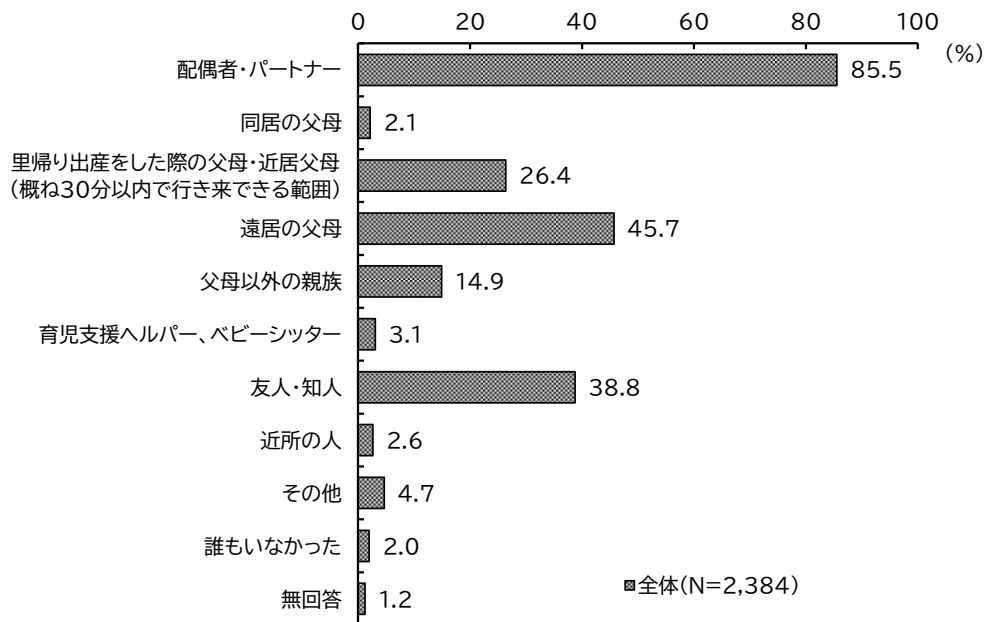


11 妊娠中・産後の状況

(1) 妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人(問 31)

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人は、「配偶者・パートナー(85.5%)」が最も高く、「遠居の父母(45.7%)」、「友人・知人(38.8%)」、「里帰り出産をした際の父母・近居父母(概ね30分以内で行き来できる範囲)(26.4%)」が続いている。

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人(全体):複数回答

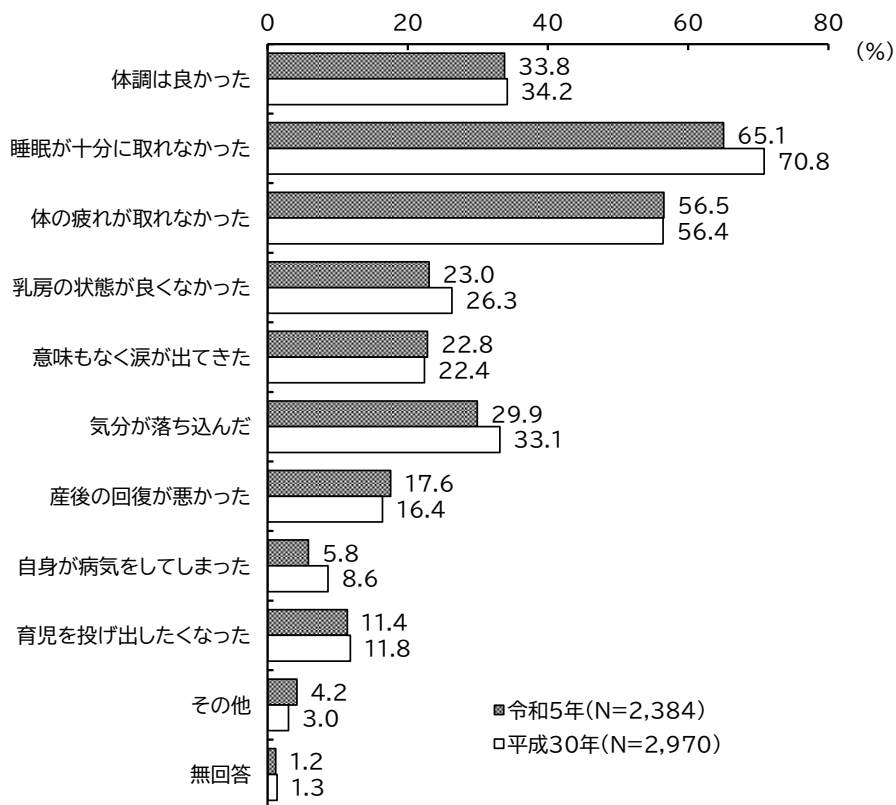


(2)産後の母親の身体面、精神面の体調(問 32)

産後の母親の身体面、精神面の体調は、「睡眠が十分に取れなかった(65.1%)」が最も高く、「体の疲れが取れなかった(56.5%)」、「体調は良かった(33.8%)」が続いている。

平成30年調査においても上位の項目は同様であり、「睡眠が十分に取れなかった(70.8%)」が最も高く、「体の疲れが取れなかった(56.4%)」、「体調は良かった(34.2%)」が続いている。

産後の母親の身体面、精神面の体調(全体):複数回答【経年比較】

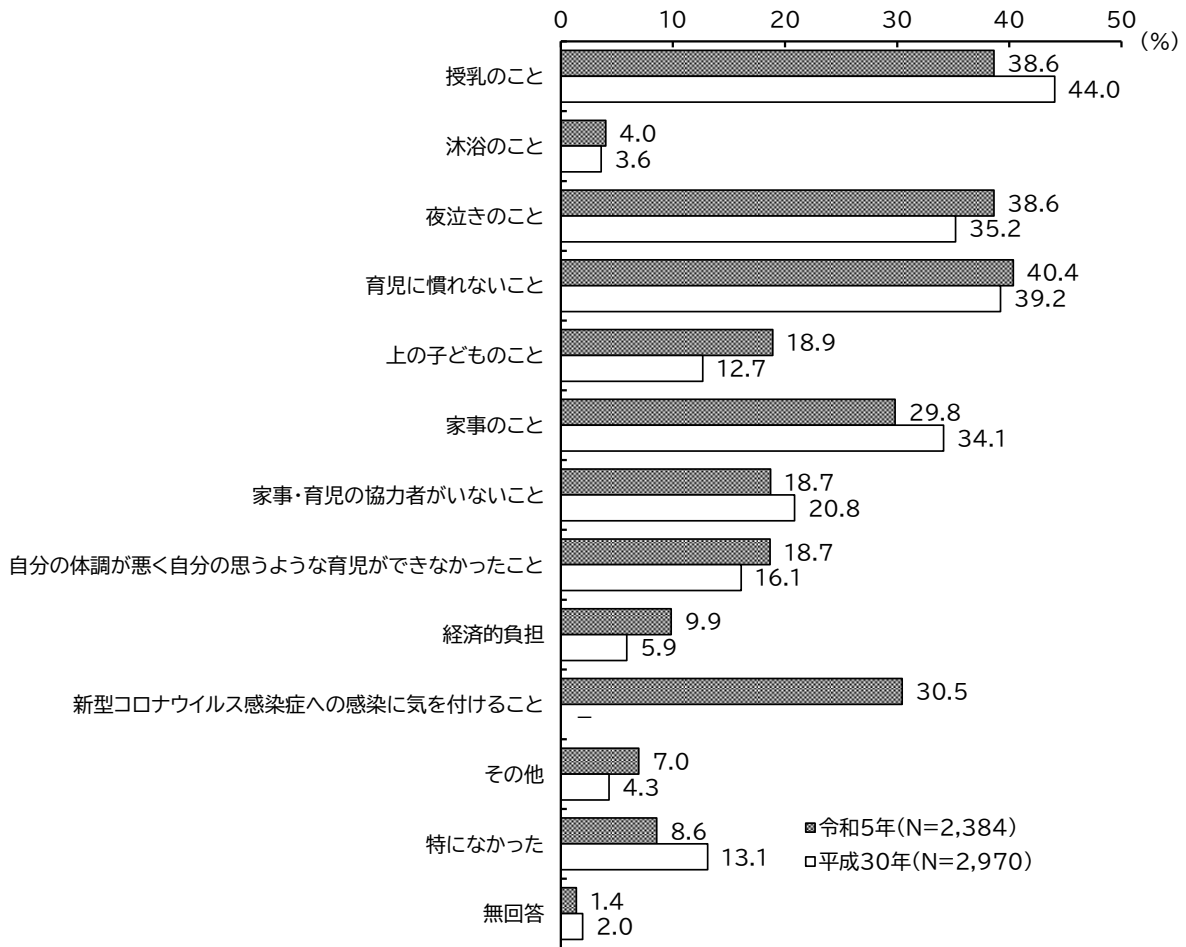


(3)産後の育児に関して困ったことやつらかったこと(問 33)

産後の育児に関して困ったことやつらかったことは、「育児に慣れないこと(40.4%)」が最も高く、「授乳のこと(38.6%)」と「夜泣きのこと(38.6%)」が同率で続いている。

平成30年調査では、「授乳のこと(44.0%)」が最も高く、「育児に慣れないこと(39.2%)」、「夜泣きのこと(35.2%)」が続いている。

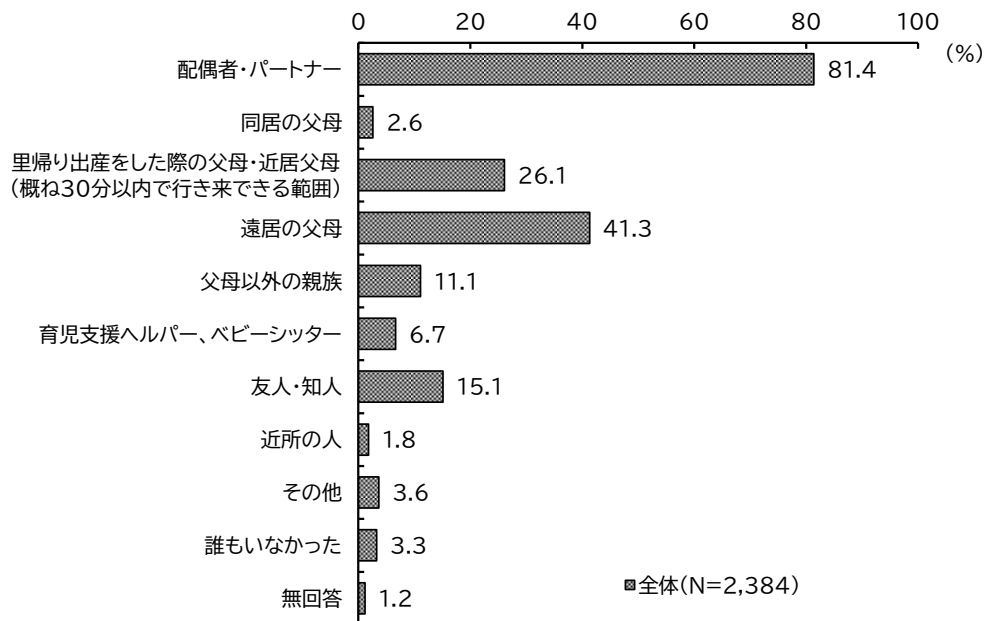
産後の育児に関して困ったことやつらかったこと(全体):複数回答【経年比較】



(4) 出産直後に子どもの子育てや家事を助けてくれたと感じる人(問 34)

出産直後に子どもの子育てや家事を助けてくれたと感じる人は、「配偶者・パートナー(81.4%)」が最も高く、「遠居の父母(41.3%)」、「里帰り出産をした際の父母・近居父母(概ね30分以内で行き来できる範囲)(26.1%)」が続いている。

出産直後に子どもの子育てや家事を助けてくれたと感じる人(全体):複数回答



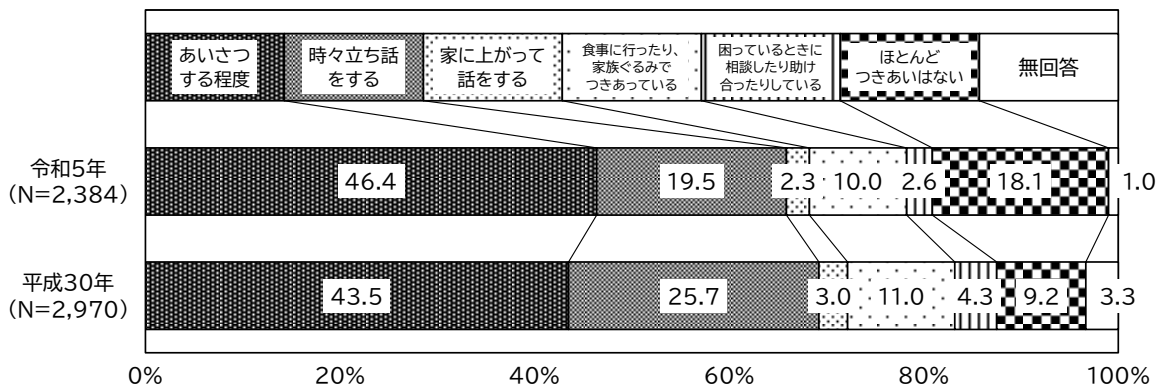
12 地域における子育て

(1)近所づきあいの程度(問 35)

近所づきあいの程度は、「あいさつする程度(46.4%)」が最も高く、「時々立ち話をする(19.5%)」、「ほとんどつきあいはない(18.1%)」が続いている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では「ほとんどつきあいはない(9.2%→18.1%)」の割合が高くなっている。

近所づきあいの程度(全体)【経年比較】



子どもの年齢別にみると、0歳で「ほとんどつきあいはない(30.9%)」が約3割で高くなっている。4歳、5歳で「時々立ち話をする」が2割台で高くなっている。

居住地域別にみると、月島地域では「食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている(12.2%)」と、「ほとんどつきあいはない(20.0%)」が、他の地域に比べて高くなっている。

近所づきあいの程度(全体、子どもの年齢別、居住地域別)

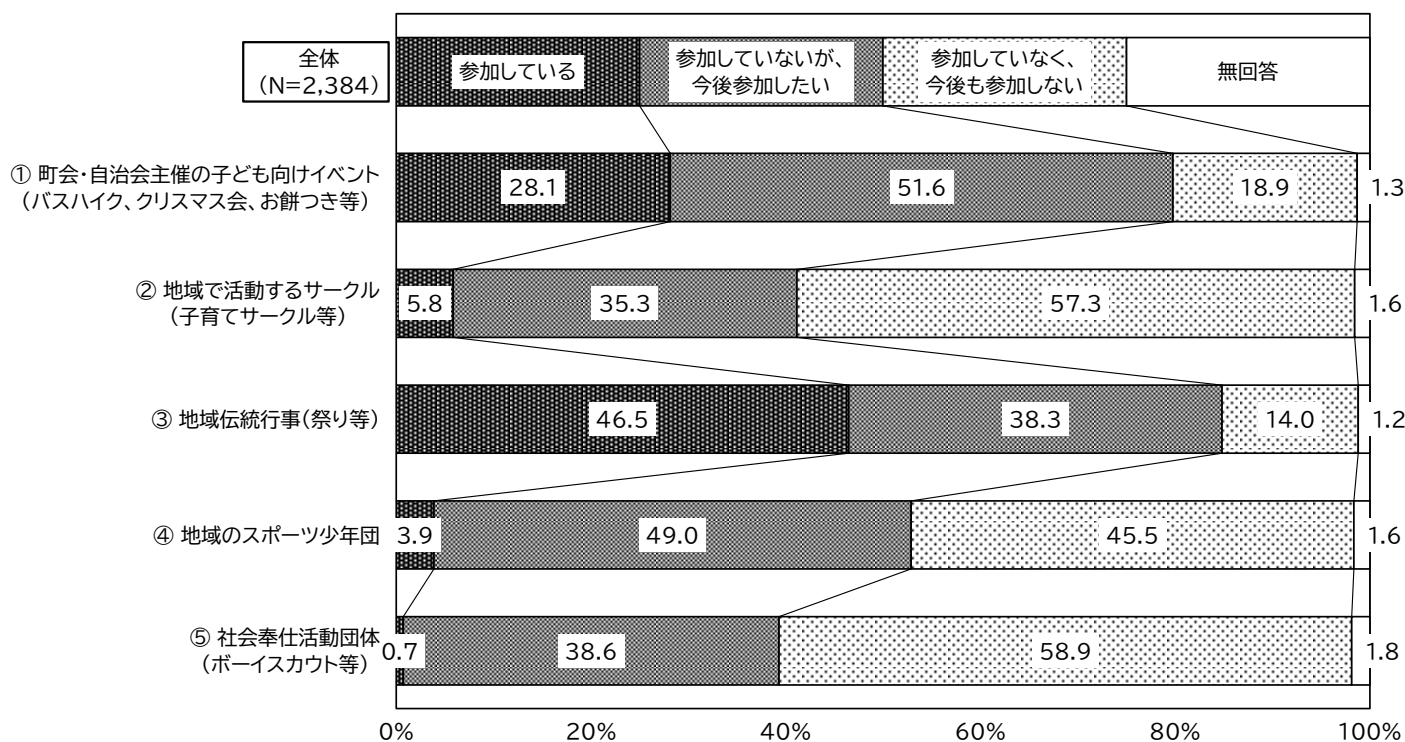
		あいさつする程度	時々立ち話をする	家に上がって話をする	食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている	困っているときに相談したり助け合ったりしている	ほとんどつきあいはない	無回答
全 体 (N=2,384)		46.4	19.5	2.3	10.0	2.6	18.1	1.0
子どもの年齢別	0 歳 (n= 418)	43.1	13.9	3.3	5.7	2.2	30.9	1.0
	1 歳 (n= 400)	49.3	15.8	0.0	9.8	1.5	23.0	0.8
	2 歳 (n= 411)	49.9	18.2	3.4	8.3	1.2	18.0	1.0
	3 歳 (n= 390)	46.7	19.2	2.8	12.3	3.6	15.1	0.3
	4 歳 (n= 378)	41.8	25.7	2.4	11.4	3.4	13.2	2.1
	5 歳 (n= 369)	48.0	25.2	2.2	12.7	4.1	6.8	1.1
居住地域別	京橋地域 (n= 564)	47.2	19.5	3.9	9.4	2.5	16.7	0.9
	日本橋地域 (n= 805)	52.9	19.3	1.5	7.5	1.2	16.8	0.9
	月島地域 (n=1,007)	40.9	19.7	2.2	12.2	3.9	20.0	1.2

(2)地域の行事や組織への参加状況・参加意向(問 36)

地域の行事や組織への参加状況・参加意向について、「参加している」の割合は、『③ 地域伝統行事(祭り等)(46.5%)』で最も高く、『① 町会・自治会主催の子ども向けイベント(バスハイク、クリスマス会、お餅つき等)(28.1%)』、『② 地域で活動するサークル(子育てサークル等)(5.8%)』が続いている。

「参加していないが、今後参加したい」の割合は、『① 町会・自治会主催の子ども向けイベント(バスハイク、クリスマス会、お餅つき等)(51.6%)』で最も高く、『④ 地域のスポーツ少年団(49.0%)』が続いている。

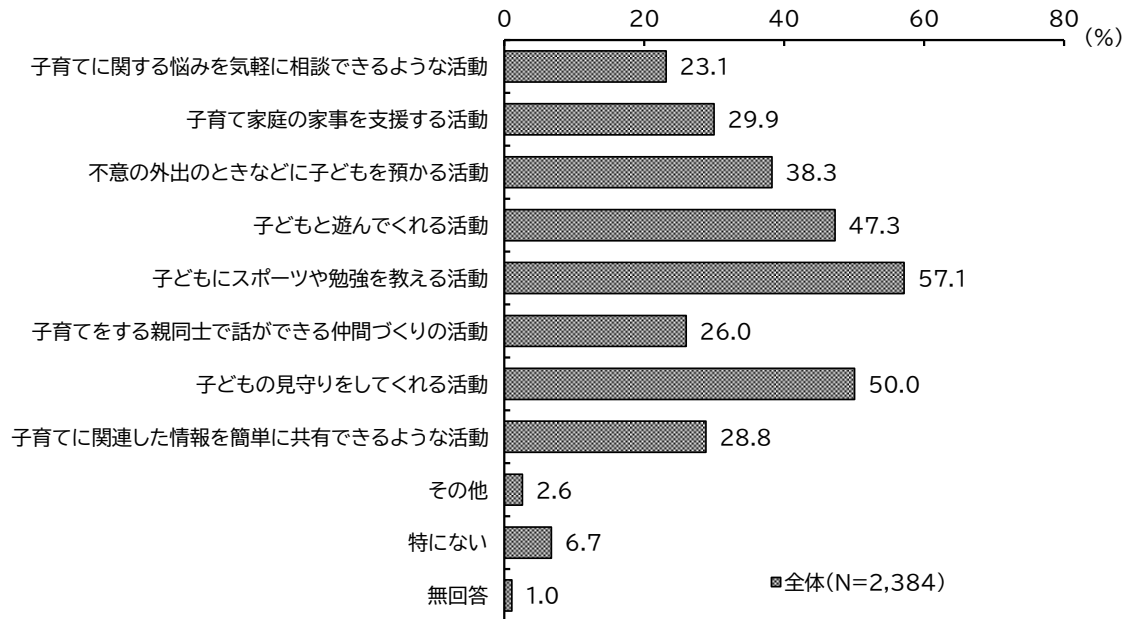
地域の行事や組織への参加状況・参加意向(全体)



(3)期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(問 37)

期待する地域住民による子ども・子育て支援活動は、「子どもにスポーツや勉強を教える活動(57.1%)」が最も高く、「子どもの見守りをしてくれる活動(50.0%)」、「子どもと遊んでくれる活動(47.3%)」が続いている。

期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(全体):複数回答



居住地域別にみると、どの地域においても上位3項目は全体と同様である。

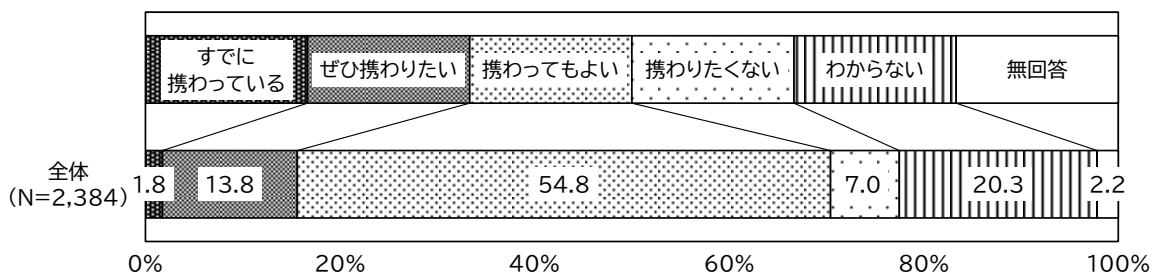
期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(全体、居住地域別):複数回答

		子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動を	子育てで家庭の家事を支援する活動	不意の外出のときなどに子どもを預かる活動	子どもと遊んでくれる活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	子どもの見守りをしてくれる活動	子育てに関連した情報を簡単に共有できるような活動を	その他	特になし	無回答
全	体 (N=2,384)	23.1	29.9	38.3	47.3	57.1	26.0	50.0	28.8	2.6	6.7	1.0
地域別 居住	京橋地域 (n= 564)	23.0	32.1	39.2	47.5	55.1	27.1	51.6	28.4	2.0	7.3	1.1
	日本橋地域 (n= 805)	21.2	28.1	38.5	47.3	57.0	26.5	49.4	28.7	3.1	5.6	1.0
	月島地域 (n=1,007)	24.7	30.2	37.7	46.9	58.2	24.9	49.9	29.1	2.5	7.3	1.1

(4)地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか (問 38)

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいかたずねたところ、「すでに携わっている」が 1.8%、「ぜひ携わりたい」が 13.8%、「携わってもよい」が 54.8%であり、合計すると、携わる意向がある人は 70.4%となっている。

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか(全体)



居住地域別にみると、どの地域においても携わる意向がある人は7割程度となっている。

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか(全体、居住地域別)

		(%)					
		い す で に 携 わ っ て	ぜ ひ 携 わ り た い	携 わ っ て も よ い	携 わ り た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=2,384)	1.8	13.8	54.8	7.0	20.3	2.2
地 域 別 居 住	京橋地域 (n= 564)	2.1	13.3	55.1	6.6	21.5	1.4
	日本橋地域 (n= 805)	1.6	13.9	55.3	6.0	21.0	2.2
	月島地域 (n=1,007)	1.7	14.1	54.3	8.1	19.3	2.5

13 子育てに関する意識

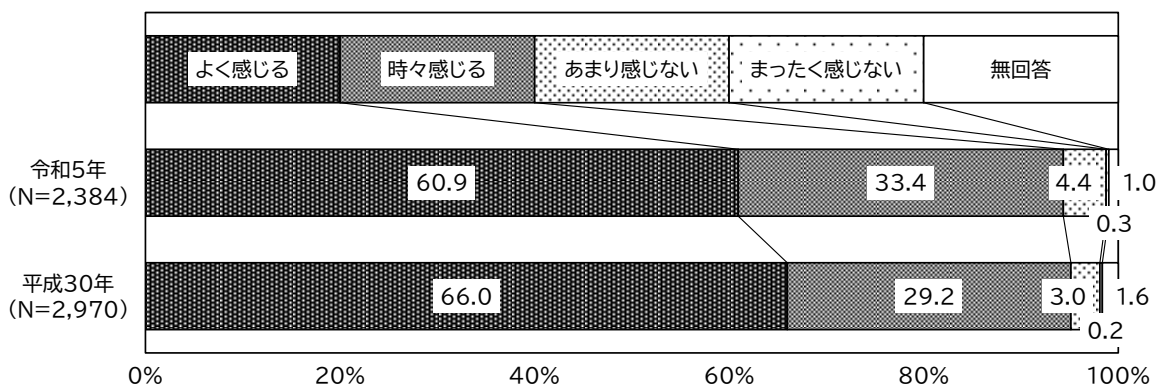
(1) 子育ての感想(問 39)

子育ての感想は、《感じる》(「よく感じる」と「時々感じる」の合計)の割合は、『③ 子どもがいると家庭が明るくなる(98.5%)』、『② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ(98.0%)』、『① 子育てが楽しい(94.3%)』では9割超、『⑤ 自分の時間が取れず自由がない(81.8%)』では8割超、『⑧ 仕事と子育ての両立が難しい(72.5%)』では7割超、『④ 子どものもことでどうして良いかわからなくなる(60.4%)』で6割程度、『⑦ 子育てに負担を感じる(59.8%)』、『⑥ 子育てに不安を感じる(56.6%)』では5割台となっている。

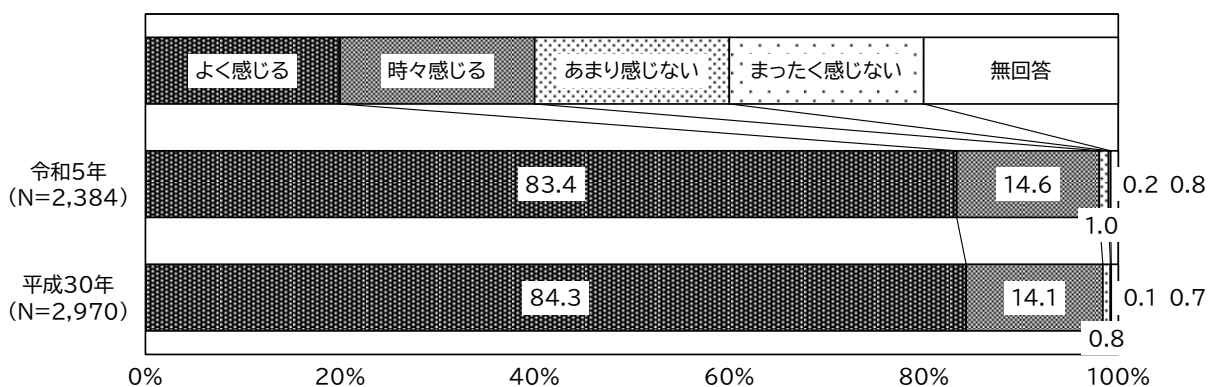
平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では、「よく感じる」の割合が『⑧ 仕事と子育ての両立が難しい(27.0%→35.8%)』で 8.8 ポイント高くなっている。

子育ての感想(全体)【経年比較】

① 子育てが楽しい

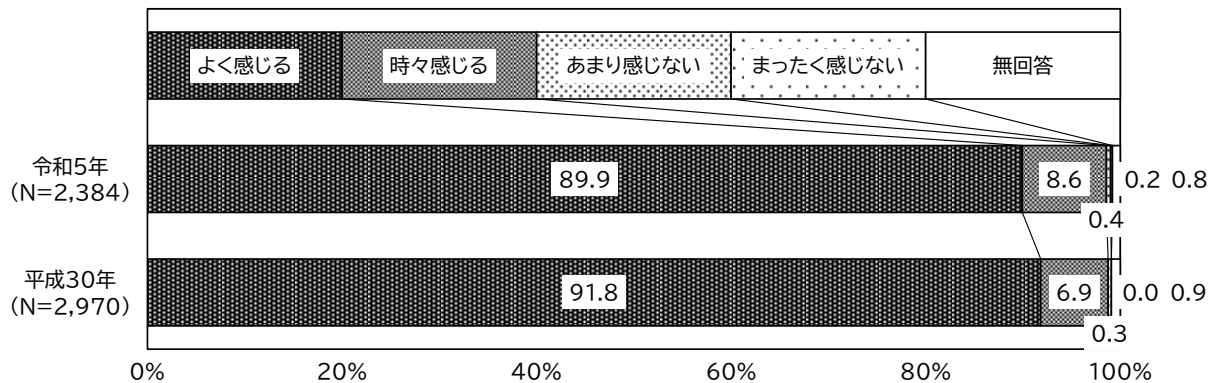


② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ

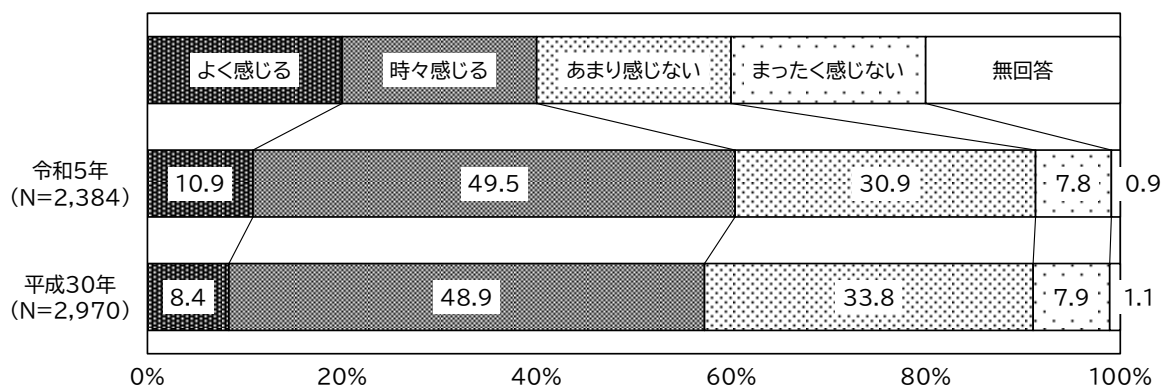


第2章 調査結果

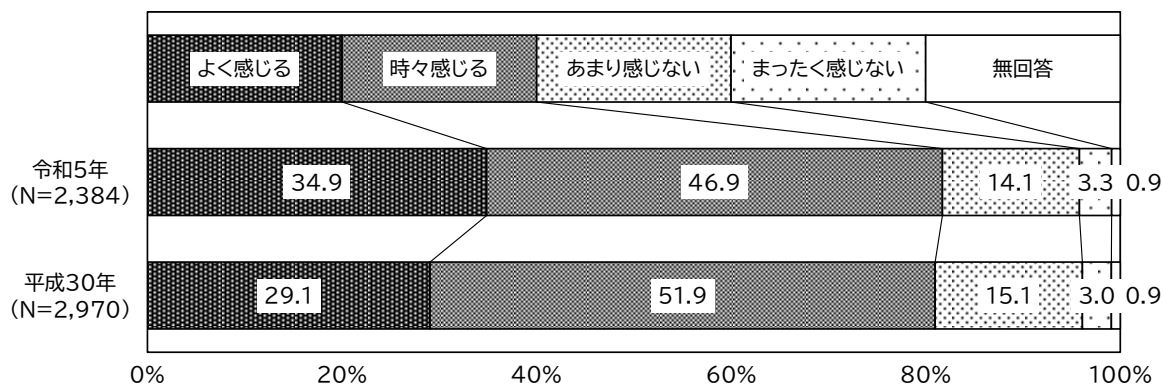
③ 子どもがいると家庭が明るくなる



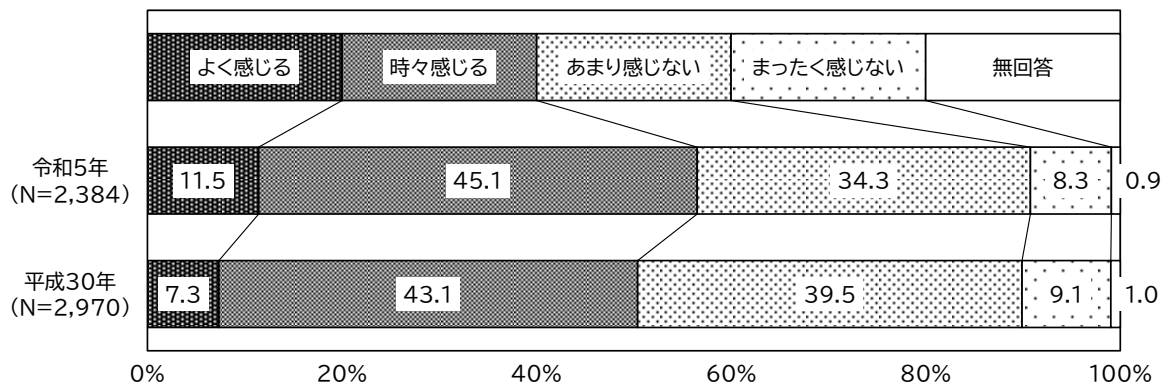
④ 子どものことでどうして良いかわからなくなる



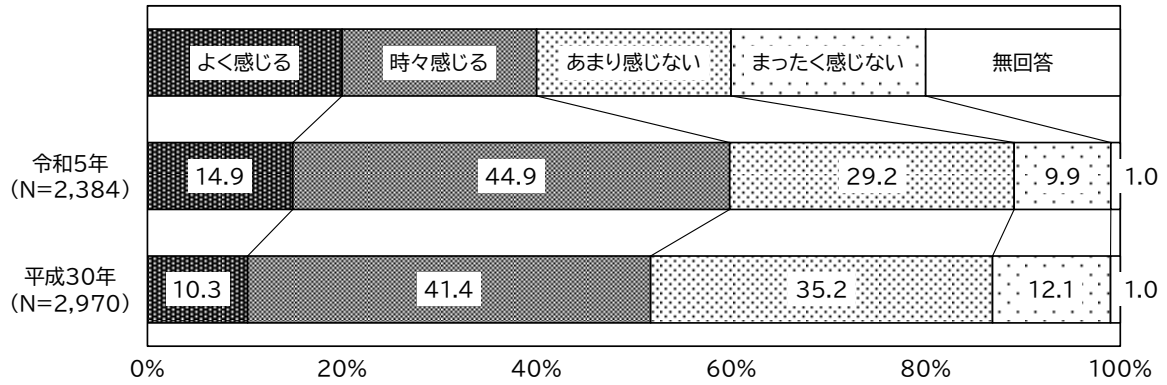
⑤ 自分の時間が取れず自由がない



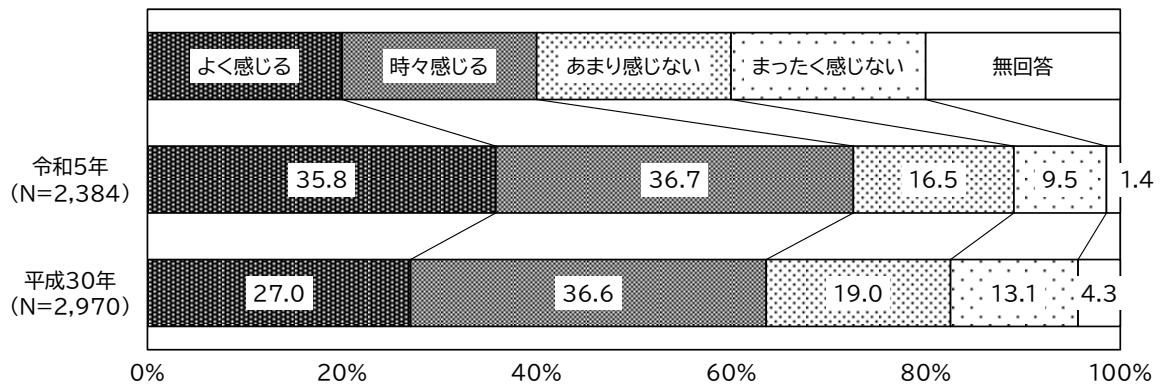
⑥ 子育てに不安を感じる



⑦ 子育てに負担を感じる



⑧ 仕事と子育ての両立が難しい

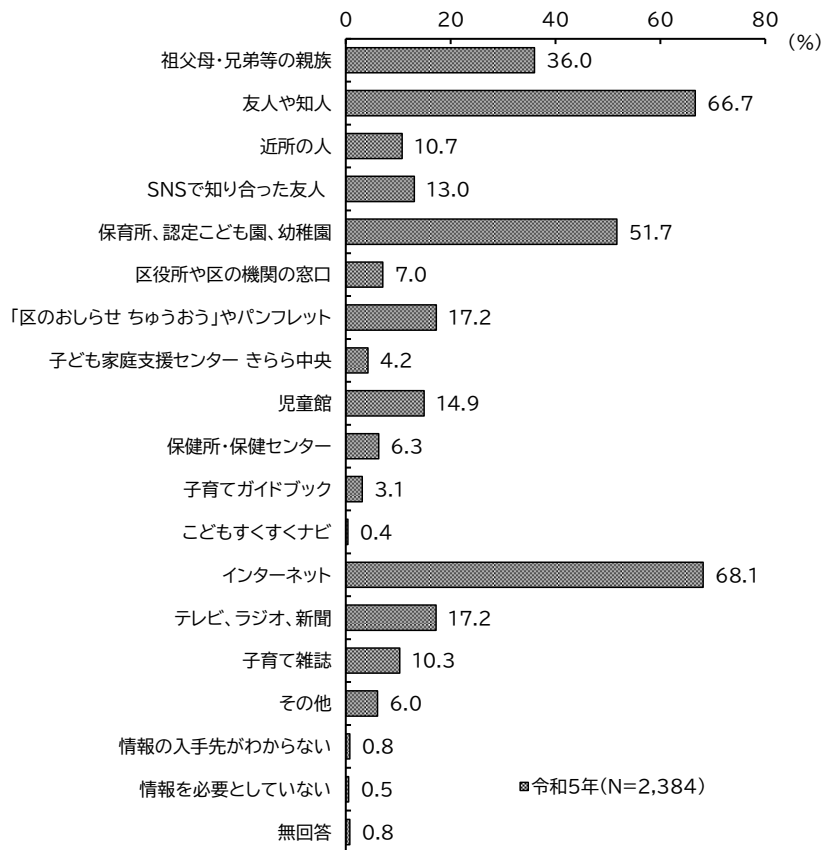


(2)子育てに関する情報の入手先(問 40)

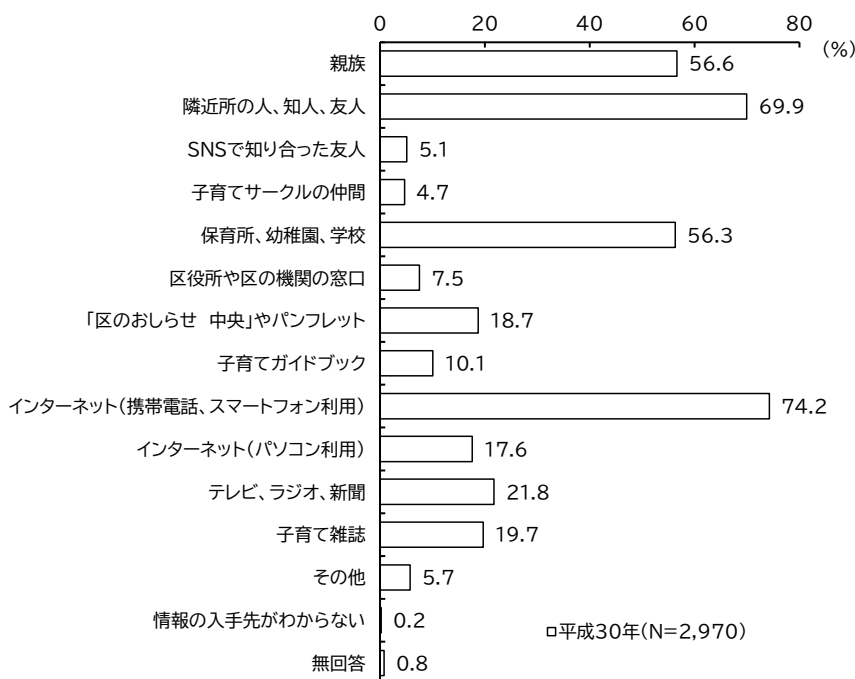
子育てに関する情報の入手先は、「インターネット(68.1%)」が最も高く、「友人や知人(66.7%)」、「保育所、認定こども園、幼稚園(51.7%)」が続いている。「情報の入手先がわからない」は 0.8%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、上位の項目は同様である。

子育てに関する情報の入手先(全体)【令和5年調査】



子育てに関する情報の入手先(全体)【平成 30 年調査】

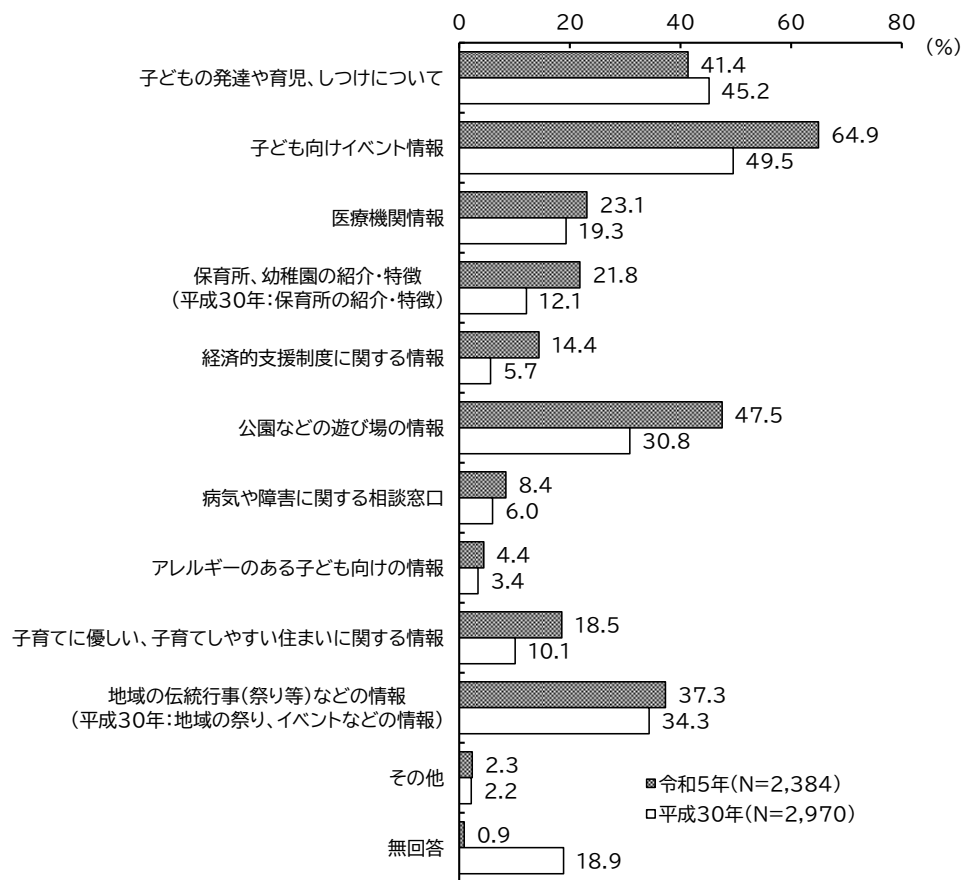


(3)子育てに関してほしい情報(問 41)

子育てに関してほしい情報は、「子ども向けイベント情報(64.9%)」が最も高く、「公園などの遊び場の情報(47.5%)」、「子どもの発達や育児、しつけについて(41.4%)」が続いている。

平成 30 年調査では、「子ども向けイベント情報(49.5%)」が最も高く、「子どもの発達や育児、しつけについて(45.2%)」、「地域の伝統行事(祭り等)などの情報(平成 30 年:地域の祭り、イベントなどの情報)(34.3%)」が続いている。

子育てに関してほしい情報(全体):複数回答(3つまで)【経年比較】



第2章 調査結果

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「子ども向けイベント情報」が最も高くなっている。また、0歳では「保育所、幼稚園の紹介・特徴(38.0%)」が3割台後半で高くなっている。

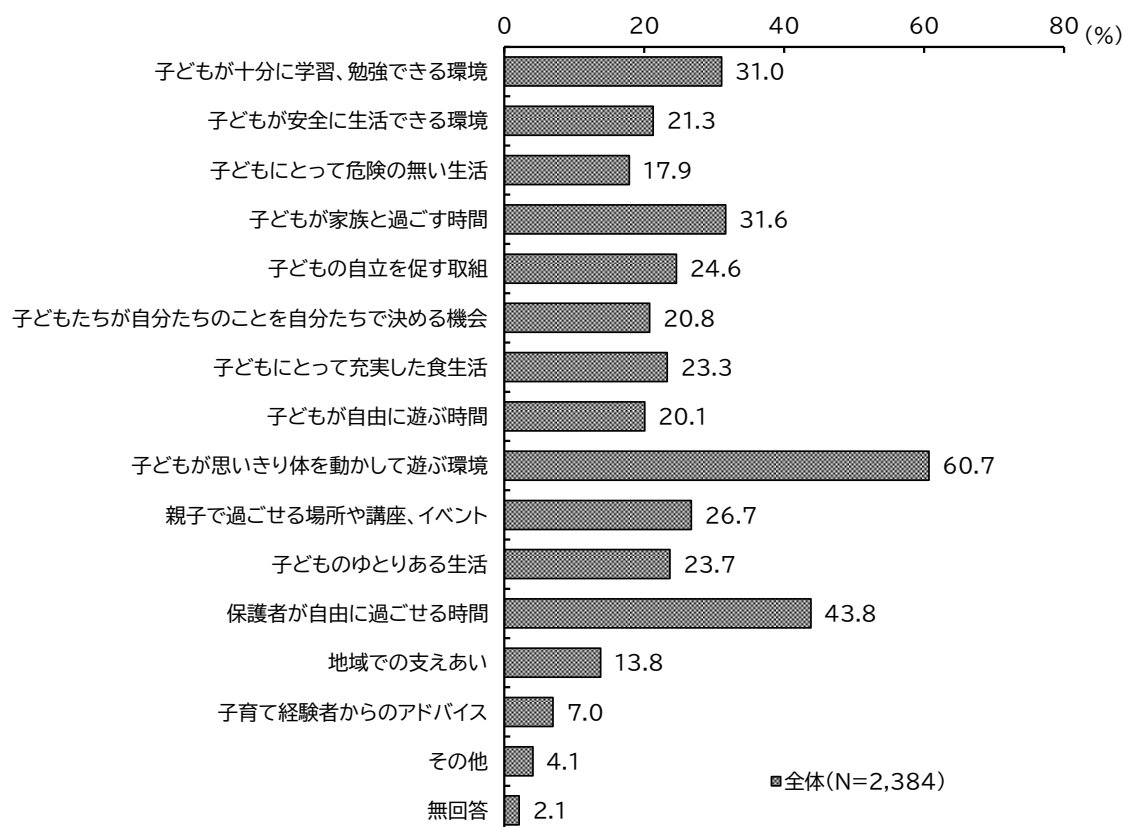
子育てに関してほしい情報(全体、子どもの年齢別):複数回答(3つまで)

		子ども向けの発達や育児、し	子ども向けイベント情報	医療機関情報	特保育所、幼稚園の紹介・	経済的支援制度に関する	公園などの遊び場の情報	病口気や障害に関する相談	向けレギールのある子ども	情報や子育てに優しい住まいに関する	地域(の伝統行事(祭り	その他	無回答
全	体 (N=2,384)	41.4	64.9	23.1	21.8	14.4	47.5	8.4	4.4	18.5	37.3	2.3	0.9
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	49.8	64.8	23.7	38.0	19.4	40.0	10.0	4.8	20.1	25.4	0.7	1.0
	1 歳 (n= 400)	45.3	65.8	22.8	28.5	16.5	51.8	9.0	3.8	21.3	32.5	2.0	0.3
	2 歳 (n= 411)	41.6	61.3	20.9	21.9	13.1	49.1	7.1	4.4	17.3	40.1	2.4	0.5
	3 歳 (n= 390)	40.5	63.8	24.9	14.9	14.1	53.6	8.7	3.8	20.8	41.0	2.1	0.8
	4 歳 (n= 378)	35.7	65.3	24.1	14.8	13.5	45.8	10.8	5.6	15.9	40.7	4.5	1.9
	5 歳 (n= 369)	34.4	68.6	22.8	10.0	9.2	43.9	5.1	4.3	15.4	44.7	2.7	1.1

(4)子育てをする上で足りていないと感じること(問 42)

子育てをする上で足りていないと感じることは、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境(60.7%)」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間(43.8%)」、「子どもが家族と過ごす時間(31.6%)」が続いている。

子育てをする上で足りていないと感じること(全体):複数回答



I 就学前児童保護者調査

子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、0・1歳では「親子で過ごせる場所や講座、イベント」、2歳では「子どもが家族と過ごす時間」、3・4・5歳では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」となっている。

居住地域別にみると、どの地域においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、京橋地域では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、日本橋地域、月島地域では「子どもが家族と過ごす時間」となっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、タイプA、タイプC、タイプC'では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、タイプBでは「子どもが家族と過ごす時間」、タイプDでは「子どもの自立を促す取組」と「親子で過ごせる場所や講座、イベント」が同率となっている。

子育てをする上で足りていないと感じること
(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

		習い事、勉強で十分に学べる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもにとって危険の無い生活	子どもが家族と過ごす時間	取組の自立を促す	子どものことを自分たちで決める機会	子どもたちが充実した食生活	子どもが自由に遊ぶ時間	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	親子で過ごせる場所や講座、イベント	生活のゆとりある	保護者が自由に過ごせる時間	地域での支えあい	子育て経験者からのアドバイス	その他	無回答
全	体 (N=2,384)	31.0	21.3	17.9	31.6	24.6	20.8	23.3	20.1	60.7	26.7	23.7	43.8	13.8	7.0	4.1	2.1
子どもの年齢別	0歳 (n= 418)	26.1	24.4	22.7	28.9	20.1	14.8	21.3	13.4	63.2	35.9	22.0	49.5	14.8	8.4	3.8	2.4
	1歳 (n= 400)	26.8	22.3	19.8	33.8	21.5	17.0	27.3	17.8	62.8	35.0	21.3	46.5	15.5	7.8	4.8	0.8
	2歳 (n= 411)	29.9	17.5	14.4	33.6	22.6	19.7	22.1	21.7	60.1	26.8	22.4	48.7	13.6	6.3	5.1	2.2
	3歳 (n= 390)	36.2	24.9	17.2	35.1	26.4	24.4	26.2	22.3	57.4	24.9	27.2	37.7	14.6	5.9	3.8	2.3
	4歳 (n= 378)	32.8	19.8	17.2	31.2	31.7	25.4	21.2	23.5	59.3	19.8	25.1	40.2	13.2	7.1	3.7	2.9
居住地域別	京橋地域 (n= 564)	30.7	19.0	18.1	29.4	25.2	21.1	22.5	17.2	59.6	23.4	23.9	46.8	13.5	7.1	3.9	2.0
	日本橋地域 (n= 805)	31.6	23.1	18.5	33.4	25.3	18.5	24.5	20.2	66.0	30.3	24.3	42.6	12.5	6.3	4.1	2.0
	月島地域 (n=1,007)	30.9	21.3	17.4	31.7	23.6	22.2	22.9	21.5	57.3	25.8	23.0	43.3	14.9	7.3	4.1	2.3
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	40.3	25.4	16.4	31.3	19.4	16.4	13.4	19.4	71.6	20.9	17.9	41.8	14.9	6.0	6.0	4.5
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	33.4	22.2	18.0	38.0	24.2	20.5	23.4	22.2	63.9	28.0	26.1	44.5	14.7	6.6	3.7	1.3
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	33.0	23.1	17.2	26.7	29.4	25.3	24.4	23.1	56.1	25.8	23.1	47.1	12.7	6.8	2.7	0.9
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	30.6	20.0	21.2	22.4	20.0	27.1	23.5	22.4	49.4	22.4	25.9	37.6	16.5	7.1	1.2	4.7
タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	21.2	17.7	17.9	13.7	25.6	20.0	23.7	10.9	53.0	25.6	15.3	40.9	10.2	7.7	5.8	4.7	

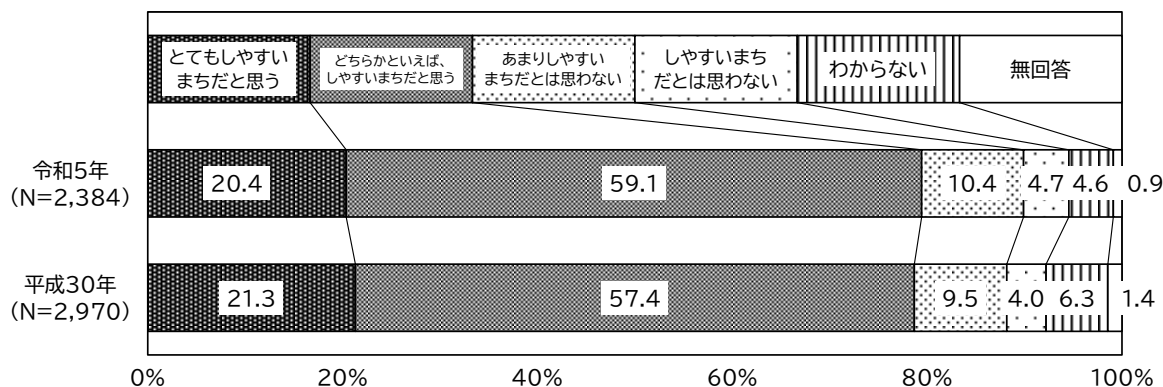
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(5)中央区は子育てしやすいまちか(問 43)

中央区は子育てしやすいまちかたずねたところ、「とてもしやすいまちだと思う」が 20.4%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」が 59.1%であり、合計した《しやすいまちだと思う》は 79.5%となっている。「あまりしやすいまちだとは思わない」が 10.4%、「しやすいまちだとは思わない」が 4.7%であり、合計した《しやすいまちだとは思わない》は 15.1%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、同様の傾向である。

中央区は子育てしやすいまちか(全体)【経年比較】



子どもの年齢別にみると、4歳で「とてもしやすいまちだと思う(23.5%)」が高くなっている。居住地域別にみると、月島地域で「とてもしやすいまちだと思う(22.4%)」が高くなっている。家庭類型別にみると、タイプDで「とてもしやすいまちだと思う(23.3%)」が高くなっている。また、タイプAで「しやすいまちだとは思わない(10.4%)」が高くなっている。

中央区は子育てしやすいまちか(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

		とても 思 う	し ど ち ら か い え ば、 し や す い ま ち だ と 思 う	と あ ま り し や す い ま ち だ と 思 わ な い	し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=2,384)		20.4	59.1	10.4	4.7	4.6	0.9
子 ど も の 年 齢 別	0 歳 (n= 418)	17.5	62.0	11.0	3.1	5.5	1.0
	1 歳 (n= 400)	19.0	59.5	11.8	4.8	4.8	0.3
	2 歳 (n= 411)	20.7	59.6	9.2	5.1	4.4	1.0
	3 歳 (n= 390)	20.3	61.5	9.7	4.1	3.6	0.8
	4 歳 (n= 378)	23.5	55.6	10.6	5.6	3.2	1.6
	5 歳 (n= 369)	21.1	56.1	10.6	5.1	6.2	0.8
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 564)	19.9	58.9	10.1	4.4	5.9	0.9
	日 本 橋 地 域 (n= 805)	18.1	59.6	12.8	4.3	4.3	0.7
	月 島 地 域 (n=1,007)	22.4	58.7	8.8	5.0	4.1	1.0
家 庭 類 型 別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	16.4	53.7	7.5	10.4	7.5	4.5
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	19.8	60.5	10.8	4.3	4.2	0.5
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	19.9	61.1	9.0	3.2	6.3	0.5
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	16.5	57.6	8.2	7.1	8.2	2.4
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	23.3	56.0	10.5	4.7	3.7	1.9

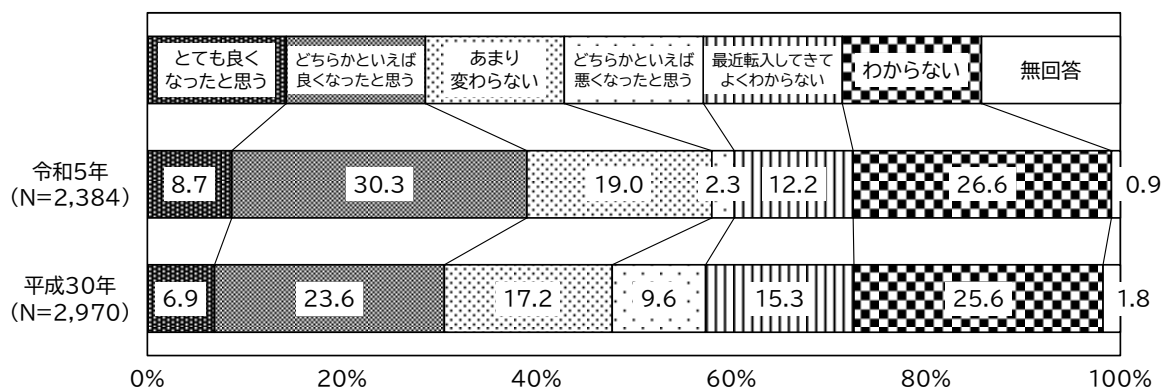
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(6)以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(問 44)

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったかたずねたところ、「とても良くなったと思う」が8.7%、「どちらかといえば良くなったと思う」が30.3%であり、合計した《よくなったと思う》は39.0%となっている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では、《よくなったと思う(30.5%→39.0%)》の割合が高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体)【経年比較】



子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど《よくなったと思う》の割合が高くなり、「最近転入してきてよくわからない」と「わからない」の割合が低くなる傾向にある。

居住地域別にみると、どの地域においても全体と同様の傾向である。

家庭類型別にみると、タイプAで《よくなったと思う(47.8%)》の割合が高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

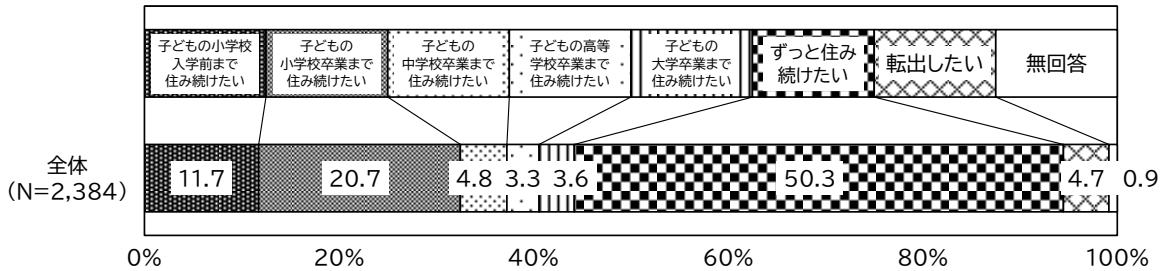
		とても良くなった	どちらかといえば良くなった	あまり変わらない	どちらかといえば悪くなった	よ最近転入してきてよくわからない	わからない	無回答
全	体 (N=2,384)	8.7	30.3	19.0	2.3	12.2	26.6	0.9
子どもの年齢別	0歳 (n=418)	5.5	21.5	9.1	0.5	21.3	40.7	1.4
	1歳 (n=400)	9.0	20.8	13.8	2.3	16.0	38.0	0.3
	2歳 (n=411)	8.0	28.5	21.4	1.9	13.6	26.0	0.5
	3歳 (n=390)	8.7	37.9	19.2	2.6	8.2	22.6	0.8
	4歳 (n=378)	12.7	31.5	27.0	2.6	6.9	17.7	1.6
	5歳 (n=369)	8.7	43.4	24.9	4.3	6.0	11.7	1.1
居住地域別	京橋地域 (n=564)	9.2	29.1	18.8	1.1	12.9	28.0	0.9
	日本橋地域 (n=805)	8.3	30.4	19.1	2.1	11.6	27.6	0.9
	月島地域 (n=1,007)	8.6	30.9	19.0	3.2	12.3	25.0	1.0
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n=67)	7.5	40.3	22.4	1.5	9.0	14.9	4.5
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	9.0	32.0	19.5	1.8	10.9	26.4	0.5
	タイプC フルタイム×パートタイム (n=221)	8.6	28.5	19.5	3.2	10.4	29.4	0.5
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n=85)	5.9	27.1	23.5	3.5	15.3	23.5	1.2
	タイプD 専業主婦(夫) (n=430)	8.8	24.9	15.6	3.7	17.0	27.7	2.3

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(7)居留意向(問 45)

居留意向は、「ずっと住み続けたい(50.3%)」が最も高く、「子どもの小学校卒業まで住み続けたい(20.7%)」、「子どもの小学校入学前まで住み続けたい(11.7%)」が続いている。

居留意向(全体)



子どもの年齢別にみると、どの年齢においても「ずっと住み続けたい」は5割前後であり、年齢が高くなるほど「子どもの小学校入学前まで住み続けたい」の割合が低くなり、「子どもの小学校卒業まで住み続けたい」の割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「ずっと住み続けたい」の割合は地域差があり、京橋地域では 56.6%、日本橋地域では 52.5%、月島地域では 45.1%となっている。

家庭類型別にみると、タイプC'で「ずっと住み続けたい(36.5%)」が3割台で低くなっている。

居留意向(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

		前子どもでも住み続けたい	子どもでも住み続けたい	子どもの小学校卒業まで住み続けたい	子どもの中学校卒業まで住み続けたい	子どもの高等学校卒業まで住み続けたい	子どもの大学卒業まで住み続けたい	ずっと住み続けたい	転出したい	無回答
全	体 (N=2,384)	11.7	20.7	4.8	3.3	3.6	50.3	4.7	0.9	
子どもの年齢別	0歳 (n= 418)	17.2	14.6	4.8	2.2	3.1	51.4	5.3	1.4	
	1歳 (n= 400)	18.0	17.5	3.0	2.5	3.3	50.5	5.0	0.3	
	2歳 (n= 411)	12.9	20.0	4.6	4.6	3.2	48.9	5.4	0.5	
	3歳 (n= 390)	11.0	21.3	4.9	4.1	3.1	50.3	4.9	0.5	
	4歳 (n= 378)	6.9	21.2	6.6	3.7	4.5	51.1	4.2	1.9	
	5歳 (n= 369)	3.3	30.4	5.1	2.4	4.6	50.1	3.3	0.8	
居住地域別	京橋地域 (n= 564)	10.8	18.4	3.0	2.3	2.5	56.6	5.7	0.7	
	日本橋地域 (n= 805)	12.0	21.7	4.8	2.4	2.4	52.5	3.5	0.6	
	月島地域 (n=1,007)	12.1	21.1	5.8	4.6	5.2	45.1	5.1	1.2	
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 67)	9.0	19.4	0.0	3.0	4.5	53.7	7.5	3.0	
	タイプB フルタイム×フルタイム (n=1,514)	11.7	20.5	5.0	3.2	3.4	51.5	4.0	0.7	
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 221)	10.4	24.9	8.1	2.7	2.3	46.2	5.0	0.5	
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 85)	10.6	23.5	9.4	3.5	5.9	36.5	9.4	1.2	
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 430)	12.6	19.3	2.1	3.3	4.2	52.1	4.9	1.6	

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

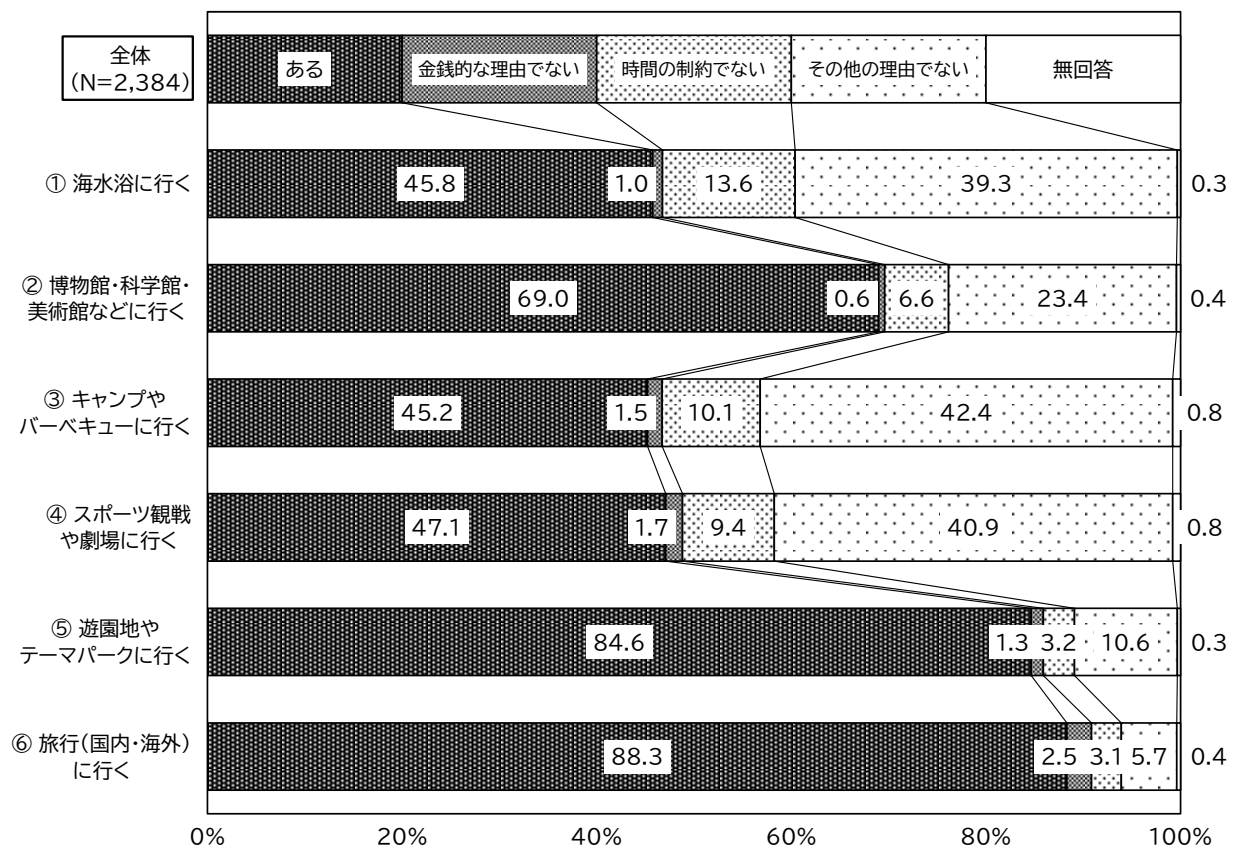
(8)子どもの多様な経験の状況(問 46)

子どもの多様な経験の状況は、「ある」の割合は、『⑥ 旅行(国内・海外)に行く(88.3%)』が最も高く、『⑤ 遊園地やテーマパークへ行く(84.6%)』、『② 博物館・科学館・美術館に行く(69.0%)』が続いている。

「金銭的な理由でない」の割合も、『⑥ 旅行(国内・海外)に行く(2.5%)』が最も高くなっている。

「時間の制約でない」の割合は『① 海水浴に行く(13.6%)』、『③ キャンプやバーベキューに行く(10.1%)』で高くなっている。

子どもの多様な経験の状況(全体)

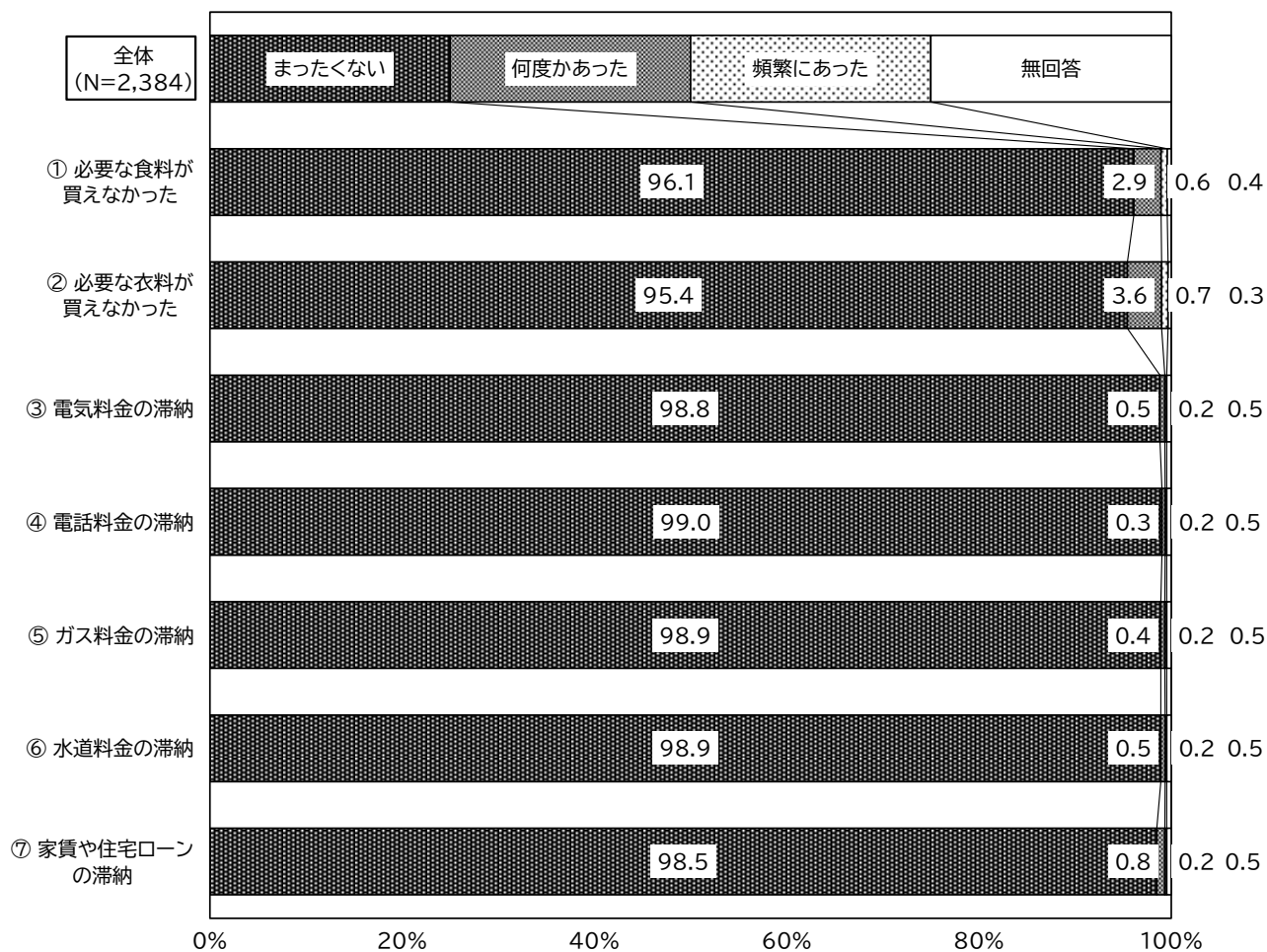


(9)経済的な理由による困窮経験(問 47)

経済的な理由による困窮経験について、《あった》(「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計)の割合は、『② 必要な衣料が買えなかった(4.3%)』で最も高く、『① 必要な食料が買えなかった(3.5%)』、『⑦ 家賃や住宅ローンの滞納(1.0%)』が続いている。

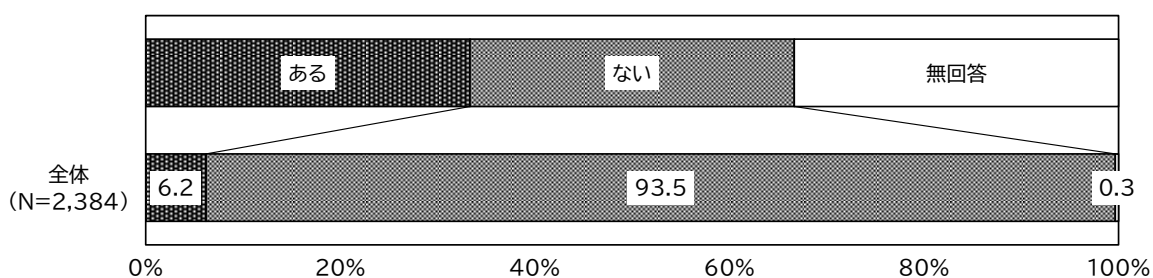
経済的な理由による困窮経験の有無は、「ある」が 6.2%となっている。なお、困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」と「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている。

経済的な理由による困窮経験(全体)



経済的な理由による困窮経験の有無(全体)

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている>



経済的な困窮経験の有無について、子どもの年齢別にみると、「ある」の割合は、0歳で 9.2%と高い。

居住地域別にみると、いずれの地域でも同様の傾向である。

家庭類型別にみると、「ある」の割合は、タイプ C' で 8.2%と高い。

経済的な困窮経験の有無(全体、子どもの年齢別、居住地域別、家庭類型別)

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている>

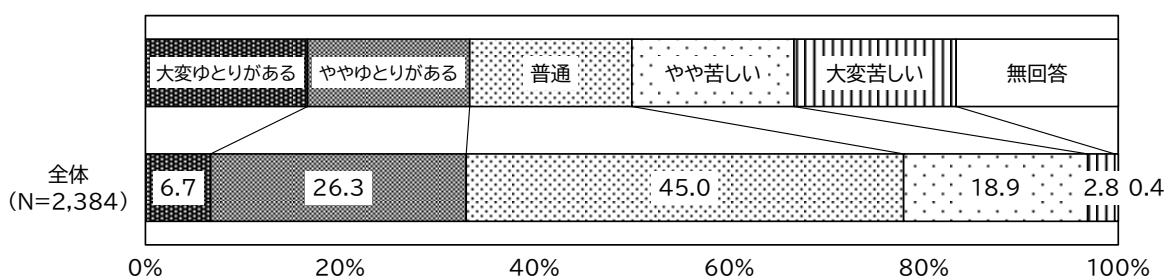
			ある	ない	無回答
全		体 (N=2,384)	6.2	93.5	0.3
子どもの年齢別	0	歳 (n= 418)	9.1	90.9	0.0
	1	歳 (n= 400)	6.5	93.3	0.3
	2	歳 (n= 411)	4.4	95.1	0.5
	3	歳 (n= 390)	5.9	94.1	0.0
	4	歳 (n= 378)	5.6	93.9	0.5
	5	歳 (n= 369)	5.1	94.0	0.8
居住地域別	京 橋 地 域	(n= 564)	6.4	93.6	0.0
	日 本 橋 地 域	(n= 805)	5.3	94.5	0.1
	月 島 地 域	(n=1,007)	6.9	92.5	0.7
家庭類型別	タイプ A	ひとり親家庭 (n= 67)	7.5	92.5	0.0
	タイプ B	フルタイム×フルタイム (n=1,514)	5.5	94.3	0.3
	タイプ C	フルタイム×パートタイム (n= 221)	5.4	94.1	0.5
	タイプ C'	フルタイム×パートタイム (n= 85)	8.2	90.6	1.2
	タイプ D	専業主婦(夫) (n= 430)	7.4	92.1	0.5

※家庭類型タイプ E、E'、F は対象者数が少ないので記載しない。

(10) 経済的な困り感(問 48)

経済的な困り感は、「大変ゆとりがある」が 6.7%、「ややゆとりがある」が 26.3%であり、合計した《ゆとりがある》は 33.0%となっている。「普通」が 45.0%である。「やや苦しい」が 18.9%、「大変苦しい」が 2.8%であり、合計した《苦しい》は 21.7%となっている。

経済的な困り感(全体)



(11)区の子育て支援に関する意見(自由記述)(問 49)

区の子育て支援に関して、自由記述形式で意見をたずねたところ、全体で 1,376件の回答があった。テーマ分類ごとの意見数と、主な意見の要約を以下のとおり掲載する。

意見内容	件数
保育施設(認可・認証保育所等)について	166件
<ul style="list-style-type: none"> フルタイムでないと、認可保育園に入りづらい現状を変えてほしい。 第二子を里帰り出産したが、第一子の保育園を3か月休むと退園になるため早く帰るしかなかったので、条件を見直してほしい。 認可外保育園の保育料金が高く、補助も少ないので、補助の増額を検討してほしい。 平日夜、土日の保育園など、預かり場所の拡充や手続きをもう少し柔軟にしてほしい。 保育の質の向上のため、認可・認証保育所の園長・スタッフの質を定期的にチェックしてほしい。 都外から引越してきた当初は、園庭がなく、室内ホールもないことに驚いた。 認可保育園でも人気に偏りがあり、定員割れで子どもが少なすぎる園もあるので、園の魅力をもっとアピールするなど対応してほしい。 	
放課後対策(学童クラブ・プレディ等)について	139件
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが小学生に上がった時の放課後の居場所に不安を感じている。共働きの維持と、放課後に子どもが安心して過ごせるよう、環境や支援を充実してほしい。 育休中に学童クラブを利用できず、子どもの居場所が学年の途中で変わってしまうのがネック。 就学前に学童クラブの様子等を知りたいが、第一子のため誰に聞いたらいいかわからない。 特認小学校周辺には学童クラブがないので、小学校に上がったらどうすればよいのか不安。 	
経済的支援等について	123件
<ul style="list-style-type: none"> 生活費だけでも厳しいので、学費や教育費などのサポートがほしい。 ベビーカーやチャイルドシート、オムツ・ミルク等の消耗品、育児はとてもお金がかかるので、もっと支援を充実してほしい。 多子向けのサービスを充実してほしい。×2、×3…と子どもが増えるにつれ負担感が強まる。 	
公園等の遊び場について	111件
<ul style="list-style-type: none"> 子どもがのびのびと遊べる公園や施設をもっと増やしてほしい。 ボール遊び禁止の公園が多く、野球の練習ができるところがない。 子どもが自転車等の練習を自由にできる公園がほしい。 緑のある公園が少ないので、芝生等の自然を中心とした公園がほしい。 子どもが日々気軽に遊べる室内の場所がもっとあるとうれしい。 	
一時預かり保育について	98件
<ul style="list-style-type: none"> 一時預かり保育のインターネット予約等のデジタル化を進めてほしい。 一時預かり保育の予約が取りにくく、特に0歳児の枠が少ない。 1時間 800 円の利用料では、必要最低限しか利用できなかった。補助があるとありがたい。 一時預かり保育は事前予約でしか利用できなく、親の急な体調不良時に子どもを預かってくれるサービスがほしい。 ベビーシッターは家に人をいれるハードルがあるので、一時預かり保育を拡充してほしい。 	

ベビーシッター(利用支援事業)について	68件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベビーシッターを月 12 時間まで補助する制度は大変ありがたいが、共働き家庭の負担を考えると、もう少し上限を増やしてほしい。 ・ 現在第2子妊娠中で、つわり等がひどく、上の子の面倒をみるのがとても大変なので、月の助成上限を 12 時間から 24 時間程度に増やし、夜間も助成してほしい。 ・ ベビーシッター事業を利用していたが、毎回シッターが変わり、子どもも慣れずに泣き、親も精神的に疲れてやめてしまった。
幼稚園について	65 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全幼稚園で弁当給食、預かり保育を開始するのは大変嬉しいニュースで良かった。 ・ 幼稚園の預かり保育の時間を、18 時までにしてくれれば、幼稚園の選択肢も出てくる。 ・ 幼稚園の子ども的人数が少ないので、通園区域を見直すなど、もっと均等に子どもを振り分けてほしい。
子ども・子育て支援施策全般について	63件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央区独自の子育て支援策をもっと充実してほしい。 ・ 子育てのニーズは、乳児から高校・大学生まで幅広く、求める支援も異なるので、各子育て世代が広く支援を受けることができる施策を期待する。 ・ 子育て支援に予算をたくさん投入してほしい。子どもがたくさんいると、まち全体が明るく楽しい雰囲気になり、皆が幸せになる。
病児・病後児保育について	55 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病児・病後児保育の定員が、一杯のことが多いので、施設の数・定員を増やしてほしい。 ・ 申し込み手続きを電子化してほしい。 ・ 病児保育はお弁当持参の負担が大きいので、金銭的負担が増えても構わないので、昼食を出してほしい。
情報、相談窓口について	49 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区の子育て支援の情報が入って来ずらいので、病院や児童館などの施設と連携をして発信してほしい。 ・ 地域活動の情報をもっと分かりやすく発信してほしい。 ・ せっかくの事業を広く知る機会が少ないので、全ての事業を網羅的に検索できるような Web アプリなどがあれば調べやすいと思う。 ・ 子育て相談や教育相談などは、インターネットを通じて動画配信や夕方からの開催、オンラインでの面談など、どこからでも繋がる環境下での実施を検討してほしい。 ・ 困ったときに何でも相談できる窓口があるとよい。困った時に、迅速に対応してくれる窓口があると、大変心強い。
小学校について	41 件
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年長時の入学前説明会だけでなく、もっと早い時期から学校見学をするなど、小学校に関する情報を得られる場がほしい。 ・ 小学校の広さに対して子ども的人数が多すぎるので、小学校をもっと増やしてほしい。 ・ 働いていない保護者に PTA 活動の負担が偏っていて、仕事のようになっている。

第2章 調査結果

区民のマナー、意識について	33件
<ul style="list-style-type: none"> 公園での喫煙、路上喫煙は迷惑なので、注意喚起、取り締まり等を強化してほしい。 子どもに対して厳しく、子どもがバスの入り口をふさいでしまった時にどなる人が多い。もっと優しく教えたり見守るなど、子どもにやさしい環境を作してほしい。 子どもに交通安全について教えているのに、信号を守らない大人が多い。 	
まちのハード面、バリアフリーについて	31件
<ul style="list-style-type: none"> 駅のホームに、ベビーカーが使えるようエレベーターを設置するなど、子育てしやすい環境(ハード面)をもっと充実させてほしい。 小学校への通学路が危ないので、ガードレールの設置を検討してほしい。 子乗せ自転車を置きやすい駐輪場の整備を進めてほしいです。 	
講座、イベントについて	24件
<ul style="list-style-type: none"> 図書館や区主催のイベントの申し込みをもっと簡単にしてほしいのと、子どもたちが楽しめるイベント(映画祭など)をもっと企画してほしい。 子ども向けの地域イベントがもっと充実すると良い。 男性目線のイベントが少ないので、もっと充実させてほしい。 	
育ちに支援を必要とする子どもについて	24件
<ul style="list-style-type: none"> 民間の児童発達支援が少なく、子ども発達支援センターも待機人数が多く通えなかった。 医療・福祉・教育機関の連携のさらなる強化・充実を期待している。 	
児童館について	21件
<ul style="list-style-type: none"> 児童館の乳幼児クラブを利用したおかげで、近所に友達ができ、先生達とも顔見知りになれたためとても助かっている。 児童館のイベントは平日実施が多いので、休日の実施も検討してほしい。 	
産前、出産での困りごと、支援について	20件
<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健診の費用が実質ゼロにしてくれると助かる。 プレママ・パパ学級の定員枠をもっと増やしてほしい。インターネットで動画を見るだけでは不安。 	
交通について	19件
<ul style="list-style-type: none"> 江戸バスを無料で使えて助かった。もう少し長い期間使えるとありがたい。 都営バスが混んでいて、子どもが乗りづらい。 	
赤ちゃん天国について	16件
<ul style="list-style-type: none"> ほぼ毎日利用している。いつ行っても優しく、あたたかく受け入れてくれてありがたい。 2歳児でも飽きずに遊べるような知育玩具を取り入れたり、乳幼児クラブのおもちゃと時々入れ替えるなど、飽きない工夫がほしい。 	
手続きの簡素化について	15件
<ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用した各種申請の簡素化を進めてほしい。 区に提出する書類の負担が大きいので、内容を精査するなど、もう少し負担を減らしてほしい。 	
産後ケアについて	12件
<ul style="list-style-type: none"> 産後ケアは非常に助かった。希望の日程で入所できなかったのもっと制度を充実させ、産後ケアがスタンダードになれば良いと思う。 	

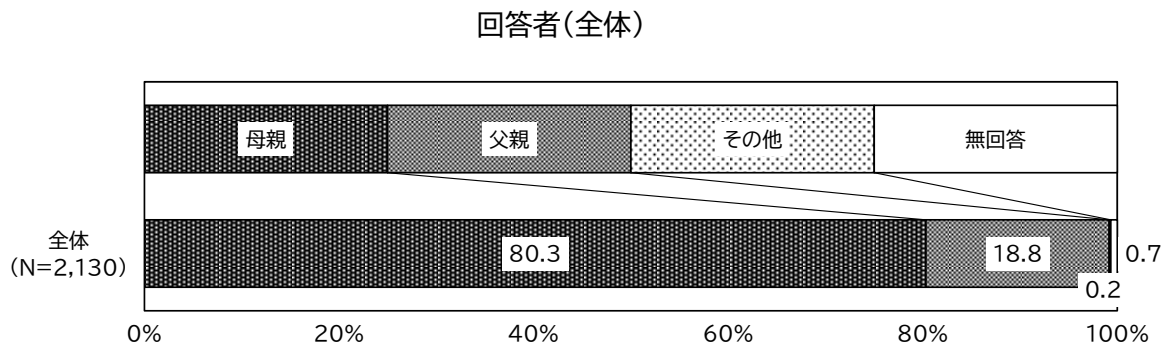
地域との関係について	12件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所や地域の方と知り合いたいが、どのようにしてつながればよいか分からない。 ・ 夏のお祭りに参加したかったが、参加の仕方が分からなかった。 	
家事支援について	10件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事で保育園に子どもを預けていると、毎日の子どもの時間が短いので、シッター支援より家事支援の方がうれしい。家事の負担が減った分、子どもとの時間に使いたい。 	
トワイライトステイについて	6件
<ul style="list-style-type: none"> ・ トワイライトステイは就労の場合など利用できるケースが限られているが、資格の勉強や体調不良時、急な用事などでも利用できるようにしてほしい。 	
親同士の交流について	6件
<ul style="list-style-type: none"> ・ ママ友を作れるようなサークルの拡充、子育てを先輩ママなどに相談できるような場など検討してほしい。 	
図書館について	6件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館(本の森ちゅうおう)がきれいになり、利用回数が増えた。明るくオープンな感じが気に入っている。 	
習い事、学習支援について	6件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 無料でもできる習い事や学習の場等を充実してほしい。 	
中学校について	5件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立中学校の魅力を高めて、地元への進学率を増やしてほしい。 	
多胎児への支援について	4件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 多胎児の家庭への支援をもっと充実してほしい(訪問看護、シッター斡旋、双子遠足ツアーなど)。 	
その他	128件
<ul style="list-style-type: none"> ・ こども食堂(孤食になることがあるので)をもっと増やしてほしい。 ・ 仕事をしている時間よりも、子どもと一緒にいる時間の方が多くなる生活を送りたい。 	

II 小学校児童保護者調査

1 お子さんご家族の状況

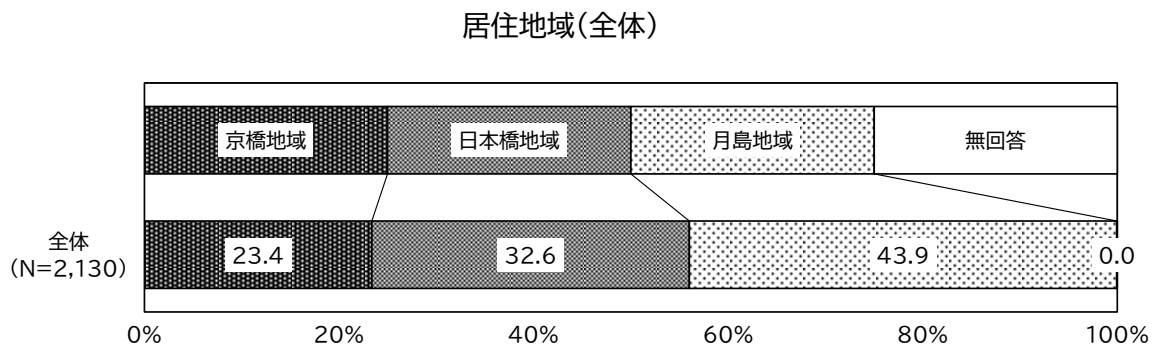
(1)回答者(問1)

回答者は、「母親」が80.3%、「父親」が18.8%となっている。



(2)居住地域(問2)

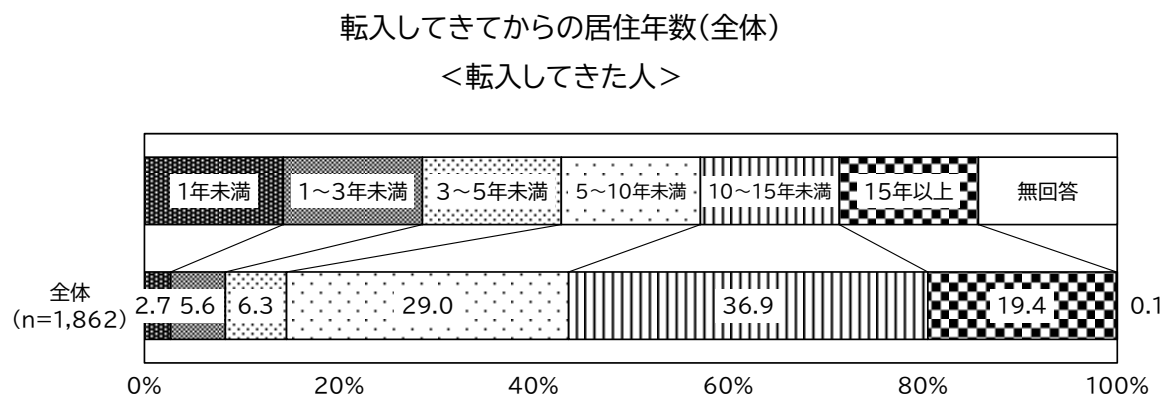
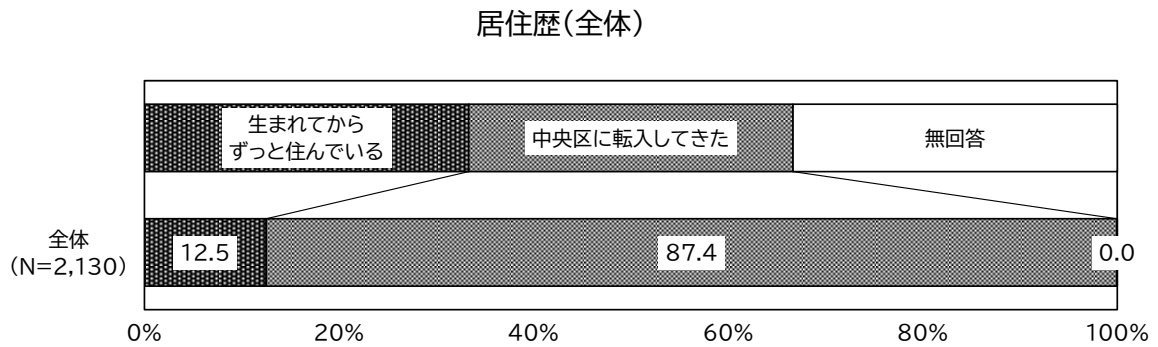
居住地域は、「月島地域(43.9%)」が最も高く、「日本橋地域(32.6%)」、「京橋地域(23.4%)」が続いている。



(3) 居住歴・居住年数(問3)

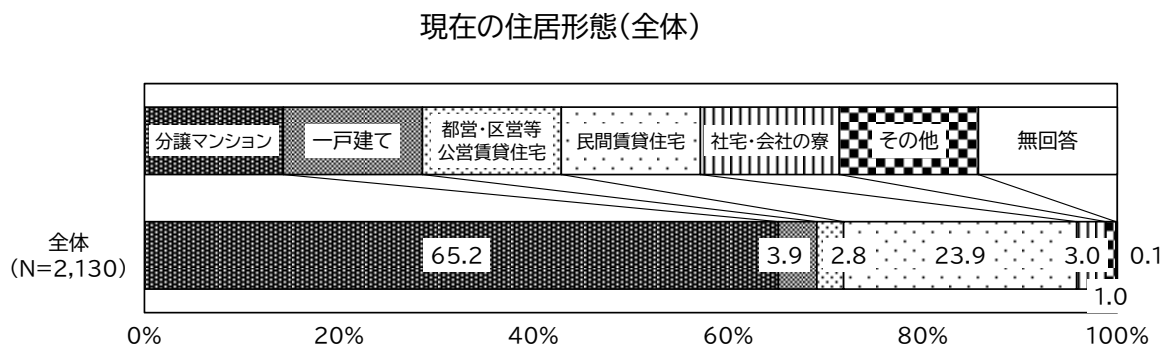
居住歴は、「中央区に転入してきた」が87.4%となっている。

中央区に転入してきたと回答した人に、転入してからの居住年数をたずねたところ、「10～15年未満(36.9%)」が最も高く、「5～10年未満(29.0%)」、「15年以上(19.4%)」が続いている。



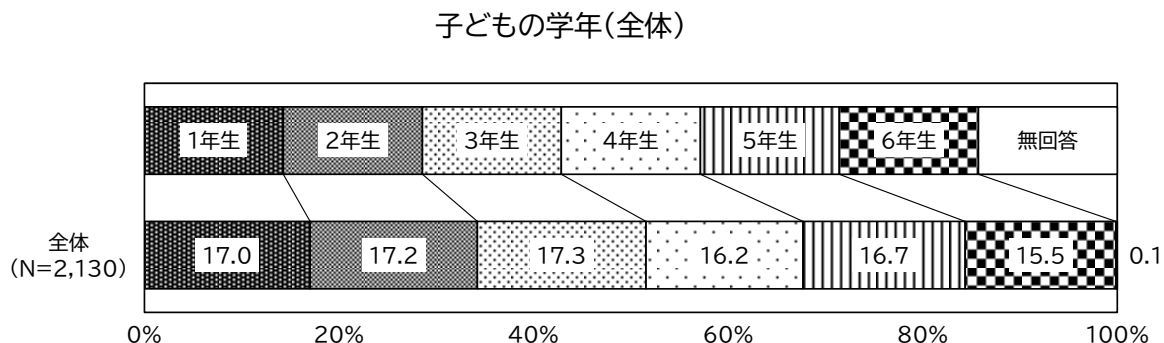
(4) 現在の住居形態(問4)

現在の住居形態は、「分譲マンション(65.2%)」が6割台であり、「民間賃貸住宅(23.9%)」が続いている。



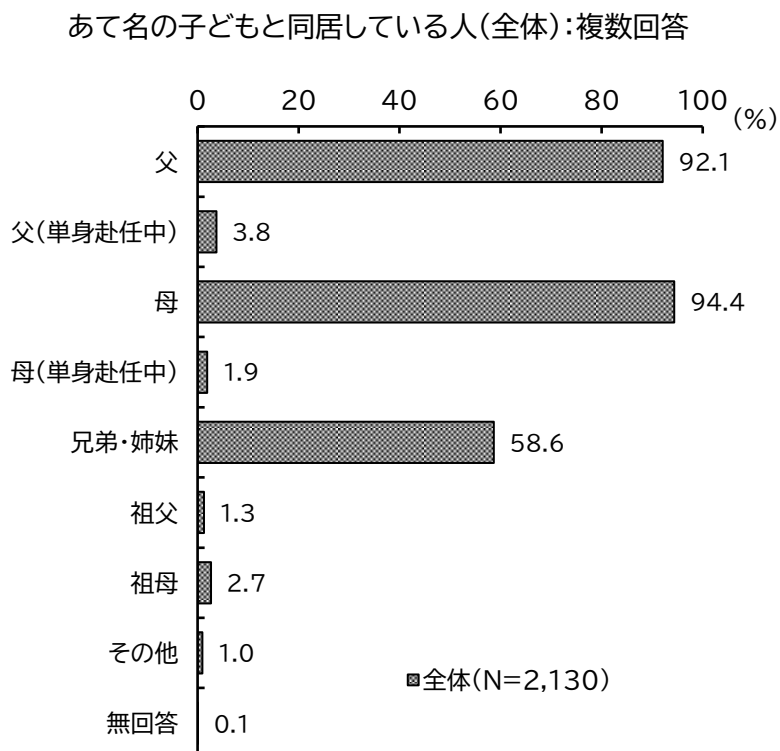
(5)あて名の子どもの学年(問5)

あて名の子どもの学年は、「3年生(17.3%)」が最も高く、「2年生(17.2%)」、「1年生(17.0%)」が続いている。



(6)あて名の子どもと同居している人(問6)

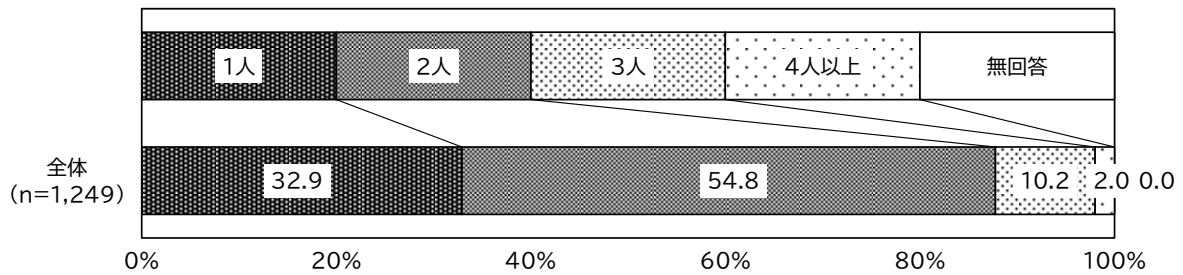
あて名の子どもと同居している人は、「母(94.4%)」と「父(92.1%)」とが9割台であり、「兄弟・姉妹(58.6%)」が5割台が続いている。



(7)あて名の子どもの兄弟・姉妹の人数(問6-1)

あて名の子どもの同居者に兄弟・姉妹がいる人に、兄弟・姉妹の人数をたずねたところ、「2人(54.8%)」が最も高く、「1人(32.9%)」が続いている。平均1.8人となっている。

あて名の子どもの兄弟・姉妹の人数(全体)
 <あて名の子どもの同居者に兄弟・姉妹がいる人>

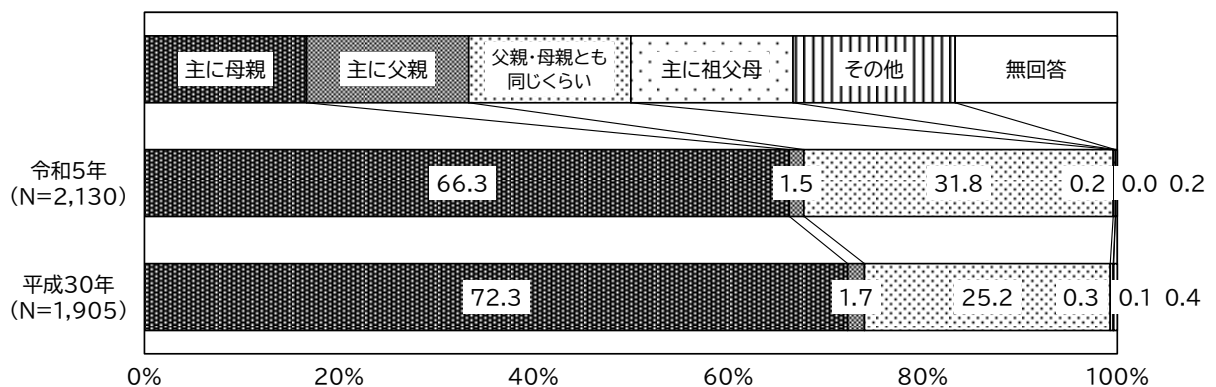


(8)子育てを主に行っている人(問7)

子育てを主に行っている人は、「主に母親(66.3%)」が最も高く、「父親・母親とも同じくらい(31.8%)」が続いている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「主に母親(72.3%→66.3%)」の割合が低くなり、「父親・母親とも同じくらい(25.2%→31.8%)」の割合が高くなっている。

子育てを主に行っている人(全体)【経年比較】



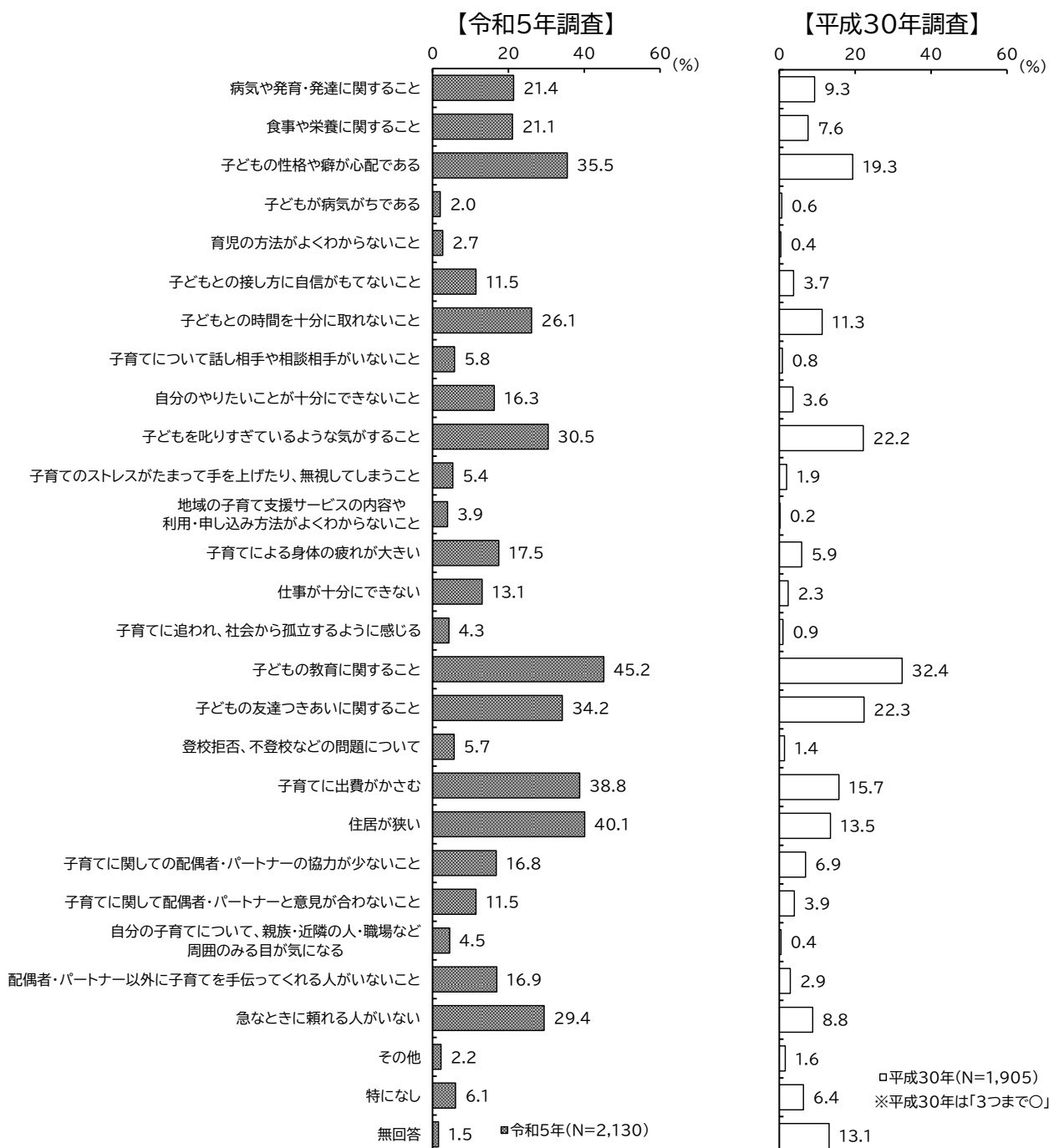
2 子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに関する悩みや気になること(問8)

子育てに関する悩みや気になることは、「子どもの教育に関すること(45.2%)」が最も高く、「住居が狭い(40.1%)」、「子育てに出費がかさむ(38.8%)」、「子どもの性格や癖が心配である(35.5%)」が続いている。

平成30年調査では、令和5年調査同様「子どもの教育に関すること(32.4%)」が最も高いが、2位以降は「子どもの友達つきあいに関すること(22.3%)」、「子どもを叱りすぎているような気がする(22.2%)」となっており、令和5年調査の結果とは異なっている。なお、平成30年調査は回答が3つまでという制限を設けている。

子育てに関する悩みや気になること(全体):複数回答【経年比較(平成30年は3つまで〇)】



II 小学校児童保護者調査

子どもの学年別にみると、1年生では「住居が狭い」、2～5年生では「子どもの教育に関すること」、6年生では「子育てに出費がかさむ」が最も高くなっている。

家庭類型別(類型分けの詳細は、P117 に記載)にみると、タイプC'では「子育てに出費がかさむ」、それ以外の家庭類型では「子どもの教育に関すること」が最も高くなっている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、子どもの学年別、家庭類型別):複数回答

			病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいらないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまってしまうこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が多分にできない
全		体 (N=2,130)	21.4	21.1	35.5	2.0	2.7	11.5	26.1	5.8	16.3	30.5	5.4	3.9	17.5	13.1
子どもの学年別	1	年生 (n= 363)	26.4	24.5	43.8	1.4	4.1	16.0	29.5	6.3	19.3	37.2	6.3	6.3	22.0	14.6
	2	年生 (n= 366)	21.0	20.5	40.4	2.2	2.5	10.9	27.9	7.7	19.9	32.5	5.5	4.1	21.6	15.8
	3	年生 (n= 369)	24.7	21.7	33.6	2.4	2.7	13.3	28.5	6.8	16.3	34.1	6.8	2.7	18.7	16.3
	4	年生 (n= 344)	17.4	24.1	32.3	2.0	3.5	11.3	27.3	3.2	14.2	30.8	5.8	3.8	12.8	11.0
	5	年生 (n= 355)	21.1	20.3	32.4	1.7	2.3	9.3	21.4	5.1	16.1	27.0	3.9	3.7	16.6	11.5
	6	年生 (n= 330)	17.0	15.2	30.3	2.4	0.9	7.6	21.8	5.5	11.5	20.3	3.6	3.0	12.4	8.5
家庭類型別	タイプA	ひとり親家庭 (n= 64)	18.8	20.3	34.4	1.6	1.6	9.4	23.4	6.3	17.2	20.3	4.7	3.1	15.6	12.5
	タイプB	フルタイム×フルタイム (n= 962)	19.6	21.2	36.5	1.6	2.5	12.0	34.0	5.4	14.8	32.8	5.2	4.4	17.9	13.9
	タイプC	フルタイム×パートタイム (n= 347)	21.9	15.9	36.6	2.3	2.6	10.7	21.9	3.7	15.9	29.4	5.5	3.7	15.3	15.3
	タイプC'	フルタイム×パートタイム (n= 196)	21.4	28.6	34.7	2.6	3.6	13.8	18.4	6.1	21.9	23.5	6.6	2.6	18.9	15.8
	タイプD	専業主婦(夫) (n= 451)	23.5	20.0	34.8	2.9	2.4	10.2	16.0	6.7	16.2	29.3	5.5	4.4	17.5	9.1

			子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに困ること	登校拒否、不登校などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関する協力が少ないこと	子育てに困って配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の人、職場など周囲の目が気になる	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	急なときに頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全		体 (N=2,130)	4.3	45.2	34.2	5.7	38.8	40.1	16.8	11.5	4.5	16.9	29.4	2.2	6.1	1.5
子どもの学年別	1	年生 (n= 363)	5.0	43.5	36.6	4.7	38.0	44.1	16.0	10.2	5.0	18.5	35.0	3.9	4.4	0.8
	2	年生 (n= 366)	3.8	43.7	34.7	4.9	33.6	41.8	15.0	9.8	4.6	18.3	32.0	2.2	4.1	2.2
	3	年生 (n= 369)	4.1	50.4	38.2	6.0	37.1	42.5	19.8	10.0	5.4	19.8	34.4	2.7	3.8	1.6
	4	年生 (n= 344)	4.4	42.7	33.1	5.5	40.1	38.1	17.4	14.2	2.9	13.4	22.7	1.5	6.7	2.0
	5	年生 (n= 355)	4.2	48.7	33.0	5.6	42.0	36.9	16.6	11.8	4.8	15.5	28.7	0.8	8.2	0.8
	6	年生 (n= 330)	4.5	41.8	29.4	7.6	42.7	37.0	15.8	13.0	4.2	16.1	23.0	2.1	9.7	1.5
家庭類型別	タイプA	ひとり親家庭 (n= 64)	4.7	51.6	42.2	7.8	43.8	37.5	12.5	10.9	4.7	12.5	31.3	4.7	6.3	1.6
	タイプB	フルタイム×フルタイム (n= 962)	2.4	45.2	35.0	5.5	36.3	41.1	15.1	11.7	5.2	15.7	28.9	2.1	5.7	1.6
	タイプC	フルタイム×パートタイム (n= 347)	4.0	45.5	32.3	4.6	42.7	40.1	19.0	11.0	3.7	17.0	28.2	2.0	7.2	1.2
	タイプC'	フルタイム×パートタイム (n= 196)	3.1	43.9	30.1	5.1	48.0	40.3	18.9	12.2	3.6	17.3	29.6	4.6	6.1	0.5
	タイプD	専業主婦(夫) (n= 451)	7.8	44.6	33.9	6.7	36.4	40.1	17.5	10.4	4.2	19.5	29.9	1.3	6.0	2.2

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(2)子育てに関して気軽に相談できる人や場所(問9)

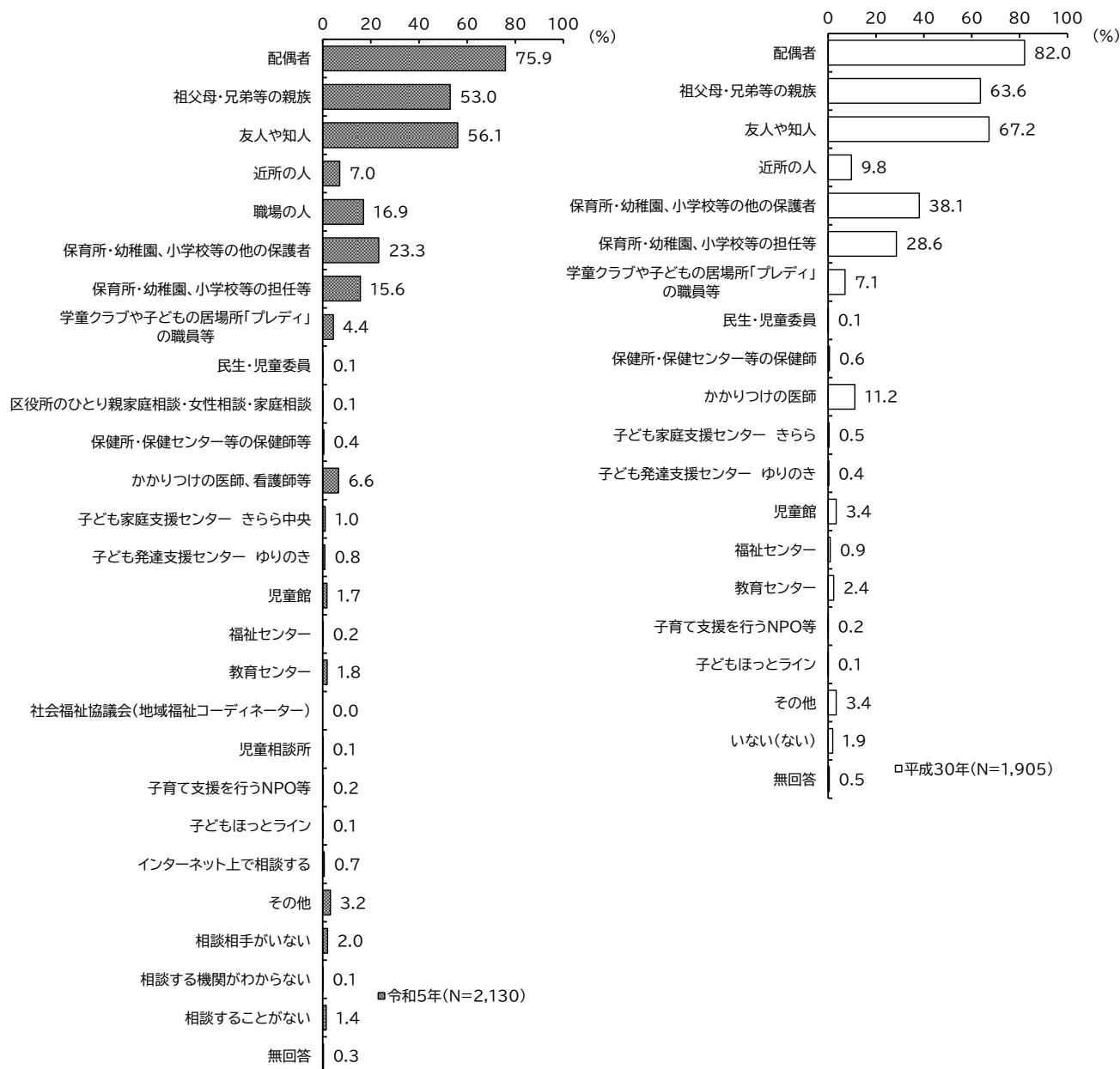
子育てに関して気軽に相談できる人や場所は、「配偶者(75.9%)」が最も高く、「友人や知人(56.1%)」、「祖父母・兄弟等の親族(53.0%)」が続いている。「相談相手がいない」は 2.0%となっている。

平成 30 年調査においても、上位の項目は同様となっている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体):複数回答【経年比較】

【令和5年調査】

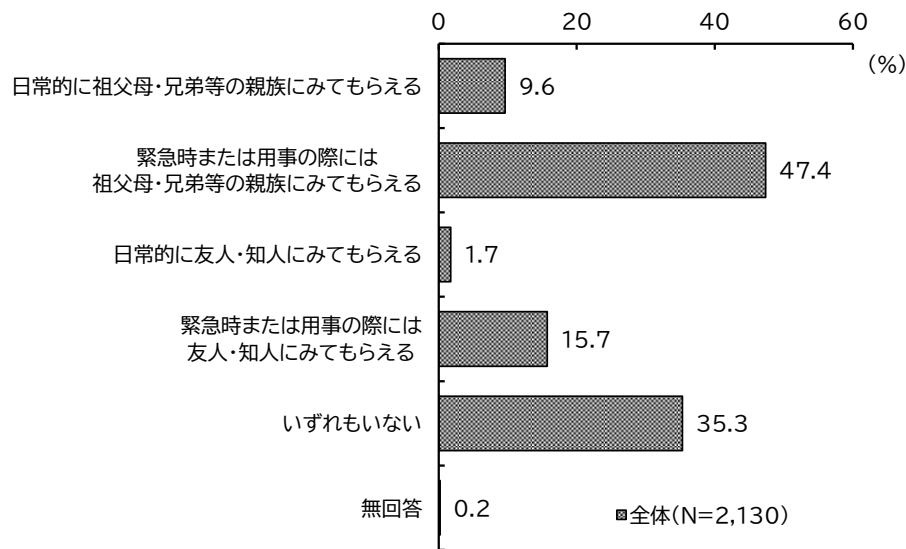
【平成30年調査】



(3)子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(問10)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無は、「緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(47.4%)」が4割台、「緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる(15.7%)」が1割台であり、「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(9.6%)」は1割以下となっている。また、「いずれもない」は35.3%となっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体):複数回答



子どもの学年別にみると、1・2・6年生で「いずれもない」が3割台後半と若干高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAでは「日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる(26.6%)」が2割台で高くなっていて、「いずれもない(31.3%)」は3割強で全体を若干下回っている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体、子どもの学年別、家庭類型別):複数回答

		日常的に親族にみてもらえる	緊急時に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる	日常的に友人・知人にみてもらえる	緊急時に友人・知人にみてもらえる	いずれもない	無回答
全	体 (N=2,130)	9.6	47.4	1.7	15.7	35.3	0.2
子どもの学年別	1 年生 (n= 363)	7.7	46.3	1.7	14.6	37.7	0.3
	2 年生 (n= 366)	8.5	46.7	1.4	16.1	37.7	0.0
	3 年生 (n= 369)	10.3	47.7	1.1	18.2	33.3	0.0
	4 年生 (n= 344)	10.8	49.1	3.2	14.0	32.8	0.6
	5 年生 (n= 355)	10.7	47.9	1.1	16.6	33.5	0.0
	6 年生 (n= 330)	10.0	46.7	2.1	14.8	36.7	0.0
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	26.6	40.6	3.1	14.1	31.3	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	9.8	49.3	1.5	13.5	34.5	0.1
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	10.4	47.8	1.2	15.9	35.2	0.3
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	8.2	43.9	4.1	15.8	37.8	0.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	7.8	46.6	1.6	19.7	36.4	0.0

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

3 保護者の就労状況

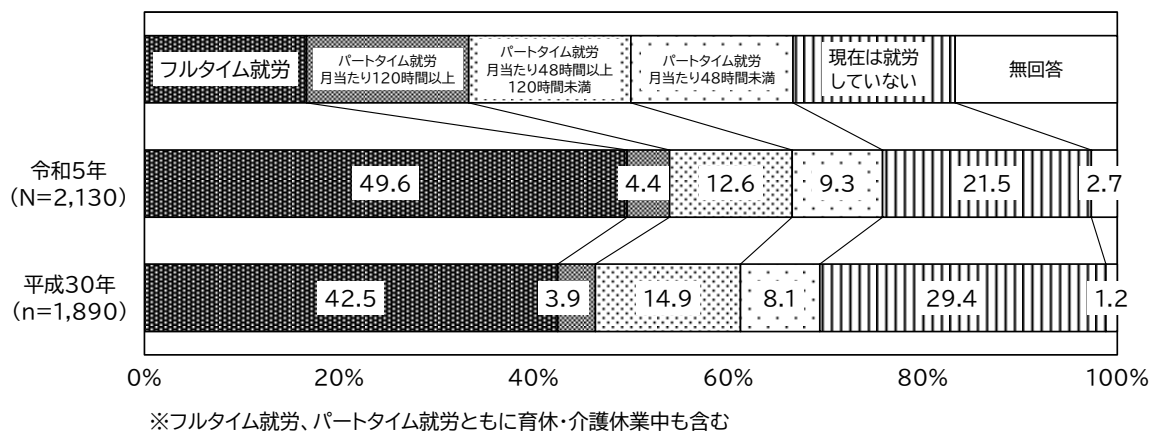
(1) 母親の現在の就労状況と1年後の就労予定(問11-(1))

母親の現在の就労状況は、「フルタイム就労(49.6%)」が5割弱で最も高く、「現在は就労していない(21.5%)」が続いている。

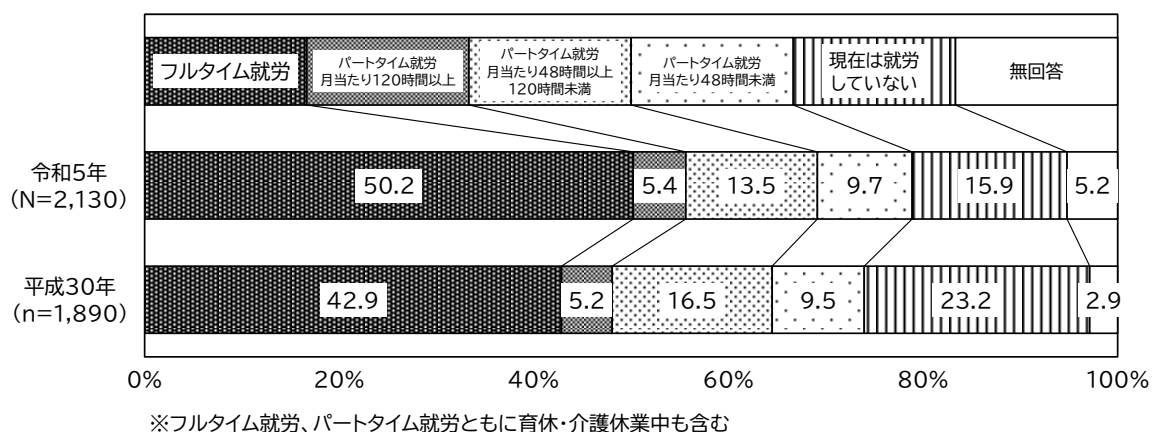
平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「フルタイム就労(42.5%→49.6%)」の割合が高くなり、「現在は就労していない(29.4%→21.5%)」の割合が低くなっている。

母親の1年後の就労予定では、平成30年調査と比較すると、「フルタイム就労(42.9%→50.2%)」の割合が高くなっている。

母親の現在の就労状況(全体)【経年比較】



母親の1年後の就労予定(全体)【経年比較】



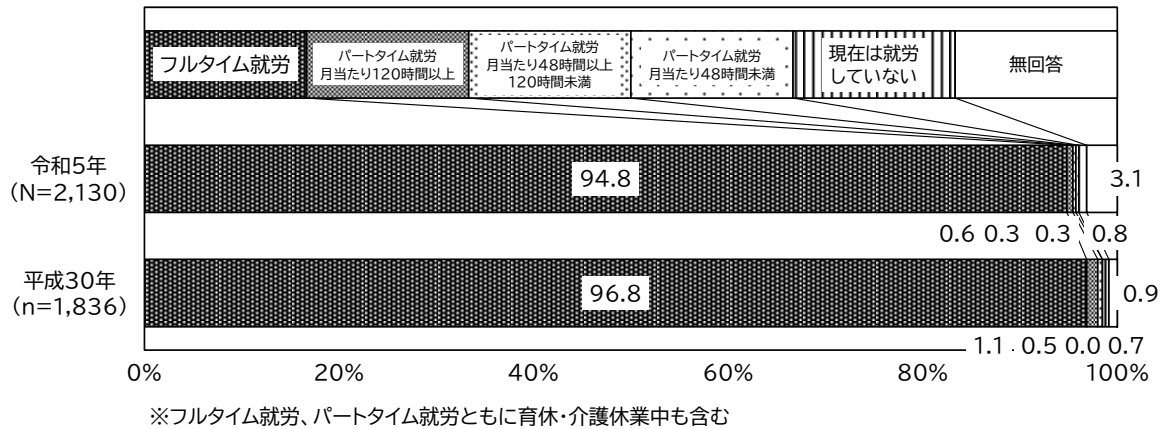
(2)父親の現在の就労状況と1年後の就労予定(問11-(2))

父親の現在の就労状況は、「フルタイム就労(94.8%)」で最も高くなっている。

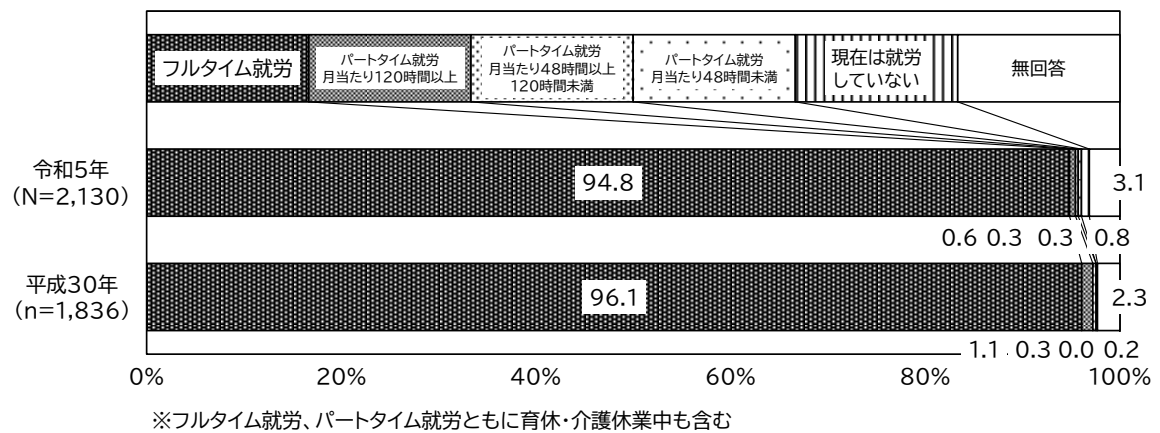
平成30年調査と同様の傾向である。

父親の1年後の就労予定は、「フルタイム就労(94.8%)」で最も高くなっている。

父親の現在の就労状況(全体)【経年比較】



父親の1年後の就労予定(全体)【経年比較】

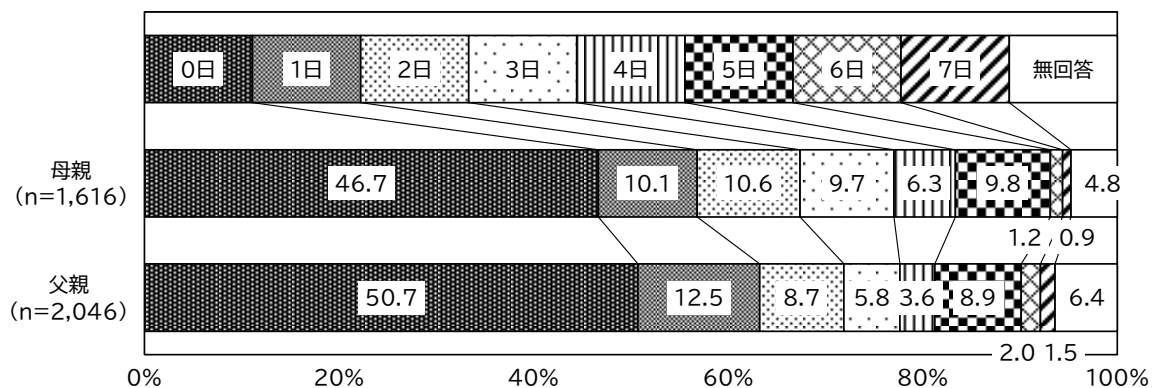


(3)母親・父親の1週間当たりの在宅勤務日数(問11-(1)(2))

就労している母親の1週間当たりの在宅勤務日数は、「0日(46.7%)」が4割台であり、「2日(10.6%)」と「1日(10.1%)」が1割を超えている。平均は1.6日である。

就労している父親の1週間当たりの在宅勤務日数は、「0日(50.7%)」が約5割であり、「1日(12.5%)」が1割を超えている。平均は1.4日である。

母親・父親の1週間当たりの在宅勤務日数(全体)



(4)家庭類型

保護者の就労状況については、内閣府が提示する「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」をもとにした「家庭類型の分類」を行い、8タイプに分類している。

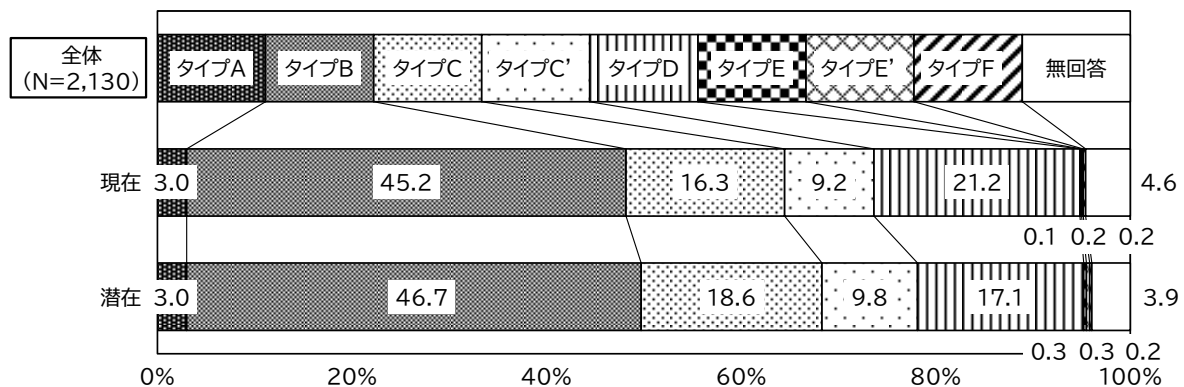
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:48時間以上)
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:48時間未満)
タイプD	専業主婦(夫)
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月48時間以上)
タイプE'	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが月48時間未満)
タイプF	無業×無業

親の就労状況等から分類分けした現在の家庭類型は、「タイプB:フルタイム×フルタイム(45.2%)」が4割台で最も高く、「タイプD:専業主婦(夫)(21.2%)」が続いている。

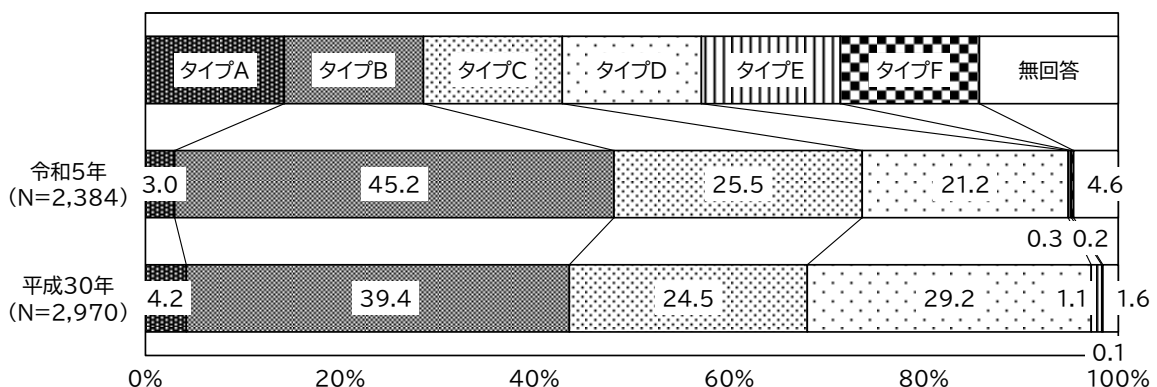
1年後の就労予定から出した潜在の家庭類型は、現在から「タイプD:専業主婦(夫)(17.1%)」の割合が低くなっている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では「タイプB:フルタイム×フルタイム(39.4%→45.2%)」の割合が高くなり、「タイプD:専業主婦(夫)(29.2%→21.2%)」の割合が低くなっている。

家庭類型(現在・潜在)(全体)



家庭類型(現在)(全体)【経年比較】

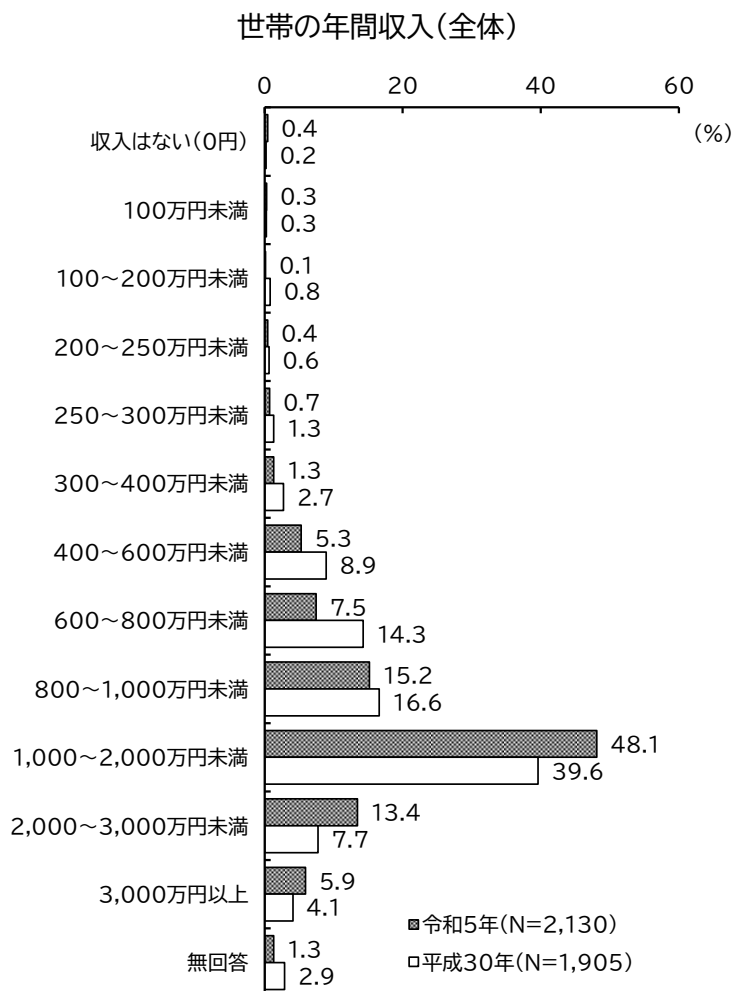


※平成30年調査では、タイプCとタイプC'、タイプEとタイプE'の区別をしていない。

(5)世帯の年間収入(税込)(問12)

世帯の年間収入は、「1,000～2,000万円未満(48.1%)」が4割台で最も高く、「800～1,000万円未満(15.2%)」、「2,000～3,000万円未満(13.4%)」が続いている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では1,000万円以上の割合が51.4%から67.4%に、2,000万円以上は11.8%から19.3%に増えている。



※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含む。

4 地域の子育て支援事業の利用状況

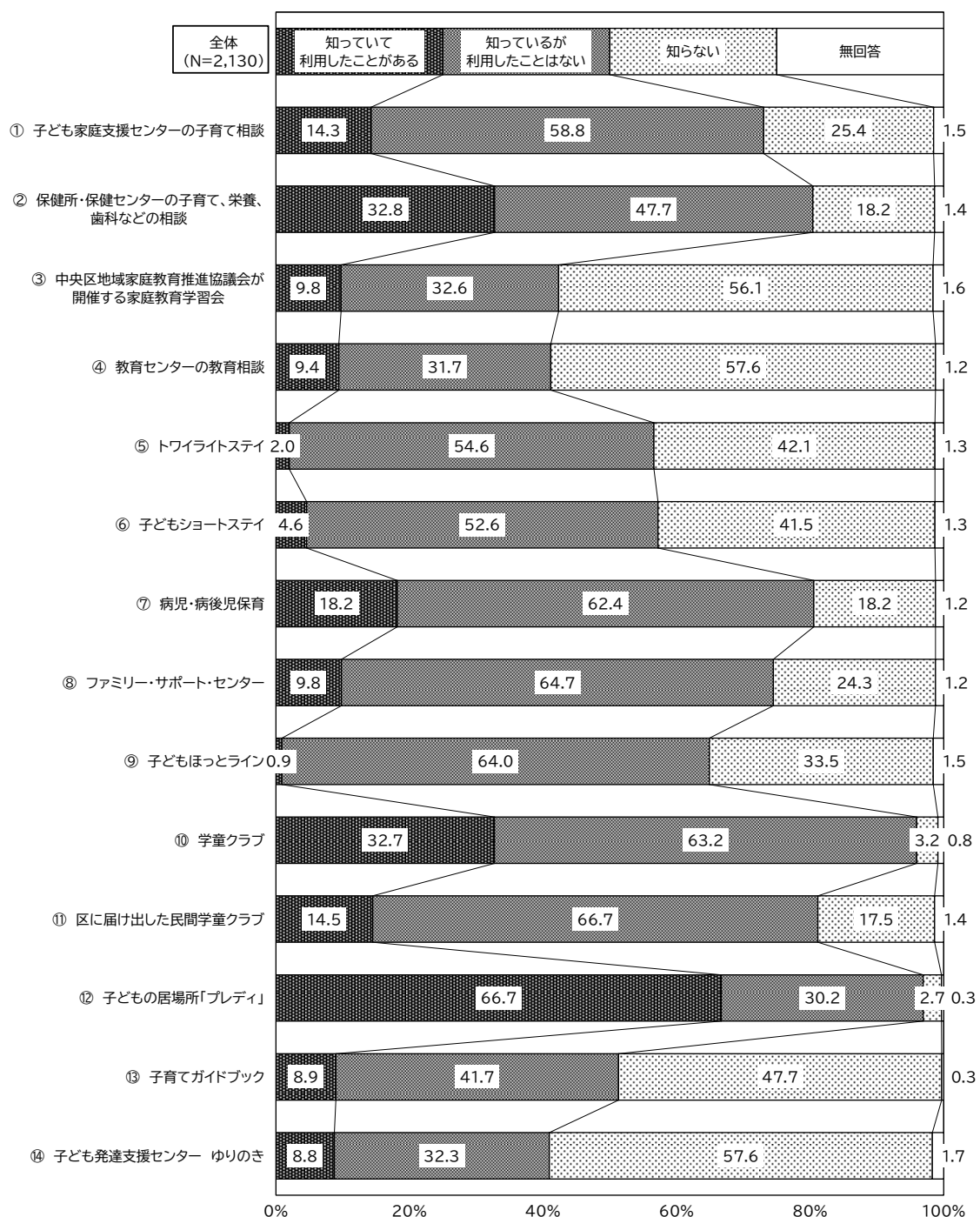
(1) 地域子育て支援事業の認知度・利用状況、利用意向(問 13)

◆ 認知度・利用状況

地域子育て支援事業の認知度・利用状況は、「知っているが利用したことがある」の割合は、『⑫ 子どもの居場所「プレディ」(66.7%)』が最も高く、『② 保健所・保健センターの子育て、栄養、歯科などの相談(32.8%)』、『⑩ 学童クラブ(32.7%)』までが3割を超えている。

また、「知らない」の割合は、『④ 教育センターの教育相談(57.6%)』、『⑭ 子ども発達支援センター ゆりのき(57.6%)』、『③ 中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会(56.1%)』が5割を超えている。

地域子育て支援事業の認知度・利用状況(①～⑭)(全体)

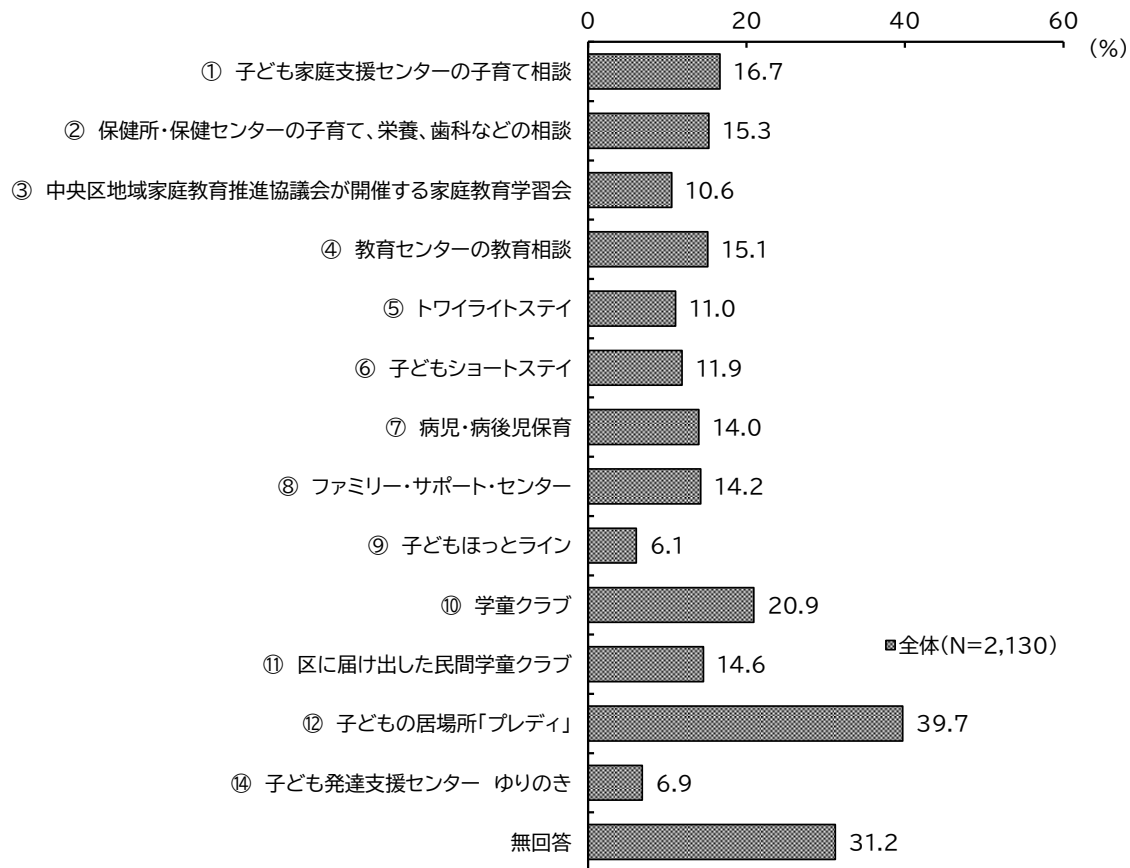


第2章 調査結果

◆今後必要な時の利用意向

今後必要な時の利用意向は、「⑫ 子どもの居場所「プレディ」(39.7%)」が最も高く、「⑩ 学童クラブ(20.9%)」、「① 子ども家庭支援センターの子育て相談(16.7%)」が続いている。

地域子育て支援事業の今後必要な時の利用意向(全体):複数回答

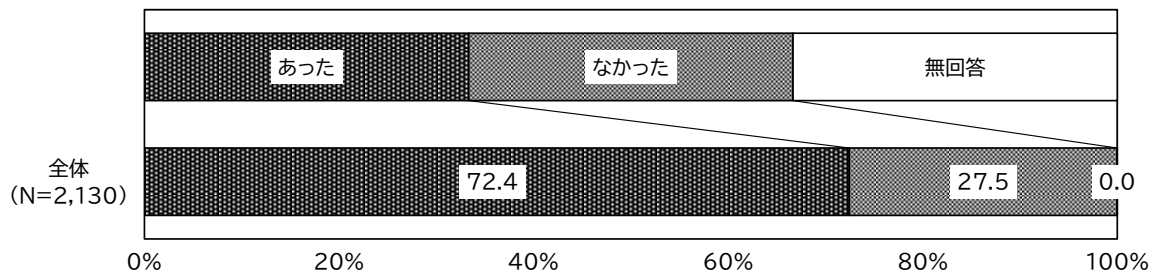


5 病気やケガの際の対応

(1)この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無(問 14)

この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無は、「あった」が72.4%となっている。

この1年間の子どもの病気やケガの経験の有無(全体)

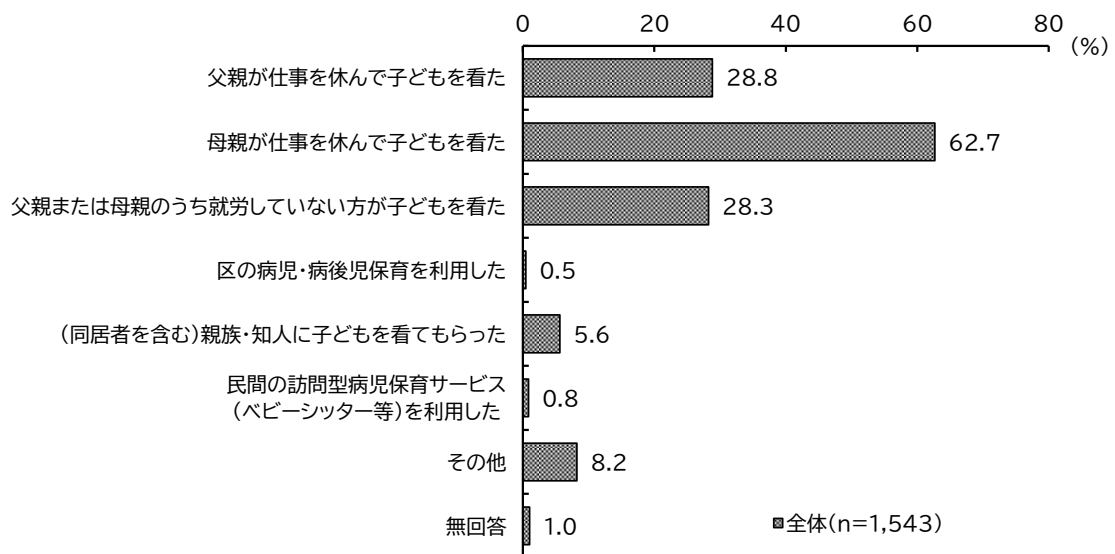


(2)病気やケガの場合の対処方法と日数(問 14-1)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人に、病気やケガの場合の対処方法をたずねたところ、「母親が仕事を休んで子どもを見た(62.7%)」が最も高く、「父親が仕事を休んで子どもを見た(28.8%)」、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た(28.3%)」が続いている。

対処方法別日数は、対処方法の割合が高い順に、「母親が仕事を休んで子どもを見た」は平均 5.7 日、「父親が仕事を休んで子どもを見た」は平均 3.4 日、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た」は平均 9.8 日となっている。

病気やケガの場合の対処方法(全体):複数回答
 <この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人>



第2章 調査結果

病気やケガの場合の対処方法別日数(全体)
 <この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人>

	(%)										平均日数
	1日	2・3日	4・5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答		
父親が仕事を休んで子どもを見た (n= 445)	24.0	41.8	20.4	11.2	1.1	0.2	0.0	0.0	1.1	3.4日	
母親が仕事を休んで子どもを見た (n= 967)	11.8	33.7	23.2	22.6	3.7	3.5	1.0	0.2	0.2	5.7日	
父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た (n= 436)	5.3	19.5	17.7	35.1	7.1	7.6	5.3	2.1	0.5	9.8日	
区の病児・病後児保育を利用した (n= 7)	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	2.2日	
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを見てもらった (n= 87)	13.8	43.7	26.4	11.5	0.0	3.4	0.0	1.1	0.0	5.1日	
民間の訪問型病児保育サービス(ベビーシッター等)を利用した (n= 13)	15.4	46.2	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	5.0日	
その他 (n= 127)	15.7	23.6	24.4	23.6	3.1	3.9	0.8	1.6	3.1	6.8日	

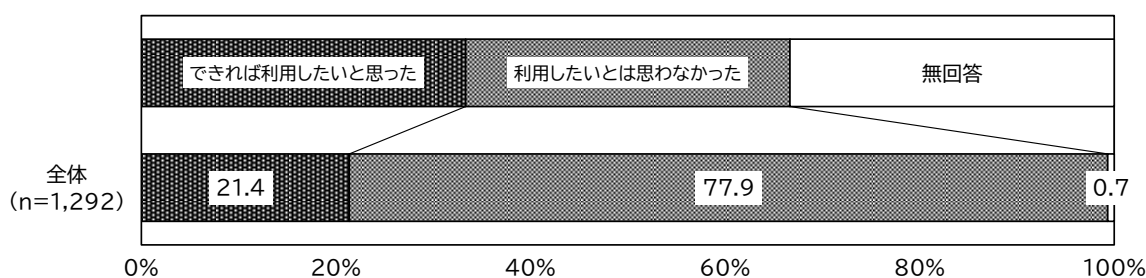
(3) 区の病児・病後児保育の利用希望(問 14-2)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人に、区の病児・病後児保育の利用希望をたずねたところ、「できれば利用したいと思った」が 21.4% となっている。

区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用希望日数をたずねたところ、「2・3日(48.9%)」が最も高く、「4・5日(19.5%)」、「6～10日(17.2%)」が続いており、平均 4.3 日となっている。

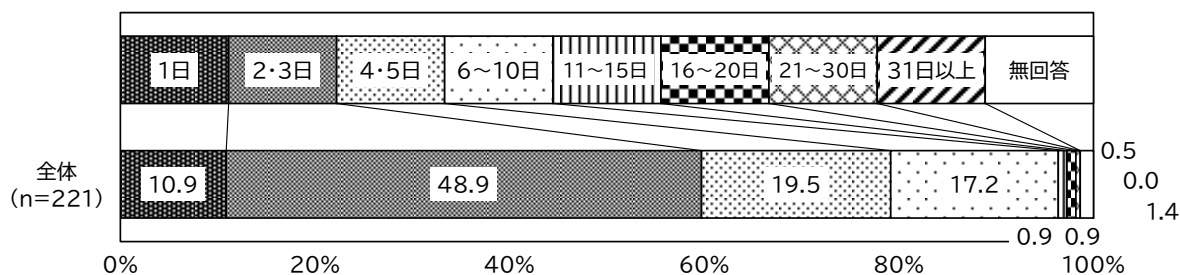
区の病児・病後児保育の利用希望(全体)

<この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人>



区の病児・病後児保育の利用希望日数(全体)

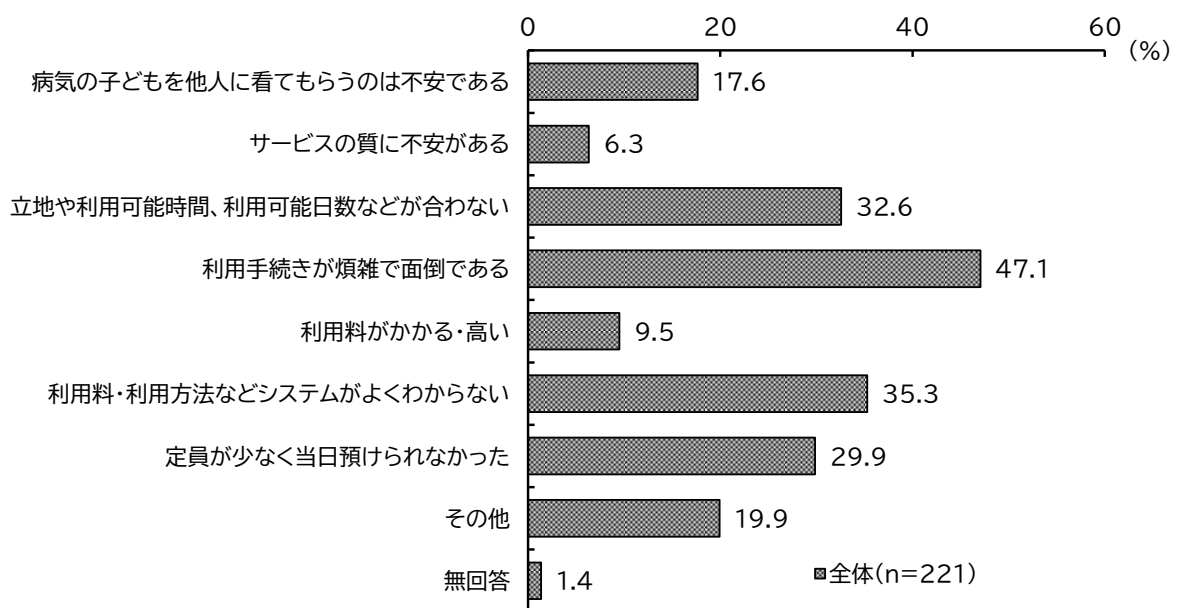
<父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>



(4) 区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由 (問 14-3)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人に、利用しなかった理由をたずねたところ、「利用手続きが煩雑で面倒である(47.1%)」が最も高く、「利用料・利用方法などシステムがよくわからない(35.3%)」、「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない(32.6%)」が続いている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由(全体):複数回答
<父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>



第2章 調査結果

子どもの学年別にみると、5年生では「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない」と「定員が少なく当日預けられなかった」が同率で最も高い。それ以外の学年では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域では「利用料・利用方法などシステムがわからない」、日本橋地域、月島地域では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAでは「利用料・利用方法などシステムがわからない」、タイプCでは「立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない」と「利用手続きが煩雑で面倒である」が同率で最も高くなっている。その他の家庭類型では「利用手続きが煩雑で面倒である」が最も高くなっている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由

(子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)：複数回答

<父親や母親が仕事を休んで子どもを看た人のうち区の病児・病後児保育をできれば利用したいと思った人>

(%)

			ら病 う気 のは 子 不 安 を 他 人 に 看 て も	サ ー ビ ス の 質 に 不 安 が あ る	能 立 地 日 数 な ど が 可 能 時 間 、 利 用 可	る 利 用 手 続 き が 煩 雑 で 面 倒 で あ	利 用 料 が か か る ・ 高 い	ム 利 用 料 ・ 利 用 方 法 な ど シ ス テ	か 定 員 が 少 な く 当 日 預 け ら れ な	そ の 他	無 回 答
全	体	(n= 221)	17.6	6.3	32.6	47.1	9.5	35.3	29.9	19.9	1.4
子 ど も の 学 年 別	1	年 生 (n= 59)	15.3	5.1	37.3	44.1	10.2	32.2	40.7	8.5	0.0
	2	年 生 (n= 48)	25.0	12.5	35.4	60.4	10.4	45.8	27.1	14.6	0.0
	3	年 生 (n= 50)	14.0	2.0	26.0	44.0	6.0	36.0	24.0	36.0	2.0
	4	年 生 (n= 31)	22.6	6.5	32.3	45.2	9.7	38.7	12.9	22.6	0.0
	5	年 生 (n= 18)	5.6	5.6	33.3	22.2	11.1	16.7	33.3	22.2	11.1
	6	年 生 (n= 15)	20.0	6.7	26.7	60.0	13.3	26.7	46.7	20.0	0.0
地 域 別	京	橋 地 域 (n= 49)	10.2	4.1	22.4	44.9	12.2	46.9	18.4	18.4	4.1
	日	本 橋 地 域 (n= 65)	16.9	9.2	40.0	55.4	7.7	36.9	29.2	15.4	0.0
	月	島 地 域 (n= 107)	21.5	5.6	32.7	43.0	9.3	29.0	35.5	23.4	0.9
家 庭 類 型 別	タ	イ プ A ひ と り 親 家 庭 (n= 8)	12.5	12.5	50.0	50.0	25.0	62.5	37.5	12.5	0.0
	タ	イ プ B フ ル タ イ ム × フ ル タ イ ム (n= 122)	18.0	4.1	32.0	48.4	10.7	35.2	25.4	20.5	0.8
	タ	イ プ C フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 40)	15.0	10.0	40.0	40.0	5.0	35.0	32.5	27.5	0.0
	タ	イ プ C' フ ル タ イ ム × パ ー ト タ イ ム (n= 17)	11.8	5.9	35.3	58.8	11.8	29.4	52.9	5.9	11.8
	タ	イ プ D 専 業 主 婦 (夫) (n= 27)	22.2	7.4	22.2	40.7	3.7	33.3	33.3	14.8	0.0

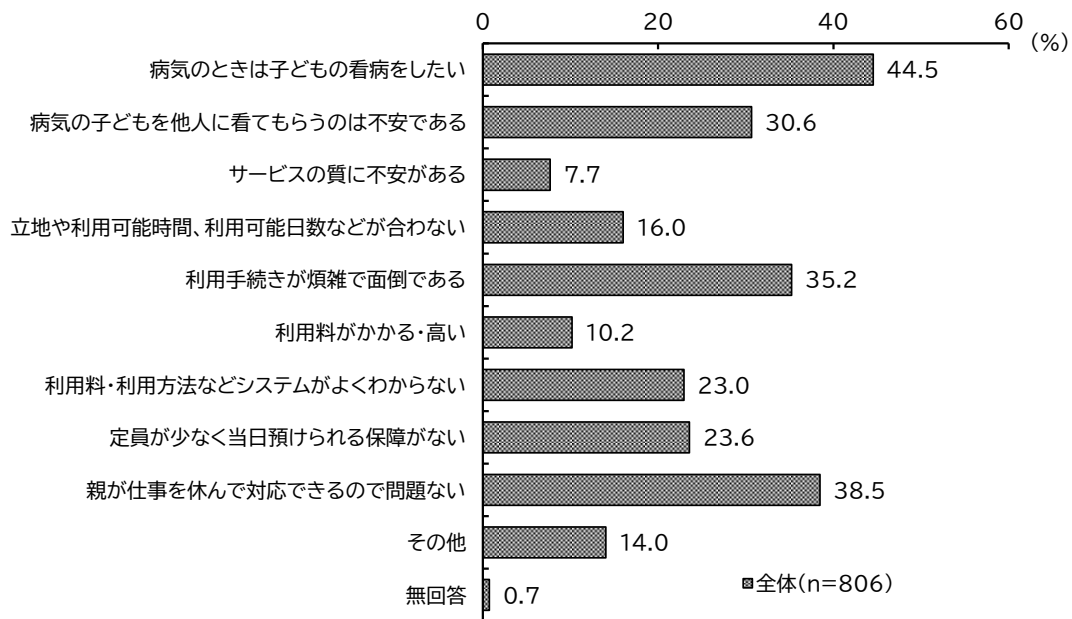
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(5) 区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった理由(問 14-4)

この1年間に病気やケガの経験があった人で、父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった人に、利用したいとは思わなかった理由をたずねたところ、「病気のときは子どもの看病をしたい(44.5%)」が最も高く、「親が仕事を休んで対応できるので問題ない(38.5%)」、「利用手続きが煩雑で面倒である(35.2%)」が続いている。

区の病児・病後児保育を利用したいと思ったが利用しなかった理由(全体):複数回答

<父親や母親が仕事を休んで子どもを見た人のうち区の病児・病後児保育を利用したいとは思わなかった人>

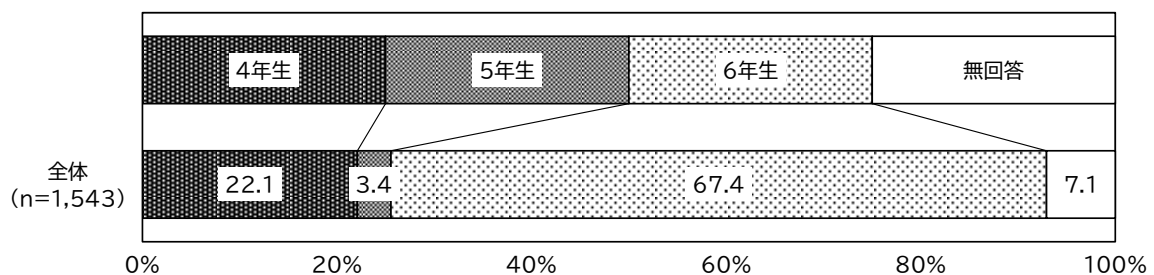


(6) 区の病児・病後児保育が高学年まで利用できるなら、何年生まで利用したいか(問 14-5)

この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人に、病児・病後児保育が高学年まで利用できるなら、何年生まで利用したいかたずねたところ、「6年生(67.4%)」が6割台を占めている。

病児・病後児保育が高学年まで利用できるなら、何年生まで利用したいか(全体)

<この1年間に子どもの病気やケガの経験があった人>



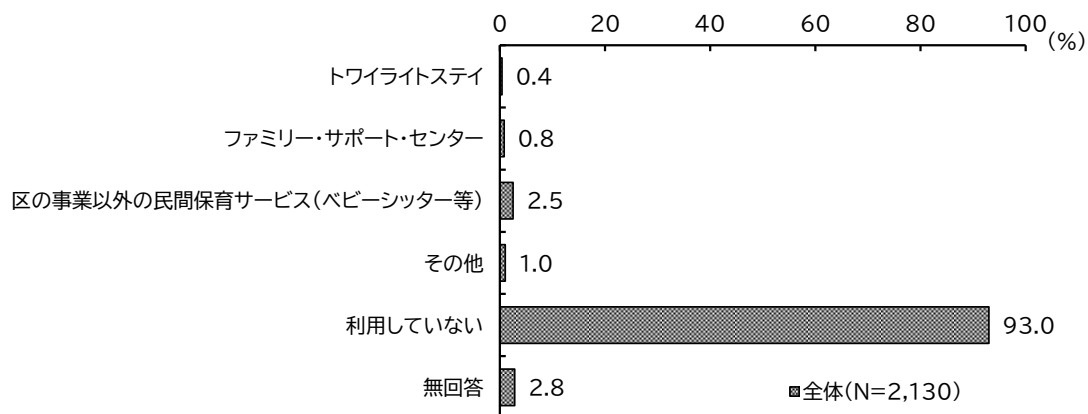
6 不定期の子育て支援事業の利用

(1)この1年間に不定期的に利用した事業(利用日数)(問 15)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期的に利用した事業は、「区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)(2.5%)」が最も高くなっている。「利用していない」は 93.0% である。

それぞれの事業を利用した人に、この1年間の利用日数をたずねたところ、利用した事業の割合が高い順に、「区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)」は平均 31.2 日、「ファミリー・サポート・センター」は平均 19.1 日、「トワイライトステイ」は平均 5.4 日、となっている。

この1年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期的に利用した事業(全体):複数回答



この1年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期的に利用した事業の利用日数(全体)

<それぞれの事業を利用した人>

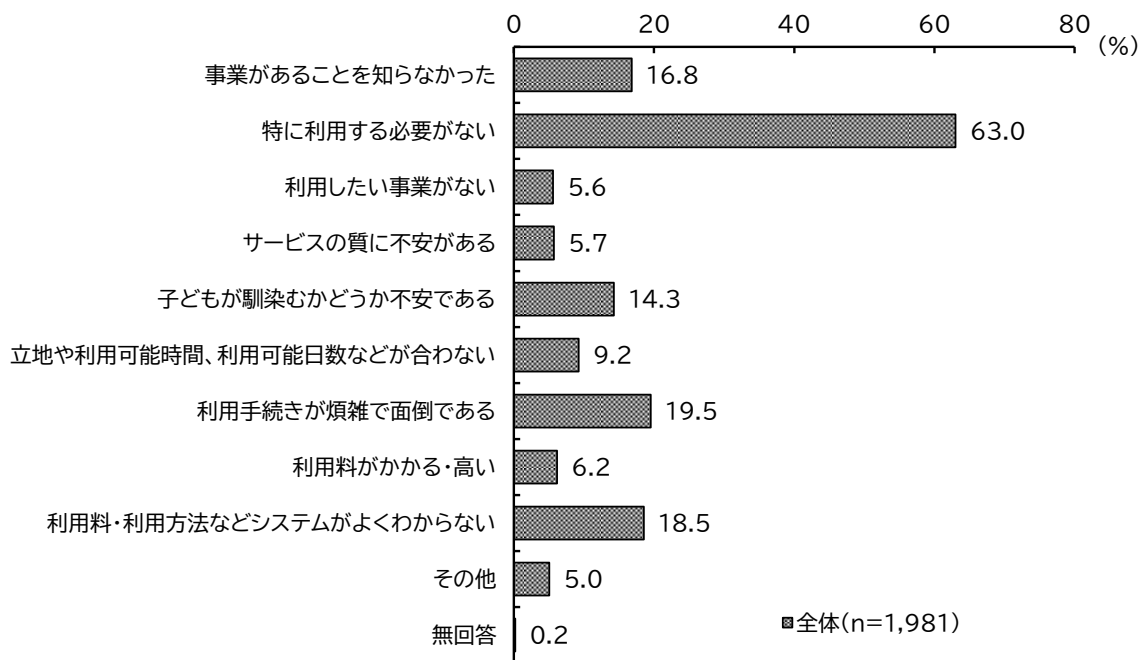
	(%)											平均日数	
	1日	2・3日	4・5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日以上	無回答		
トワイライトステイ (n= 9)	44.4	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4日
ファミリー・サポート・センター (n= 17)	17.6	11.8	17.6	5.9	11.8	17.6	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	19.1日
区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等) (n= 54)	14.8	20.4	11.1	18.5	0.0	5.6	9.3	0.0	1.9	18.5	0.0	0.0	31.2日
その他 (n= 22)	9.1	9.1	4.5	13.6	9.1	4.5	13.6	0.0	0.0	13.6	22.7	0.0	31.5日

(2)この1年間に不定期で事業を利用していない理由(問 15-1)

この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人に、不定期で事業を利用していない理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない(63.0%)」が最も高く、「利用手続きが煩雑で面倒である(19.5%)」、「利用料・利用方法などシステムがよくわからない(18.5%)」が続いている。

不定期で事業を利用していない理由(全体):複数回答

<この1年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>



第2章 調査結果

子どもの学年別にみると、どの学年でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。また、1年生では「利用手続きが煩雑で面倒である(25.1%)」、「利用料・利用方法などシステムがよくわからない(24.8%)」が全体を5ポイント以上上回っている。

居住地域別にみると、どの地域でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型でも「特に利用する必要がない」が最も高くなっている。

不定期で事業を利用していない理由(子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別):複数回答
 <この1年間に家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期で事業を利用していない人>

		か事業があることを知らない	特に利用する必要がない	利用したい事業がない	サービスの質に不安がある	子どもが馴染むかどうか不安	立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない	利用手続きが煩雑で面倒である	利用料がかかる・高い	利用料がよくわからないなどシステム	その他	(%) 無回答
全	体 (n=1,981)	16.8	63.0	5.6	5.7	14.3	9.2	19.5	6.2	18.5	5.0	0.2
子どもの学年別	1 年 生 (n= 327)	16.5	53.8	3.7	7.0	15.9	12.8	25.1	8.3	24.8	5.8	0.0
	2 年 生 (n= 339)	14.7	56.3	5.3	6.5	18.9	9.1	23.6	6.5	19.5	5.3	0.3
	3 年 生 (n= 342)	15.5	60.8	5.8	4.1	12.3	10.2	20.8	5.3	17.0	7.0	0.0
	4 年 生 (n= 321)	19.9	65.4	5.0	7.2	14.0	7.5	20.2	5.9	18.7	2.5	0.9
	5 年 生 (n= 335)	16.7	66.3	5.1	4.8	13.7	9.9	16.1	6.0	17.6	6.6	0.0
	6 年 生 (n= 315)	17.8	75.9	8.9	4.8	10.5	5.7	10.8	5.1	13.7	2.9	0.0
居住地域別	京 橋 地 域 (n= 467)	17.6	59.7	6.0	8.8	17.1	10.1	21.6	6.0	19.9	4.3	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 650)	16.2	62.9	6.6	4.8	12.0	9.2	18.6	5.1	18.5	5.7	0.2
	月 島 地 域 (n= 864)	16.9	64.8	4.6	4.7	14.5	8.8	19.1	7.1	17.8	5.0	0.3
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 59)	15.3	59.3	3.4	5.1	10.2	10.2	23.7	8.5	10.2	8.5	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 906)	17.8	61.0	5.2	5.8	14.8	9.2	22.2	6.0	19.6	4.4	0.2
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 320)	17.8	66.9	5.9	4.7	13.4	10.3	17.5	5.0	16.9	3.1	0.0
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 181)	9.4	61.9	8.8	3.9	13.8	9.9	18.2	10.5	18.8	7.2	0.6
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 412)	17.2	67.2	4.9	6.3	15.0	6.1	15.0	5.1	19.7	5.6	0.2

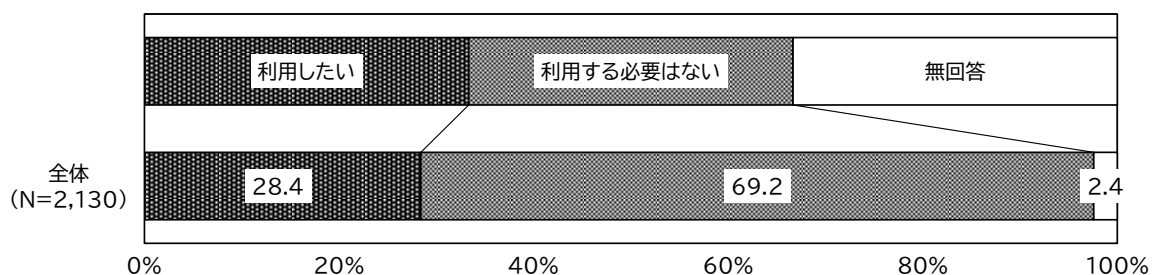
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(3)一時的な預かり事業の利用希望(問16)

◆一時的な預かり事業の利用希望

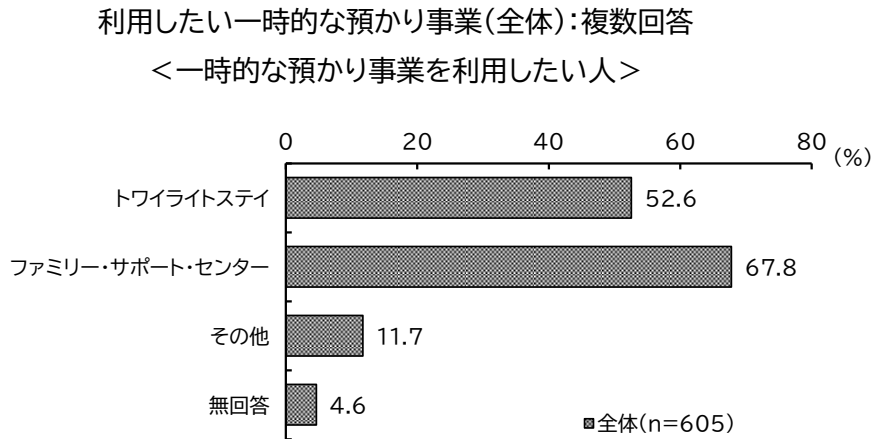
家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業の利用希望は、「利用したい」が28.4%となっている。

一時的な預かり事業の利用希望(全体)



◆利用したい一時的な預かり事業

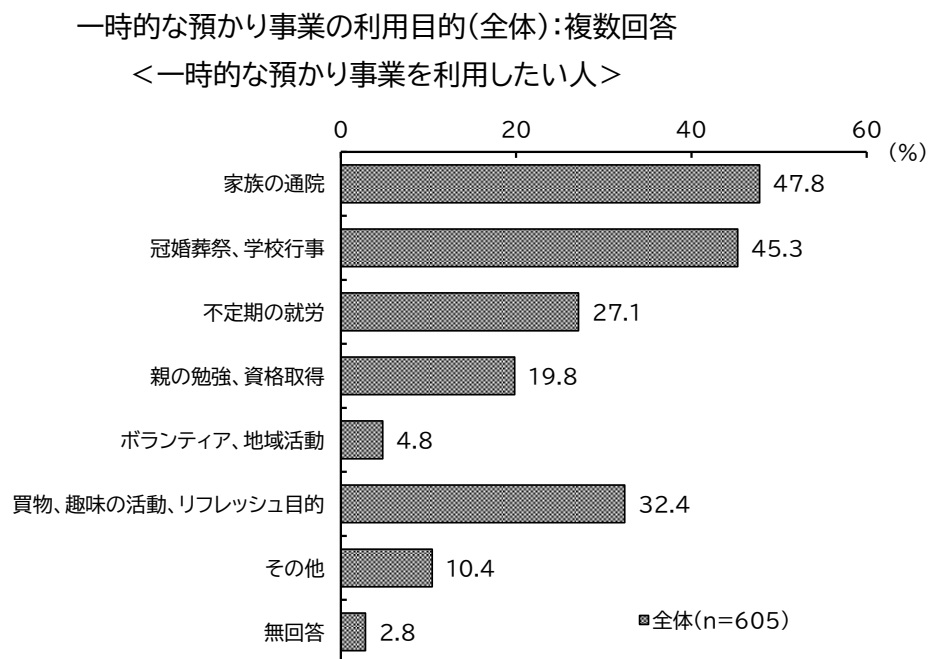
家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業を利用したい人に、利用したい一時的な預かり事業をたずねたところ、「ファミリー・サポート・センター」が67.8%、「トワイライトステイ」が52.6%となっている。



◆一時的な預かり事業の利用目的(利用目的別日数)

家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的による一時的な預かり事業を利用したい人に、一時的な預かり事業の利用目的をたずねたところ、「家族の通院(47.8%)」が最も高く、「冠婚葬祭、学校行事(45.3%)」、「買物、趣味の活動、リフレッシュ目的(32.4%)」が続いている。

一時的な預かり事業の1年当たりの利用目的別日数は、利用目的の割合が高い順に、「家族の通院」は平均 7.7 日、「冠婚葬祭、学校行事」は平均 3.5 日、「買物、趣味の活動、リフレッシュ目的」は平均 8.2 日となっている。



第2章 調査結果

1年当たりの利用目的別日数(全体) <一時的な預かり事業を利用したい人>

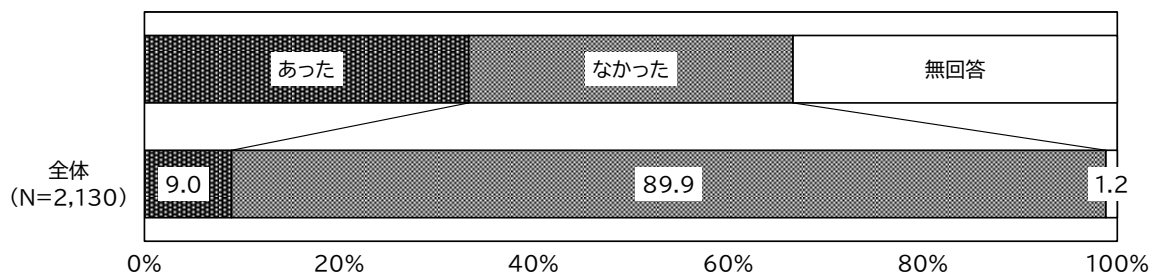
		(%)											平均日数
		1日	2・3日	4・5日	6 5 1 0日	1 1 5 1 5日	1 6 5 5 2 0日	2 1 5 3 0日	3 1 5 4 0日	4 1 5 5 0日	5 1 日 以上	無回答	
家族の通院	(n= 289)	14.9	30.4	18.0	18.7	8.0	3.5	3.8	0.3	0.7	0.3	1.4	7.7日
冠婚葬祭、学校行事	(n= 274)	25.2	42.0	19.0	10.6	1.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.8	3.5日
不定期の就労	(n= 164)	9.1	20.1	17.7	29.3	5.5	4.3	4.9	0.6	2.4	4.3	1.8	13.7日
親の勉強、資格取得	(n= 120)	4.2	14.2	16.7	32.5	9.2	3.3	9.2	0.8	1.7	6.7	1.7	19.3日
ボランティア、地域活動	(n= 29)	20.7	31.0	10.3	17.2	6.9	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	11.5日
買物、趣味の活動、リフレッシュ目的	(n= 196)	8.7	23.0	22.4	21.4	13.3	4.1	4.1	0.5	0.5	0.5	1.5	8.2日
その他	(n= 63)	12.7	9.5	15.9	22.2	1.6	9.5	7.9	0.0	4.8	12.7	3.2	24.8日

(4) 宿泊を伴う一時預かりの状況(問 17)

◆ 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無

この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無は、「あった」が9.0%となっている。

宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無(全体)



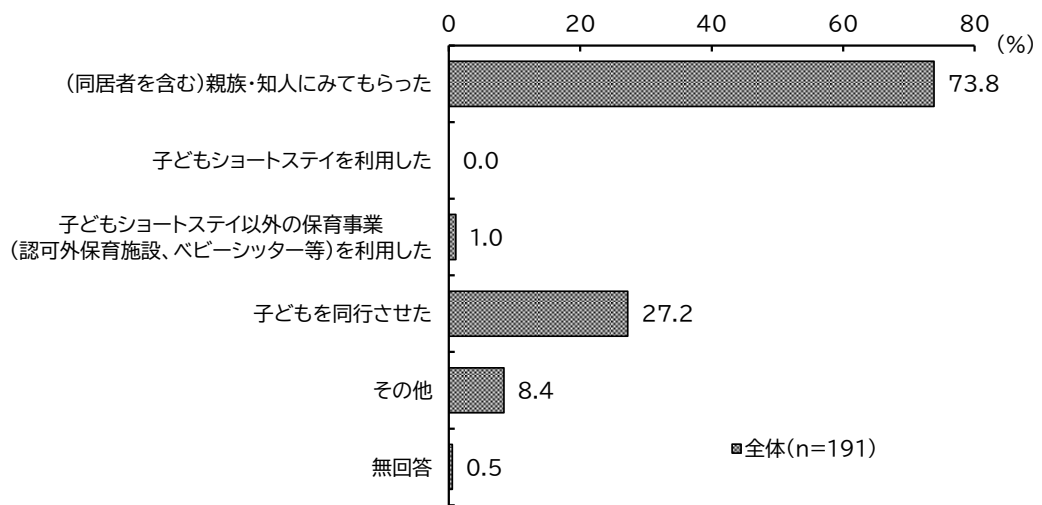
◆宿泊を伴う一時預かりが必要となった場合の対処方法(対処方法別日数)

この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人に、対処方法をたずねたところ、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった(73.8%)」が最も高く、「子どもを同行させた(27.2%)」が続いている。

宿泊を伴う一時預かり等の1年当たりの対処方法別日数は、対処方法の割合が高い順に、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」は平均 4.8 泊、「子どもを同行させた」は平均 3.8 泊となっている。

対処方法(全体):複数回答

<この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人>



1年当たりの対処方法別日数(全体)

<この1年間に冠婚葬祭、家族の病気などによる宿泊を伴う一時預かり等の必要性があった人>

	(%)									平均泊数
	1泊	2・3泊	4・5泊	6以上	1泊	1泊	2泊	3泊以上	無回答	
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった (n= 141)	20.6	39.0	15.6	14.9	4.3	2.1	2.8	0.0	0.7	4.8泊
子どもショートステイを利用した (n= 0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもショートステイ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した (n= 2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	5.0泊
子どもを同行させた (n= 52)	25.0	40.4	11.5	15.4	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	3.8泊
その他 (n= 16)	25.0	25.0	18.8	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	12.5	5.7泊

7 放課後の過ごし方

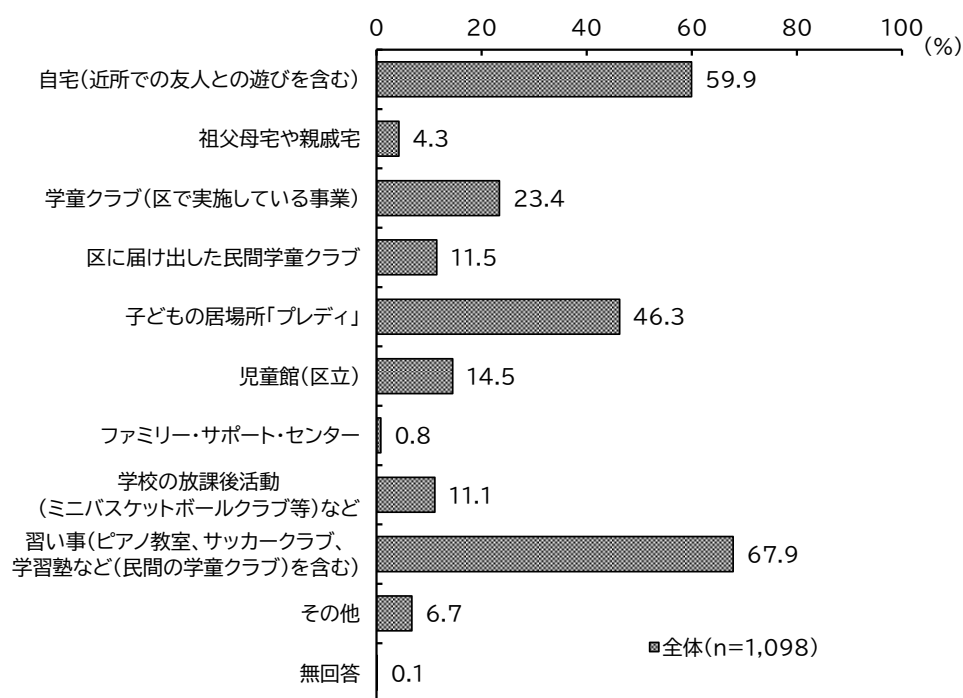
(1) 小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方(問 18)

小学校低学年(1～3年生)のお子さんがある人の小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))(67.9%)」が最も高く、「自宅(近所での友人との遊びを含む)(59.9%)」、「子どもの居場所「プレディ」(46.3%)」、「学童クラブ(区で実施している事業)(23.4%)」が続いている。

1週当たりの利用日数は、放課後の過ごし方の割合が高い順に、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))」は現在が平均2.8日、希望が平均2.8日、「自宅(近所での友人との遊びを含む)」は現在が平均3.0日、希望が平均2.7日、「子どもの居場所「プレディ」」は現在が平均2.5日、希望が平均2.7日、「学童クラブ(区で実施している事業)」は現在が平均3.9日、希望が平均3.9日となっている。

小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方(全体):複数回答

<小学校低学年(1～3年生)のお子さんがある人>



小学校低学年時の平日の放課後の過ごし方の1週当たりの現在と希望の利用日数(全体)

<小学校低学年(1～3年生)のお子さんがある人>

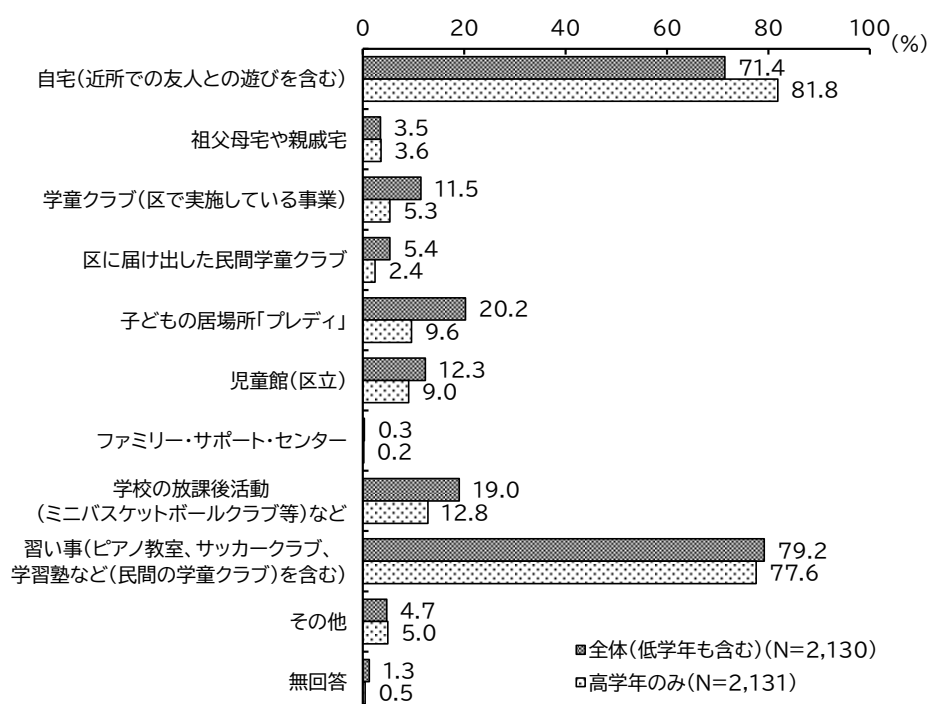
	現在		希望	
	n	平均	n	平均
自宅(近所での友人との遊びを含む)	658	3.0日	658	2.7日
祖父母宅や親戚宅	47	1.4日	47	1.7日
学童クラブ(区で実施している事業)	257	3.9日	257	3.9日
区に届け出した民間学童クラブ	126	3.2日	126	3.1日
子どもの居場所「プレディ」	508	2.5日	508	2.7日
児童館(区立)	159	1.5日	159	1.9日
ファミリー・サポート・センター	9	-	9	1.4日
学校の放課後活動(ミニバスケットボールクラブ等)など	122	1.4日	122	1.8日
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))	745	2.8日	745	2.8日
その他	74	3.2日	74	3.2日

(2)小学校高学年時の平日の放課後の過ごし方(問 19)

小学校高学年時の平日の放課後の過ごし方は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブ)を含む)(79.2%)」が最も高く、「自宅(近所での友人との遊びを含む)(71.4%)」、「子どもの居場所「プレディ」(20.2%)」、「学校の放課後活動(ミニバスケットボールクラブ等)など(19.0%)」が続いている。

高学年のみでは、「自宅(近所での友人との遊びを含む)(81.8%)」が最も高く、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブ)を含む)(77.6%)」が続いている。

小学校高学年時の平日の放課後の過ごし方(全体):複数回答



第2章 調査結果

1週当たりの利用日数は、放課後の過ごし方の割合が高い順に、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))」は現在が平均3.2日、希望が平均3.0日、「自宅(近所での友人との遊びを含む)」は現在が平均3.2日、希望が平均2.8日、「子どもの居場所「プレディ」」は現在が平均2.1日、希望が平均2.6日、「学校の放課後活動(ミニバスケットボールクラブ等)など」は現在が平均2.0日、希望が平均1.9日となっている。

小学校高学年時の平日の放課後の過ごし方の1週当たりの現在と希望の利用日数(全体)

<現在は高学年のみ回答>

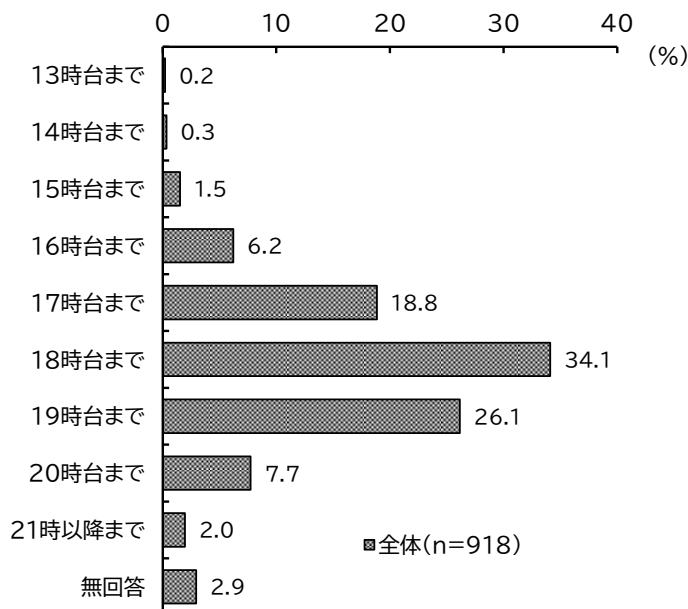
	現在 (高学年のみ)		希望 (全体)	
	n	平均	n	平均
自宅(近所での友人との遊びを含む)	842	3.2日	1,521	2.8日
祖父母宅や親戚宅	37	2.6日	74	1.9日
学童クラブ(区で実施している事業)	55	2.1日	244	3.2日
区に届け出した民間学童クラブ	25	2.0日	114	2.7日
子どもの居場所「プレディ」	99	2.1日	431	2.6日
児童館(区立)	93	1.4日	263	1.9日
ファミリー・サポート・センター	2	2.0日	7	2.2日
学校の放課後活動(ミニバスケットボールクラブ等)など	132	2.0日	405	1.9日
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など(民間の学童クラブを含む))	798	3.2日	1,686	3.0日
その他	51	2.3日	101	2.8日

(3)学童クラブ等の利用希望時間帯(問20)

学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人(918人)に、利用希望時間帯をたずねたところ、下校時から「18時台まで(34.1%)」が最も多く、「19時台まで(26.1%)」、「17時台まで(18.8%)」が続いている。

学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用希望時間帯(全体)

<学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人>



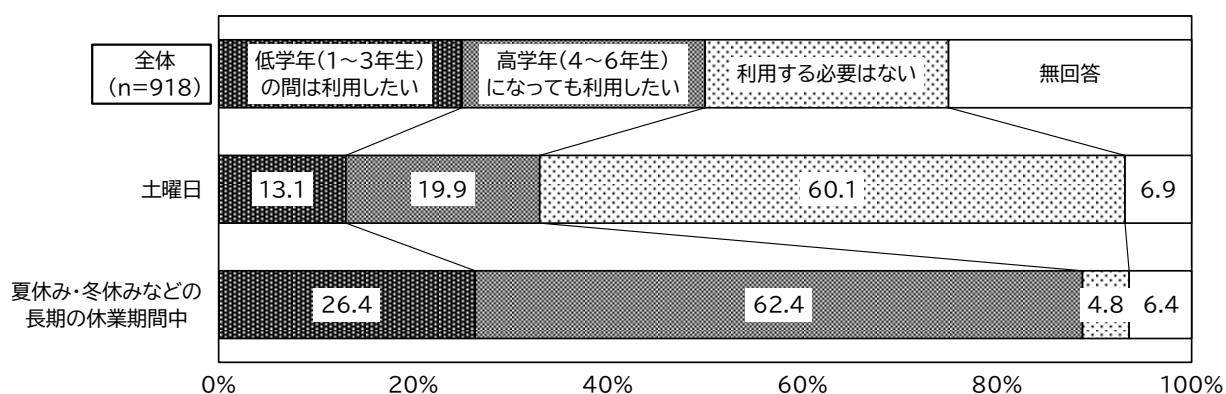
(4)土曜日、長期の休業期間中の学童クラブ等の利用意向(問 21(1))

学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人に、土曜日や長期の休業期間中の学童クラブや子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用意向をたずねた。土曜日は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 13.1%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 19.9%、「利用する必要はない」が 60.1%となっている。長期の休業期間中は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 26.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 62.4%、「利用する必要はない」が 4.8%となっている。

利用を希望する人のうち、土曜日に利用したい人の利用希望時間帯は、9時台から 15 時台が 80.0%以上となっている。長期の休業期間中に利用したい人の利用希望時間帯は、9時台から 17 時台が 80.0%以上となっている。

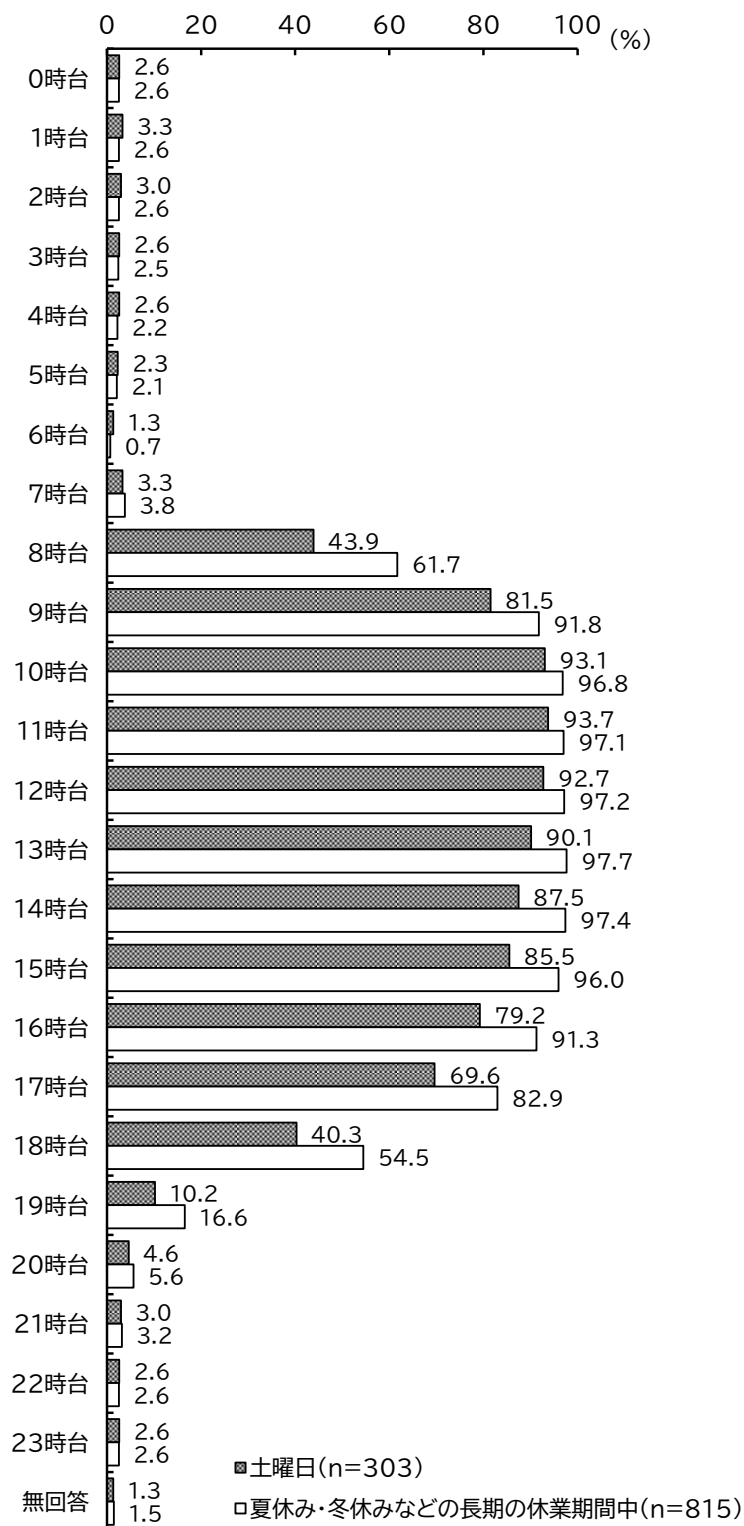
土曜日、長期の休業期間中の学童クラブ等の利用意向(全体)

<学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人>



第2章 調査結果

土曜日、長期の休業期間中の学童クラブ等の利用希望時間帯(全体)
 <学童クラブ、子どもの居場所「プレディ」、区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人のうち、
 土曜日、長期の休業期間中に利用したい人>

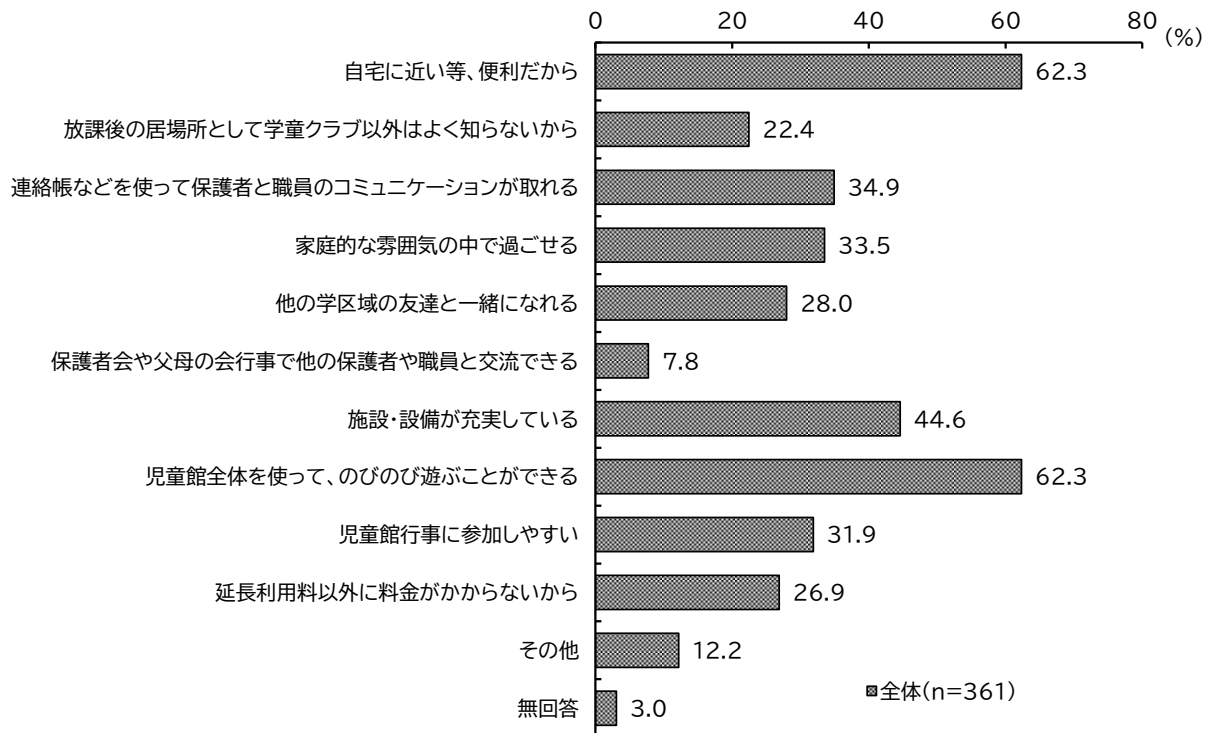


(5)学童クラブを利用したい理由(問 22)

学童クラブの利用を希望する人に、学童クラブを利用したい理由をたずねたところ、「自宅に近い等、便利だから(62.3%)」と「児童館全体を使って、のびのび遊ぶことができる(62.3%)」が同率で最も高く、「施設・設備が充実している(44.6%)」が続いている。

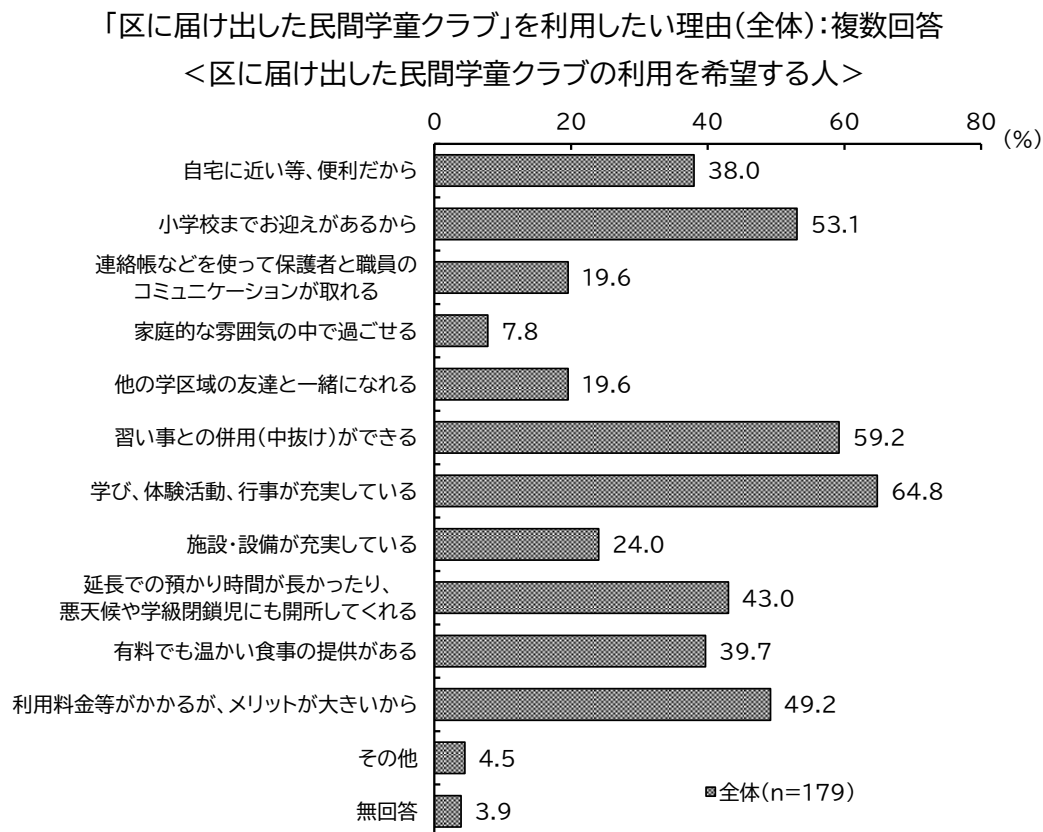
学童クラブを利用したい理由(全体):複数回答

<学童クラブの利用を希望する人>



(6)区に届け出した民間学童クラブを利用したい理由(問 23)

区に届け出した民間学童クラブの利用を希望する人に、「区に届け出した民間学童クラブ」を利用したい理由をたずねたところ、「学び、体験活動、行事が充実している(64.8%)」が最も高く、「習い事との併用(中抜け)ができる(59.2%)」、「小学校までお迎えがあるから(53.1%)」が続いている。

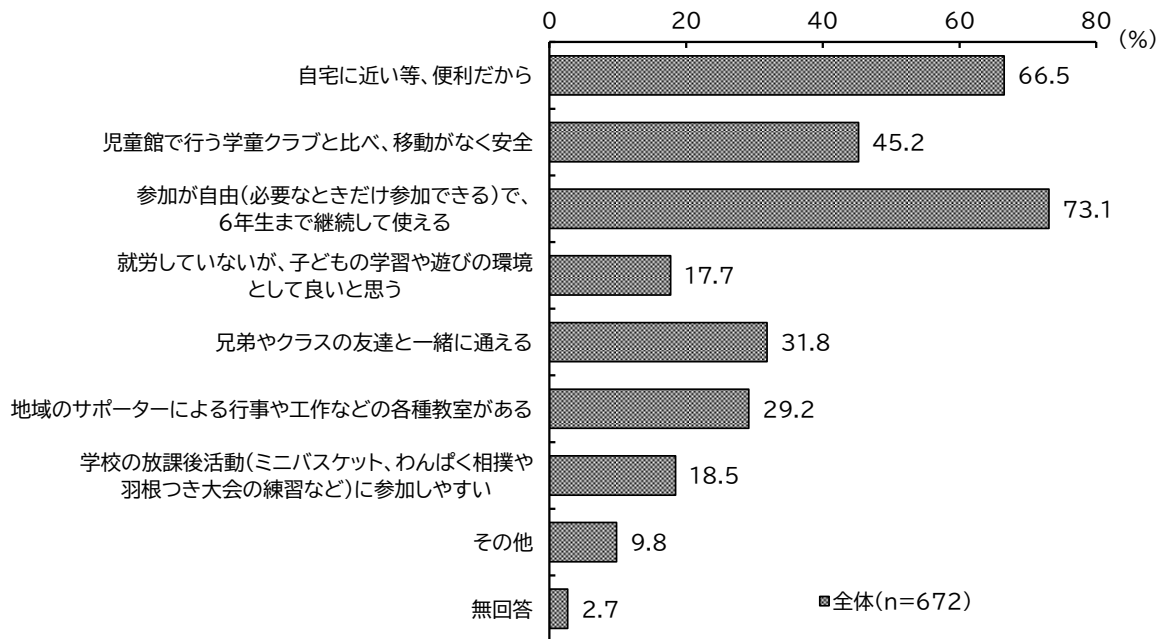


(7)子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由(問 24)

子どもの居場所「プレディ」の利用を希望する人に、子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由をたずねたところ、「参加が自由(必要なときだけ参加できる)で、6年生まで継続して使える(73.1%)」が最も高く、「自宅に近い等、便利だから(66.5%)」、「児童館で行う学童クラブと比べ、移動がなく安全(45.2%)」が続いている。

子どもの居場所「プレディ」を利用したい理由(全体):複数回答

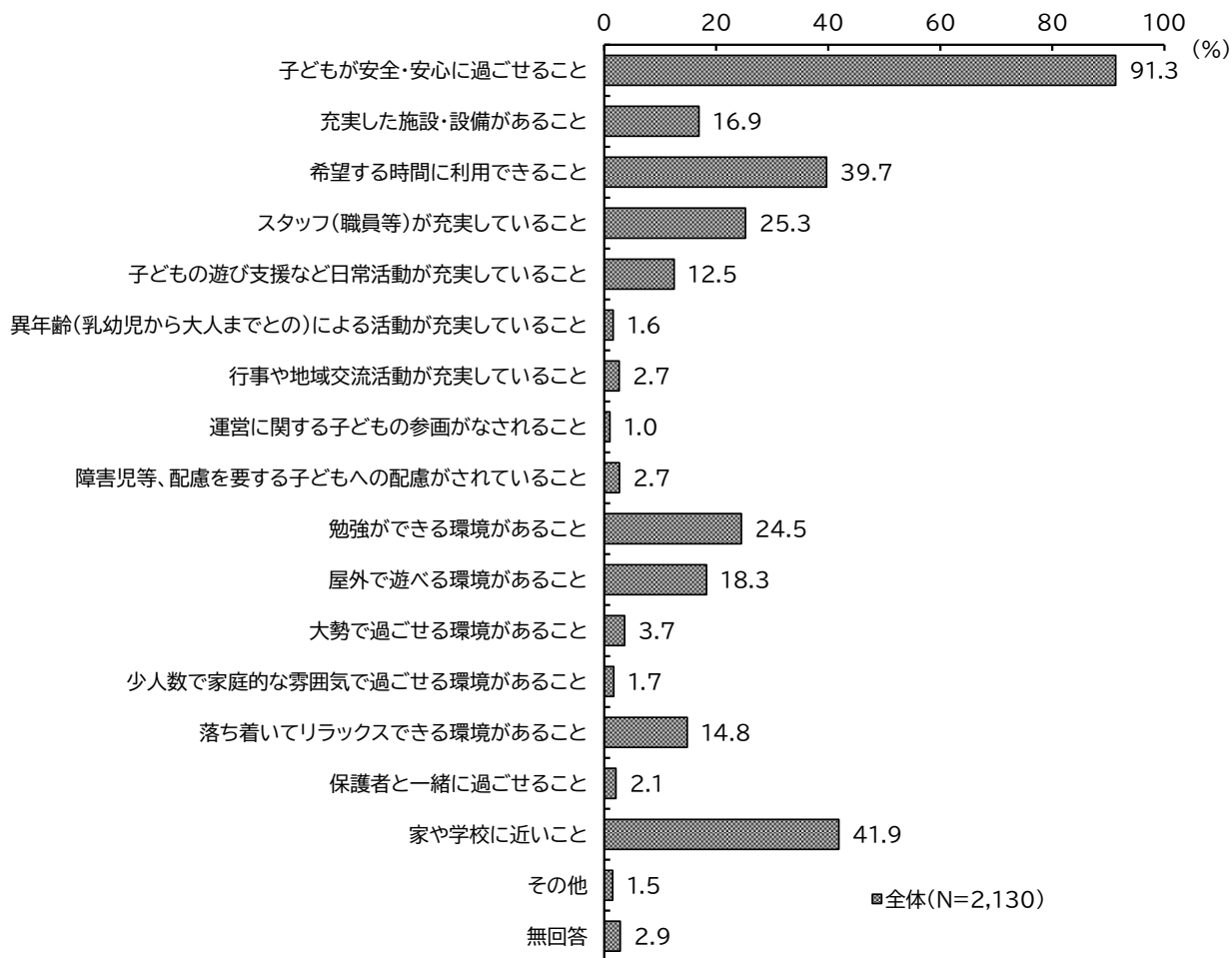
<子どもの居場所「プレディ」の利用を希望する人>



(8)子どもが放課後過ごす場所として重視していること(問 25)

子どもが放課後過ごす場所として重視していることは、「子どもが安全・安心に過ごせること(91.3%)」が9割を超えて最も高く、「家や学校に近いこと(41.9%)」、「希望する時間に利用できること(39.7%)」が続いている。

子どもが放課後過ごす場所として重視していること:複数回答(3 つまで)



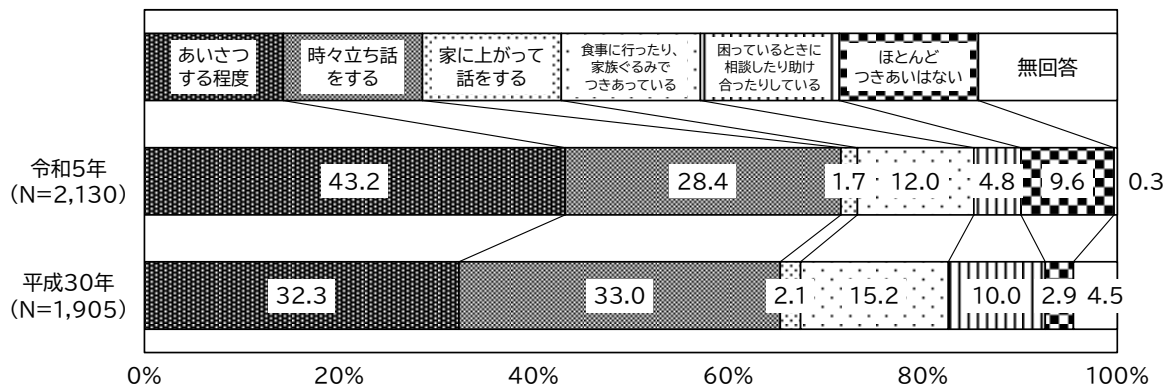
8 地域における子育て

(1)近所づきあいの程度(問26)

近所づきあいの程度は、「あいさつする程度(43.2%)」が最も高く、「時々立ち話をする(28.4%)」、「食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている(12.0%)」が続いている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では「あいさつする程度(32.3%→43.2%)」、「ほとんどつきあいはない(2.9%→9.6%)」の割合が高くなっている。

近所づきあいの程度(全体)【経年比較】



子どもの学年別にみると、5年生で「ほとんどつきあいはない」が 12.4%で全体を 2.8 ポイント上回っている。

居住地域別にみると、月島地域では「食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている(13.9%)」と「ほとんどつきあいはない(11.8%)」が、他の地域に比べて高くなっている。

近所づきあいの程度(全体、子どもの学年別、居住地域別)

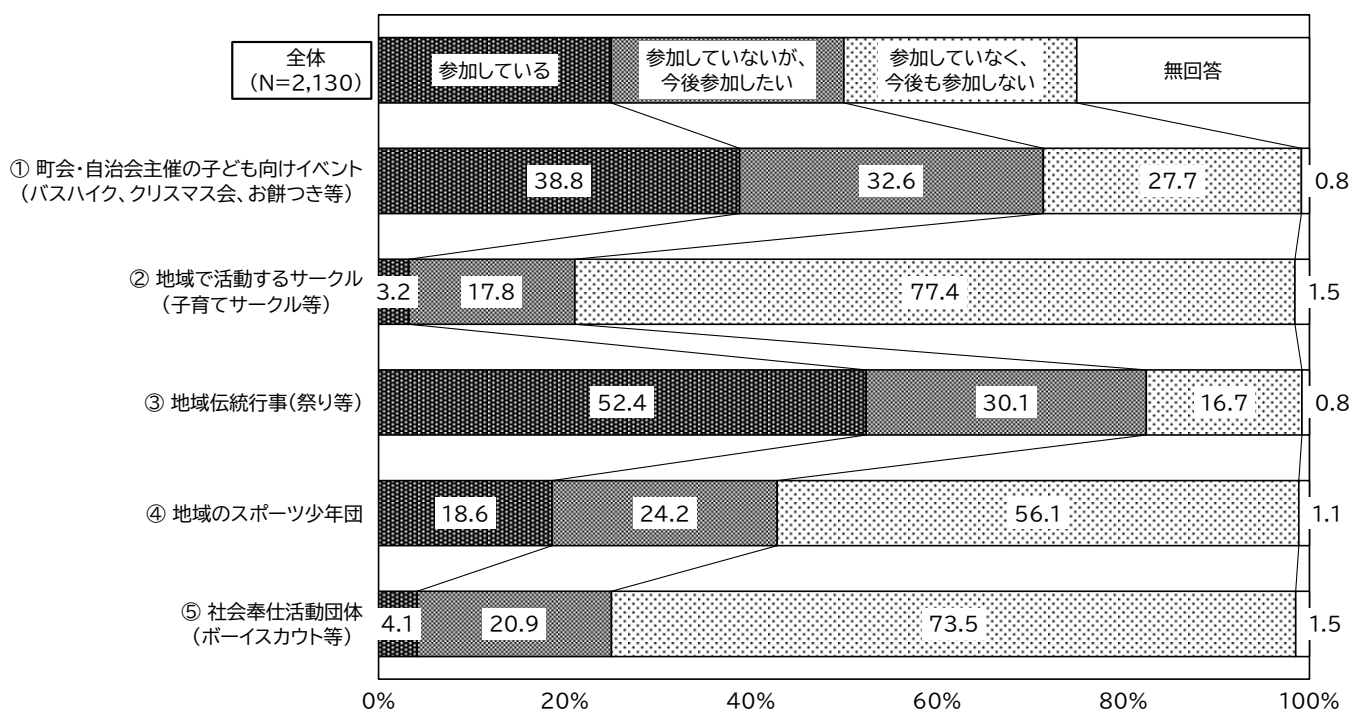
		あいさつする程度	時々立ち話をする	家の上がって話をする	食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている	困っているときに相談したり助け合ったりしている	ほとんどつきあいはない	無回答
全	体 (N=2,130)	43.2	28.4	1.7	12.0	4.8	9.6	0.3
子 ど も の 学 年 別	1 年 生 (n= 363)	41.3	27.5	2.2	14.3	4.7	8.8	1.1
	2 年 生 (n= 366)	42.3	31.4	1.9	8.7	4.9	10.7	0.0
	3 年 生 (n= 369)	48.0	25.7	3.0	11.4	4.3	7.3	0.3
	4 年 生 (n= 344)	43.6	27.6	1.5	14.2	4.9	7.8	0.3
	5 年 生 (n= 355)	42.3	26.8	0.8	13.0	4.8	12.4	0.0
	6 年 生 (n= 330)	42.1	30.9	0.6	10.3	5.2	10.6	0.3
地 域 別	京 橋 地 域 (n= 498)	46.8	30.9	1.2	9.2	4.0	7.4	0.4
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	44.3	29.9	2.0	11.4	4.2	8.2	0.0
	月 島 地 域 (n= 936)	40.6	25.7	1.7	13.9	5.8	11.8	0.5

(2)地域の行事や組織への参加状況・参加意向(問 27)

地域の行事や組織への参加状況・参加意向について、「参加している」の割合は、『③ 地域伝統行事(祭り等)(52.4%)』で最も高く、『① 町会・自治会主催の子ども向けイベント(バスハイク、クリスマス会、お餅つき等)(38.8%)』、『④ 地域のスポーツ少年団(18.6%)』が続いている。

「参加していないが、今後参加したい」の割合は、『① 町会・自治会主催の子ども向けイベント(バスハイク、クリスマス会、お餅つき等)(32.6%)』で最も高く、『③ 地域伝統行事(祭り等)(30.1%)』が続いている。

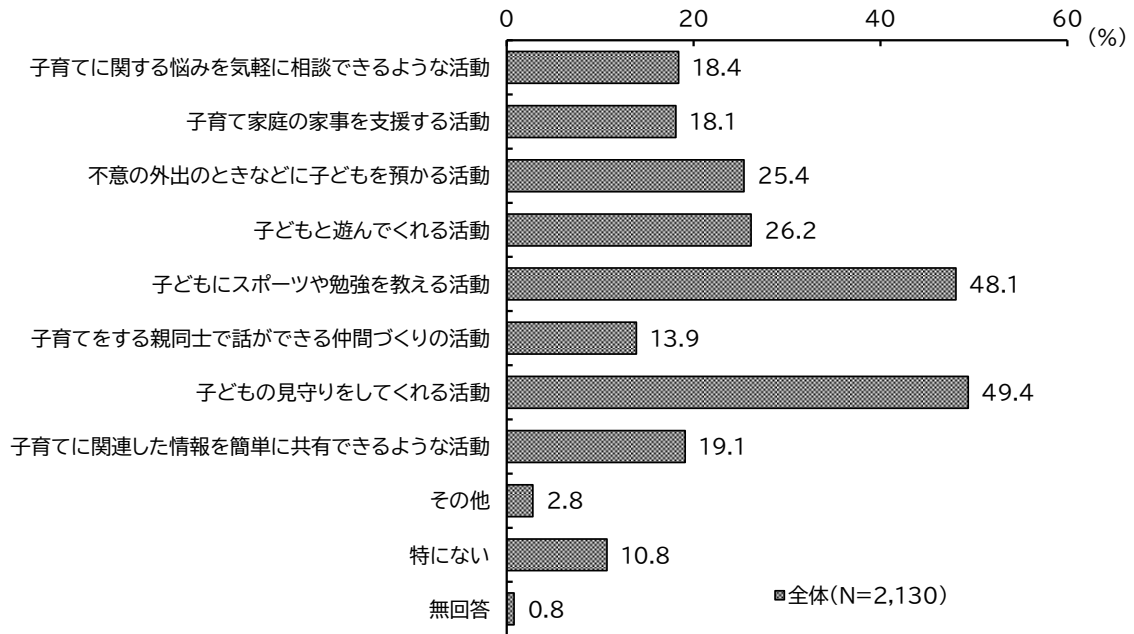
地域の行事や組織への参加状況・参加意向(全体)



(3)期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(問 28)

期待する地域住民による子ども・子育て支援活動は、「子どもの見守りをしてくれる活動(49.4%)」が最も高く、「子どもにスポーツや勉強を教える活動(48.1%)」、「子どもと遊んでくれる活動(26.2%)」、「不意の外出のときなどに子どもを預かる活動(25.4%)」が続いている。

期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(全体):複数回答



居住地域別にみると、京橋地域、日本橋地域では「子どもの見守りをしてくれる活動」、月島地域では「子どもにスポーツや勉強を教える活動」が最も多くなっている。

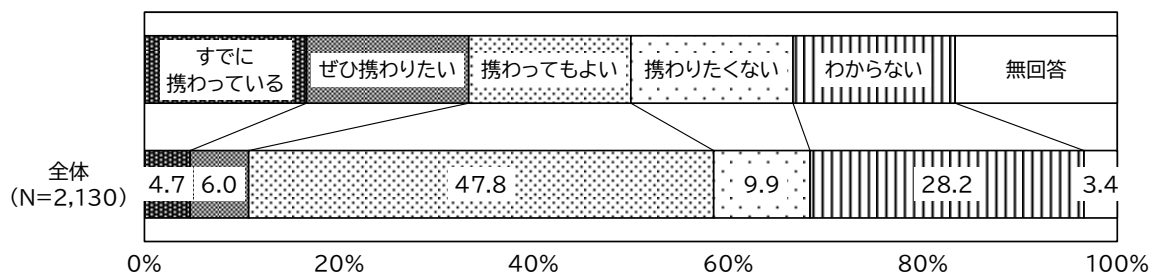
期待する地域住民による子ども・子育て支援活動(全体、居住地域別):複数回答

		子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動を	子育てで家庭の家事を支援する活動	不意の外出のときなどに子どもを預かる活動	子どもと遊んでくれる活動	子どもにスポーツや勉強を教える活動	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動	子どもの見守りをしてくれる活動	子育てに関連した情報を簡単に共有できるような活動	その他	特にな	無回答
全	体 (N=2,130)	18.4	18.1	25.4	26.2	48.1	13.9	49.4	19.1	2.8	10.8	0.8
地 域 別	京橋地域 (n= 498)	17.9	16.3	27.5	27.5	48.4	13.1	52.6	16.7	2.4	10.2	0.4
	日本橋地域 (n= 695)	14.7	16.3	23.7	24.6	43.0	12.7	50.9	17.8	3.3	11.8	0.7
	月島地域 (n= 936)	21.5	20.5	25.5	26.6	51.7	15.3	46.5	21.4	2.7	10.3	1.1

(4)地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか (問29)

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいかたずねたところ、「すでに携わっている」が4.7%、「ぜひ携わりたい」が6.0%、「携わってもよい」が47.8%であり、合計すると、携わる意向がある人は58.5%となっている。

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか(全体)



居住地域別にみると、どの地域においても携わる意向がある人は5割台後半となっている。

地域住民による子ども・子育て支援活動に将来的に携わってもよいか(全体、居住地域別)

		(%)					
		い す で に 携 わ っ て	ぜ ひ 携 わ り た い	携 わ っ て も よ い	携 わ り た く な い	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N=2,130)	4.7	6.0	47.8	9.9	28.2	3.4
地 域 別 居 住	京橋地域 (n= 498)	5.0	4.2	50.0	10.0	26.9	3.8
	日本橋地域 (n= 695)	5.3	7.1	47.5	9.5	28.2	2.4
	月島地域 (n= 936)	4.1	6.2	46.8	10.1	28.8	4.0

9 子育てに関する意識

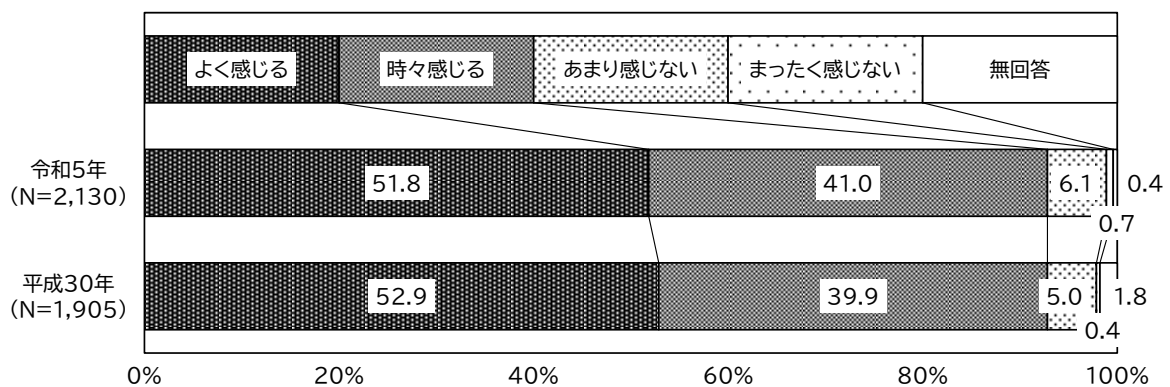
(1) 子育ての感想(問 30)

子育ての感想は、《感じる》(「よく感じる」と「時々感じる」の合計)の割合は、『③ 子どもがいると家庭が明るくなる(98.6%)』、『② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ(97.5%)』、『① 子育てが楽しい(92.8%)』では9割超、『⑤ 自分の時間が取れず自由がない(65.2%)』、『④ 子どものことでどうして良いかわからなくなる(60.7%)』では6割台、『⑧ 仕事と子育ての両立が難しい(58.7%)』、『⑥ 子育てに不安を感じる(56.3%)』、『⑦ 子育てに負担を感じる(52.9%)』では5割台となっている。

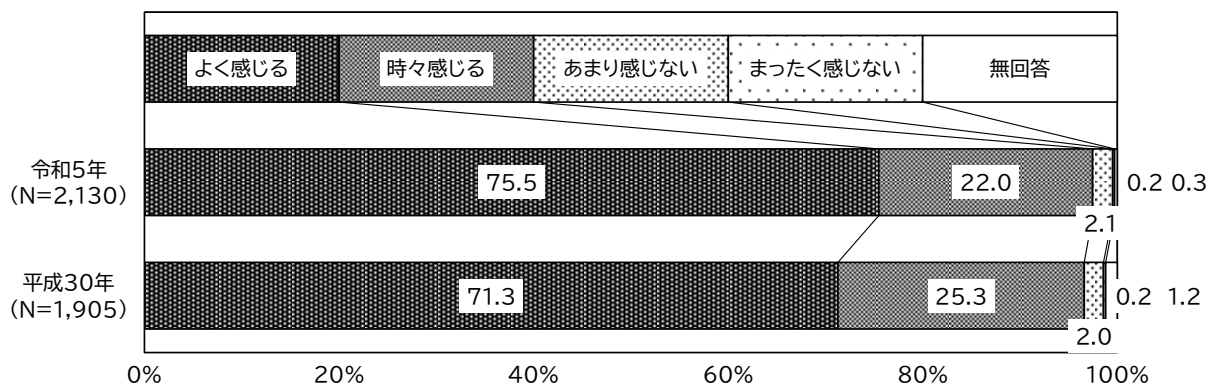
平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では、「よく感じる」の割合が『② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ(71.3%→75.5%)』、『⑥ 子育てに不安を感じる(6.7%→10.9%)』、『⑦ 子育てに負担を感じる(7.8%→12.7%)』、『⑧ 仕事と子育ての両立が難しい(18.6%→23.1%)』で4ポイント以上高くなっている。

子育ての感想(全体)【経年比較】

① 子育てが楽しい

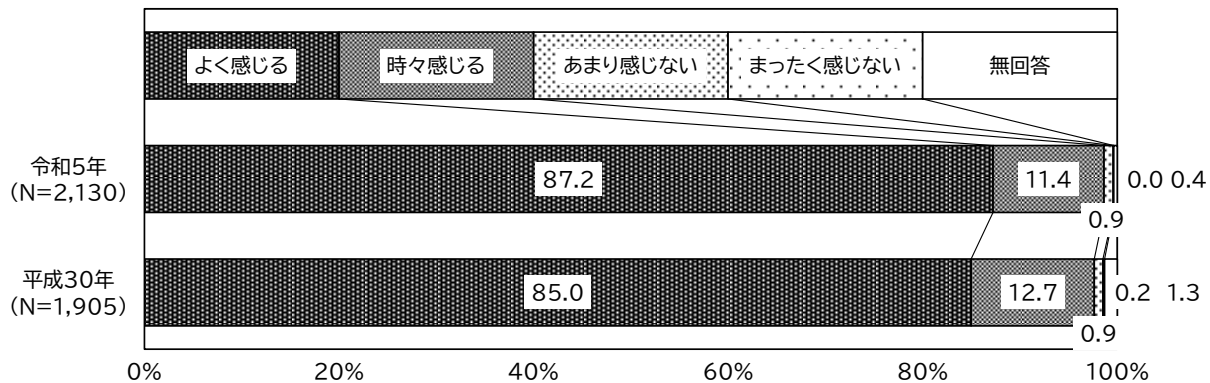


② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ

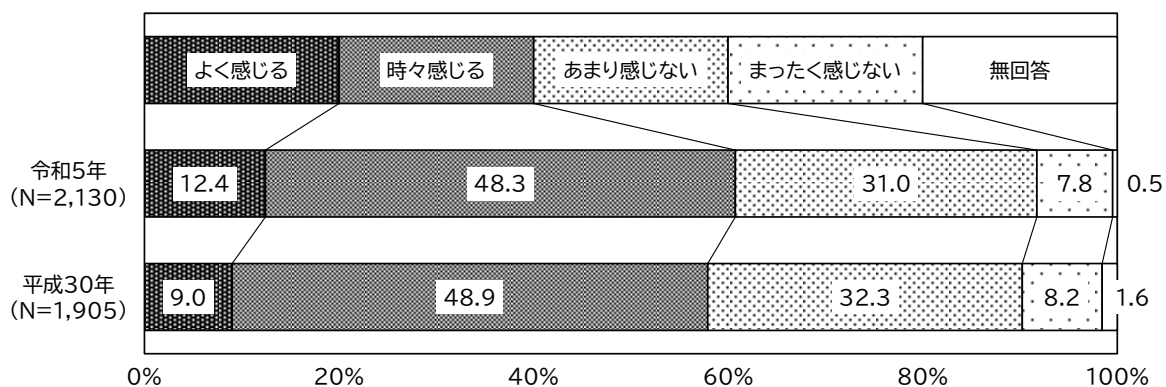


第2章 調査結果

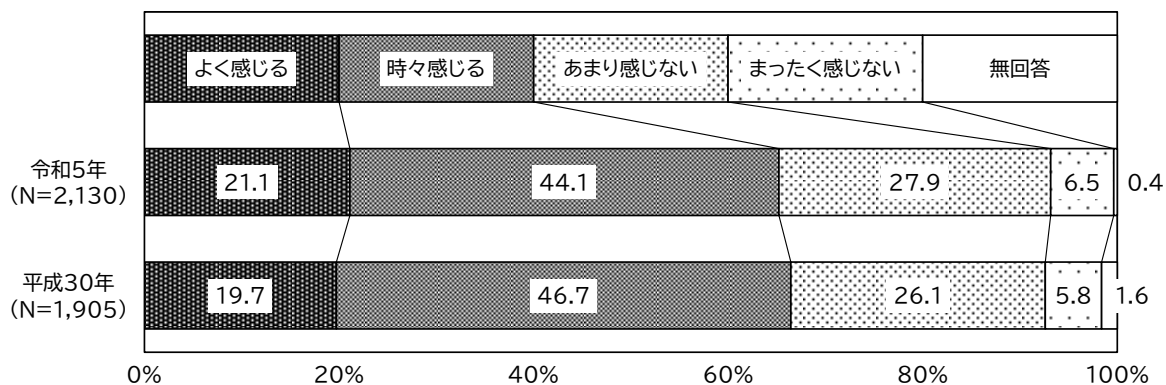
③ 子どもがいると家庭が明るくなる



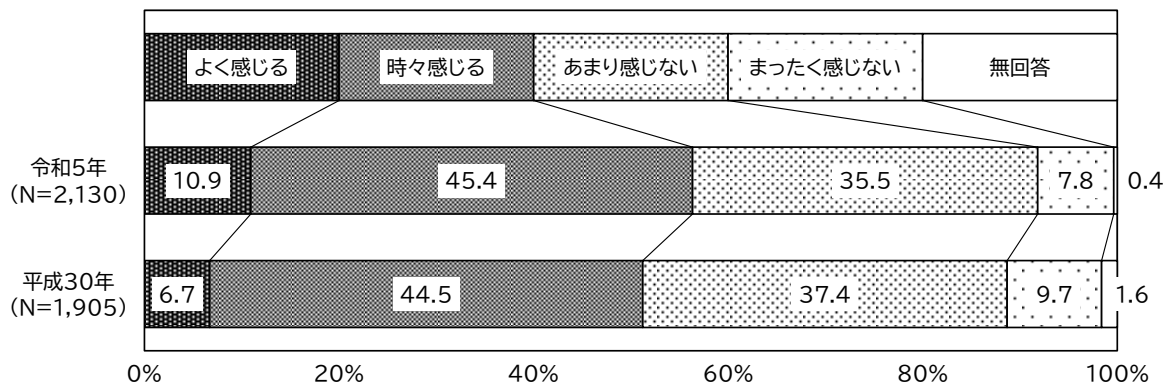
④ 子どものことでどうして良いかわからなくなる



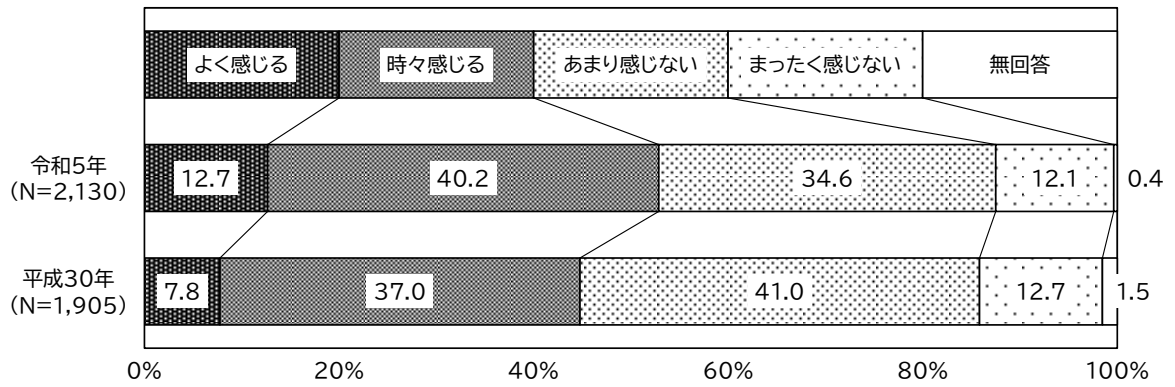
⑤ 自分の時間が取れず自由がない



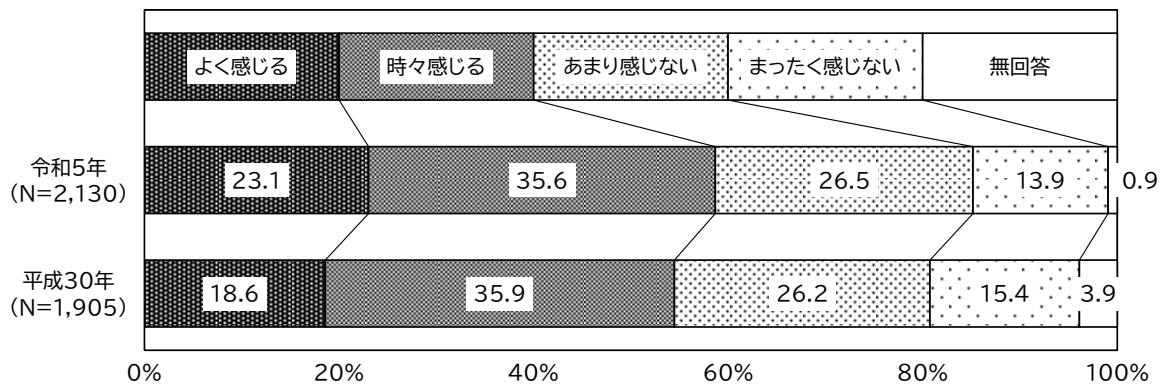
⑥ 子育てに不安を感じる



⑦ 子育てに負担を感じる



⑧ 仕事と子育ての両立が難しい

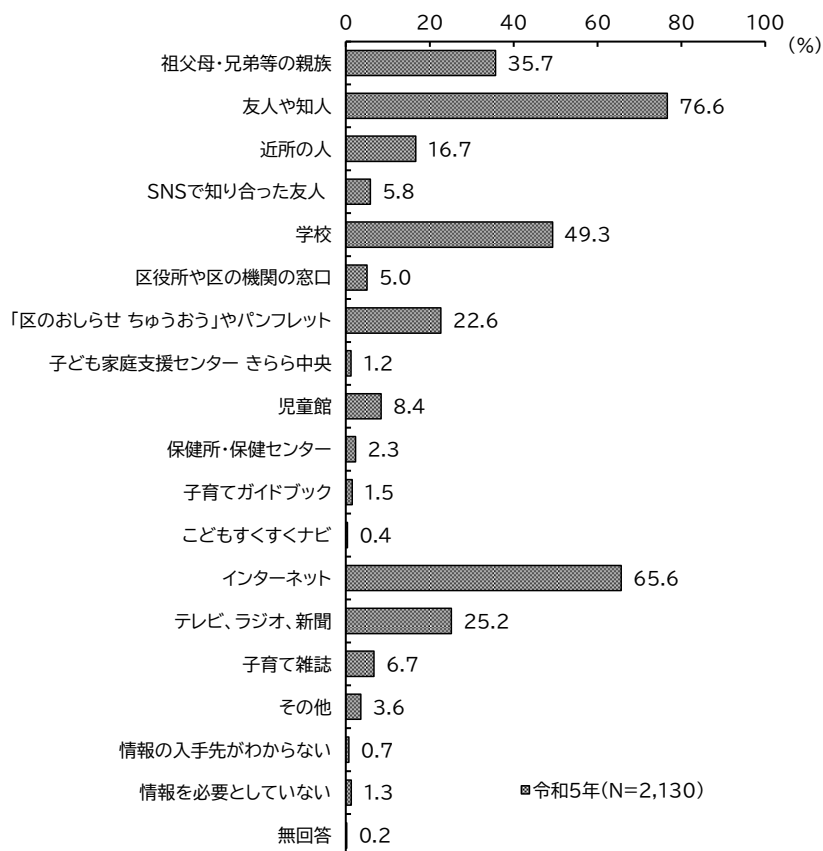


(2)子育てに関する情報の入手先(問 31)

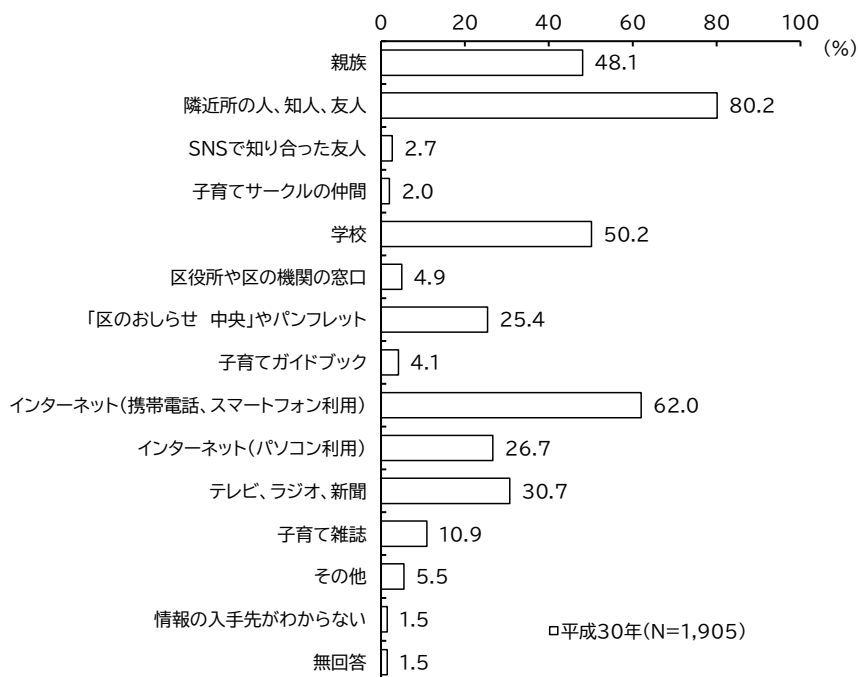
子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人(76.6%)」が最も高く、「インターネット(65.6%)」、「学校(49.3%)」が続いている。「情報の入手先がわからない」は 0.7%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、上位の項目は同様である。

子育てに関する情報の入手先(全体)【令和5年調査】



子育てに関する情報の入手先(全体)【平成 30 年調査】

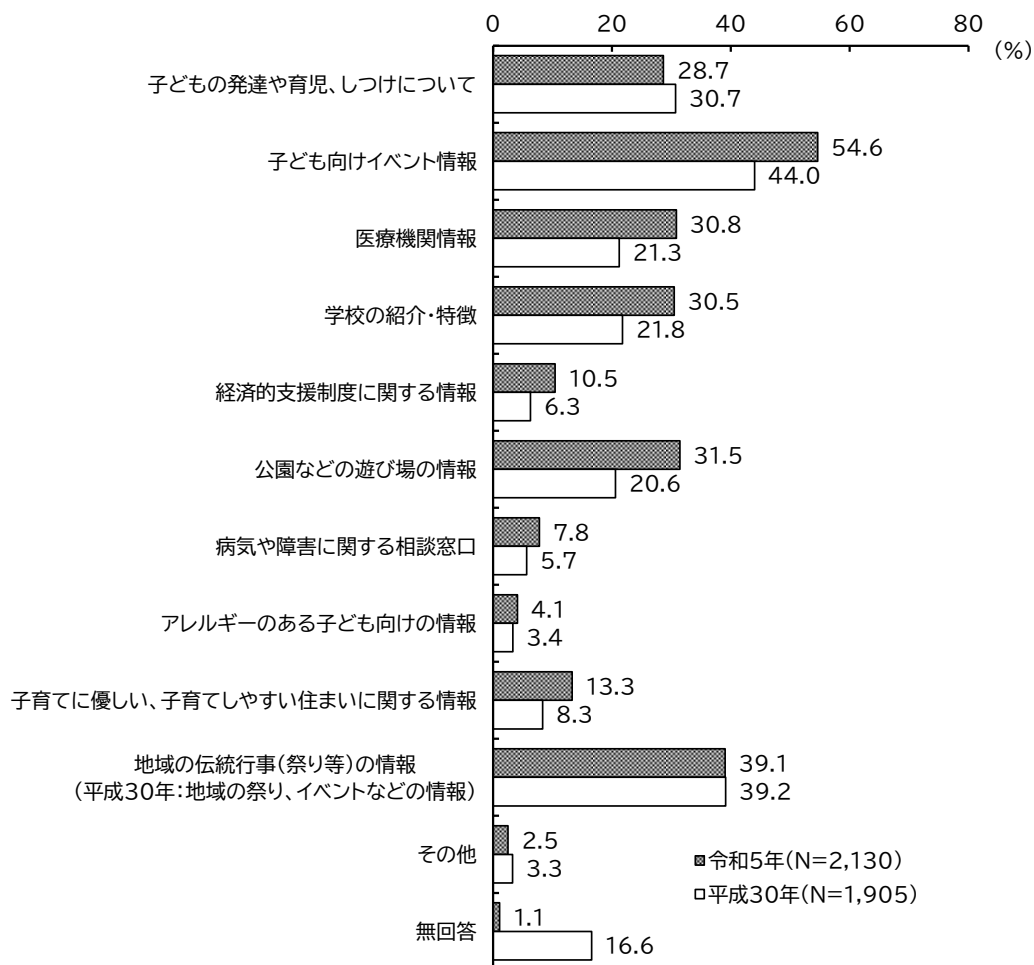


(3)子育てに関してほしい情報(問 32)

子育てに関してほしい情報は、「子ども向けイベント情報(54.6%)」が最も高く、「地域の伝統行事(祭り等)などの情報(39.1%)」、「公園などの遊び場の情報(31.5%)」、「医療機関情報(30.8%)」、「学校の紹介・特徴(30.5%)」が続いている。

平成 30 年調査においても上位2項目は同様に「子ども向けイベント情報(44.0%)」、「地域の伝統行事(祭り等)の情報(平成30年:地域の祭り、イベントなどの情報)(39.2%)」であり、3位は「子どもの発達や育児、しつけについて(30.7%)」となっている。

子育てに関してほしい情報:複数回答(3つまで)【経年比較】



第2章 調査結果

子どもの学年別にみると、どの年齢においても「子ども向けイベント情報」が最も高くなっている。また、1年生では「学校の紹介・特徴(38.0%)」が3割台後半で高くなっている。

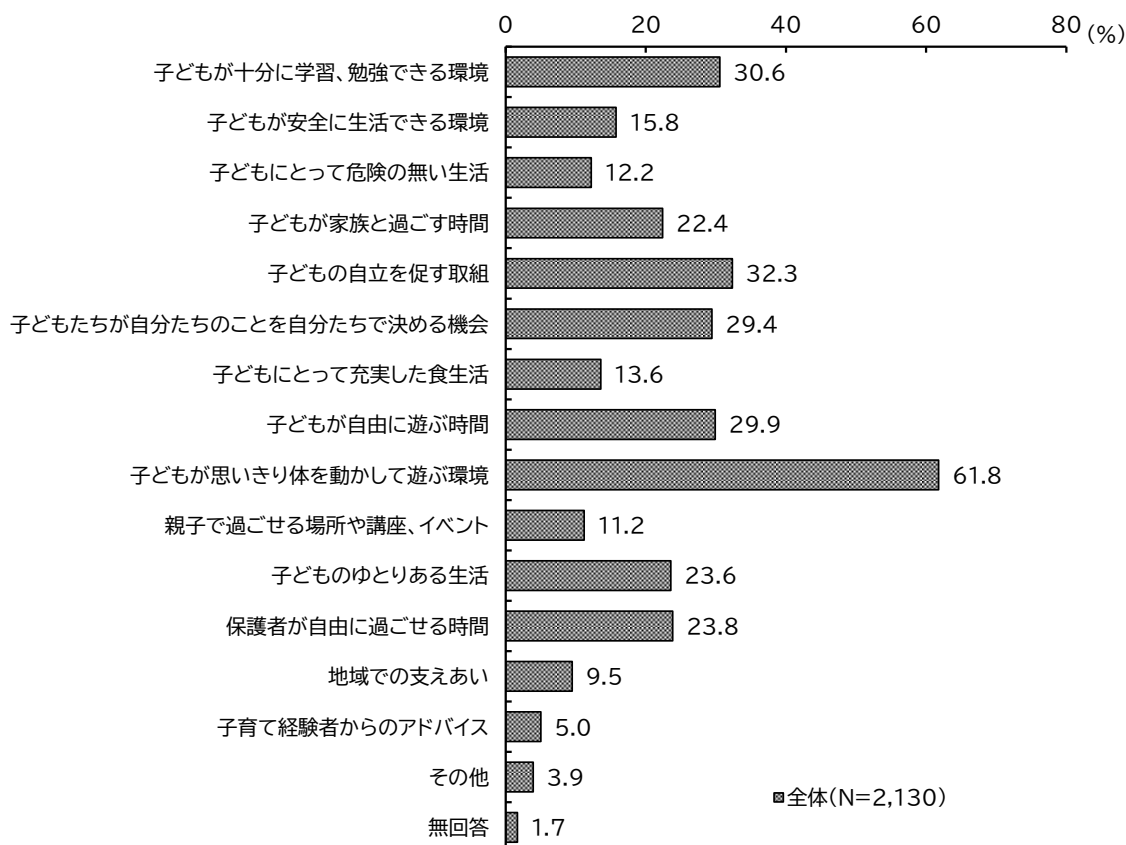
子育てに関してほしい情報(全体、子どもの学年別):複数回答(3つまで)

		子ども向けの発達や育児、	子ども向けイベント情報	医療機関情報	学校の紹介・特徴	経済的支援制度に関する情報	公園などの遊び場の情報	病気や障害に関する相談窓口	アレルギーのある子ども向けの情報	子育てに優しい住まい、子育てに関する情報	地域の伝統行事(祭り等)の情報	その他	無回答
全	体 (N=2,130)	41.4	64.9	23.1	21.8	14.4	47.5	8.4	4.4	18.5	37.3	2.3	0.9
子どもの学年別	1年生 (n= 363)	49.8	64.8	23.7	38.0	19.4	40.0	10.0	4.8	20.1	25.4	0.7	1.0
	2年生 (n= 366)	45.3	65.8	22.8	28.5	16.5	51.8	9.0	3.8	21.3	32.5	2.0	0.3
	3年生 (n= 369)	41.6	61.3	20.9	21.9	13.1	49.1	7.1	4.4	17.3	40.1	2.4	0.5
	4年生 (n= 344)	40.5	63.8	24.9	14.9	14.1	53.6	8.7	3.8	20.8	41.0	2.1	0.8
	5年生 (n= 355)	35.7	65.3	24.1	14.8	13.5	45.8	10.8	5.6	15.9	40.7	4.5	1.9
	6年生 (n= 330)	34.4	68.6	22.8	10.0	9.2	43.9	5.1	4.3	15.4	44.7	2.7	1.1

(4)子育てをする上で足りていないと感じること(問 33)

子育てをする上で足りていないと感じることは、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境(61.8%)」が最も高く、「子どもの自立を促す取組(32.3%)」、「子どもが十分に学習、勉強できる環境(30.6%)」、「子どもが自由に遊ぶ時間(29.9%)」、「子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会(29.4%)」が続いている。

子育てをする上で足りていないと感じること:複数回答



II 小学校児童保護者調査

子どもの学年別にみると、どの学年においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高くなっている。次いで、1・4～6年生では「子どもの自立を促す取組」、2・3年生では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」となっている。

居住地域別にみると、どの地域においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高くなっている。次いで、京橋地域では「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、日本橋地域、月島地域では「子どもの自立を促す取組」となっている。

家庭類型別にみると、どの家庭類型においても「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」が最も高く、「保護者が自由に過ごせる時間」が続いている。次いで、タイプA、タイプBでは「子どもが十分に学習、勉強できる環境」、タイプC、タイプDでは「子どもの自立を促す取組」、タイプC'では「子どもが自由に遊ぶ時間」となっている。

子育てをする上で足りていないと感じること
(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別):複数回答

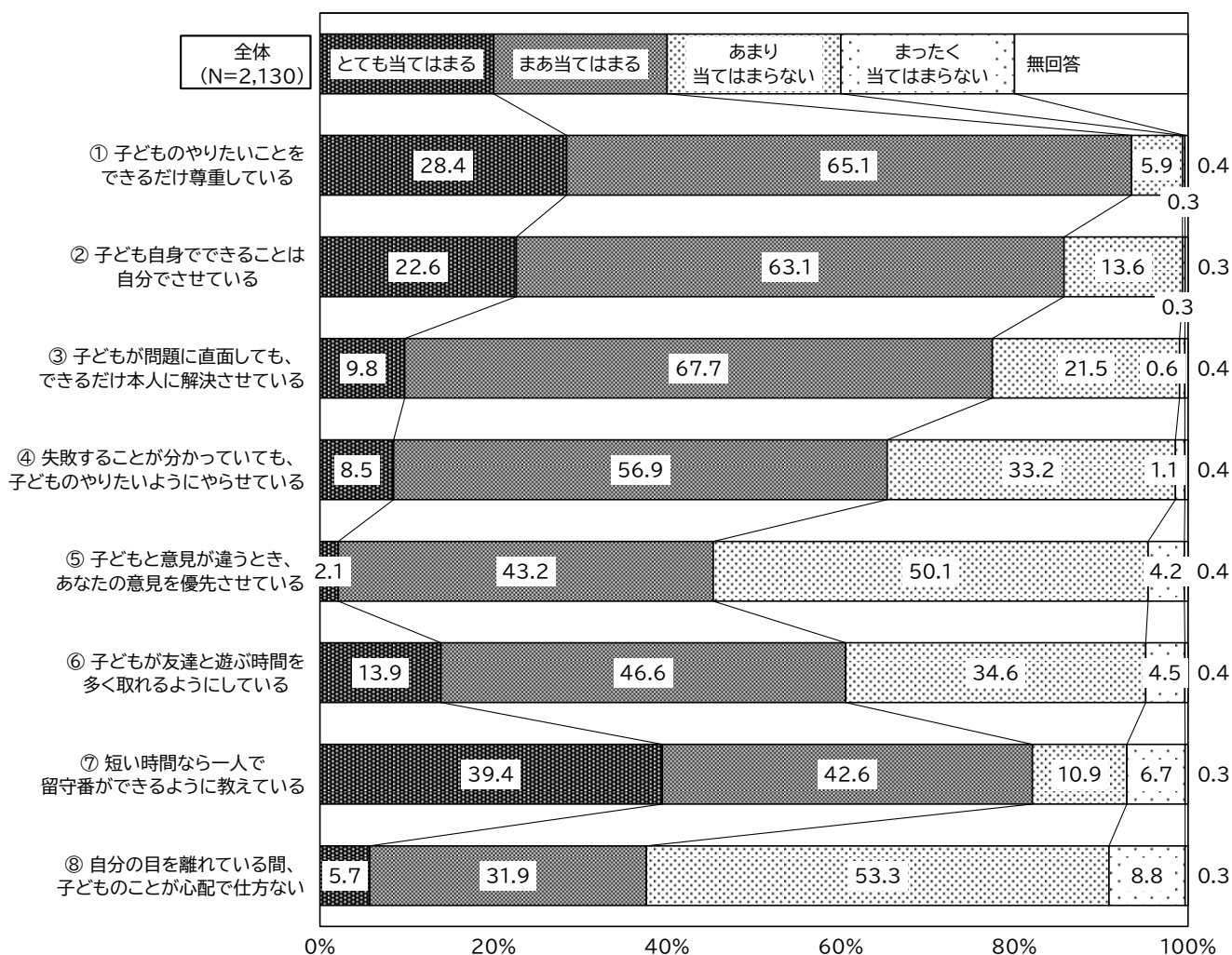
		子どもが十分に学習、勉強できる環境	子どもが安全に生活できる環境	子どもにとって危険の無い生活	子どもが家族と過ごす時間	子どもの自立を促す取組	子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	子どもにとって充実した食生活	子どもが自由に遊ぶ時間	子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	親子で過ごせる場所や講座、イベント	子どものゆとりある生活	保護者が自由に過ごせる時間	地域での支えあい	子育て経験者からのアドバイス	その他	無回答
全	体 (N=2,130)	30.6	15.8	12.2	22.4	32.3	29.4	13.6	29.9	61.8	11.2	23.6	23.8	9.5	5.0	3.9	1.7
子どもの学年別	1 年生 (n= 363)	29.2	19.0	12.9	26.4	32.0	28.4	15.7	28.9	65.3	11.8	24.0	28.7	9.1	5.2	3.9	1.4
	2 年生 (n= 366)	32.8	17.8	13.7	23.2	30.6	30.3	16.9	29.5	62.0	12.8	21.3	28.4	10.4	4.4	3.8	2.2
	3 年生 (n= 369)	35.0	14.9	12.5	22.8	29.3	29.0	14.6	26.3	63.4	9.5	23.6	27.1	9.5	3.8	3.3	1.9
	4 年生 (n= 344)	29.9	16.3	12.5	23.0	34.9	31.7	12.5	34.3	59.3	11.3	25.0	19.5	10.2	5.2	4.1	1.7
	5 年生 (n= 355)	31.8	15.2	12.7	19.2	35.5	25.1	10.7	30.7	60.0	10.7	22.3	20.8	7.0	5.9	4.8	2.3
	6 年生 (n= 330)	23.9	11.2	8.8	19.4	32.4	32.1	10.6	30.0	60.3	10.9	25.5	17.3	10.9	5.8	3.9	0.6
居住地域別	京橋地域 (n= 498)	32.1	12.2	11.6	21.3	29.3	25.1	12.4	27.3	58.8	9.2	22.7	22.7	10.2	5.6	4.4	2.2
	日本橋地域 (n= 695)	28.8	17.0	12.2	22.0	33.4	30.5	14.2	31.9	66.3	10.9	23.6	23.3	8.2	3.9	2.6	1.3
	月島地域 (n= 936)	31.0	16.8	12.5	23.3	33.2	30.9	13.7	29.7	59.9	12.5	23.9	24.8	10.0	5.6	4.7	1.7
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	32.8	25.0	6.3	25.0	25.0	26.6	20.3	20.3	56.3	14.1	31.3	25.0	14.1	6.3	6.3	3.1
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	33.4	15.4	12.4	28.0	32.6	29.4	14.7	29.2	63.4	11.1	23.6	25.1	9.1	3.5	4.0	1.4
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	29.7	15.3	11.8	19.0	31.7	26.2	13.5	28.2	59.9	9.2	23.9	22.5	8.1	5.8	2.9	2.6
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	30.6	14.8	11.2	14.8	31.6	32.7	9.7	33.2	66.8	11.2	23.5	24.5	12.8	7.1	4.6	1.0
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	24.4	16.0	13.1	16.4	31.9	29.7	11.1	30.4	57.6	12.0	20.4	21.3	8.9	6.2	3.5	1.8

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(5) 普段のお子さんの関わりについて(問 34)

普段のお子さんの関わりについてたずねたところ、《当てはまる》(「とても当てはまる」と「まあ当てはまる」の合計)の割合は、『① 子どものやりたいことをできるだけ尊重している(93.5%)』、『② 子ども自身でできることは自分でさせている(85.7%)』、『⑦ 短い時間なら一人で留守番ができるように教えている(82.0%)』で高くなっている。一方、『⑧ 自分の目を離れている間、子どものことが心配で仕方がない(37.6%)』、『⑤ 子どもと意見が違うときあなたの意見を優先させている(45.3%)』で低くなっている。

普段のお子さんの関わり(全体)

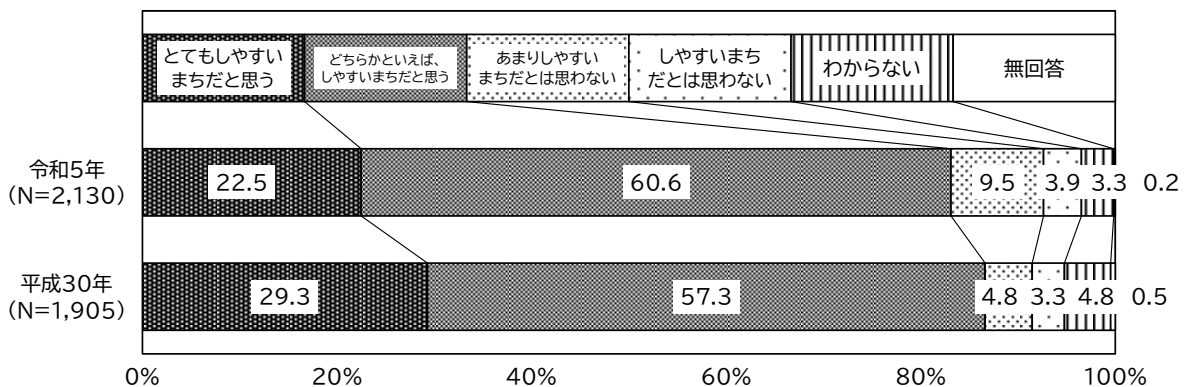


(6)中央区は子育てしやすいまちか(問 35)

中央区は子育てしやすいまちかたずねたところ、「とてもしやすいまちだと思う」が 22.5%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」が 60.6%であり、合計した《しやすいまちだと思う》は 83.1%となっている。「あまりしやすいまちだとは思わない」が 9.5%、「しやすいまちだとは思わない」が 3.9%であり、合計した《しやすいまちだとは思わない》は 13.4%となっている。

平成 30 年調査と比較すると、令和5年調査では《しやすいまちだとは思わない(8.1%→13.4%)》の割合が高くなっている。

中央区は子育てしやすいまちか(全体)【経年比較】



子どもの年齢別にみると、6年生で「とてもしやすいまちだと思う(28.8%)」が高くなっている。

居住地域別にみると、どの地域においても同様の傾向である。

家庭類型別にみると、タイプC、タイプAで「とてもしやすいまちだと思う」が25%程度で若干高くなっている。

中央区は子育てしやすいまちか(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

			とても 思う やすい まち だ	し ど ち ら か と い え ば、 し や す い ま ち だ と 思 う	と あ ま り し や す い ま ち だ と 思 わ な い	し や す い ま ち だ と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体 (N=2,130)			22.5	60.6	9.5	3.9	3.3	0.2
子 ど も の 学 年 別	1	年 生 (n= 363)	21.2	60.9	10.2	3.9	3.6	0.3
	2	年 生 (n= 366)	19.9	60.4	12.0	4.9	2.7	0.0
	3	年 生 (n= 369)	20.6	62.3	11.1	3.5	2.4	0.0
	4	年 生 (n= 344)	23.8	61.6	7.8	3.2	3.2	0.3
	5	年 生 (n= 355)	21.4	61.7	8.7	3.9	3.7	0.6
	6	年 生 (n= 330)	28.8	56.4	7.0	3.9	3.9	0.0
地 域 別	居 住	京 橋 地 域 (n= 498)	24.1	58.4	8.4	4.0	5.0	0.0
		日 本 橋 地 域 (n= 695)	20.1	63.6	9.9	2.7	3.3	0.3
		月 島 地 域 (n= 936)	23.4	59.5	9.8	4.7	2.4	0.2
家 庭 類 型 別		タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	25.0	59.4	9.4	3.1	3.1	0.0
		タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	21.2	62.6	8.7	4.5	3.0	0.0
		タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	25.4	57.3	9.8	4.6	2.9	0.0
		タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	18.9	60.2	10.7	4.6	5.6	0.0
		タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	23.9	59.9	10.4	1.6	3.3	0.9

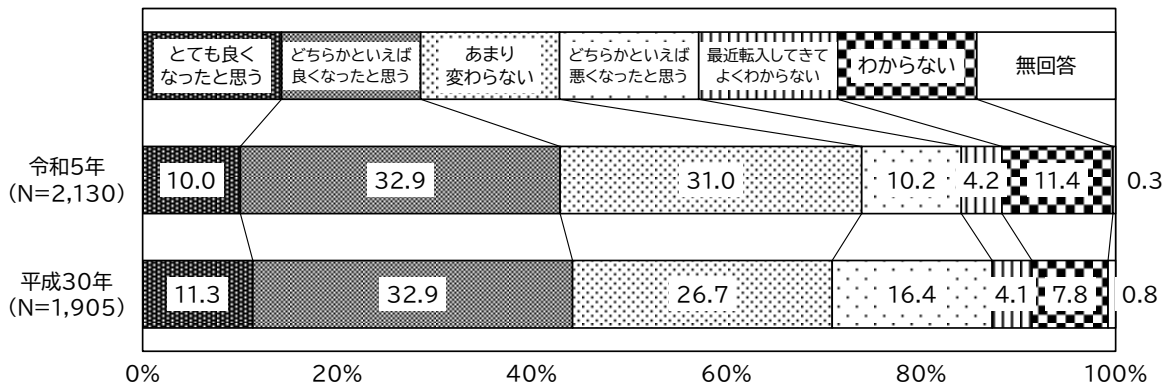
※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(7)以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(問 36)

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったかたずねたところ、「とても良くなったと思う」が10.0%、「どちらかといえば良くなったと思う」が32.9%であり、合計した《よくなったと思う》は42.9%となっている。

平成30年調査と比較すると、令和5年調査では、「あまり変わらない(26.7%→31.0%)」の割合が高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体)【経年比較】



子どもの学年別にみると、1年生で《よくなったと思う》が48.2%で高くなっている。

居住地域別にみると、京橋地域で《よくなったと思う》が46.2%で高くなっている。

家庭類型別にみると、タイプAで「最近転入してきてよくわからない(10.9%)」が1割を超えて高くなっている。

以前に比べ中央区の子育て環境は良くなったか(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

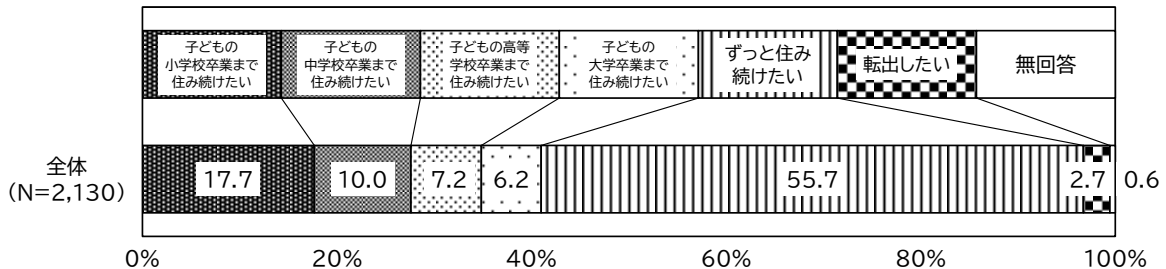
		とても良くなった	どちらかといえば良くなった	あまり変わらない	どちらかといえば悪くなった	よ最近転入してきてよくわからない	わからない	無回答
全 体 (N=2,130)		10.0	32.9	31.0	10.2	4.2	11.4	0.3
子どもの学年別	1 年 生 (n= 363)	11.8	36.4	24.8	8.3	5.5	12.9	0.3
	2 年 生 (n= 366)	8.5	33.9	32.5	8.7	4.9	10.9	0.5
	3 年 生 (n= 369)	8.1	35.5	29.3	11.9	3.0	12.2	0.0
	4 年 生 (n= 344)	12.8	27.6	33.1	9.9	5.8	10.5	0.3
	5 年 生 (n= 355)	7.3	30.7	34.4	11.8	3.4	11.8	0.6
	6 年 生 (n= 330)	12.1	33.0	31.8	10.6	2.4	10.0	0.0
居住地域別	京 橋 地 域 (n= 498)	12.9	33.3	30.5	6.6	5.2	11.4	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	9.8	34.0	29.1	9.8	4.5	12.4	0.6
	月 島 地 域 (n= 936)	8.8	31.8	32.7	12.4	3.4	10.7	0.2
家庭類型別	タイプA ひとり親家庭 (n= 64)	17.2	26.6	26.6	7.8	10.9	10.9	0.0
	タイプB フルタイム×フルタイム (n= 962)	10.7	33.6	30.6	10.0	4.2	11.0	0.0
	タイプC フルタイム×パートタイム (n= 347)	10.4	31.4	30.3	12.4	4.0	11.2	0.3
	タイプC' フルタイム×パートタイム (n= 196)	8.7	31.1	33.7	11.2	2.6	12.2	0.5
	タイプD 専業主婦(夫) (n= 451)	7.8	34.1	31.9	8.9	4.4	12.0	0.9

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

(8)居留意向(問 37)

居留意向は、「ずっと住み続けたい(55.7%)」が最も高く、「子どもの小学校入学前まで住み続けた
い(17.7%)」、「子どもの中学校卒業まで住み続けたい(10.0%)」が続いている。

居留意向(全体)



子どもの学年別にみると、4・6年生で「ずっと住み続けたい」が6割を超えて高くなっている。

居住地域別にみると、「ずっと住み続けたい」の割合は地域差があり、京橋地域では 58.0%、日本橋地域では 60.0%、月島地域では 51.4%となっている。

家庭類型別にみると、「ずっと住み続けたい」の割合は、タイプBで最も高く 58.0%、タイプC'で最も低く 50.0%となっている。

居留意向(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)

		子ども の 学 年 別	居 住 地 域 別	家 庭 類 型 別	ま ま ど も の 続 け たい 卒 業	ま ま ど も の 続 け たい 卒 業	業 ま ど も の 続 け たい 卒 業	で 子 ど も の 続 け たい 卒 業	ず っ と 住 み 続 け たい	転 出 し たい	無 回 答
全		体 (N=2,130)			17.7	10.0	7.2	6.2	55.7	2.7	0.6
子 ど も の 学 年 別	1	年 生 (n= 363)			26.7	11.6	4.4	4.1	49.0	4.1	0.0
	2	年 生 (n= 366)			19.9	9.6	6.3	2.7	56.6	4.6	0.3
	3	年 生 (n= 369)			21.7	9.8	6.8	5.7	52.6	3.0	0.5
	4	年 生 (n= 344)			14.0	6.1	9.0	6.7	62.2	1.2	0.9
	5	年 生 (n= 355)			15.2	11.8	7.9	7.6	54.9	1.1	1.4
	6	年 生 (n= 330)			7.0	10.9	9.4	10.3	60.0	2.1	0.3
地 域 別	京	橋	地 域 (n= 498)		19.5	9.0	5.6	5.6	58.0	2.0	0.2
	日	本	橋 地 域 (n= 695)		15.5	9.8	7.6	3.5	60.0	2.7	0.9
	月	島	地 域 (n= 936)		18.3	10.6	7.8	8.3	51.4	3.1	0.5
家 庭 類 型 別	タイ	プ	A ひとり親家庭 (n= 64)		23.4	10.9	4.7	4.7	56.3	0.0	0.0
	タイ	プ	B フルタイム×フルタイム (n= 962)		16.6	9.5	7.0	6.3	58.0	2.2	0.4
	タイ	プ	C フルタイム×パートタイム (n= 347)		18.7	11.2	8.1	6.1	53.0	2.6	0.3
	タイ	プ	C' フルタイム×パートタイム (n= 196)		18.4	12.2	6.6	5.6	50.0	6.1	1.0
	タイ	プ	D 専業主婦(夫) (n= 451)		19.3	9.1	8.0	5.8	53.9	2.9	1.1

※家庭類型タイプE、E'、Fは対象者数が少ないので記載しない。

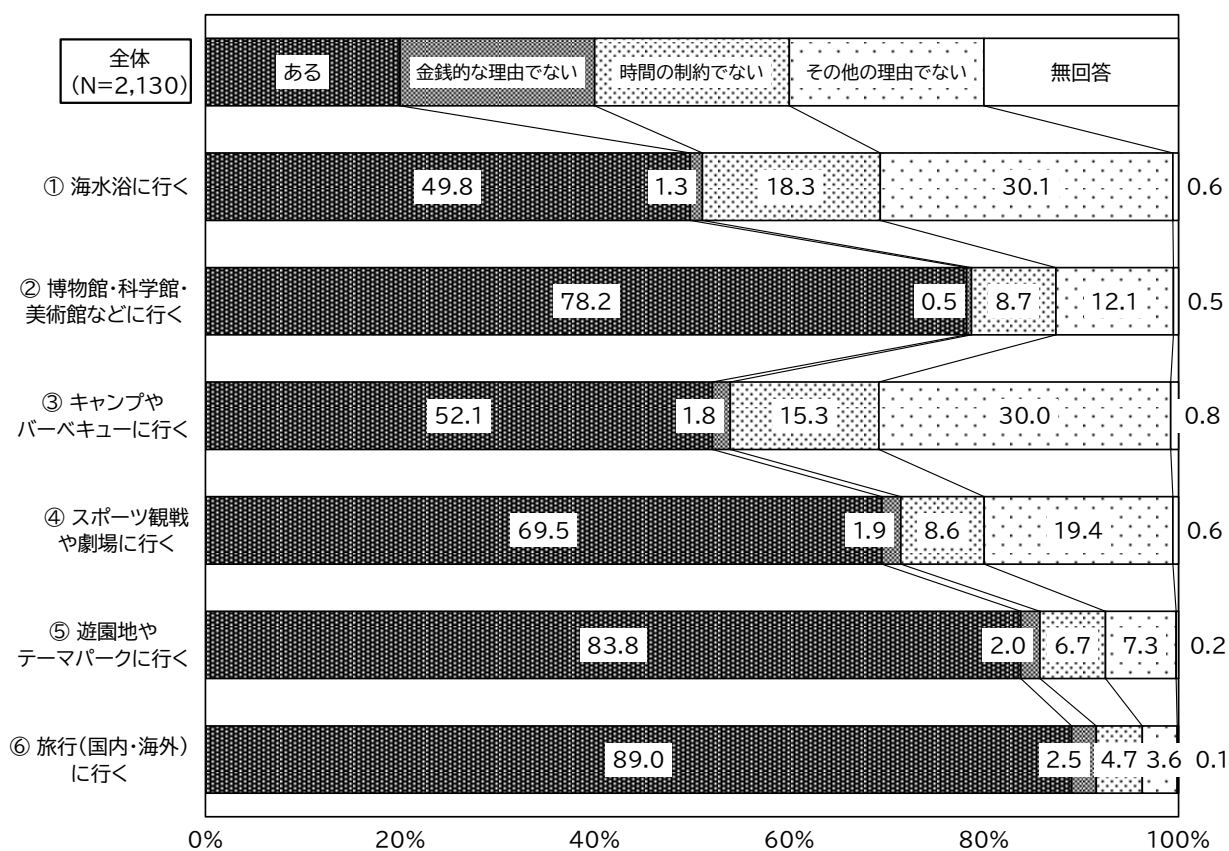
(9)子どもの多様な経験の状況(問 38)

子どもの多様な経験の状況は、「ある」の割合は、『⑥ 旅行(国内・海外)に行く(89.0%)』が最も高く、『⑤ 遊園地やテーマパークへ行く(83.8%)』、『② 博物館・科学館・美術館に行く(78.2%)』が続いている。

「金銭的な理由でない」の割合も、『⑥ 旅行(国内・海外)に行く(2.5%)』が最も高くなっている。

「時間の制約でない」の割合は『① 海水浴に行く(18.3%)』、『③ キャンプやバーベキューに行く(15.3%)』で高くなっている。

子どもの多様な経験の状況(全体)

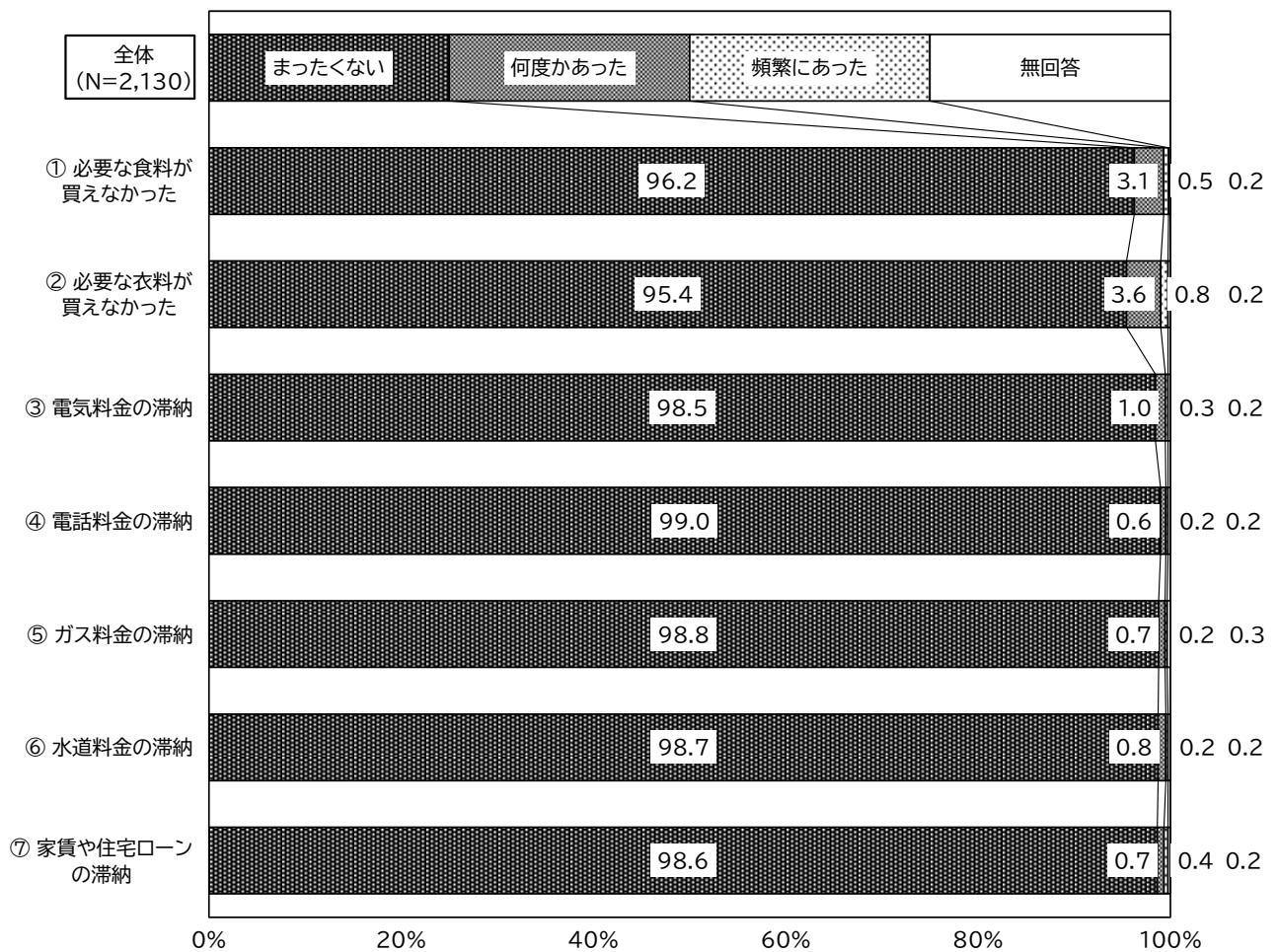


(10) 経済的な理由による困窮経験(問 39)

経済的な理由による困窮経験について、《あった》(「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計)の割合は、『② 必要な衣料が買えなかった(4.4%)』で最も高く、『① 必要な食料が買えなかった(3.6%)』、『③ 電気料金の滞納(1.3%)』が続いている。

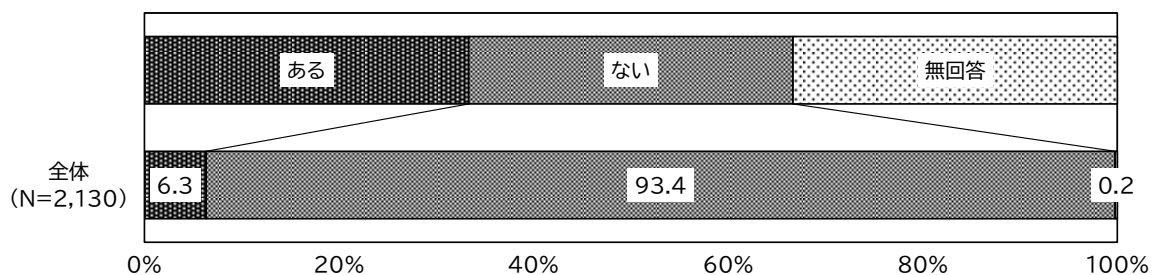
経済的な理由による困窮経験の有無は、「ある」が 6.3%となっている。なお、困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」と「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている。

経済的な理由による困窮経験(全体)【経年比較】



経済的な理由による困窮経験の有無(全体)

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている>



第2章 調査結果

経済的な困窮経験の有無について、子どもの年齢別にみると、「ある」の割合は、3年生で 7.9%と高い。

居住地域別にみると、「ある」の割合は、京橋地域で 8.2%と高い。

家庭類型別にみると、「ある」の割合は、タイプ C' で 8.7%と高い。

経済的な困窮経験の有無(全体、子どもの学年別、居住地域別、家庭類型別)
 <経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」
 もしくは「頻繁にあった」と回答した人を「ある」としている>

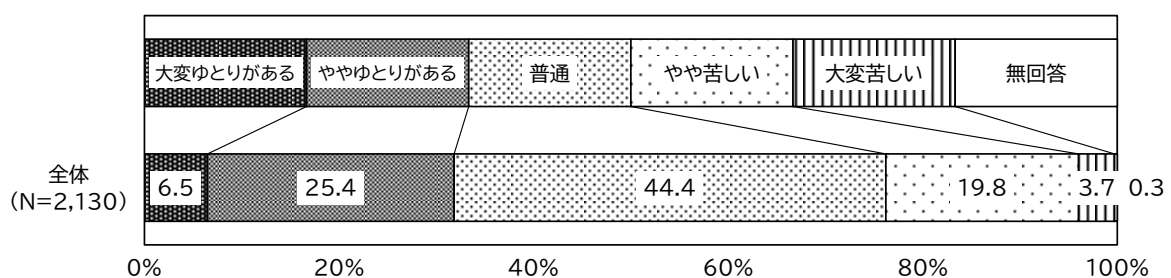
		ある	ない	無回答
全 体 (N=2,130)		6.3	93.4	0.2
子 ども の 学 年 別	1 年 生 (n= 363)	3.6	96.4	0.0
	2 年 生 (n= 366)	6.8	92.6	0.5
	3 年 生 (n= 369)	7.9	92.1	0.0
	4 年 生 (n= 344)	7.0	92.7	0.3
	5 年 生 (n= 355)	6.2	93.2	0.6
	6 年 生 (n= 330)	6.7	93.3	0.0
地 域 別 居 住	京 橋 地 域 (n= 498)	8.2	91.8	0.0
	日 本 橋 地 域 (n= 695)	5.8	94.0	0.3
	月 島 地 域 (n= 936)	5.8	93.9	0.3
家 庭 類 型 別	タイプ A ひとり親家庭 (n= 64)	6.3	90.6	3.1
	タイプ B フルタイム×フルタイム (n= 962)	5.4	94.6	0.0
	タイプ C フルタイム×パートタイム (n= 347)	6.6	93.4	0.0
	タイプ C' フルタイム×パートタイム (n= 196)	8.7	91.3	0.0
	タイプ D 専業主婦(夫) (n= 451)	7.1	92.2	0.7

※家庭類型タイプ E、E'、F は対象者数が少ないので記載しない。

(11) 経済的な困り感(問 40)

経済的な困り感は、「大変ゆとりがある」が 6.5%、「ややゆとりがある」が 25.4%であり、合計した《ゆとりがある》は 31.9%となっている。「普通」が 44.4%である。「やや苦しい」が 19.8%、「大変苦しい」が 3.7%であり、合計した《苦しい》は 23.5%となっている。

経済的な困り感(全体)



(12)区の子育て支援に関する意見(自由記述)(問 41)

区の子育て支援に関して、自由記述形式で意見をたずねたところ、全体で969 件の回答があった。
テーマ分類ごとの意見数と、主な意見の要約を以下のとおり掲載する。

意見内容	件数
小学校について	153 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の4年生は、コロナ禍で入学式後に授業を行えなかった学年なので、学力サポートを充実させてほしい。 ・ 小学校の教師の数、スキルの担保に力をいれてほしい。 ・ 不登校やいじめなどが問題になる中、担任教諭との橋渡し役として、スクールカウンセラーの存在感を高めてほしい。 ・ 中学受験が盛んな地域なので、周りに放課後遊べる友達がいないことを心配している。 ・ 性別違和などの悩みをもつ子どもたちのために、多様性に関する教育や、学校や公共施設などの設備の改修に積極的に取り組んでほしい。 	
放課後対策(学童クラブ・プレディ等)について	141 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域差があるものの、2年生以上は入りにくく、3年生以上は学童クラブに入れないので、子どもが放課後安心して過ごせるよう、定員を増やしてほしい。 ・ 学童クラブもプレディも夏休みは午前8時30分から預かってもらえるが、開始の時間まで一人で家になることになるので、午前8時から預かってほしい。 ・ 特認校にもプレディを設置してほしい。他校のプレディを利用するのは、子どもにとって負担。 ・ 長期休み中の学童クラブ・プレディ等での昼食について、外部の業者を利用したお弁当注文を可能にしてほしい。 ・ プレディや学童クラブの申請の電子化を検討してほしい。 ・ 放課後の空き教室を活用して、個別に宿題や勉強をみてる等の支援があると良いと思う。 	
経済的支援等について	105件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高に加えて、子どもの教育費、家賃等も高騰しているため、子どもがいる世帯にもっと経済的な支援をしてほしい。 ・ 放課後の民間学童費用の助成があると良い。 ・ 低所得家庭への支援のハードルをもう少し下げてほしい。 ・ 子ども向けイベントや活動に参加する余裕がないので、食事券や、バス代補助など、金銭的な支援がほしい。 	
公園や屋外等のスポーツができる場所等について	公園について 82 件 屋外スペースについて 80 件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがのびのび遊べる公園を増やしてほしい。公園で遊べるスポーツがどんどん減っている。 ・ 公園で自転車の練習ができるようにしてほしい。 ・ 公園をリニューアルしたり、新設する際には、公園の遊具を充実させてほしい。 ・ 思い切りボールを投げたり蹴ったりしたいので、学校の校庭開放を積極的に行ってほしい。 ・ 子どもとのふれあい目的に犬を飼っているが、公園やドッグランが少ないと感じる。 	

第2章 調査結果

子ども・子育て支援施策全般について	73件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産～乳幼児期の支援は手厚く感じられたが、学童期以降の支援が少ないと感じる。 ・ ひとり親世帯や夜間就労をする家庭の子どもをサポートを、もう少し充実してほしい。 ・ 英語での情報発信を充実させてほしいのと、図書館の英語の書籍を充実させてほしい。 ・ 親子がともに参加できるイベントをもっと増やしてほしい。 	
情報、相談窓口について	48件
<ul style="list-style-type: none"> ・ DVなどを児童相談所へ相談する以前に、区にLINEなどで気軽に相談したい。 ・ 仕事・子育てに忙しく、子どもを中心としたコミュニティ活動を把握できていない。より目につきやすい形で情報を発信してほしい。 ・ 病院(小児科・歯科・眼科など)の情報にいつも困っているので、病院の情報を充実させてほしい。 ・ 子どもが高学年、さらには中高生になっても相談できる窓口があると助かる。 	
育ちに支援を必要とする子どもについて	44件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、区内の特別支援学級は知的級しかないが、発達に支援が必要な児童・生徒が増え、情緒級のニーズが高まっていると思う。 ・ 発達障害に関するネットワークの強化をお願いしたい。 ・ ゆりのきは、就学前までしか利用できないので、せめて小学校までは、OT(作業療法)やST(言語療法)を続けられる環境があったらと思う。 ・ 育ちに支援を必要とする子どもの相談先(専門職)が、小学生になるとなくなってしまう。ゆりのきのように継続的に子どもの発達を評価し、親へのアドバイスをしてくれる機関がほしい。 ・ 放課後等デイサービスや、個別療育ができる場所を増やしてほしい。 	
区民のマナー、意識について	23件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園などで遊んでいる際、とても乱暴な口調で注意されることがあった。地域全体で子どもを歓迎する環境を根づかせてほしい。 ・ 歩き煙草や飲食店前、工事現場、通学路での喫煙がまだまだ多く見られ、子どもにとって良くない環境と感じる。 	
公共施設、その他施設について	20件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜町スポーツセンターを、放課後の子どもの運動場所として活用してほしい。 ・ 月島の図書館を、広く、ゆったり、明るい館内にして、個人用の勉強机をたくさん増やしてほしい。 ・ 既存公園(施設)の改修や、築地市場跡地の一部活用、民間活用など、子どもの遊び場の充実に向けて前向きに検討してほしい。 ・ 浜町公園デイキャンプ場のようなバーベキューができる施設をもっと増やしてほしい。 ・ 区の施設の老朽化が進んでおり、耐震性が心配。 	
交通について	14件
<ul style="list-style-type: none"> ・ マンション出入り口での車の往来など、交通の安全面で気になることが多い。 ・ 江戸バスは逆循環も運行してほしい。浜町、蛸殻町から佃島・月島方面へのルートがあると良い。 ・ 通学路の迷惑駐車が多く、特に天気の良い日はとても危険。一度通学路を点検してほしい。 	
インフルエンザ予防接種費用の助成について	13件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年の予防接種(インフルエンザなど)の金額が高額なので、少しでも補助してもらえると接種も促進されると思う。 	

児童館について	12件
・ 児童館のプログラムをもう少し中・高校生にも魅力的なプログラムにしてほしい。今は小学生中心のプログラムになっていると感じる。	
地域との関係について	12件
・ 同じマンションでも知り合いになる機会すらなかつたりするので、地域の子ども会など、子どもの地域活動の場があると良いと思う。	
中学校以上について	12件
・ 進路検討の材料にするため、区立中学校の情報をもっと早い段階から提供してほしい。 ・ 高校生までのサポート(特に学習面)を充実させてほしい。	
講座、イベントについて	9件
・ 地域の方々による専門性のあるスポーツ指導や学習支援があれば利用させてみたい。 ・ 都会では体験できないような、自然体験、作物を育てる体験などのイベントがあるとうれしい。 ・ 子育て関連のイベントに応募しても抽選から外れて参加できない場合があるので、回数を増やし、なるべく希望者全員に参加の機会を与えてほしい。	
まちのハード面、バリアフリーについて	9件
・ 子どもが車椅子ユーザーだが、勝どきの街並みがバリアフリーで歩きやすいと感じている。 ・ 全体的に街灯が少なく、夜が暗い。冬場は17時過ぎには暗くなるが、遊びや習い事・塾帰りの子どもがひとりで歩いていることが多いので、街灯を増やしてほしい。	
一時預かり保育について	8件
・ 一時預かり保育を未就学児までではなく、小学校4年生位まで対象にしてほしい。 ・ 一時預かりがオンライン予約(キャンセル・変更含め)できなかったのが辛かったので、改善してほしい。	
その他	111件
・ 中央区でも小学6年生から高校生相当までの男子への HPV ワクチン任意予防接種費用の全額助成を早期に開始してほしい。 ・ 増え続ける児童人口の受け皿として、区内に公立、私立を問わず新しい高校を設置してほしい。	

Ⅲ 質問間クロス集計等

「Ⅰ 就学前児童保護者調査」、「Ⅱ 小学生児童保護者調査」での各設問の子どもの年齢や居住地、家庭類型等によるクロス集計とは別に、「子育て世帯が抱える困難」等について詳細に分析するため、質問間クロス集計等を行った。

1 子育て世帯が抱える困難について

(1) 親の病気(産後自身が病気をしてしまった人)

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

:就学前児童保護者調査(問 10)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「いずれもない」が36.7%となっている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無(全体、産後に母親が病気をした人)

							(%)
		親日 族常 的に みて も祖 父母 え・ 兄弟 等の	て祖 も父 急母 時え ・ま 兄た 弟は 等用 の事 親の 族際 にに みは	も日 ら常 え的 るに 友人 ・知 人に みて	友急 人時 ・知 また には み用 ても 事 の際 には	い ず れ も い ない	無 回 答
全	体 (N=2,384)	9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4
問32 産後の母親 の体調	自身が病気をし てしまった人 (n= 139)	7.9	52.5	0.0	7.2	36.7	0.0

◆妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人

:就学前児童保護者調査(問 31)

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、概ね全体と同様の傾向だが、「配偶者・パートナー(79.1%)」が全体(85.5%)を6.4ポイント下回っている。

妊娠時に身近な人で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる人
(全体、産後に母親が病気をした人)

		配偶者・パートナー	同居の父母	里帰り出産をした際の父 母・近居父母(概ね30分 以内で行き来できる範囲)	遠居の父母	父母以外の親族	育児支援ヘルパー、ベビー シッター	友人・知人	近所の人	その他	誰もいなかった	無回答
全	体 (N=2,384)	85.5	2.1	26.4	45.7	14.9	3.1	38.8	2.6	4.7	2.0	1.2
問32 産後の母親 の体調	自身が病気をし てしまった人 (n= 139)	79.1	0.7	28.8	48.2	14.4	3.6	41.7	2.9	5.8	4.3	0.0

◆産後の育児に関して困ったことやつらかったこと:就学前児童保護者調査(問 33)

産後の育児に関して困ったことやつらかったことについて、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「自分体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと(64.7%)」が最も多くなっている。また、他にも「育児に慣れないこと(54.0%)」、「授乳のこと(48.9%)」、「家事のこと(42.4%)」、「家事・育児の協力者がいないこと(28.8%)」の4項目で全体を10ポイント以上上回っている。

産後の育児に関して困ったことやつらかったこと(全体、産後に母親が病気をした人)

		授乳のこと	沐浴のこと	夜泣きのこと	育児に慣れないこと	上の子どものこと	家事のこと	家事・育児の協力者がい ないこと	自分の体調が悪く自分 の思うような育児がで きなかったこと	経済的負担	新型コロナウイルスに 感染を付けること	その他	特になかった	無回答
全	体 (N=2,384)	38.6	4.0	38.6	40.4	18.9	29.8	18.7	18.7	9.9	30.5	7.0	8.6	1.4
問32 産後の母親 の体調	自身が病気をし てしまった人 (n= 139)	48.9	7.2	43.9	54.0	15.8	42.4	28.8	64.7	15.8	36.0	11.5	2.2	0.0

第2章 調査結果

◆産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人

:就学前児童保護者調査(問 34)

産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人について、産後の母親の体調で自身が病気をしてしまったと回答した人では、「誰もいなかった」が 8.6%となっており、全体を上回っている。

産後の育児について、一緒に子育てや家事を助けてくれたと感じる人
(全体、産後に母親が病気をした人)

		(%)												
		配偶者・パートナー	同居の父母	以内・近居父母(概ね30分)	里帰り出産をした際の父	遠居の父母	父母以外の親族	シッター	育児支援ヘルパー、ベビー	友人・知人	近所の人	その他	誰もいなかった	無回答
全	体 (N=2,384)	81.4	2.6	26.1	41.3	11.1	6.7	15.1	1.8	3.6	3.3	1.2		
問32	産後の母親の体調 自身が病気をしてしまった人 (n= 139)	78.4	1.4	30.2	42.4	8.6	10.1	15.1	2.9	4.3	8.6	0.0		

(2)経済的な困窮経験がある人

<経済的な理由による困窮経験の①～⑦の項目で、1つでも「何度かあった」もしくは「頻繁にあった」と回答した人>

◆子育てに関する悩みや気になること:就学前児童保護者調査(問8)

子育てに関する悩みや気になることについて、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「子育てに出費がかさむ(67.6%)」が最も多くなっている。また、その他にも10項目で全体を5ポイント以上上回っており、特に「子どもの教育に関すること(48.0%)」、「病気や発育・発達に関すること(38.5%)」、「子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと(29.7%)」は全体を10ポイント以上上回っている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答 (%)

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	と育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	子育てについて話し相手や相談相手がいらないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまつて手を上げたり、無視してしまつて子どもを育てることができないこと	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が多分にできない
全	体 (N=2,384)	28.5	39.2	30.7	3.5	6.3	16.2	28.4	8.4	32.4	25.4	5.8	12.6	38.7	19.1
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 148)	38.5	45.9	33.1	4.7	11.5	19.6	29.7	10.8	37.2	29.1	6.8	18.9	47.3	22.3
	な い (n=2,228)	27.9	38.8	30.6	3.5	6.0	15.9	28.3	8.2	32.2	25.2	5.7	12.1	38.2	18.9

		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあひに関する	登園拒否などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	子育てに関しての配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の人・職場など周囲の目が気になる	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲の目	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	急な時に頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全	体 (N=2,384)	7.3	37.3	18.9	3.0	40.3	51.8	14.9	9.6	4.2	23.1	41.3	2.3	2.9	1.1	
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 148)	12.2	48.0	20.9	4.7	67.6	56.1	29.7	14.9	6.8	29.7	48.6	6.1	0.7	0.0	
	な い (n=2,228)	7.0	36.7	18.8	2.9	38.5	51.5	13.9	9.2	4.0	22.6	40.9	2.1	3.1	1.2	

第2章 調査結果

◆子育てに関する悩みや気になること：小学校児童保護者調査(問8)

子育てに関する悩みや気になることについて、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「子育てに出費がかさむ(71.9%)」が最も多くなっている。また、その他にも 11 項目で全体を 5 ポイント以上上回っており、特に「住居が狭い(54.1%)」、「子どもの友達つきあいに関すること(45.9%)」、「急なときに頼れる人がいない(40.7%)」、「食事や栄養に関すること(34.8%)」は全体を 10 ポイント以上上回っている。

子育てに関する悩みや気になること(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもの性格や癖が心配である	子どもが病気がちである	育児の方法がよくわからないこと	子どもとの接し方に自信がもてないこと	子どもとの時間を十分に取れないこと	相手がいらないこと	相手がいないこと	自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子育てのストレスがたまつて手を上げたり、無視してしまつて	地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	子育てによる身体の疲れが大きい	仕事が多忙でできない
全 体 (N=2,130)		21.4	21.1	35.5	2.0	2.7	11.5	26.1	5.8	16.3	30.5	5.4	3.9	17.5	13.1	
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 135)	29.6	34.8	43.7	3.0	3.7	14.8	34.1	11.9	20.7	32.6	8.1	5.2	23.0	21.5	
	な い (n=1,990)	20.7	20.2	35.0	2.0	2.6	11.3	25.6	5.3	15.9	30.2	5.2	3.8	17.1	12.6	

		子育てに追われ、社会から孤立するようになる	子どもの教育に関すること	子どもの友達つきあいに関すること	登校拒否、不登校などの問題について	子育てに出費がかさむ	住居が狭い	子育てに関する協力が少ないこと	子育てに関する配偶者・パートナーと意見が合わないこと	子育てに関する配偶者・パートナーと意見が合わないこと	近隣の子ども・職場など周囲の目が気になる	自分の子育てについて、親族・近隣の子ども・職場など周囲の目が気になる	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	急なときに頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全 体 (N=2,130)		4.3	45.2	34.2	5.7	38.8	40.1	16.8	11.5	4.5	16.9	29.4	2.2	6.1	1.5		
経済的な困窮の有無別	あ る (n= 135)	8.9	50.4	45.9	6.7	71.9	54.1	20.0	15.6	7.4	21.5	40.7	5.2	3.7	0.0		
	な い (n=1,990)	4.0	44.8	33.5	5.6	36.5	39.2	16.6	11.2	4.3	16.6	28.7	2.0	6.2	1.7		

◆子育てに関して気軽に相談できる人や場所:就学前児童保護者調査(問9)

子育てに関して気軽に相談できる人や場所について、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「配偶者(70.3%)」、「幼稚園の園長・副園長・担任、保育所・認定こども園の園長または保育士(24.3%)」、「保育所・幼稚園等の他の保護者(20.3%)」で全体を5ポイント以上下回っている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		(%)													
		配偶者	祖父母・兄弟等の親族	友人や知人	近所の人	職場の人	保育所・幼稚園等の他の保護者	も園の園長または保育士	幼稚園の園長・副園長・担任、保育所・認定こども園	民生・児童委員	区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談	の保健所・保健センター等	かかりつけの医師、看護師	子ども家庭支援センター	子どもの発達支援センター
全	体 (N=2,384)	83.6	63.6	53.1	5.2	16.4	27.4	31.7	0.2	0.3	1.8	10.8	2.7	2.3	
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 148)	70.3	59.5	52.7	6.1	14.9	20.3	24.3	0.0	0.0	2.0	8.8	1.4	2.0	
	な い (n=2,228)	84.6	64.0	53.2	5.2	16.4	27.7	32.1	0.2	0.3	1.8	11.0	2.8	2.4	

		児童館	福祉センター	教育センター	社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター)	児童相談所	子育て支援を行うNPO	子どもほっとライン	インターネット上で相談する	その他	相談相手がいない	相談する機関がわからない	相談することがない	無回答
全	体 (N=2,384)	6.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	2.4	1.8	1.1	0.3	0.5	0.3
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 148)	7.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	3.4	3.4	3.4	0.7	2.0	0.0
	な い (n=2,228)	5.8	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	2.4	1.6	0.9	0.2	0.4	0.3

第2章 調査結果

◆子育てに関して気軽に相談できる人や場所:小学校児童保護者調査(問9)

子育てに関して気軽に相談できる人や場所について、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「配偶者(65.9%)」、「友人や知人(46.7%)」で全体を 5 ポイント以上下回っている。また、「相談相手がない」が 6.7%と全体を 4.7 ポイント上回っている。

子育てに関して気軽に相談できる人や場所(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		配偶者	祖父母・兄弟等の親族	友人や知人	近所の人	職場の人	保育所・幼稚園、小学校等の他の保護者	保育所・幼稚園、小学校等の担任等	学童クラブや子どもの居場所「プレイデイ」の職員	民生・児童委員	区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談	保健所・保健センター等の保健師等	かかりつけの医師、看護師等	子ども家庭支援センター	子ども発達支援センター	(%) ゆりのき
全 体 (N=2,130)		75.9	53.0	56.1	7.0	16.9	23.3	15.6	4.4	0.1	0.1	0.4	6.6	1.0	0.8	
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 135)	65.9	51.1	46.7	3.7	14.8	20.7	13.3	3.7	0.0	0.0	0.7	3.7	0.7	1.5	
	な い (n=1,990)	76.6	53.1	56.7	7.3	17.1	23.5	15.8	4.4	0.2	0.2	0.4	6.8	1.0	0.8	

		児童館	福祉センター	教育センター	社会福祉協議会(地域福祉コーデイネーター)	児童相談所	子育て支援を行うNPO	子どもほっとライン	インターネット上で相談する	その他	相談相手がない	相談する機関がわからない	相談することがない	無回答
全 体 (N=2,130)		1.7	0.2	1.8	0.0	0.1	0.2	0.1	0.7	3.2	2.0	0.1	1.4	0.3
経済的な困窮経験の有無別	あ る (n= 135)	3.0	0.0	2.2	0.0	0.7	0.7	0.0	1.5	5.2	6.7	0.0	0.7	0.0
	な い (n=1,990)	1.7	0.2	1.8	0.0	0.1	0.2	0.2	0.6	3.1	1.6	0.1	1.5	0.3

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:就学前児童保護者調査(問 10)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、経済的な困窮経験の有無別にみると、困窮経験がある人は、「いずれもない」が 42.6%と全体を 7.3 ポイント上回っている。

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		親日常的にみてもらえらる	て祖緊もら父急母時え・また兄弟は等用の事の親の族の際には	も日常えらるに友人・知人にみて	友緊人急時または友人にはみてもの際には	いずれもない	(%) 無回答
全 体 (N=2,384)		9.4	53.2	0.4	6.6	35.3	0.4
経 験 的 な 有 無 別	あ る (n= 148)	10.8	43.2	0.7	6.8	42.6	0.0
	な い (n=2,228)	9.3	53.8	0.4	6.5	34.9	0.4

◆子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無:小学校児童保護者調査(問 10)

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無について、経済的な困窮経験の有無別にみると、経験がある人もない人も全体と同様の傾向である

子どもを保護者に代わってみてくれる親族・知人の有無

(全体、経済的な困窮経験の有無別):複数回答

		親日常的にみてもらえらる	て祖緊もら父急母時え・また兄弟は等用の事の親の族の際には	も日常えらるに友人・知人にみて	友緊人急時または友人にはみてもの際には	いずれもない	(%) 無回答
全 体 (N=2,130)		9.6	47.4	1.7	15.7	35.3	0.2
経 験 的 な 有 無 別	あ る (n= 135)	8.9	47.4	3.0	11.1	38.5	0.0
	な い (n=1,990)	9.7	47.4	1.7	16.0	35.0	0.2

2 父親の育児参加について

(1)子育てを主に行っている人:就学前児童保護者調査(問7)

子育てを主に行っている人について、子どもの年齢別にみると、0歳で「主に母親」が 75.8%と高くなっている。

回答者別にみると、母親では「主に母親」が 68.3%で最も高く、父親では「父親・母親とも同じくらい」が 56.7%で最も高くなっている。

子育てを主に行っている人(子どもの年齢別、回答者別)

			主に母親	主に父親	同父親・母親とも 同じくらい	主に祖父母	その他	無回答
			(%)					
全		体 (N=2,384)	63.7	0.7	34.9	0.2	0.2	0.3
子どもの年齢別	0	歳 (n= 418)	75.8	0.5	23.0	0.0	0.7	0.0
	1	歳 (n= 400)	60.8	0.3	38.5	0.3	0.3	0.0
	2	歳 (n= 411)	62.0	0.5	37.2	0.2	0.0	0.0
	3	歳 (n= 390)	58.5	0.5	40.5	0.5	0.0	0.0
	4	歳 (n= 378)	66.1	1.3	31.7	0.0	0.3	0.5
	5	歳 (n= 369)	58.5	1.1	40.1	0.3	0.0	0.0
回答者別	母	親 (n=2,008)	68.3	0.2	31.0	0.2	0.1	0.1
	父	親 (n= 358)	39.4	3.1	56.7	0.3	0.6	0.0
	そ の 他	(n= 10)	40.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0

資料編 アンケート調査票及び集計結果

中央区 子育て支援に関するニーズ調査

調査について

- この調査票は、区内にお住まいの就学前のお子さんがいらっしゃるご家庭から、無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は、**無記名方式**で行います。回答者個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、中央区の子育て支援施策推進のために利用され、それ以外の目的に使用されることはありません。
- この調査票は 21 ページ、49 問あります。
- 調査回答に要する時間は概ね 35 分程度です。

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方がお答えください。
- 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。また、インターネット（パソコン、スマートフォン等）での回答も可能です。
※パソコン、スマートフォン等から回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

【回答期限】 郵送：11月24日（金）までにポストに投函
インターネット：11月24日（金）午後11時59分まで

インターネット(パソコン、スマートフォン等)での回答方法 ※詳細は別紙参照

- 1 以下の URL か二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のパスワード・ID を使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://jp.surveymonkey.com/r/syuugakumae>



パスワード：

I D :

（パスワードは無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。）

【問い合わせ先】

★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部子育て支援課計画推進等担当係長 TEL 03-3546-5444
受付時間 午前8時30分～午後5時（土日・祝日を除く。）

★調査方法・インターネット回答等について

株式会社 生活構造研究所 TEL 03-6261-7304
受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。）

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
 (1つに○) (N=2,384)
 1. 母親 84.2% 2. 父親 15.0% 3. その他〔 〕 0.4% 無回答 0.3%

問2 現在、あなたがお住まいになっている地域および地区はどこですか。(それぞれ1つに○)
 (N=2,384)

(1) 地域	(2) 地区
1. 京橋地域 23.7% (n=564)	1. 八重洲二丁目0.4% 2. 京橋 0.2% 3. 銀座 2.8% 4. 新富 3.5% 5. 入船 5.9% 6. 湊 22.5% 7. 明石町 11.2% 8. 築地 22.5% 9. 浜離宮庭園 0.0% 10. 八丁堀 7.6% 11. 新川 23.4% 無回答 0.0%
2. 日本橋地域 33.8% (n=805)	1. 本石町 0.0% 2. 室町 0.2% 3. 本町 4.7% 4. 小舟町 1.4% 5. 小伝馬町 1.6% 6. 大伝馬町 3.6% 7. 堀留町 6.5% 8. 富沢町 4.2% 9. 人形町 7.7% 10. 小網町 2.9% 11. 蛸殻町 7.3% 12. 箱崎町 6.2% 13. 馬喰町 3.7% 14. 横山町 3.6% 15. 東日本橋 11.8% 16. 久松町 2.4% 17. 浜町 25.1% 18. 中洲 3.4% 19. 八重洲一丁目0.1% 20. 日本橋 0.4% 21. 茅場町 2.7% 22. 兜町 0.5% 無回答 0.0%
3. 月島地域 42.2% (n=1,007)	1. 佃 14.8% 2. 月島 17.9% 3. 勝どき 35.0% 4. 豊海町 1.7% 5. 晴海 30.6% 無回答 0.1%

無回答 0.3%

問3 あなたは、いつから中央区にお住まいですか。転入してきた方は()の①~⑥も教えてください。(1つに○)
 (N=2,384)

1. 生まれてからずっと住んでいる 7.2%
 2. 中央区に転入してきた(転入してから: ① 1年未満 3.9% ② 1~3年未満 14.5%
 92.5% ③ 3~5年未満 21.2% ④ 5~10年未満 41.0%
 (n=2,205) ⑤ 10~15年未満 14.7% ⑥ 15年以上 4.6%
 無回答 0.3% 無回答 0.0%)

※「2. 中央区に転入してきた」には、生まれ育ちは中央区で、転出したがその後中央区へ転入してきて再び住むようになった場合も含む。

問4 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○) (N=2,384)

1. 分譲マンション 57.9% 4. 民間賃貸住宅 32.7%
 2. 一戸建て 1.6% 5. 社宅・会社の寮 4.2%
 3. 都営・区営等公営賃貸住宅 1.9% 6. その他〔 〕 1.2%
 無回答 0.5%

問5 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に年・月を記入) (N=2,384)

西暦 20 □ □ 年 □ □ 月生まれ (例) 西暦 20 □ 0 年 □ 0 月生まれ

平均 2.4 歳

問6 あて名のお子さんは誰と同居していますか。お子さんからみた関係でお答えください。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 父 95.4% 4. 母(単身赴任中) 0.8% 7. 祖母 1.4%
 2. 父(単身赴任中) 1.8% 5. 兄弟・姉妹 ⇒ 問6-1^ 42.2% 8. その他〔 〕 0.4%
 3. 母 93.7% 6. 祖父 0.8% 無回答 0.3%

問6-1 あて名のお子さんに、兄弟・姉妹は何人いますか。(□内に人数を記入) (N=1,007)

あて名のお子さんの兄弟・姉妹の数 □ 人 ※兄弟・姉妹がいない場合は0人と記入

平均 1.8 人

問7 お子さんの家庭での子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○) (N=2,384)

- | | | | | | |
|----------|-------|-----------|------|-----------------|-------|
| 1. 主に母親 | 63.7% | 2. 主に父親 | 0.7% | 3. 父親・母親とも同じくらい | 34.9% |
| 4. 主に祖父母 | 0.2% | 5. その他〔 〕 | 0.2% | 無回答 | 0.3% |

2. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

- | | | | |
|---|-------|--|-------|
| 【子どもの育ちに関すること】 | | 【保育所・幼稚園などに関すること】 | |
| 1. 病気や発育・発達に関すること | 28.5% | 16. 子どもの教育に関すること | 37.3% |
| 2. 食事や栄養に関すること | 39.2% | 17. 子どもの友達つきあいに関すること | 18.9% |
| 3. 子どもの性格や癖が心配である | 30.7% | 18. 登園拒否などの問題について | 3.0% |
| 4. 子どもが病気がちである | 3.5% | 【生活に関すること】 | |
| 【子育てに関すること】 | | 19. 子育てに出費がかさむ | 40.3% |
| 5. 育児の方法がよくわからないこと | 6.3% | 20. 住居が狭い | 51.8% |
| 6. 子どもとの接し方に自信がもてないこと | 16.2% | 【配偶者等、周囲の人に関すること】 | |
| 7. 子どもとの時間を十分に取れないこと | 28.4% | 21. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと | 14.9% |
| 8. 子育てについて話し相手や相談相手がいないこと | 8.4% | 22. 子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと | 9.6% |
| 9. 自分のやりたいことが十分にできないこと | 32.4% | 23. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲のみる目が気になる | 4.2% |
| 10. 子どもを叱りすぎているような気がする | 25.4% | 24. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと | 23.1% |
| 11. 子育てのストレスがたまって手をあげたり、無視してしまうこと | 5.8% | 25. 急なときに頼れる人がいない | 41.3% |
| 12. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと | 12.6% | 26. その他〔 〕 | 2.3% |
| 13. 子育てによる身体の疲れが大きい | 38.7% | 27. 特になし | 2.9% |
| 14. 仕事が十分にできない | 19.1% | 無回答 | 1.1% |
| 15. 子育てに追われ、社会から孤立するようになる | 7.3% | | |

問9 お子さんの家庭での子育てに関して、気軽に相談できる人または場所は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

- | | | | |
|--------------------------------------|-------|---------------------------|------|
| 1. 配偶者 | 83.6% | 13. 子ども発達支援センター ゆりのき | 2.3% |
| 2. 祖父母・兄弟等の親族 | 63.6% | 14. 児童館 | 6.0% |
| 3. 友人や知人 | 53.1% | 15. 福祉センター | 0.2% |
| 4. 近所の人 | 5.2% | 16. 教育センター | 0.3% |
| 5. 職場の人 | 16.4% | 17. 社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター) | 0.1% |
| 6. 保育所・幼稚園等の他の保護者 | 27.4% | 18. 児童相談所 | 0.2% |
| 7. 幼稚園の園長・副園長・担任、保育所・認定こども園の園長または保育士 | 31.7% | 19. 子育て支援を行うNPO等 | 0.1% |
| 8. 民生・児童委員 | 0.2% | 20. 子どもほっとライン | 0.1% |
| 9. 区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談 | 0.3% | 21. インターネット上で相談する | 2.4% |
| 10. 保健所・保健センター等の保健師 | 1.8% | 22. その他〔 〕 | 1.8% |
| 11. かかりつけの医師、看護師 | 10.8% | 23. 相談相手がいない | 1.1% |
| 12. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 2.7% | 24. 相談する機関がわからない | 0.3% |
| | | 25. 相談することがない | 0.5% |
| | | 無回答 | 0.3% |

問 10 日頃、お子さんを保護者に代わってみてくれる親族・知人はいますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

- 1. 日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる 9.4%
- 2. 緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる 53.2%
- 3. 日常的に友人・知人にみてもらえる 0.4%
- 4. 緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる 6.6%
- 5. いずれもない 35.3%
- 無回答 0.4%

3. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11 ご両親の現在の就労状況は次の表のどのタイプですか。また、1年後はどのようになる予定か(変更のない方も)お答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※ひとり親家庭の場合は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

(1) 母親 (N=2,384)

就労状況		現在	1年後
フルタイム就労(育休・介護休業中も含む)		67.2%	68.0%
パートタイム就労(育休・介護休業中も含む)	月当たり120時間以上	4.6%	4.9%
	月当たり48時間以上120時間未満	6.0%	7.4%
	月当たり48時間未満	2.9%	3.7%
現在は就労していない		18.7%	13.3%
無回答		0.6%	2.7%

問 11 (1) - 1 在宅勤務を1週間に何日していますか。していない人は「0」と記入してください。(内に 0~7 を記入)

1週間当たりの在宅勤務日数 日 平均 1.7 日

(2) 父親 (N=2,384)

就労状況		現在	1年後
フルタイム就労(育休・介護休業中も含む)		97.0%	95.1%
パートタイム就労(育休・介護休業中も含む)	月当たり120時間以上	0.8%	0.7%
	月当たり48時間以上120時間未満	0.2%	0.2%
	月当たり48時間未満	0.0%	0.1%
現在は就労していない		0.3%	0.3%
無回答		1.7%	3.6%

問 11 (2) - 1 在宅勤務を1週間に何日していますか。していない人は「0」と記入してください。(内に 0~7 を記入)

1週間当たりの在宅勤務日数 日 平均 1.4 日

問 12 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（1つに○） (N=2,384)

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みます。

※複数の収入源がある場合（父親が勤労収入、母親に事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1. 収入はない(0円)	0.3%	5. 250~300万円未満	0.7%	9. 800~1,000万円未満	12.6%
2. 100万円未満	0.3%	6. 300~400万円未満	1.1%	10. 1,000~2,000万円未満	52.1%
3. 100~200万円未満	0.2%	7. 400~600万円未満	4.5%	11. 2,000~3,000万円未満	14.7%
4. 200~250万円未満	0.3%	8. 600~800万円未満	7.2%	12. 3,000万円以上	5.2%
				無回答	0.7%

4. お子さんの平日の定期的な施設・事業の利用状況についてうかがいます。

問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの施設・事業を「定期的に」利用されていますか。 (1つに○) (N=2,384)

※ここでいう「定期的に」とは、月単位で定期的にご利用している施設・事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 13-1 に示す施設・事業が含まれます。

1. 利用している ⇒ 問 13-1 へ	80.5%	2. 利用していない ⇒ 問 13-6 (P.178) へ	19.5%
		無回答	0.0%

問 13-1 お子さんは、平日どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて定期的にご利用している施設・事業をお答えください。（1つに○） (n=1,919)

※P.195 【中央区の主な子育て支援施設・事業】の「1. 教育・保育施設」をご覧ください。

1. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用）	11.5%
2. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用 + 日常的な預かり保育）	1.1%
3. 私立幼稚園または中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用）	2.0%
4. 私立幼稚園または中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用 + 日常的な預かり保育）	0.9%
5. 区立認可保育所	27.1%
6. 私立認可保育所	36.2%
7. 認定こども園（短時間保育）	1.0%
8. 認定こども園（長時間保育）	4.5%
9. 認証保育所	4.6%
10. 事業所内保育施設（区で認可されているもの）	0.4%
11. 小規模保育事業所	0.4%
12. 居宅訪問型保育事業（障害児向け）	0.1%
13. 居宅訪問型保育事業（待機児童向け）	0.2%
14. 期間限定型保育事業	0.1%
15. 認可外保育施設	6.9%
16. 企業主導型保育事業	1.7%
17. その他〔 〕	1.0%
無回答	0.3%

問 13-2 現在、平日に定期的にご利用している施設・事業の実施場所はどこですか。 (「1.」もしくは「2.」の①~⑥のいずれか1つに○) (n=1,919)

1. 中央区	92.5%
2. 他の区、市等 ⇒	①千代田区 ②港区 ③台東区 ④墨田区 ⑤江東区 ⑥その他〔 〕 無回答
	6.4% 14.8% 9.0% 2.5% 3.3% 51.6% 15.6% 3.3%
(n=122)	
無回答	1.1%

問 13-3 問 13-1で回答した施設・事業を、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれ1週当たり何日、1日当たりどのくらい利用したいかをご記入ください。(□内に日数・時間を記入) (n=1,919)

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在利用している時間	
1週当たり □ 日	1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分)
平均 4.9 日 平均 12.5 時間	
(2) 希望として利用したい時間	
1週当たり □ 日	1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分)
平均 5.0 日 平均 13.1 時間	

問 13-4 問 13-1で回答した「定期的に利用している施設・事業」に加えて定期的に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○) (n=1,919)

※「定期的な利用」とは、毎週、週に何度かコンスタントに利用しているような場合をいいます。

※一時的な利用については問 20 (P.185) で別途うかがいます。

※P.195【中央区の主な子育て支援施設・事業】の「2. 子育て支援事業」をご覧ください。

- | | | | |
|------------------------------|------|--------------------------------|-------|
| 1. 子ども家庭支援センターなどの一時預かり保育 | 2.8% | 4. 区の事業以外の民間の保育サービス (ベビーシッター等) | 3.3% |
| 2. ファミリー・サポート・センター | 0.7% | 5. その他 [] | 1.6% |
| 3. ベビーシッター利用支援事業 (一時預かり利用支援) | 5.3% | 6. 特になし ⇒ 問 14 (P.179) へ | 86.8% |
| | | 無回答 | 1.6% |

問 13-5 問 13-4で「1.」から「5.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。回答した施設・事業を、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(□内に日数・時間を記入) (n=222)

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在利用している時間	
1週当たり □ 日	1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分)
平均 1.6 日 平均 8.7 時間	
(2) 希望として利用したい時間	
1週当たり □ 日	1日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分)
平均 2.4 日 平均 9.2 時間	

問 13-6 問 13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○、□内に年齢を記入) (n=465)

- | | |
|---|-------|
| 1. 母親または父親がみている | 82.6% |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている | 4.7% |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている | 0.0% |
| 4. 利用したいが、施設・事業に空きがない | 15.5% |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない | 7.1% |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない | 1.3% |
| 7. 利用したいが、質や場所など納得できる施設・事業がない | 4.9% |
| 8. 子どもがまだ小さいため (□ 歳くらいになったら利用しようと考えている) | 38.1% |
| 平均 2.5 歳 | |
| 9. その他 [] | 6.5% |
| 無回答 | 1.9% |

問 14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、今後お子さんが平日「定期的に利用したい」と考える第一希望の施設・事業をお答えください。

(表内に選択肢の番号をそれぞれ1つ記入) (N=2,384)

※P.195【中央区の主な子育て支援施設・事業】の「1. 教育・保育施設」をご覧ください。

※お子さんの現在の年齢以前の欄は、回答不要です。

※来年度小学校に就学予定（2017年4月2日～2018年4月1日生まれ）のお子さんは、回答不要です。

0歳の 4月1日	1歳の 4月1日	2歳の 4月1日	3歳の 4月1日	4歳の 4月1日	5歳の 4月1日

【子育て支援事業】

1. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用）
2. 区立幼稚園（通常の教育時間の利用 + 日常的な預かり保育）
3. 私立幼稚園または中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用）
4. 私立幼稚園または中央区立以外の公立幼稚園（通常の教育時間の利用 + 日常的な預かり保育）
5. 区立認可保育所
6. 私立認可保育所
7. 認定こども園（短時間保育）
8. 認定こども園（長時間保育）
9. 認証保育所
10. 事業所内保育施設（区で認可されているもの）
11. 小規模保育事業所
12. 居宅訪問型保育事業（障害児向け）
13. 居宅訪問型保育事業（待機児童向け）
14. 認可外保育施設
15. 企業主導型保育事業
16. ベビーシッター
17. 保護者が子どもをみるため、教育・保育事業の利用を希望しない
18. 就労はしているが、在宅勤務や子連れ出勤をしているため、教育・保育事業の利用を希望しない
19. その他〔 〕

問 14-1 施設・事業を選ぶうえで重視する条件をお答えください。（3つまで選んで○）

(N=2,384)

- | | | | |
|------------------------|-------|-----------------------------------|-------|
| 1. 幼児期に必要な教育が適正に行われている | 47.3% | 7. 利用料が適切である | 9.9% |
| 2. 教育・保育の特色や方針が希望に合う | 27.8% | 8. 親が運営・行事に関わる機会が多い | 0.7% |
| 3. 教員・保育士の質が高い | 52.4% | 9. 親が運営・行事に関わる機会が少ない
（親の負担が軽い） | 6.0% |
| 4. 施設や設備が充実している | 24.6% | 10. 自宅からの距離が近いなど立地条件が良い | 51.9% |
| 5. 保育時間が利用希望に合う | 28.6% | 11. その他〔 〕 | 1.4% |
| 6. 認可されている施設である | 14.7% | 無回答 | 11.6% |

問 14-2 問 14 の 3 歳から 5 歳の間での第一希望の施設・事業で「2.」「4.」のいずれかを選んだ方に幼稚園の預かり保育についてうかがいます。

① 希望としてはどのくらい利用したいですか。(□内に日数・時間を記入) (n=343)

※利用したい時間帯は、「08 時、17 時」のように 24 時間制でご記入ください。

1 週当たり □ 日 1 日当たり □ 時間 □ 分 (□ 時 □ 分 ~ □ 時 □ 分)
平均 4.5 日 平均 11.2 時間

② 幼稚園の預かり保育について、どうすればさらに利用しやすくなると思いますか。

(あてはまるものすべてに○) (n=343)

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 預かり保育の実施時間が長くなること (18 時頃まで) | 60.1% |
| 2. 預かり保育の実施時間が長くなること (18 時半以降の夜間対応) | 28.0% |
| 3. 利用するための理由を問わないこと | 46.4% |
| 4. 預かり保育を実施している幼稚園が近くにあること | 58.0% |
| 5. その他〔 | 〕 16.3% |
| 6. 特になし | 1.5% |
| 無回答 | 2.3% |

問 14-3 問 14 の 3 歳から 5 歳の間での第一希望の施設・事業で「5.」から「15.」のいずれかを選んだ方に幼稚園の預かり保育についてうかがいます。

① 幼稚園の預かり保育を利用できるとしたら、幼稚園に通わせたいですか。(1 つに○)

② ①で「1. 通わせたい」を選んだ方にうかがいます。幼稚園の預かり保育について、希望としては 1 週当たりどのくらい利用したいですか。(□内に日数を記入)

③ ①で「2. 通わせたいと思わない」を選んだ方にうかがいます。通わせたいと思わない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

①幼稚園の利用意向 (n=498)			
1. 通わせたい	34.3%	2. 通わせたいと思わない	32.9%
		3. わからない	29.5%
		無回答	3.2%
↓ (n=171)			
②預かり保育利用希望日数			
1 週当たり	□ 日	平均 4.8 日	
↓			
③通わせたいと思わない理由 (n=164)			
1. 預かり保育の実施時間が短く、都合が合わない	57.3%		
2. 幼稚園は P T A 活動や行事への参加など保護者の負担が大きい	49.4%		
3. 預かり保育を毎日利用すると利用料の負担が大きい	28.7%		
4. 保育所で満足している	67.7%		
5. 預かり保育を実施している幼稚園が近くにない	3.0%		
6. その他〔	〕 13.4%		
無回答	0.6%		

問 14-4 平日に定期的に利用したい施設・事業の場所をお答えください。(1 つに○) (N=2,384)

- | | | | |
|-------------------------|-------|----------------------|-------|
| 1. 中央区 ⇒ 問 15 (P.181) ^ | 81.2% | 2. 他の区、市等 ⇒ 問 14-5 ^ | 1.8% |
| | | 無回答 | 17.0% |

問 14-5 他の区、市等を利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=42)

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. 他の区、市等にある施設の方が自宅から近いから | 4.8% |
| 2. 定員に空きがあるから | 7.1% |
| 3. 保護者の勤務場所に近い施設を利用したいから | 14.3% |
| 4. 経済的な理由 (利用料、保育料が安い) から | 2.4% |
| 5. 延長・夜間等の時間帯の条件が合う施設・事業があるから | 9.5% |
| 6. 施設・事業の質が良い (納得できる内容で運営しているから) | 69.0% |
| 7. その他〔 | 〕 28.6% |
| 無回答 | 0.0% |

5. お子さんの平日夜間・土曜・休日などの「定期的」な施設・事業の利用希望についてうかがいます。

問 15 お子さんについて、平日夜間、土曜日、休日（日曜・祝日）、年末年始に、定期的な施設・事業の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。（それぞれ1つに○をし、□内に時間を記入）

※施設・事業は、幼稚園、保育所、認可外保育施設などを指します。なお、これらの施設・事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

(N=2,384)

(1) 平日夜間	1. 利用希望はない	74.3%	利用したい時間帯 ⇒ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr></table> 分から 分まで		時		分		分		時		分		分
		時			分		分								
		時			分		分								
	2. ほぼ毎週利用したい	6.6%													
3. 月に1～2回は利用したい	17.7%														
	無回答	1.4%													
(2) 土曜日	1. 利用希望はない	63.4%	利用したい時間帯 ⇒ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr></table> 分から 分まで		時		分		分		時		分		分
		時			分		分								
		時			分		分								
	2. ほぼ毎週利用したい	6.1%													
3. 月に1～2回は利用したい	29.5%														
	無回答	1.0%													
(3) 休日 (日曜・祝日)	1. 利用希望はない	73.6%	利用したい時間帯 ⇒ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr></table> 分から 分まで		時		分		分		時		分		分
		時			分		分								
		時			分		分								
	2. ほぼ毎週利用したい	2.1%													
3. 月に1～2回は利用したい	22.9%														
	無回答	1.4%													
(4) 年末年始	1. 利用希望はない	87.6%	利用したい時間帯 ⇒ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr></table> 分から 分まで		時		分		分		時		分		分
		時			分		分								
		時			分		分								
	2. 毎年利用したい	11.1%													
利用したい日にちに○をつけてください															
	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 40px; height: 20px;">12月</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">29日</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">30日</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">31日</td> </tr> <tr> <td style="width: 40px; height: 20px;">1月</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">1日</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">2日</td> <td style="width: 40px; height: 20px;">3日</td> </tr> </table>	12月	29日	30日	31日	1月	1日	2日	3日						
12月	29日	30日	31日												
1月	1日	2日	3日												
	無回答	1.3%													

問 16 幼稚園を利用している方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の預かり保育の利用を希望しますか。（1つに○をし、□内に時間を記入）

(n=298)

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

※これらの施設・事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用を希望しない	24.2%	利用したい時間帯 ⇒ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">時</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td><td style="width: 40px; height: 20px;"> </td><td style="width: 20px; text-align: center;">分</td></tr></table> 分から 分まで		時		分		分		時		分		分
	時			分		分								
	時			分		分								
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	17.1%													
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	40.9%													
4. 休みの期間中、一定期間利用したい	14.4%													
無回答	3.4%													

6. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 地域の子育て支援事業について、(1)【認知度・利用状況】、(2)【今後必要なときの利用意向】について回答してください。

※P.195【中央区の主な子育て支援施設・事業】の「2. 子育て支援事業」をご覧のうえご回答ください。

(1)【認知度・利用状況】知っているものや、これまでに利用したことがあるものはどれですか。

(①～⑳の事業ごとに、それぞれ1つに○)

(2)【今後必要なときの利用意向】今後、必要なときに利用したいと思うものに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

事業名		(1)【認知度・利用状況】				(2)【今後必要なときの利用意向】
		知っている利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答	
保健所・保健センター	① 離乳食、子育て支援、食育などの講習会	52.5%	36.2%	10.7%	0.7%	21.2%
	② プレママ教室(母親学級)、パパママ教室(両親学級)	46.2%	43.9%	9.2%	0.7%	15.1%
	③ 乳幼児健康相談(すくすく健康相談)※1	31.5%	44.5%	23.2%	0.8%	18.9%
	④ ママのこころの相談	6.3%	64.2%	28.6%	1.0%	18.0%
	⑤ 妊娠・出産、子育て、栄養、歯科などの相談	35.5%	45.9%	17.7%	0.8%	22.0%
	⑥ 妊婦健康診査	58.5%	23.4%	17.3%	0.8%	22.3%
	⑦ 新生児訪問(赤ちゃん訪問)	79.1%	14.4%	5.8%	0.7%	24.2%
	⑧ 産後ケア(宿泊型)事業※2	17.0%	64.4%	17.7%	0.9%	25.5%
子ども家庭支援センター きらら中央	⑨ 子育て交流サロン「あかちゃん天国」※3	72.0%	20.9%	6.5%	0.5%	32.0%
	⑩ 一時預かり保育※4	34.9%	55.7%	8.6%	0.8%	43.8%
	⑪ 育児支援ヘルパー	3.1%	64.3%	31.6%	1.0%	22.7%
	⑫ ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)	19.0%	64.8%	15.4%	0.8%	41.7%
	⑬ 子育て支援講座	7.0%	49.4%	42.7%	0.9%	12.1%
	⑭ 子育て相談	7.3%	59.1%	32.6%	0.9%	14.9%
	⑮ 子どもショートステイ	0.9%	62.9%	35.3%	0.9%	20.6%
	⑯ トワイライトステイ※5	0.9%	63.4%	34.7%	1.0%	20.8%
	⑰ 病児・病後児保育	11.6%	71.3%	16.3%	0.8%	39.7%
	⑱ 緊急一時保育援助事業	0.9%	57.6%	40.5%	1.0%	23.7%
	⑲ ファミリー・サポート・センター※6	4.1%	64.1%	31.0%	0.8%	23.0%
	⑳ 子どもほっとライン	0.9%	55.4%	42.8%	1.0%	7.8%
⑳ 中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会	3.4%	16.8%	78.9%	0.9%	7.5%	
㉑ 教育センターの教育相談	1.9%	19.0%	78.2%	0.9%	9.4%	
㉒ 赤ちゃん・ふらっと	10.7%	26.7%	61.6%	1.0%	9.2%	
㉓ 子育てガイドブック	22.6%	36.7%	39.6%	1.1%		
㉔ 子ども発達支援センター ゆりのき※7	7.7%	29.8%	61.6%	0.8%	13.0%	
無回答					21.0%	

※1 令和2年度まではフリー乳健として実施

※2 産後ケア(宿泊型)事業は、学校法人聖路加国際大学等、産後ケア事業(宿泊型)を実施している施設に委託し実施

※3 子育て交流サロン「あかちゃん天国」は、築地児童館、新川児童館、堀留町児童館、浜町児童館、月島児童館、晴海児童館でも実施

※4 一時預かり保育は、晴海こども園、京橋こども園、阪本こども園、まなびの森保育園銀座、昭和こども園でも実施

※5 トワイライトステイは、京橋こども園でも実施

※6 ファミリー・サポート・センターは、中央区社会福祉協議会に委託して実施

※7 子ども発達支援センター ゆりのき は、地域の療育の拠点として発達や育ちに支援が必要な子どもとその家族に対して、適切な相談や支援を実施

お子さんが、2020年4月2日以降に生まれた方にかがいます。

問 18 子育て交流サロン「あかちゃん天国」の利用状況をお答えください。(1つに○、□内に回数を記入)
(n=1,229)

1. 現在利用している ⇨ 1か月当たり 回程度 平均4.8回 ⇒問 18-1 へ 37.8%
2. 現在は利用していないが、利用したことがある ⇒問 18-2 へ 39.6%
3. 利用したことがない ⇒問 18-2 へ 21.6%
- 無回答 0.9%

問 18-1 今後、利用回数を増やしたいと思いますか。(1つに○、□内に回数を記入)
(n=465)

1. はい ⇨ 1か月当たり更に 回程度 平均5.8回 46.7%
2. いいえ ⇒問 19 へ 52.0% 無回答 1.3%

問 18-2 問 18 で「2.」「3.」を選んだ方にかがいます。今後、利用したいと思いますか。

(1つに○、□内に回数を記入) (n=753)

1. はい ⇨ 1か月当たりの利用希望回数 回程度 平均3.2回 52.7%
2. いいえ 45.4% 無回答 1.9%

7. お子さんの病気やケガの際の対応にかがいます。

問 19 この1年間に、お子さんが病気やケガをしたことはありますか。(1つに○) (N=2,384)

1. あった ⇒ 問 19-1 へ 78.7% 2. なかった ⇒ 問 20 (P.185) へ 21.1%
- 無回答 0.3%

問 19-1 この1年間に、お子さんが病気やケガをした場合に取った対処方法と、その日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入)

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

※父親が半日、母親が半日交替で休んだ場合でも、それぞれ1日とカウントしてください。

(n=1,876)

1年間の対処方法		日数	
1. 父親が仕事を休んで子どもを見た	39.6%	<input type="text"/> 日程度	⇒問 19-2 へ
2. 母親が仕事を休んで子どもを見た	65.7%	<input type="text"/> 日程度	
3. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	30.8%	<input type="text"/> 日程度	
4. 区の病児・病後児保育を利用した	7.0%	<input type="text"/> 日程度	⇒問 20 (P.185) へ
5. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	15.4%	<input type="text"/> 日程度	
6. 民間の訪問型病児保育サービス(ベビーシッター等)を利用した	4.3%	<input type="text"/> 日程度	
7. その他〔 〕	7.1%	<input type="text"/> 日程度	
無回答	0.1%		

問 19-2 問 19-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。父親もしくは母親が仕事を休んだときに、できれば区の病児・病後児保育を利用したいと思いましたが。

(1つに○をし、 内に日数を記入) (n=1,292)

※区の病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかり、入室前診断が必要となります。

- | | | | |
|------------------|----------------------|-----------------------|-------|
| 1. できれば利用したいと思った | <input type="text"/> | 日程度 平均 6.0日 ⇒ 問 19-3へ | 51.5% |
| 2. 利用したいとは思わなかった | | ⇒ 問 19-4へ | 47.7% |
| 無回答 | | | 0.9% |

問 19-3 「できれば利用したいと思った」が利用しなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○) (n=665)

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 病気の子どもを他人に看ってもらうのは不安である | 19.8% |
| 2. サービスの質に不安がある | 5.3% |
| 3. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない | 32.6% |
| 4. 利用手続きが煩雑で面倒である | 52.6% |
| 5. 利用料がかかる・高い | 11.3% |
| 6. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない | 30.2% |
| 7. 定員が少なく当日預けられなかった | 44.2% |
| 8. その他〔 | 16.5% |
| 無回答 | 0.6% |

⇒ 問 20 (P.185) へ

問 19-4 「利用したいとは思わなかった」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(n=616)

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 病気的时候は子どもの看病をしたい | 53.9% |
| 2. 病気の子どもを他人に看ってもらうのは不安である | 38.1% |
| 3. サービスの質に不安がある | 11.2% |
| 4. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない | 20.6% |
| 5. 利用手続きが煩雑で面倒である | 49.5% |
| 6. 利用料がかかる・高い | 16.2% |
| 7. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない | 31.3% |
| 8. 定員が少なく当日預けられる保障がない | 40.1% |
| 9. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない | 28.6% |
| 10. その他〔 | 12.5% |
| 無回答 | 0.5% |

8. お子さんの子育て支援事業の不定期な利用についてうかがいます。

問 20 お子さんについて、この1年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業と、そのおおよその利用日数をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入)

※P.195【中央区の主な子育て支援施設・事業】の「2. 子育て支援事業」をご覧ください。

(N=2,384)

利用している事業	日数(年間)
1. 幼稚園の預かり保育(不定期に利用する場合のみ) 2.6%	<input type="text"/> 日程度
2. 一時預かり保育 15.1%	<input type="text"/> 日程度
3. トワイライトステイ 0.6%	<input type="text"/> 日程度
4. ファミリー・サポート・センター 1.2%	<input type="text"/> 日程度
5. ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援) 11.3%	<input type="text"/> 日程度
6. 区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等) 4.5%	<input type="text"/> 日程度
7. その他〔 〕 0.5%	<input type="text"/> 日程度
8. 利用していない 70.5%	
無回答 1.7%	

⇒問 21 (P.186) へ

⇒問 20-1 へ

問 20-1 問 20 で「8. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=1,681)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 事業があることを知らなかった 9.3% | 6. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない 15.5% |
| 2. 特に利用する必要がない 53.1% | 7. 利用手続きが煩雑で面倒である 32.5% |
| 3. 利用したい事業がない 4.6% | 8. 利用料がかかる・高い 12.7% |
| 4. サービスの質に不安がある 8.6% | 9. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない 23.8% |
| 5. 子どもが馴染むかどうか不安である 22.5% | 10. その他〔 〕 6.5% |
| | 無回答 0.4% |

問 21 お子さんについて、家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で、一時的な預かり事業の利用希望についてうかがいます。

- ① 今後、利用したいですか。(1つに○)
 - ② ①で「1. 利用したい」を選んだ方にうかがいます。利用したい事業を選んでください。(あてはまるものすべてに○)
 - ③ 利用目的別に希望日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○、□内に日数を記入)
- ※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

①利用希望 (N=2,384)			
1. 利用したい	69.1%	2. 利用する必要はない	29.8%
		無回答	1.1%
②利用したい事業 (n=1,647)			
1. 幼稚園の預かり保育	37.3%	4. ファミリー・サポート・センター	24.7%
2. 一時預かり保育	70.7%	5. ベビーシッター利用支援事業	58.7%
3. トワイライトステイ	23.6%	(一時預かり利用支援)	
		6. その他〔 〕	1.6%
		無回答	1.3%
③利用目的 (n=1,647)		日数(年間)	
ア. 家族の通院	48.0%	□ □ □	日程度
イ. 冠婚葬祭、学校行事	39.3%	□ □ □	日程度
ウ. 不定期の就労	28.8%	□ □ □	日程度
エ. 親の勉強、資格取得	29.5%	□ □ □	日程度
オ. ボランティア、地域活動	4.4%	□ □ □	日程度
カ. 買物、趣味の活動、リフレッシュ目的	62.1%	□ □ □	日程度
キ. その他〔 〕	5.8%	□ □ □	日程度
	無回答		1.8%

問 22 宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。

- ① この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。預け先が見つからなかった場合も含まれます。(1つに○)
- ② ①で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。対処方法とその日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○、□内に日数を記入)

①状況 (N=2,384)			
1. あった	12.0%	2. なかった	87.2%
		無回答	0.8%
②対処方法 (n=285)			宿泊日数(年間)
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	74.0%	□ □ □	泊
2. 子どもショートステイを利用した	0.7%	□ □ □	泊
3. 2. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	2.5%	□ □ □	泊
4. 子どもを同行させた	25.3%	□ □ □	泊
5. その他〔 〕	6.3%	□ □ □	泊
	無回答		0.4%

問 26 問 23 で「3. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。「学童クラブを利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=173)

1. 自宅に近い等、便利だから	71.7%
2. 放課後の居場所として学童クラブ以外はよく知らないから	43.9%
3. 連絡帳などを使って保護者と職員のコミュニケーションが取れる	20.8%
4. 家庭的な雰囲気の中で過ごせる	15.0%
5. 他の学区域の友達と一緒にになれる	19.7%
6. 保護者会や父母の会行事で他の保護者や職員と交流できる	4.0%
7. 施設・設備が充実している	22.5%
8. 児童館全体を使って、のびのび遊ぶことができる	39.3%
9. 児童館行事に参加しやすい	13.3%
10. 延長利用料以外に料金がかからないから	35.3%
11. その他〔	〕 4.6%
無回答	0.0%

問 27 問 23 で「4. 区に届け出した民間学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。「区に届け出した民間学童クラブを利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=108)

1. 自宅に近い等、便利だから	51.9%
2. 小学校までお迎えがあるから	66.7%
3. 連絡帳などを使って保護者と職員のコミュニケーションが取れる	13.0%
4. 家庭的な雰囲気の中で過ごせる	9.3%
5. 他の学区域の友達と一緒にになれる	16.7%
6. 習い事との併用(中抜け)ができる	54.6%
7. 学び、体験活動、行事が充実している	63.0%
8. 施設・設備が充実している	20.4%
9. 延長での預かり時間が長かったり、悪天候や学級閉鎖時にも開所してくれる	30.6%
10. 有料でも温かい食事の提供がある	27.8%
11. 利用料金等がかかるが、メリットが大きいから	41.7%
12. その他〔	〕 3.7%
無回答	1.9%

問 28 問 23 で「5. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。「子どもの居場所「プレディ」を利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=175)

1. 自宅に近い等、便利だから	72.0%
2. 児童館で行う学童クラブと比べ、移動がなく安全	59.4%
3. 参加が自由(必要なときだけ参加できる)で、6年生まで継続して使える	69.1%
4. 就労していないが、子どもの学習や遊びの環境として良いと思う	20.6%
5. 兄弟やクラスの友達と一緒に通える	31.4%
6. 地域のサポーターによる行事や工作などの各種教室がある	22.9%
7. 学校の放課後活動(ミニバスケット、わんぱく相撲や羽根つき大会の練習など)に参加しやすい	24.6%
8. その他〔	〕 6.9%
無回答	0.6%

問 29 子どもが放課後を過ごす場所として、重視したいことは何ですか。(3つまで選んで○) (n=369)

1. 子どもが安全・安心に過ごせること	90.5%	10. 勉強ができる環境があること	25.2%
2. 充実した施設・設備があること	20.9%	11. 屋外で遊べる環境があること	8.1%
3. 希望する時間に利用できること	39.0%	12. 大勢で過ごせる環境があること	2.2%
4. スタッフ(職員等)が充実していること	34.7%	13. 少人数で家庭的な雰囲気ですごせる環境があること	2.2%
5. 子どもの遊び支援など日常活動が充実していること	21.1%	14. 落ち着いてリラックスできる環境があること	12.2%
6. 異年齢(乳幼児から大人までとの)による活動が充実していること	1.9%	15. 保護者と一緒に過ごせること	0.8%
7. 行事や地域交流活動が充実していること	1.4%	16. 家や学校に近いこと	32.8%
8. 運営に関する子どもの参画がなされること	0.3%	17. その他〔	〕 1.1%
9. 障害児等、配慮を要する子どもへの配慮がされていること	2.2%	無回答	2.4%

10. 育児休業の取得状況についてうかがいます。

問 30 お子さんが生まれたときの両親の育児休業の取得状況をお答えください。

(取得の有無：1つに○、取得期間・取得していない理由：□内に選択肢の番号を記入)

(N=2,384)

(1) 母親	1. 働いていなかった	20.9%	
	2. 取得した(取得中である)	72.4%	⇒取得期間 □
(2) 父親	3. 取得していない	6.3%	
	⇒ 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください。あてはまるものすべて)		
	無回答	0.4%	

【育児休業の取得期間】

	母親 (n=1,726)	父親 (n=571)		母親	父親
1. 2週間未満	0.3%	35.7%	6. 1年以上1年6か月未満	28.7%	2.1%
2. 2週間以上1か月未満	0.9%	24.0%	7. 1年6か月以上2年未満	20.7%	0.7%
3. 1か月以上3か月未満	3.2%	22.8%	8. 2年以上3年未満	7.3%	0.2%
4. 3か月以上6か月未満	6.5%	8.1%	9. 3年以上	2.1%	0.0%
5. 6か月以上1年未満	29.6%	6.3%	無回答	0.6%	0.2%

【育児休業を取得していない理由】

	母親 (n=150)	父親 (n=1,750)
1. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	30.0%	17.0%
2. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2.0%	28.7%
3. 仕事が忙しかった	21.3%	52.8%
4. (産休後に)仕事に早く復帰したかった	18.7%	0.5%
5. 仕事に戻るのが難しそうだった	10.0%	4.8%
6. 昇給・昇格などが遅れそうだった	1.3%	9.8%
7. 収入減となり、経済的に苦しくなる	11.3%	22.3%
8. 保育所などに預けることができた	5.3%	2.1%
9. 配偶者が育児休業制度を利用した	0.7%	30.3%
10. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	1.3%	8.3%
11. 子育てや家事に専念するため退職した	13.3%	0.1%
12. 子育てや家事以外の理由により退職した	3.3%	0.0%
13. 雇用形態等のため育児休業の取得要件を満たさなかった	20.0%	2.1%
14. 育児休業を取得できることを知らなかった	2.0%	0.6%
15. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	0.7%	0.1%
16. その他〔 〕	24.7%	10.9%
無回答	1.3%	1.0%

問 30-5 問 30-1で母親・父親のいずれか、もしくは両方で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方で、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。お子さんが1歳になったときに必ずお子さんを預けられる施設等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親 (n=207)	(2) 父親 (n=4)
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 73.4%	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 25.0%
2. 1歳になる前に復帰したい 4.8%	2. 1歳になる前に復帰したい 25.0%
無回答 21.7%	無回答 50.0%

11. 妊娠中・産後の状況についてうかがいます。

問 31 妊娠中に、身近な方で気にかけてくれた、支えてくれたと感じる方は誰ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 配偶者・パートナー 85.5%	6. 育児支援ヘルパー、ベビーシッター 3.1%
2. 同居の父母 2.1%	7. 友人・知人 38.8%
3. 里帰り出産をした際の父母・近居父母(概ね30分以内で行き来できる範囲) 26.4%	8. 近所の人 2.6%
4. 遠居の父母 45.7%	9. その他〔 〕 4.7%
5. 父母以外の親族 14.9%	10. 誰もいなかった 2.0%
	無回答 1.2%

問 32 あて名のお子さんを出産した後の母親の身体面、精神面の体調はいかがでしたか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 体調は良かった 33.8%	6. 気分が落ち込んだ 29.9%
2. 睡眠が十分に取れなかった 65.1%	7. 産後の回復が悪かった 17.6%
3. 体の疲れが取れなかった 56.5%	8. 自身が病気をしてしまった 5.8%
4. 乳房の状態が悪くなかった 23.0%	9. 育児を投げ出したくなった 11.4%
5. 意味もなく涙が出てきた 22.8%	10. その他〔 〕 4.2%
	無回答 1.2%

問 33 産後の育児に関して困ったことやつらかったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

(N=2,384)

1. 授乳のこと 38.6%	8. 自分の体調が悪く自分の思うような育児ができなかったこと 18.7%
2. 沐浴のこと 4.0%	9. 経済的負担 9.9%
3. 夜泣きのこと 38.6%	10. 新型コロナウイルス感染症への感染に気を付けること 30.5%
4. 育児に慣れないこと 40.4%	11. その他〔 〕 7.0%
5. 上の子どものこと 18.9%	12. 特になかった 8.6%
6. 家事のこと 29.8%	無回答 1.4%
7. 家事・育児の協力者がいないこと 18.7%	

問 34 産後の育児について、一緒にお子さんの子育てや家事を助けてくれたと感じる方は誰ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 配偶者・パートナー 81.4%	6. 育児支援ヘルパー、ベビーシッター 6.7%
2. 同居の父母 2.6%	7. 友人・知人 15.1%
3. 里帰り出産をした際の父母・近居父母(概ね30分以内で行き来できる範囲) 26.1%	8. 近所の人 1.8%
4. 遠居の父母 41.3%	9. その他〔 〕 3.6%
5. 父母以外の親族 11.1%	10. 誰もいなかった 3.3%
	無回答 1.2%

12. 地域における子育てについてうかがいます。

問 35 近所や地域の人とおつきあいは、どの程度ありますか。(1つに○) (N=2,384)

- | | | | |
|---------------|-------|----------------------------|-------|
| 1. あいさつする程度 | 46.4% | 4. 食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている | 10.0% |
| 2. 時々立ち話をする | 19.5% | 5. 困っているときに相談したり助け合ったりしている | 2.6% |
| 3. 家に上がって話をする | 2.3% | 6. ほとんどつきあいはない | 18.1% |
| | | 無回答 | 1.0% |

問 36 親子で地域の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。(それぞれ1つに○) (N=2,384)

	参加している	参加していないが、 今後参加したい	参加していません、 今後も参加しない	無回答
① 町会・自治会主催の子ども向けイベント (バスハイク、クリスマス会、お餅つき等)	28.1%	51.6%	18.9%	1.3%
② 地域で活動するサークル(子育てサークル等)	5.8%	35.3%	57.3%	1.6%
③ 地域伝統行事(祭り等)	46.5%	38.3%	14.0%	1.2%
④ 地域のスポーツ少年団	3.9%	49.0%	45.5%	1.6%
⑤ 社会奉仕活動団体(ボーイスカウト等)	0.7%	38.6%	58.9%	1.8%

問 37 あなたは、地域住民によるどのような子ども・子育て支援活動を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

- | | | | | |
|----------------------------|-------|---------------------------------|-------|------|
| 1. 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動 | 23.1% | 6. 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動 | 26.0% | |
| 2. 子育て家庭の家事を支援する活動 | 29.9% | 7. 子どもの見守りをしてくれる活動 | 50.0% | |
| 3. 不意の外出のときなどに子どもを預かる活動 | 38.3% | 8. 子育てに関連した情報を簡単に共有できる
ような活動 | 28.8% | |
| 4. 子どもと遊んでくれる活動 | 47.3% | 9. その他〔 | 〕 | 2.6% |
| 5. 子どもにスポーツや勉強を教える活動 | 57.1% | 10. 特にな | | 6.7% |
| | | 無回答 | | 1.0% |

問 38 あなたは、今後、地域住民による子ども・子育て支援活動に携わっても良いと思いますか。(1つに○)

(N=2,384)

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|
| 1. すでに携わっている | 1.8% | 4. 携わりたくない | 7.0% |
| 2. ぜひ携わりたい | 13.8% | 5. わからない | 20.3% |
| 3. 携わっても良い | 54.8% | 無回答 | 2.2% |

13. 子育てに関する意識についてうかがいます。

問 39 子育てをしていて、次のように感じることはありますか。(それぞれ1つに○) (N=2,384)

	よく 感じる	時々 感じる	あまり 感じない	まったく 感じない	無回答
① 子育てが楽しい	60.9%	33.4%	4.4%	0.3%	1.0%
② 子どもの顔を見ると気持ちが安らぐ	83.4%	14.6%	1.0%	0.2%	0.8%
③ 子どもがいると家庭が明るくなる	89.9%	8.6%	0.4%	0.2%	0.8%
④ 子どものことでどうして良いかわからなくなる	10.9%	49.5%	30.9%	7.8%	0.9%
⑤ 自分の時間が取れず自由がない	34.9%	46.9%	14.1%	3.3%	0.9%
⑥ 子育てに不安を感じる	11.5%	45.1%	34.3%	8.3%	0.9%
⑦ 子育てに負担を感じる	14.9%	44.9%	29.2%	9.9%	1.0%
⑧ 仕事と子育ての両立が難しい	35.8%	36.7%	16.5%	9.5%	1.4%

問 40 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 祖父母・兄弟等の親族	36.0%	10. 保健所・保健センター	6.3%
2. 友人や知人	66.7%	11. 子育てガイドブック	3.1%
3. 近所の人	10.7%	12. こどもすくすくナビ	0.4%
4. SNSで知り合った友人	13.0%	13. インターネット	68.1%
5. 保育所、認定こども園、幼稚園	51.7%	14. テレビ、ラジオ、新聞	17.2%
6. 区役所や区の機関の窓口	7.0%	15. 子育て雑誌	10.3%
7. 「区のおしらせ ちゅうおう」やパンフレット	17.2%	16. その他〔 〕	6.0%
8. 子ども家庭支援センター きらら中央	4.2%	17. 情報の入手先がわからない	0.8%
9. 児童館	14.9%	18. 情報を必要としていない	0.5%
		無回答	0.8%

問 41 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。(3つまで選んで○) (N=2,384)

1. 子どもの発達や育児、しつけについて	41.4%	7. 病気や障害に関する相談窓口	8.4%
2. 子ども向けイベント情報	64.9%	8. アレルギーのある子ども向けの情報	4.4%
3. 医療機関情報	23.1%	9. 子育てに優しい、子育てしやすい住まいに関する情報	18.5%
4. 保育所、幼稚園の紹介・特徴	21.8%	10. 地域の伝統行事(祭り等)などの情報	37.3%
5. 経済的支援制度に関する情報	14.4%	11. その他〔 〕	2.3%
6. 公園などの遊び場の情報	47.5%	無回答	0.9%

問 42 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,384)

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	31.0%	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	60.7%
2. 子どもが安全に生活できる環境	21.3%	10. 親子で過ごせる場所や講座、イベント	26.7%
3. 子どもにとって危険の無い生活	17.9%	11. 子どものゆとりある生活	23.7%
4. 子どもが家族と過ごす時間	31.6%	12. 保護者が自由に過ごせる時間	43.8%
5. 子どもの自立を促す取組	24.6%	13. 地域での支え合い	13.8%
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	20.8%	14. 子育て経験者からのアドバイス	7.0%
7. 子どもにとって充実した食生活	23.3%	15. その他〔 〕	4.1%
8. 子どもが自由に遊ぶ時間	20.1%	無回答	2.1%

問 43 中央区は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つに○) (N=2,384)

1. とてもしやすいまちだと思う	20.4%	4. しやすいまちだとは思わない	4.7%
2. どちらかといえば、しやすいまちだと思う	59.1%	5. わからない	4.6%
3. あまりしやすいまちだとは思わない	10.4%	無回答	0.9%

問 44 以前(3~5年前)に比べ、中央区の子育て環境は良くなったと思いますか。(1つに○)

(N=2,384)

1. とても良くなったと思う	8.7%	4. どちらかといえば悪くなったと思う	2.3%
2. どちらかといえば良くなったと思う	30.3%	5. 最近転入してきてよくわからない	12.2%
3. あまり変わらない	19.0%	6. わからない	26.6%
		無回答	0.9%

問 45 あなたは、中央区に今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○) (N=2,384)

1. 子どもの小学校入学前まで住み続けたい	11.7%	5. 子どもの大学卒業まで住み続けたい	3.6%
2. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい	20.7%	6. ずっと住み続けたい	50.3%
3. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい	4.8%	7. 転出したい	4.7%
4. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい	3.3%	無回答	0.9%

中央区の主な子育て支援施設・事業

(令和5年4月1日現在)

1. 教育・保育施設

幼稚園	就学前の3～5歳児に対して幼児教育を行う施設です。 【施設数】区立14園（1園休園）
認可保育所	保護者が仕事や病気などにより家庭において子どもの保育ができないときに、保護者に代わって保育をするところです。 【施設数】74園（区立14園、私立60園）
認定こども園	幼稚園機能（短時間保育）と保育所機能（長時間保育）の両方の役割をもった施設です。 【施設数】5園（区立2園、私立3園）
認証保育所	東京都が独自基準（施設の広さ、人員配置など）を決めて認証した保育所です。全園で0歳児クラスがあり、開所時間が長いなど、多様な保育ニーズに対応しています。 【施設数】12園
事業所内保育事業	会社の従業員用の保育施設で、区が設置した基準を満たした認可施設です。従業員の子どものほか、定員の一部を地域枠として地域の子どもと一緒に保育しています。 【施設数】1園（Kuukids）
小規模保育事業	少人数（定員6人～19人）を対象にした認可保育施設です。 【施設数】1園（キャリア保育園八丁堀）
居宅訪問型保育事業（障害児向け）	障害などで個別の対応が必要な子どもを対象に、子どもの自宅に1対1を基本として保育を行う認可の事業です。
居宅訪問型保育事業（待機児童向け）	認可保育所の入園が待機となった0歳児から2歳児クラスの子どもを対象に、利用者の自宅に保育者を派遣し、1対1の保育を実施する事業です。
期間限定型保育事業	認可保育所の入園が待機となった1歳児クラスの子どもを対象に、新設の認可保育所等が5歳児クラスの保育室等空いているスペースを活用し、期間を限定してお預かりする事業です。
認可外保育施設	乳幼児を預かることを目的とした施設で、ここでは上記以外の施設のことをいいます。下欄「企業主導型保育施設」は認可外保育施設の一つです。 例：ベビーホテル、事業所が開設している保育施設、企業主導型保育施設など
企業主導型保育施設	企業が設置している認可外保育施設です。設置した企業で働く従業員の子どもだけでなく、地域の子どもを受け入れている施設もあります。企業で働く方のニーズに応じ、曜日や時間、預ける日数などについて柔軟な保育を提供しています。

2. 子育て支援事業

幼稚園預かり保育	幼稚園在園児を対象に、幼稚園教育時間終了後や長期休業日に保育を行います。給食はありません。（令和6年4月より全園で弁当給食を開始） 【実施園】区立幼稚園のうち3園（令和6年度より全園で実施、久松幼稚園は9月から実施） 【開設時間】月～金曜日 幼稚園教育時間終了後から午後4時30分まで 夏季・冬季・春季休業日 午前9時から午後4時30分まで（年末年始、土日祝日を除く） 【利用料金】登録利用料 5,000円（令和6年以降の新規利用者は「一時利用」のみ） 一時利用料 日額 400円（夏季・冬季・春季休業日は800円）
延長保育	区内の全認可保育所において、1歳児クラス以上を対象に午後6時30分から7時30分まで（一部を除く）延長保育として子どもを預かります。継続的に延長保育を必要とする方のための「月極延長保育」と、急な残業などに対応できるよう1日単位で利用できる「スポット延長保育」があります。
一時預かり保育	保護者が冠婚葬祭やリフレッシュなどの理由により一時的に子どもを預かる事業です。また、保護者の出産や入院などの緊急の理由により利用できる「緊急保育」があります。子ども家庭支援センター、日本橋分室、十思分室のほか、晴海こども園、京橋こども園、阪本こども園、まなびの森保育園銀座で実施しています。（晴海こども園、阪本こども園、まなびの森保育園銀座は「緊急保育」未実施） 【利用料金】一時保育 1時間 800円 緊急保育 1日 2,000円
トワイライトステイ	仕事などの理由により帰宅が夜間になる場合に利用できる一時預かりです。2歳から小学6年生が対象です。 子ども家庭支援センター、京橋こども園で実施しています。 【利用料金】1回 2,000円
子どもショートステイ	保護者が病気などにより一時的に子どもを養育するのが難しいときに利用できる、宿泊を伴う一時預かりです。区が委託した乳児院や児童養護施設、協力家庭で預かります。 【利用料金】1泊2日 6,000円

ベビーシッター利用 支援事業(一時預かり 利用支援)	日常生活上の突発的な事情等により一時的にベビーシッターによる保育を必要とする保護者や、ベビーシッターを活用した共同保育を必要とする保護者に対し、都が認定しているベビーシッターを利用する場合の利用料を助成します。
子育て交流サロン 「あかちゃん天国」	親子のふれあいと交流の場として、子ども家庭支援センターおよび区内6か所の児童館で実施しています。 子育てに関するさまざまな相談や情報提供も行っています。
病児・病後児保育	病気の回復期等により、保育施設での集団保育ができず、保護者も家庭で看護することができない場合に、一時的に子どもを預かる事業です。 区が委託する医療機関の病児・病後児保育室または認証保育所で実施しています。 【利用料金】1日 2,000円
ファミリー・サポート・ センター事業	子育ての手助けが必要な方(依頼会員)と、子育ての手助けができる方(提供会員)が会員になり、保育園の送迎や一時的な保育など、会員同士が子育てを助け合う事業です。 【利用料金】曜日・時間に応じ、1時間当たり800円または1,000円

3. 放課後支援事業

学童クラブ	保護者の仕事などにより、放課後、家庭において適切な保護が受けられない小学生のために生活や遊びの場を提供する事業です。 【実施場所】区内児童館8か所 【開設時間】月～金曜日 下校時から午後6時まで(年末年始、祝日を除く) 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 学校休業日 午前8時30分から午後6時まで 土曜日を除き午後7時30分まで延長可能 【利用料金】午後6時まで無料 午後6時を超えて利用する場合は延長利用料 1回400円(月上限5,000円)
区に届け出した民間 学童クラブ	区内児童館での学童クラブに加え、区に「放課後児童健全育成事業」として届け出をした民間事業者が運営する学童クラブを令和5年4月から開設しています。 【実施場所】区内1か所 【開設時間】月～金曜日 下校時から午後9時まで(年末年始、日曜、祝日を除く) 学校休業日 午前7時30分から午後9時まで ※午前7時30分から8時、午後7時以降は延長料金発生 【利用料金】入会金 20,000円 保育料 36,000円/月 延長料金 600円/30分 施設維持費(教材費等) 10,000円/年 その他オプションとして、昼食・夕食の提供、学校送迎等を実施
子どもの居場所 「プレディ」	小学校の施設を利用し、放課後や夏休み等に子どもの居場所を提供する事業です。保護者の仕事等の理由にかかわらず利用できます。 【実施場所】区立小学校のうち12校 【開設時間】月～金曜日 下校時から午後5時まで(年末年始、祝日を除く) 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 学校休業日 午前8時30分から午後5時まで 土曜日を除き午後7時30分まで延長可能、土曜日午後6時まで延長可能 【利用料金】午後6時まで無料 午後6時を超えて利用する場合は延長利用料 1回400円(月上限5,000円)
児童館	0歳から18歳までの子どもとその保護者が利用できる施設です。ホール、図書室、遊戯室などがあり、自由に遊んだり行事に参加したりすることができます。 【施設数】8館

中央区の子育て支援サービスについて、さらにお知りになりたいときは・・・

子育て応援サイト「こどもすくすくナビ」

中央区の子育て支援サービスや情報についてカテゴリ別にとまとめられたサイトです。
ぜひご利用ください！



<https://chuo-city.mamafre.jp/>

中央区 すくすくナビ



中央区 子育て支援に関するニーズ調査

調査について

- この調査票は、区内にお住まいの小学生のお子さんがいらっしゃるご家庭から、無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は、**無記名方式**で行います。回答者個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、中央区の子育て支援施策推進のために利用され、それ以外の目的に使用されることはありません。
- この調査票は 14 ページ、41 問あります。
- 調査回答に要する時間は概ね 30 分程度です。

ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方がお答えください。
- 鉛筆または黒のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。また、インターネット（パソコン、スマートフォン等）での回答も可能です。
※パソコン、スマートフォン等から回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

【回答期限】 郵送：11月24日（金）までにポストに投函
インターネット：11月24日（金）午後11時59分まで

インターネット(パソコン、スマートフォン等)での回答方法 ※詳細は別紙参照

- 1 以下の URL か二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のパスワード・ID を使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://jp.surveymonkey.com/r/syougakusei>



パスワード：

I D :

（パスワードは無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。）

【問い合わせ先】

★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部子育て支援課計画推進等担当係長 TEL 03-3546-5444
受付時間 午前8時30分～午後5時（土日・祝日を除く。）

★調査方法・インターネット回答等について

株式会社 生活構造研究所 TEL 03-6261-7304
受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。）

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

(1つに○) (N=2,130)

1. 母親 80.3% 2. 父親 18.8% 3. その他〔 〕 0.2% 無回答 0.7%

問 2 現在、あなたがお住まいになっている地域および地区はどこですか。(それぞれ1つに○)(N=2,130)

(1) 地域	(2) 地区										
1. 京橋地域 23.4% (n=498)	1. 八重洲二丁目 0.0%	2. 京橋 0.6%	3. 銀座 4.2%	4. 新富 3.8%	5. 入船 4.4%	6. 湊 22.5%	7. 明石町 13.7%	8. 築地 19.9%	9. 浜離宮庭園 0.0%	10. 八丁堀 7.2%	
	11. 新川 23.5%	無回答 0.2%									
2. 日本橋地域 32.6% (n=695)	1. 本石町 0.1%	2. 室町 0.3%	3. 本町 2.4%	4. 小舟町 2.2%	5. 小伝馬町 2.4%	6. 大伝馬町 3.7%	7. 堀留町 3.9%	8. 富沢町 2.7%	9. 人形町 9.4%	10. 小網町 2.3%	
	11. 蛸殻町 9.9%	12. 箱崎町 5.2%	13. 馬喰町 1.0%	14. 横山町 2.0%	15. 東日本橋 12.8%	16. 久松町 1.0%	17. 浜町 29.2%	18. 中洲 4.9%	19. 八重洲一丁目 0.1%	20. 日本橋 1.0%	
	21. 茅場町 1.7%	22. 兜町 1.4%	無回答 0.1%								
3. 月島地域 43.9% (n=936)	1. 佃 17.0%	2. 月島 19.1%	3. 勝どき 35.5%	4. 豊海町 1.1%	5. 晴海 27.1%	無回答 0.2%					

無回答 0.0%

問 3 あなたは、いつから中央区にお住まいですか。転入してきた方は()の①～⑥も教えてください。(1つに○) (N=2,130)

1. 生まれてからずっと住んでいる 12.5%
 2. 中央区に転入してきた(転入してから: ① 1年未満 2.7% ② 1～3年未満 5.6%
 87.4% ③ 3～5年未満 6.3% ④ 5～10年未満 29.0%
 (n=1,862) ⑤ 10～15年未満 36.9% ⑥ 15年以上 19.4%)
 無回答 0.0%

※「2. 中央区に転入してきた」には、生まれ育ちは中央区で、転出したがその後中央区へ転入してきて再び住むようになった場合も含む。

問 4 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○) (N=2,130)

1. 分譲マンション 65.2% 4. 民間賃貸住宅 23.9%
 2. 一戸建て 3.9% 5. 社宅・会社の寮 3.0%
 3. 都営・区営等公営賃貸住宅 2.8% 6. その他〔 〕 1.0%
 無回答 0.1%

問 5 あて名のお子さんは小学校の何年生ですか。(1つに○) (N=2,130)

1. 1年生 17.0% 2. 2年生 17.2% 3. 3年生 17.3%
 4. 4年生 16.2% 5. 5年生 16.7% 6. 6年生 15.5%
 無回答 0.1%

問 6 あて名のお子さんは誰と同居していますか。お子さんからみた関係でお答えください。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

1. 父 92.1% 4. 母(単身赴任中) 1.9% 7. 祖母 2.7%
 2. 父(単身赴任中) 3.8% 5. 兄弟・姉妹 ⇒ 問6-1 58.6% 8. その他〔 〕 1.0%
 3. 母 94.4% 6. 祖父 1.3% 無回答 0.1%

問 6-1 あて名のお子さんに、兄弟・姉妹は何人いますか? (□内に人数を記入) (n=1,249)

あて名のお子さんの兄弟・姉妹の数 □ 人 ※兄弟・姉妹がいない場合は0人と記入
 平均 1.8人

問7 お子さんの家庭での子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○) (N=2,130)

- | | | | | | |
|----------|-------|-----------|------|-----------------|-------|
| 1. 主に母親 | 66.3% | 2. 主に父親 | 1.5% | 3. 父親・母親とも同じくらい | 31.8% |
| 4. 主に祖父母 | 0.2% | 5. その他〔 〕 | 0.0% | 無回答 | 0.2% |

2. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てに関して日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

- | | | | |
|---|-------|--|-------|
| 【子どもの育ちに関すること】 | | 【学校などに関すること】 | |
| 1. 病気や発育・発達に関すること | 21.4% | 16. 子どもの教育に関すること | 45.2% |
| 2. 食事や栄養に関すること | 21.1% | 17. 子どもの友達つきあいに関すること | 34.2% |
| 3. 子どもの性格や癖が心配である | 35.5% | 18. 登校拒否、不登校などの問題について | 5.7% |
| 4. 子どもが病気がちである | 2.0% | 【生活に関すること】 | |
| 【子育てに関すること】 | | 19. 子育てに出費がかさむ | 38.8% |
| 5. 育児の方法がよくわからないこと | 2.7% | 20. 住居が狭い | 40.1% |
| 6. 子どもとの接し方に自信がもてないこと | 11.5% | 【配偶者等、周囲の人に関すること】 | |
| 7. 子どもとの時間を十分に取れないこと | 26.1% | 21. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと | 16.8% |
| 8. 子育てについて話し相手や相談相手がいないこと | 5.8% | 22. 子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと | 11.5% |
| 9. 自分のやりたいことが十分にできないこと | 16.3% | 23. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など周囲のみる目が気になる | 4.5% |
| 10. 子どもを叱りすぎているような気がする | 30.5% | 24. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと | 16.9% |
| 11. 子育てのストレスがたまって手をあげたり、無視してしまうこと | 5.4% | 25. 急なときに頼れる人がいない | 29.4% |
| 12. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと | 3.9% | 26. その他〔 〕 | 2.2% |
| 13. 子育てによる身体の疲れが大きい | 17.5% | 27. 特になし | 6.1% |
| 14. 仕事が十分にできない | 13.1% | 無回答 | 1.5% |
| 15. 子育てに追われ、社会から孤立するようになる | 4.3% | | |

問9 お子さんの家庭での子育てに関して、気軽に相談できる人または場所は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

- | | | | |
|----------------------------|-------|---------------------------|------|
| 1. 配偶者 | 75.9% | 14. 子ども発達支援センター ゆりのき | 0.8% |
| 2. 祖父母・兄弟等の親族 | 53.0% | 15. 児童館 | 1.7% |
| 3. 友人や知人 | 56.1% | 16. 福祉センター | 0.2% |
| 4. 近所の人 | 7.0% | 17. 教育センター | 1.8% |
| 5. 職場の人 | 16.9% | 18. 社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター) | 0.0% |
| 6. 保育所・幼稚園、小学校等の他の保護者 | 23.3% | 19. 児童相談所 | 0.1% |
| 7. 保育所・幼稚園、小学校等の担任等 | 15.6% | 20. 子育て支援を行うNPO等 | 0.2% |
| 8. 学童クラブや子どもの居場所「プレディ」の職員等 | 4.4% | 21. 子どもほっとライン | 0.1% |
| 9. 民生・児童委員 | 0.1% | 22. インターネット上で相談する | 0.7% |
| 10. 区役所のひとり親家庭相談・女性相談・家庭相談 | 0.1% | 23. その他〔 〕 | 3.2% |
| 11. 保健所・保健センター等の保健師等 | 0.4% | 24. 相談相手がいない | 2.0% |
| 12. かかりつけの医師、看護師等 | 6.6% | 25. 相談する機関がわからない | 0.1% |
| 13. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 1.0% | 26. 相談することがない | 1.4% |
| | | 無回答 | 0.3% |

問 10 日頃、お子さんを保護者に代わってみてくれる親族・知人はいますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

- 1. 日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる 9.6%
- 2. 緊急時または用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる 47.4%
- 3. 日常的に友人・知人にみてもらえる 1.7%
- 4. 緊急時または用事の際には友人・知人にみてもらえる 15.7%
- 5. いずれもない 35.3%
- 無回答 0.2%

3. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11 ご両親の現在の就労状況は次の表のどのタイプですか。また、1年後はどのような予定か(変更のない方も)お答えください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※ひとり親家庭の場合は、父親または母親の該当する欄についてご記入ください。

(1) 母親 (N=2,130)

就労状況		現在	1年後
フルタイム就労 (育休・介護休業中も含む)		49.6%	50.2%
パートタイム就労 (育休・介護休業中も含む)	月当たり120時間以上	4.4%	5.4%
	月当たり48時間以上120時間未満	12.6%	13.5%
	月当たり48時間未満	9.3%	9.7%
現在は就労していない		21.5%	15.9%
無回答		2.7%	5.2%

問 11 (1) - 1 在宅勤務を1週間に何日していますか。していない人は「0」と記入してください。(内に 0~7 を記入)

1週間当たりの在宅勤務日数 日 平均 1.6 日

(2) 父親 (N=2,130)

就労状況		現在	1年後
フルタイム就労 (育休・介護休業中も含む)		94.8%	94.0%
パートタイム就労 (育休・介護休業中も含む)	月当たり120時間以上	0.6%	0.6%
	月当たり48時間以上120時間未満	0.3%	0.3%
	月当たり48時間未満	0.3%	0.2%
現在は就労していない		0.8%	0.6%
無回答		3.1%	4.2%

問 11 (2) - 1 在宅勤務を1週間に何日していますか。していない人は「0」と記入してください。(内に 0~7 を記入)

1週間当たりの在宅勤務日数 日 平均 1.4 日

問 12 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。

（1つに○）（N=2,130）

※収入には、勤労収入（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みます。

※複数の収入源がある場合（父親が勤労収入、母親に事業収入など）は、おおよその合算値（合計額）を教えてください。

1. 収入はない（0円）	0.4%	5. 250～300万円未満	0.7%	9. 800～1,000万円未満	15.2%
2. 100万円未満	0.3%	6. 300～400万円未満	1.3%	10. 1,000～2,000万円未満	48.1%
3. 100～200万円未満	0.1%	7. 400～600万円未満	5.3%	11. 2,000～3,000万円未満	13.4%
4. 200～250万円未満	0.4%	8. 600～800万円未満	7.5%	12. 3,000万円以上	5.9%
				無回答	1.3%

4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 13 地域の子育て支援事業について、（1）【認知度・利用状況】、（2）【今後必要なときの利用意向】について回答してください。

※P.211【中央区の主な子育て支援事業】をご覧ください。

（1）【認知度・利用状況】 知っているものや、これまでに利用したことがあるものはどれですか。

（①～⑭の事業ごとに、それぞれ1つに○）

（2）【今後必要なときの利用意向】 今後、必要なときに利用したいと思うものに○をつけてください。

（あてはまるものすべてに○）

(N=2,130) 事業名	（1）【認知度・利用状況】				（2）【今後必要なときの利用意向】
	知っている利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答	
① 子ども家庭支援センターの子育て相談	14.3%	58.8%	25.4%	1.5%	16.7%
② 保健所・保健センターの子育て、栄養、歯科などの相談	32.8%	47.7%	18.2%	1.4%	15.3%
③ 中央区地域家庭教育推進協議会が開催する家庭教育学習会	9.8%	32.6%	56.1%	1.6%	10.6%
④ 教育センターの教育相談	9.4%	31.7%	57.6%	1.2%	15.1%
⑤ トワイライトステイ	2.0%	54.6%	42.1%	1.3%	11.0%
⑥ 子どもショートステイ	4.6%	52.6%	41.5%	1.3%	11.9%
⑦ 病児・病後児保育	18.2%	62.4%	18.2%	1.2%	14.0%
⑧ ファミリー・サポート・センター※1	9.8%	64.7%	24.3%	1.2%	14.2%
⑨ 子どもほっとライン	0.9%	64.0%	33.5%	1.5%	6.1%
⑩ 学童クラブ	32.7%	63.2%	3.2%	0.8%	20.9%
⑪ 区に届け出した民間学童クラブ	14.5%	66.7%	17.5%	1.4%	14.6%
⑫ 子どもの居場所「プレディ」	66.7%	30.2%	2.7%	0.3%	39.7%
⑬ 子育てガイドブック	8.9%	41.7%	41.7%	0.3%	
⑭ 子ども発達支援センター ゆりのき※2	8.8%	32.3%	57.6%	1.7%	6.9%
無回答					31.2%

※1ファミリー・サポート・センターは、中央区社会福祉協議会に委託して実施

※2子ども発達支援センター ゆりのき は、地域の療育の拠点として、発達や育ちに支援が必要な子どもとその家族に対して、適切な相談や支援を実施

5. お子さんの病気やケガの際の対応についてうかがいます。

問 14 この1年間に、お子さんが病気やケガをしたことはありますか。(1つに○) (N=2,130)

1. あった ⇒ 問 14-1 へ 72.4% 2. なかった ⇒ 問 15 (P.203) へ 27.5%
無回答 0.0%

問 14-1 この1年間に、お子さんが病気やケガをした場合に取った対処方法と、その日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入) (n=1,543)

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

※父親が半日、母親が半日交替で休んだ場合でも、それぞれ1日とカウントしてください。

1年間の対処方法		日数	
1. 父親が仕事を休んで子どもを見た	28.8%	<input type="text"/> 日程度	⇒問 14-2 へ
2. 母親が仕事を休んで子どもを見た	62.7%	<input type="text"/> 日程度	
3. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	28.3%	<input type="text"/> 日程度	
4. 区の病児・病後児保育を利用した	0.5%	<input type="text"/> 日程度	
5. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	5.6%	<input type="text"/> 日程度	⇒問 14-5 (P.203) へ
6. 民間の訪問型病児保育サービス(ベビーシッター等)を利用した	0.8%	<input type="text"/> 日程度	
7. その他〔 〕	8.2%	<input type="text"/> 日程度	
無回答	1.0%		

問 14-2 問 14-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。父親もしくは母親が仕事を休んだ場合、できれば区の病児・病後児保育を利用したいと思われましたか。

(1つに○をし、□内に日数を記入) (n=1,034)

※区の病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかり、入室前診断が必要となります。

1. できれば利用したいと思った 日程度 ⇒ 問 14-3 へ 21.4%
2. 利用したいとは思わなかった ⇒ 問 14-4 (P.203) へ 77.9%
無回答 0.7%

問 14-3 「できれば利用したいと思った」が利用しなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○) (n=221)

1. 病気の子どもを他人に看てもらうのは不安である 17.6%
2. サービスの質に不安がある 6.3%
3. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない 32.6%
4. 利用手続きが煩雑で面倒である 47.1%
5. 利用料がかかる・高い 9.5%
6. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない 35.3%
7. 定員が少なく当日預けられなかった 29.9%
8. その他〔 〕 19.9%
無回答 1.4%

⇒ 問 14-5 (P.203) へ

問 14-4 「利用したいとは思わなかった」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	(n=806)
1. 病気の子どもの看病をしたい	44.5%
2. 病気の子どもを他人に看てもらうのは不安である	30.6%
3. サービスの質に不安がある	7.7%
4. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない	16.0%
5. 利用手続きが煩雑で面倒である	35.2%
6. 利用料がかかる・高い	10.2%
7. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない	23.0%
8. 定員が少なく当日預けられる保障がない	23.6%
9. 親が仕事を休んで対応できるので問題ない	38.5%
10. その他〔 無回答	14.0% 0.7%

問 14-5 病児・病後児保育が小学校高学年でも利用できるとした場合、何年生まで利用したいですか。(1つに○)

	(n=1,543)				
1. 4年生	22.1%	2. 5年生	3.4%	3. 6年生	67.4%
				無回答	7.1%

6. お子さんの子育て支援事業の不定期な利用についてうかがいます。

問 15 お子さんについて、この1年間で家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で不定期に利用した事業と、そのおおよその利用日数をお答えください。

(あてはまるものすべてに○をし 内に日数を記入) (N=2,130)

※P.211【中央区の主な子育て支援事業】の「1. 子育て支援事業」をご覧のうえご回答ください。

利用している事業		日数(年間)
1. トワイライトステイ	0.4%	<input type="text"/> 日程度
2. ファミリー・サポート・センター	0.8%	<input type="text"/> 日程度
3. 区の事業以外の民間保育サービス(ベビーシッター等)	2.5%	<input type="text"/> 日程度
4. その他〔 無回答	1.0% 2.8%	<input type="text"/> 日程度
5. 利用していない	93.0%	

⇒問 16 (P.204) ^

⇒問 15-1 ^

問 15-1 問 15 で「5. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

	(n=1,981)		
1. 事業があることを知らなかった	16.8%	6. 立地や利用可能時間、利用可能日数などが合わない	9.2%
2. 特に利用する必要がない	63.0%	7. 利用手続きが煩雑で面倒である	19.5%
3. 利用したい事業がない	5.6%	8. 利用料がかかる・高い	6.2%
4. サービスの質に不安がある	5.7%	9. 利用料・利用方法などシステムがよくわからない	18.5%
5. 子どもが馴染むかどうか不安である	14.3%	10. その他〔 無回答	5.0% 0.2%

問 16 お子さんについて、家族の通院、冠婚葬祭、就労などの目的で、一時的な預かり事業の利用希望についてうかがいます。

- ① 今後、利用したいですか。(1つに○)
- ② ①で「1. 利用したい」を選んだ方にうかがいます。利用したい事業を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)
- ③ 利用目的別に希望日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○をし、日数を□内に記入)
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

①利用希望 (N=2,130)			
1. 利用したい	28.4%	2. 利用する必要はない	69.2%
		無回答	2.4%

②利用したい事業 (n=605)	
1. トワイライトステイ	52.6%
2. ファミリー・サポート・センター	67.8%
3. その他〔 〕	11.7%
無回答	4.6%

③利用目的 (n=605)		日数(年間)	
ア. 家族の通院	47.8%	□ □ □	日程度
イ. 冠婚葬祭、学校行事	45.3%	□ □ □	日程度
ウ. 不定期の就労	27.1%	□ □ □	日程度
エ. 親の勉強、資格取得	19.8%	□ □ □	日程度
オ. ボランティア、地域活動	4.8%	□ □ □	日程度
カ. 買物、趣味の活動、リフレッシュ目的	32.4%	□ □ □	日程度
キ. その他〔 〕	10.4%	□ □ □	日程度
無回答			2.8%

問 17 宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。

- ① この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。預け先が見つからなかった場合も含みます。(1つに○)
- ② ①で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。対処方法とその日数をお答えください。
(あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入)

①状況 (N=2,130)			
1. あった	9.0%	2. なかった	89.9%
		無回答	1.2%

②対処方法 (n=191)		宿泊日数(年間)	
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	73.8%	□ □ □	泊
2. 子どもショートステイを利用した	0.0%	□ □ □	泊
3. 2. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	1.0%	□ □ □	泊
4. 子どもを同行させた	27.2%	□ □ □	泊
5. その他〔 〕	8.4%	□ □ □	泊
無回答			0.5%

7. 小学校における放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 18 小学校低学年（1～3年生）の方におうかがいします。お子さんについて、低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入）

※P.212【中央区の主な子育て支援事業】の「2. 放課後支援事業」をご覧ください。

※児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「3.」を選択してください。

(n=1,098)

低学年の放課後の過ごし方	週当たり現在の状況	週当たり希望日数
1. 自宅（近所での友人との遊びを含む） 59.9%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
2. 祖父母宅や親戚宅 4.3%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
3. 学童クラブ（区で実施している事業）⇒問 19～22 へ 23.4%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
4. 区に届け出した民間学童クラブ⇒問 19～21・23 へ 11.5%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
5. 子どもの居場所「プレディ」 ⇒問 19～21・24 へ 46.3%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
6. 児童館（区立） 14.5%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
7. ファミリー・サポート・センター 0.8%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
8. 学校の放課後活動（ミニバスケットボールクラブ等）など 11.1%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
9. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など（民間の学童クラブを含む）） 67.9%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
10. その他〔 〕 6.7%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
無回答 0.1%		

問 19 全学年の方におうかがいします。現在、低学年の方は高学年になったときの希望をご回答ください。お子さんについて、高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○をし、□内に日数を記入）

※児童館で行う学童クラブを利用したい場合は「3.」を選択してください。

(N=2,130)

高学年の放課後の過ごし方	週当たり現在の状況 （高学年の方のみ）	週当たり希望日数 （全学年の方）
1. 自宅（近所での友人との遊びを含む） 71.4%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
2. 祖父母宅や親戚宅 3.5%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
3. 学童クラブ（区で実施している事業）⇒問 20～22 へ 11.5%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
4. 区に届け出した民間学童クラブ⇒問 20・21・23 へ 5.4%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
5. 子どもの居場所「プレディ」 ⇒問 20・21・24 へ 20.2%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
6. 児童館（区立） 12.3%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
7. ファミリー・サポート・センター 0.3%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
8. 学校の放課後活動（ミニバスケットボールクラブ等）など 19.0%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
9. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など（民間の学童クラブを含む）） 79.2%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
10. その他〔 〕 4.7%	<input type="checkbox"/> 日程度	<input type="checkbox"/> 日程度
無回答 1.3%		

問 20 問 18 または問 19 で「3. 学童クラブ」、「4. 区に届け出した民間学童クラブ」、「5. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、平日の下校後から利用したい時間帯をお答えください。(□内に時間を記入) (n=918)

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

下校時から □□ 時 □□ 分まで

問 21 問 18 または問 19 で「3. 学童クラブ」、「4. 区に届け出した民間学童クラブ」、「5. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。土曜日やお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の「学童クラブ」、「区に届け出した民間学童クラブ」、「プレディ」の利用希望をお答えください。(それぞれ1つに○をし、□内に時間を記入) (n=918)

※利用したい時間帯は、「08時、17時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日		利用したい時間帯
1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	13.1%	□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	19.9%	
3. 利用する必要はない	60.1%	
無回答	6.9%	
(2) 夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中		利用したい時間帯
1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	26.4%	□□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	62.4%	
3. 利用する必要はない	4.8%	
無回答	6.4%	

問 22 問 18 または問 19 で「3. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。「学童クラブを利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=361)

- 1. 自宅に近い等、便利だから 62.3%
- 2. 放課後の居場所として学童クラブ以外はよく知らないから 22.4%
- 3. 連絡帳などを使って保護者と職員のコミュニケーションが取れる 34.9%
- 4. 家庭的な雰囲気の中で過ごせる 33.5%
- 5. 他の学区域の友達と一緒にになれる 28.0%
- 6. 保護者会や父母の会行事で他の保護者や職員と交流できる 7.8%
- 7. 施設・設備が充実している 44.6%
- 8. 児童館全体を使って、のびのび遊ぶことができる 62.3%
- 9. 児童館行事に参加しやすい 31.9%
- 10. 延長利用料以外に料金がかからないから 26.9%
- 11. その他〔 〕 12.2%
- 無回答 3.0%

問 23 問 18 または問 19 で「4. 区に届け出した民間学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。「区に届け出した民間学童クラブを利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) (n=179)

- 1. 自宅に近い等、便利だから 38.0%
- 2. 小学校までお迎えがあるから 53.1%
- 3. 連絡帳などを使って保護者と職員のコミュニケーションが取れる 19.6%
- 4. 家庭的な雰囲気の中で過ごせる 7.8%
- 5. 他の学区域の友達と一緒にになれる 19.6%
- 6. 習い事との併用(中抜け)ができる 59.2%
- 7. 学び、体験活動、行事が充実している 64.8%
- 8. 施設・設備が充実している 24.0%
- 9. 延長での預かり時間が長かったり、悪天候や学級閉鎖時にも開所してくれる 43.0%
- 10. 有料でも温かい食事の提供がある 39.7%
- 11. 利用料金等がかかるが、メリットが大きいから 49.2%
- 12. その他〔 〕 4.5%
- 無回答 3.9%

問 24 問 18 または 19 で「5. 子どもの居場所「プレディ」」に○をつけた方にうかがいます。

「子どもの居場所「プレディ」を利用したい」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(n= 672)

- | | |
|--|--------------|
| 1. 自宅に近い等、便利だから | 66.5% |
| 2. 児童館で行う学童クラブと比べ、移動がなく安全 | 45.2% |
| 3. 参加が自由（必要なときだけ参加できる）で、6年生まで継続して使える | 73.1% |
| 4. 就労していないが、子どもの学習や遊びの環境として良いと思う | 17.7% |
| 5. 兄弟やクラスの友達と一緒に通える | 31.8% |
| 6. 地域のサポーターによる行事や工作などの各種教室がある | 29.2% |
| 7. 学校の放課後活動（ミニバスケット、わんぱく相撲や羽根つき大会の練習など）に参加しやすい | 18.5% |
| 8. その他〔
無回答 | 9.8%
2.7% |

問 25 子どもが放課後を過ごす場所として、重視していることは何ですか。(3つまで選んで○)

(N= 2,130)

- | | | | |
|-----------------------------------|-------|-----------------------------|--------------|
| 1. 子どもが安全・安心に過ごせること | 91.3% | 10. 勉強ができる環境があること | 24.5% |
| 2. 充実した施設・設備があること | 16.9% | 11. 屋外で遊べる環境があること | 18.3% |
| 3. 希望する時間に利用できること | 39.7% | 12. 大勢で過ごせる環境があること | 3.7% |
| 4. スタッフ（職員等）が充実していること | 25.3% | 13. 少人数で家庭的な雰囲気ですごせる環境があること | 1.7% |
| 5. 子どもの遊び支援など日常活動が充実していること | 12.5% | 14. 落ち着いてリラックスできる環境があること | 14.8% |
| 6. 異年齢（乳幼児から大人までとの）による活動が充実していること | 1.6% | 15. 保護者と一緒に過ごせること | 2.1% |
| 7. 行事や地域交流活動が充実していること | 2.7% | 16. 家や学校に近いこと | 41.9% |
| 8. 運営に関する子どもの参画がなされること | 1.0% | 17. その他〔
無回答 | 1.5%
2.9% |
| 9. 障害児等、配慮を要する子どもへの配慮がされていること | 2.7% | | |

8. 地域における子育てについてうかがいます。

問 26 近所や地域の人とのおつきあいは、どの程度ありますか。(1つに○) (N=2,130)

- | | | | |
|---------------|-------|----------------------------|-------|
| 1. あいさつする程度 | 43.2% | 4. 食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている | 12.0% |
| 2. 時々立ち話をする | 28.4% | 5. 困っているときに相談したり助け合ったりしている | 4.8% |
| 3. 家に上がって話をする | 1.7% | 6. ほとんどつきあいはない | 9.6% |
| | | 無回答 | 0.3% |

問 27 親子で地域の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。(それぞれ1つに○) (N=2,130)

	参加している	参加していないが、今後参加したい	参加していないが、今後も参加しない	無回答
① 町会・自治会主催の子ども向けイベント（バスハイク、クリスマス会、お餅つき等）	38.8%	32.6%	27.7%	0.8%
② 地域で活動するサークル（子育てサークル等）	3.2%	17.8%	77.4%	1.5%
③ 地域伝統行事（祭り等）	52.4%	30.1%	16.7%	0.8%
④ 地域のスポーツ少年団	18.6%	24.2%	56.1%	1.1%
⑤ 社会奉仕活動団体（ボーイスカウト等）	4.1%	20.9%	73.5%	1.5%

問 28 あなたは、地域住民によるどのような子ども・子育て支援活動を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

- | | | | |
|----------------------------|-------|-----------------------------|-------|
| 1. 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動 | 18.4% | 6. 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動 | 13.9% |
| 2. 子育て家庭の家事を支援する活動 | 18.1% | 7. 子どもの見守りをしてくれる活動 | 49.4% |
| 3. 不意の外出のときなどに子どもを預かる活動 | 25.4% | 8. 子育てに関連した情報を簡単に共有できるような活動 | 19.1% |
| 4. 子どもと遊んでくれる活動 | 26.2% | 9. その他〔 〕 | 2.8% |
| 5. 子どもにスポーツや勉強を教える活動 | 48.1% | 10. 特にない | 10.8% |
| | | 無回答 | 0.8% |

問 29 あなたは、今後、地域住民による子ども・子育て支援活動に携わっても良いと思いますか。(1つに○)

(N=2,130)

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|
| 1. すでに携わっている | 4.7% | 4. 携わりたくない | 9.9% |
| 2. ぜひ携わりたい | 6.0% | 5. わからない | 28.2% |
| 3. 携わっても良い | 47.8% | 無回答 | 3.4% |

9. 子育てに関する意識についてうかがいます。

問 30 子育てをされていて、次のように感じることはありますか。(それぞれ1つに○) (N=2,130)

	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	まったく感じない	無回答
① 子育てが楽しい	51.8%	41.0%	6.1%	0.7%	0.4%
② 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ	75.5%	22.0%	2.1%	0.2%	0.3%
③ 子どもがいると家庭が明るくなる	87.2%	11.4%	0.9%	0.0%	0.4%
④ 子どものことでどうして良いかわからなくなる	12.4%	48.3%	31.0%	7.8%	0.5%
⑤ 自分の時間が取れず自由がない	21.1%	44.1%	27.9%	6.5%	0.4%
⑥ 子育てに不安を感じる	10.9%	45.4%	35.5%	7.8%	0.4%
⑦ 子育てに負担を感じる	12.7%	40.2%	34.6%	12.1%	0.4%
⑧ 仕事と子育ての両立が難しい	23.1%	35.6%	26.5%	13.9%	0.9%

問 31 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから(または、誰から)入手していますか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

- | | | | |
|--------------------------|-------|------------------|-------|
| 1. 祖父母・兄弟等の親族 | 35.7% | 10. 保健所・保健センター | 2.3% |
| 2. 友人や知人 | 76.6% | 11. 子育てガイドブック | 1.5% |
| 3. 近所の人 | 16.7% | 12. こどもすくすくナビ | 0.4% |
| 4. SNSで知り合った友人 | 5.8% | 13. インターネット | 65.6% |
| 5. 学校 | 49.3% | 14. テレビ、ラジオ、新聞 | 25.2% |
| 6. 区役所や区の機関の窓口 | 5.0% | 15. 子育て雑誌 | 6.7% |
| 7. 「区のおしらせ ちゅうおう」やパンフレット | 22.6% | 16. その他〔 〕 | 3.6% |
| 8. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 1.2% | 17. 情報の入手先がわからない | 0.7% |
| 9. 児童館 | 8.4% | 18. 情報を必要としていない | 1.3% |
| | | 無回答 | 0.2% |

問 32 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。(3つまで選んで○) (N=2,130)

1. 子どもの発達や育児、しつけについて	28.7%	7. 病気や障害に関する相談窓口	7.8%
2. 子ども向けイベント情報	54.6%	8. アレルギーのある子ども向けの情報	4.1%
3. 医療機関情報	30.8%	9. 子育てに優しい、子育てしやすい住まいに関する情報	13.3%
4. 学校の紹介・特徴	30.5%	10. 地域の伝統行事(祭り等)の情報	39.1%
5. 経済的支援制度に関する情報	10.5%	11. その他〔 〕	2.5%
6. 公園などの遊び場の情報	31.5%	無回答	1.1%

問 33 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○) (N=2,130)

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	30.6%	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	
2. 子どもが安全に生活できる環境	15.8%		61.8%
3. 子どもにとって危険の無い生活	12.2%	10. 親子で過ごせる場所や講座、イベント	11.2%
4. 子どもが家族と過ごす時間	22.4%	11. 子どものゆとりある生活	23.6%
5. 子どもの自立を促す取組	32.3%	12. 保護者が自由に過ごせる時間	23.8%
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで決める機会	29.4%	13. 地域での支え合い	9.5%
7. 子どもにとって充実した食生活	13.6%	14. 子育て経験者からのアドバイス	5.0%
8. 子どもが自由に遊ぶ時間	29.9%	15. その他〔 〕	3.9%
		無回答	1.7%

問 34 普段のあなたとお子さんの関わりについて、次のことがどのくらい当てはまりますか。

(N=2,130)

(それぞれ1つに○)

	当てはまる とても	まあ当てはまる	当てはまらない あまり	当てはまらない まったく	無回答
① 子どものやりたいことをできるだけ尊重している	28.4%	65.1%	5.9%	0.3%	0.4%
② 子ども自身でできることは自分でさせている	22.6%	63.1%	13.6%	0.3%	0.3%
③ 子どもが問題に直面しても、できるだけ本人に解決させている	9.8%	67.7%	21.5%	0.6%	0.4%
④ 失敗することが分かっている、子どものやりたいようにやらせている	8.5%	56.9%	33.2%	1.1%	0.4%
⑤ 子どもと意見が違ふとき、あなたの意見を優先させている	2.1%	43.2%	50.1%	4.2%	0.4%
⑥ 子どもが友達と遊ぶ時間を多く取れるようにしている	13.9%	46.6%	34.6%	4.5%	0.4%
⑦ 短い時間なら一人で留守番ができるように教えている	39.4%	42.6%	10.9%	6.7%	0.3%
⑧ 自分の目を離れている間、子どものことが心配で仕方ない	5.7%	31.9%	53.3%	8.8%	0.3%

問 35 中央区は子育てがしやすいまちだと思いますか。(1つに○) (N=2,130)

- | | | | |
|------------------------|-------|------------------|------|
| 1. とてもしやすいまちだと思う | 22.5% | 4. しやすいまちだとは思わない | 3.9% |
| 2. どちらかといえば、しやすいまちだと思う | 60.6% | 5. わからない | 3.3% |
| 3. あまりしやすいまちだとは思わない | 9.5% | 無回答 | 0.2% |

問 36 以前(3~5年前)に比べ、中央区の子育て環境は良くなったと思いますか。(1つに○) (N=2,130)

- | | | | |
|---------------------|-------|---------------------|-------|
| 1. とても良くなったと思う | 10.0% | 4. どちらかといえば悪くなったと思う | 10.2% |
| 2. どちらかといえば良くなったと思う | 32.9% | 5. 最近転入してきてよくわからない | 4.2% |
| 3. あまり変わらない | 31.0% | 6. わからない | 11.4% |
| | | 無回答 | 0.3% |

問 37 あなたは、中央区に今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○) (N=2,130)

- | | | | |
|-----------------------|-------|---------------------|-------|
| 1. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい | 17.7% | 4. 子どもの大学卒業まで住み続けたい | 6.2% |
| 2. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい | 10.0% | 5. ずっと住み続けたい | 55.7% |
| 3. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい | 7.2% | 6. 転出したい | 2.7% |
| | | 無回答 | 0.6% |

問38 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(N=2,130) (それぞれ1つに○)

項 目	ある	ない			無回答
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で	
① 海水浴に行く	49.8%	1.3%	18.3%	30.1	0.6%
② 博物館・科学館・美術館などに行く	78.2%	0.5%	8.7%	12.1%	0.5%
③ キャンプやバーベキューに行く	52.1%	1.8%	15.3%	30.0%	0.8%
④ スポーツ観戦や劇場に行く	69.5%	1.9%	8.6%	19.4%	0.6%
⑤ 遊園地やテーマパークに行く	83.8%	2.0%	6.7%	7.3%	0.2%
⑥ 旅行(国内・海外)に行く	89.0%	2.5%	4.7%	3.6%	0.1%

問 39 あなたの世帯(家庭)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。

(N=2,130) (それぞれ1つに○)

項 目	まったくない	何度かあった	頻繁にあった	無回答
① 必要な食料が買えなかった	96.2%	3.1%	0.5%	0.2%
② 必要な衣料が買えなかった	95.4%	3.6%	0.8%	0.2%
③ 電気料金の滞納	98.5%	1.0%	0.3%	0.2%
④ 電話料金の滞納	99.0%	0.6%	0.2%	0.2%
⑤ ガス料金の滞納	98.8%	0.7%	0.2%	0.3%
⑥ 水道料金の滞納	98.7%	0.8%	0.2%	0.2%
⑦ 家賃や住宅ローンの滞納	98.6%	0.7%	0.4%	0.2%

問 40 現在の暮らしの状況を経済的な面でどのように感じていますか。(1つに○) (N=2,130)

1. 大変ゆとりがある	6.5%	4. やや苦しい	19.8%
2. ややゆとりがある	25.4%	5. 大変苦しい	3.7%
3. 普通	44.4%	無回答	0.3%

問 41 最後に区の子育て支援施策に関して意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。11月24日(金)までに、投函してください。(切手不要)

中央区の主な子育て支援事業

(令和5年4月1日現在)

1. 子育て支援事業

トワイライトステイ	仕事などの理由により帰宅が夜間になる場合に利用できる一時預かりです。2歳から小学6年生が対象です。 子ども家庭支援センター、京橋こども園で実施しています。 【利用料金】1回 2,000円
子どもショートステイ	保護者が病気などにより一時的に子どもを養育するのが難しいときに利用できる、宿泊を伴う一時預かりです。区が委託した乳児院や児童養護施設、協力家庭で預かります。 【利用料金】1泊2日 6,000円
病児・病後児保育	病気の回復期等により、保育施設での集団保育ができず、保護者も家庭で看護することができない場合に、一時的に子どもを預かる事業です。 区が委託する医療機関の病児・病後児保育室または認証保育所で実施しています。 【利用料金】1日 2,000円
ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けが必要な方(依頼会員)と、子育ての手助けができる方(提供会員)が会員になり、保育園の送迎や一時的な保育など、会員同士が子育てを助け合う事業です。 【利用料金】曜日・時間に応じ、1時間当たり800円または1,000円

2. 放課後支援事業

<p>学童クラブ</p>	<p>保護者の仕事などにより、放課後、家庭において適切な保護が受けられない小学生のために生活や遊びの場を提供する事業です。 【実施場所】 区内児童館8か所 【開設時間】 月～金曜日 下校時から午後6時まで（年末年始、祝日を除く） 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 学校休業日 午前8時30分から午後6時まで 土曜日を除き午後7時30分まで延長可能 【利用料金】 午後6時まで無料 午後6時を超えて利用する場合は延長利用料 1回400円（月上限5,000円）</p>
<p>区に届け出した民間学童クラブ</p>	<p>区内児童館での学童クラブに加え、区に「放課後児童健全育成事業」として届け出をした民間事業者が運営する学童クラブを令和5年4月から開設しています。 【実施場所】 区内1か所 【開設時間】 月～金曜日 下校時から午後9時まで（年末年始、日曜、祝日を除く） 学校休業日 午前7時30分から午後9時まで ※午前7時30分から8時、午後7時以降は延長料金発生 【利用料金】 入会金 20,000円 保育料 36,000円/月 延長料金 600円/30分 施設維持費（教材費等） 10,000円/年 その他オプションとして、昼食・夕食の提供、学校送迎等を実施</p>
<p>子どもの居場所「プレディ」</p>	<p>小学校の施設を利用し、放課後や夏休み等に子どもの居場所を提供する事業です。保護者の仕事等の理由にかかわらず利用できます。 【実施場所】 区立小学校のうち12校 【開設時間】 月～金曜日 下校時から午後5時まで（年末年始、祝日を除く） 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 学校休業日 午前8時30分から午後5時まで 土曜日を除き午後7時30分まで延長可能、土曜日午後6時まで延長可能 【利用料金】 午後6時まで無料 午後6時を超えて利用する場合は延長利用料 1回400円（月上限5,000円）</p>
<p>児童館</p>	<p>0歳から18歳までの子どもとその保護者が利用できる施設です。ホール、図書室、遊戯室などがあり、自由に遊んだり行事に参加したりすることができます。 【施設数】 8館</p>

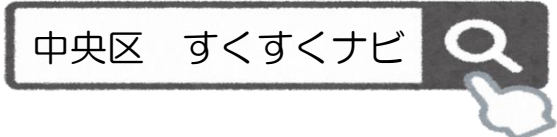
中央区の子育て支援サービスについて、さらにお知りになりたいときは・・・

子育て応援サイト「こどもすくすくナビ」

中央区の子育て支援サービスや情報についてカテゴリ別にとまとめられたサイトです。ぜひご利用ください！



<https://chuo-city.mamafre.jp/>



中央区
子育て支援に関するニーズ調査
調査報告書

令和6(2024)年3月発行
発行:中央区 福祉保健部 子育て支援課
〒104-8404
東京都中央区築地一丁目1番1号
電話 03-3546-5444
調査:株式会社生活構造研究所
〒102-0083
東京都千代田区麹町2丁目5番地4
電話 03-5275-7861

刊行物登録番号
5-106